

令和8年度

# 年間指導計画

【掲載内容について】

本校では、「島尻スタンダード」を基に各学習グループで年間指導計画を作成しています。本ホームページでは、指導計画の一部を掲載しております。

沖縄県立島尻特別支援学校

中学部

# 中学部（Ⅱ課程 A）

令和8年度 中学部 1年 (Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当 時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	1学年 Ⅱ課程A		文部科学省著作教科書 国語☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。                  (思判表力) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。                  (学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	<p>(知及技) 日常よく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。                      (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。                      (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 日常よく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。                      ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。                      (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。                      (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	読む ひらがなをよもう	<p>【文字・文を読む】                      ・挿絵とひらがなを合わせて提示するなど、声に出す活動を行う。                      ・長音、拗音、促音などが含まれている語句を読む。                      ・「おもち」と「おもちゃ」の文字を並べて示し、違う部分に着目できるようにし、文字と読み方の関係を理解する。                      ・言葉集め(拗音・長音・促音などの入った言葉) やかるた取りなどを行う。</p>
	5	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。                      (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。                      (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこうとしている。                      (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。                      (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	書く ひらがなをかこう	<p>【文字を書く】                      ・平仮名カードを並べて単語をつくる。                      ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。                      ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。                      ・かるた取りの札を作成する。(相手が読めるように丁寧に書く)</p>
	5	<p>(知及技) 日常よく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。                      (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。                      (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 日常よく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。                      (思判表力) 日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。                      (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	読む かたかなをよもう	<p>【文字・文を読む】                      ・挿絵を手がかりに、表記している片仮名を読む。                      ・似ている文字の違いに気付けるようにする。                      ・長音や拗音の表記の特徴に気付けるようにする。</p>
	5	<p>(知及技) 日常よく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。正しい姿勢で音読することができる。                      (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。                      (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 日常よく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。                      ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。                      (思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。                      (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	読む かたかなをさがそう	<p>【文字・文を読む】                      ・本文の読み聞かせを聞き、片仮名で書かれているものが、挿絵のどこにあるか探す。                      ・教師の範音に続けて、音読する。                      ・校内や図書資料から片仮名で表す語句を探す。                      ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。</p>
	5	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。                      (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。                      (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くこうとしている。                      (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。                      (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	書く かたかなをかこう	<p>【文字を書く】                      ・絵の名称を確認し、五十音表から読みと対応する片仮名を探したり、片仮名カードを並べて単語をつくる。                      ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。                      ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。                      ・かるた取りの札を作成する。(相手が読めるように丁寧に書く)</p>
	3	<p>(知及技) 主語と述語の関係を理解することができる。                      (思判表力) 主語と述語の関係を理解しながら、一文の意味が明確になるように書くことができる。                      (学・人) 主語と述語を意識し考えたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 主語と述語の関係を理解している。                      (思・判・表) 主語と述語の関係を理解しながら、一文の意味が明確になるように書いている。                      (主学) 主語と述語を意識し考えたり伝えたりしようとしている。</p>	主語と述語	<p>・教科書の音読                      ・主語と述語について知る。                      ・主語と述語を意識して、簡単な文章を書いたり話したりする。</p>

2	<p>(知及技) 長音や拗音、促音、助詞の正しく読んだり書いたりできる。 (思判表力) 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。 (学・人) 日常生活において身近なものを正しく読んだり書いたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 長音や拗音、促音、助詞の正しく読んだり書いたりしている。 (思・判・表) 自分が書いたものを読み返し、間違いを正している。 (主学) 簡単な文章等を正しく読んだり書いたりしようとしている。</p>	書いてみよう①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取り</li> <li>・清音、拗音の違い</li> <li>・ひらがなの使い分け</li> </ul>
5	<p>(知及技) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思判表力) 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとしている。・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>【読む】 おじいさんとねずみのはなし</p>	<p>【絵本の読解】 【おおよそを捉え、あらましを話す】 【時間や手順に沿って、順序立てて話す】 【感じたことや経験したことを話す】 【音読や劇】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵を示しながら、読み聞かせを行う。</li> <li>・言葉と一緒に読んだり、動きを併せて読んだりして、言葉の響きやリズムに親しめるようにする。</li> <li>・場面ごとに挿絵を提示し、気付いたことを伝え合い、話の大体を理解する。</li> <li>・文と挿絵を基に、おじいさんの行動を読み取る。また、表情から気持ちを考えたりする。</li> </ul>
5	<p>(知及技) 同音異義語や対義語、同義語、上位語、下位語があることに気付くことができる。 (思判表力) アクセントの違いや言葉の意味に気をつけながら正しく読むことができる。 (学・人) アクセントや反対語、同義語等、言葉に関心を持つようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 同音異義語や対義語、同義語、上位語、下位語があることに気付いている。 (思・判・表) アクセントの違いや言葉の意味に気をつけながら読んでいる。 (主学) アクセントや反対語、同義語等、言葉に関心を持つようとしている。</p>	言葉の意味 仲間の言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同音異義語</li> <li>・反対語</li> <li>・同義語</li> </ul>
4	<p>(知及技) 紀行文について知ることができる。 (思判表力) 簡単な文章を読んで、情景や場面の様子などを想像することができる。 (学・人) 読むことへの意欲を高め、自然や季節などの情報を得て、その美しさを読み取ることができるような態度を養う。</p>	<p>(知・技) 紀行文について理解している。 (思・判・表) 簡単な文章を読んで、情景や場面の様子などを想像し、表現をしている。 (主学) 自然や季節などの情報を得て、その情景を読み取ろうとしている。</p>	日本を旅して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の音読</li> <li>・紀行文を知る。</li> <li>・文章読解</li> <li>・文章からイメージを持ち、写真と文とのマッチングをする。</li> </ul>
4	<p>(知及技) 俳句のリズムや季語について知ることができる。 (思判表力) 俳句の季語やリズムに注目しながら音読をしたり、俳句を作ったりすることができる。 (学・人) 俳句を通じて、情景を想像したり感じたことを伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 俳句のリズムや季語があることを理解している。 (思・判・表) 俳句の季語やリズムに注目しながら音読をしたり、俳句を作ったりしている。 (主学) 俳句を通じて、情景を想像したり感じたことを伝えたりしようとしている。</p>	俳句	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の音読</li> <li>・五・七・五のリズムに親しむ。</li> <li>・情景を想像し、感じ取ったことを伝え合う。</li> <li>・季語について学ぶ。</li> <li>・オリジナルの俳句を作る。</li> </ul>
8	<p>(知及技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考える事ができる。・見聞きたことのあることや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすることができる。・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。・見聞きたことのあることや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりしようとしている。・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	A聞く話す たのしかった遠足	<p>【感じたことや経験したことを話す】 【おおよそを捉え、あらましを話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等の動画や写真を見て、経験したことを思い浮かべる。</li> <li>・思い出や伝えたいことを発表する。</li> </ul> <p>※行事（読書月間など）や季節等に関する内容については随時取り扱う。</p>
6	<p>(知及技) 手紙の基本的な形式と書き方を知ることができる。 (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をすることができる。 (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 暑中見舞いの基本的な形式と書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をしている。 (主学) 暑中見舞いの作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。</p>	手紙を書こう 暑中見舞い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の書き方を学ぶ。</li> <li>・暑中見舞いを書く（日本郵便のテキスト）。</li> </ul>
3	<p>(知及技) 本の内容によって、様々な種類に分類されることに気付くことができる。 (思判表力) 様々な本や文章に触れ、情景や登場人物の心情を想像することができる。 (学・人) 図書に親しみ、言葉で考えたり伝え合ったりする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 本の内容によって、様々な種類に分類されることに気付いている。 (思・判・表) 様々な本や文章に触れ、その内容について話している。 (主学) 図書に親しみ、言葉で考えたり伝えたりしようとしている。</p>	本に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館へ行き、大まかな分類について学ぶ。</li> <li>・読書に親しむ。</li> <li>・本が内容によって分類されていることを知る。</li> </ul>

	<p>(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができ。</p> <p>(思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができ。</p> <p>(思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>(読む) のりもの</p>	<p>【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】</p> <p>(図書に親しむ・図書の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせを行う</li> <li>内容の大体を捉える</li> <li>促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る</li> <li>身近な乗り物を調べ、発表する。</li> </ul>
	<p>(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。</p> <p>(思判表力) 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。</li> </ul> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。</p> <p>(思判表力) 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使おうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。</li> </ul> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>A聞く・話す でんわ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話の受け方や掛け方を知る。</li> <li>電話を受けたり掛けたりする。</li> </ul>
3 学期	<p>(知及技) 文章を読んで十二支の由来について知ったり、物語を場面ごとに分けたりすることができる。</p> <p>(思判表力) 文章を読み、情景や登場人物の心情を想像し、伝えることができる。</p> <p>(学・人) 順序を追って内容を理解する楽しさや場面を想像しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 文章を読んで十二支の由来について知ったり、物語を場面ごとに分けたりしている。</p> <p>(思・判・表) 文章を読み、情景や登場人物の心情を想像し話をしている。</p> <p>(主学) 物語の流れやその場面を想像し、内容を伝えようとしている。</p>	<p>ねぼうしたねこ 年賀状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読</li> <li>十二支についての理解</li> <li>事柄の順序を追って、場面の様子や登場人物の心情などを読み取る。</li> </ul>
	<p>(知及技) 年賀状の書き方や目的について知ることができる。</p> <p>(思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をすることができる。</p> <p>(学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 年賀状の基本的な書き方を理解している。</p> <p>(思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をしている。</p> <p>(主学) 年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。</p>	<p>年賀状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年賀状の書き方</li> <li>年賀状の作成(日本郵便のテキスト)</li> </ul>
	<p>(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。</li> </ul> <p>(思判表力) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。</li> </ul> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。</li> </ul> <p>(思判表力) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書こうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。</li> </ul> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>B書く 文をかこう</p>	<p>【簡単な文の記述・構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文節ごとに区切ったカードを並び替えて文を作ったり、完成した文を見本にして書く。</li> <li>身近な事柄を表す絵や写真を見て、簡単な文章を作る。</li> <li>文を書き、相互に発表し合う。</li> <li>助詞を抜いた文を読んで、当てはまる助詞を考える。</li> <li>文を読んで、絵や写真を選択する。</li> <li>文を書き、相互に発表し合う。</li> <li>主語や述語など、一部が抜けた文に入る語句を考え、文を完成させる。</li> </ul>
	<p>(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方、文字の形、点画、筆圧等に注意しながら丁寧に書くことができる。</p> <p>(思判表力) 書いたものを見返して、修正を加えることができる。</p> <p>(学・人) 自分が書いたものを見返して、よりよく文字を書こうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方、文字の形、点画、筆圧等に注意しながら丁寧に書いている。</p> <p>(思・判・表) 書いたものを見返して、修正を加えている。</p> <p>(主学) 自分が書いたものを見返して、よりよく文字を書こうとしている。</p>	<p>書いてみよう②</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書くときの姿勢</li> <li>点画や筆圧に意識して書く</li> <li>書いたものを見返して、手直しする。</li> </ul>
	<p>(知及技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、撥音や声の大きさに気を付けて話すことができる。</p> <p>(思判表力) 伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えることができる。</p> <p>(学・人) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、撥音や声の大きさに気を付けて話している。</p> <p>(思・判・表) 伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えている。</p> <p>(主学) 自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。</p>	<p>自分の夢を話そう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読</li> <li>自分の思いや考え方をまとめる。</li> <li>相手にわかりやすく伝える。</li> <li>相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝える。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部 2年(Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当 時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年 Ⅱ課程A		文部科学省著作教科書 国語☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		年間目標			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1	1	(知及技)日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 (思判表力)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 (学・人)言葉がもつよきに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知及技)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。 (思判表力)言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【読む】 ひらがなをよもう	【文字・文を読む】 ・挿絵とひらがなを合わせて提示するなど、声に出す活動を行う。 ・長音、拗音、促音などが含まれている語句を読む。 ・「おもち」と「おもちゃ」の文字を並べて示し、違う部分に着目できるようにし、文字と読み方の関係を理解する。 ・言葉集め(拗音・長音・促音などの入った言葉)やかるた取りなどを行う。
	4	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【書く】 ひらがなをかこう	【文字を書く】 ・平仮名カードを並べて単語をつくる。 ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。 ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。 ・かるた取りの札を作成する。(相手が読めるように丁寧に書く)
	1	(知及技)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方をすることができる。 (思判表力)日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。 (思判表力)日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【読む】 かたかなをよもう	【文字・文を読む】 ・挿絵を手がかりに、表記している片仮名を読む。 ・似ている文字の違いに気付けるようにする。 ・長音や拗音の表記の特徴に気付けるようにする。
	2	(知及技)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方をすることができる。・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。・正しい姿勢で音読することができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。 (思判表力)言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【読む】 かたかなをさがそう	【文字・文を読む】 ・本文の読み聞かせを聞き、片仮名で書かれているものが、挿絵のどこにあるか探す。 ・教師の範音に続いて、音読する。 ・校内や図書資料から片仮名で表す語句を探す。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
1	3	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思判表力)書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	【書く】 かたかなをかこう	【文字を書く】 ・絵の名称を確認し、五十音表から読みと対応する片仮名を探したり、片仮名カードを並べて単語をつくる。 ・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。 ・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。 ・かるた取りの札を作成する。(相手が読めるように丁寧に書く)
	2	(知及技)主語と述語の関係を理解することができる。 (思判表力)主語と述語の関係を明確に意識しながら、一文の意味が明確になるように書くことができる。 (学・人)主語と述語を意識し考えたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技)主語と述語の関係を理解している。 (思・判・表)主語と述語の関係を明確に意識しながら、一文の意味が明確になるように書いている。 (主学)主語と述語を意識し考えたり伝えたりしようとしている。	主語と述語	・教科書の音読 ・主語と述語について知る。 ・主語と述語を意識して、簡単な文章を書いたり話したりする。

2 学 期	4	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることがある。出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることがある。出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力) 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 文をかこう	【簡単な文の記述・構成】 ・文節ごとに区切ったカードを並び替えて文を作ったり、完成した文を見本にして書く。 ・身近な事柄を表す絵や写真を見て、簡単な文章を作る。 ・文を書き、相互に発表し合う。助詞を抜いた文を読んで、当てはまる助詞を考える。 ・文を読んで、絵や写真を選択する。 ・文を書き、相互に発表し合う。 ・主語や述語など、一部が抜けた文に入る語句を考え、文を完成させる。
	2	(知及技) 長音や拗音、促音、助詞の正しく読み書きができる。 (思判表力) 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。 (学・人) 日常生活において身近なものを正しく読み書きしようとする態度を養う。	(知・技) 長音や拗音、促音、助詞の正しく読み書きができる。 (思・判・表) 自分が書いたものを読み返し、間違いを正している。 (主学) 簡単な文章等を正しく読み書きしようとしている。	書いてみよう①	・聞き取り ・清音、拗音の違い ・ひらがなの使い分け
	5	(知及技) 伝えたい事柄を順序立てて話すことの大切さに気付くことができる。 (思判表力) 相手を意識して、話の内容が伝わるように順序立てて話をするができる。 (学・人) 言葉を用いてやりとりをしようとする態度を養う。	(知・技) 伝えたい事柄を順序立てて話すことの大切さに気付いている。 (思・判・表) 相手を意識して、話の内容が伝わるように順序立てて話をしようとしている。 (主学) 事柄を順序立てて話を伝えようとしている。	作品を紹介しよう	・教科書の音読 ・伝えたいことを3つのことに整理する。 ・発表を行う。
	6	(知及技) 手紙の基本的な形式と書き方を知ることができる。 (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をすることができる。 (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。	(知・技) 暑中見舞いの基本的な形式と書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をしている。 (主学) 暑中見舞いの作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。	手紙を書こう 暑中見舞い	・手紙の書き方を学ぶ。 ・暑中見舞いを書く(日本郵便のテキスト)。
	3	(知及技) 本の内容によって、様々な種類に分類されることに気付くことができる。 (思判表力) 様々な本や文章に触れ、情景や登場人物の心情を想像することができる。 (学・人) 図書に親しみ、言葉で考えたり伝え合ったりする態度を養う。	(知・技) 本の内容によって、様々な種類に分類されることに気付いている。 (思・判・表) 様々な本や文章に触れ、その内容について話している。 (主学) 図書に親しみ、言葉で考えたり伝えたりしようとしている。	本に親しもう	・学校図書館へ行き、大まかな分類について学ぶ。 ・読書に親しむ。 ・本が内容によって分類されていることを知る。
	5	(知及技) 長音や拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方ができる。 (思判表力) 事柄の順序に沿って簡単な文章の構成を考え、また文章に対する感想を持つことができる。 (学・人) 文章の構成を考え、自分の思いなどを相手に伝えようとする態度を養う。	(知・技) 長音や拗音、促音、撥音、助詞正しく読み書きしている。 (思・判・表) 事柄の順序に沿って簡単な文章の構成を考え、また文章に対する感想を話している。 (主学) 話の順序を考え、自分の思いなどを相手に伝えようとしている。	順序よく書こう	・教科書の音読 ・相手に伝わりやすいような事柄の順序に沿って文章を構成することを学ぶ。 ・長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読み方や書き方を学ぶ。
	7	(知及技) 原稿用紙の基本的な使い方を知り、語句の正しい使い方や役割を理解することができる。 (思判表力) 文の構成や、語句の使い方に気をつけて書くことや、書いたものを読み返し、間違いを正すことができる。 (学・人) 間違いに気付いた文章を正しく直そうとしたり、よりよい文章にしていこうとしたりする態度を養う。	(知・技) 原稿用紙の基本的な使い方を知り、語句の正しい使い方や役割を理解している。 (思・判・表) 語句を正しく使用して文を書いたり、書いたものを読み返して間違いを正している。 (主学) 語句を正しく使用し、よりよい文章にしようとしている。	伝わりやすくなるように書こう	・原稿用紙の基本的な使い方を学ぶ。 ・音読し、伝えたいことが伝わりやすく書かれているかや事柄の順序等について見直す必要性を学ぶ。
	8	(知及技) 簡単な物語を読み、江戸時代にも面白い話があることを知ることができる。 (思判表力) 簡単な文章を読み、わかったことや感想を伝えることができる。 (学・人) 様々な物語に触れることで、自国の言語文化を知ろうとする態度を養う。	(知・技) 江戸時代にも面白い話があることを理解している。 (思・判・表) 簡単な文章を読み、わかったことや感想を話している。 (主学) 面白い話等を通して、その内容に関心を持つようとしている。	江戸小話	・教科書の音読 ・内容の読み取り ・読み取った内容から好きな場面や人物について、話し合ったり発表をしたりする。 ・様々な小話について触れる。
	8	(知及技) 言葉の働きには、事物の内容を表すことがわかる。 (思判表力) 文章を読んだり標識を見たりして、意味や行動について考えることができる。 (学・人) 標識等の意味を考え、適切に行動しようとする態度を養う。	(知・技) 文章を読んで、様々な標識や表示があることを理解している。 (思・判・表) 章を読んだり標識を見たりして、意味や行動について考えている。 (主学) 標識等の意味を考え、適切に行動しようとしている。	いろいろな標識・表示	・教科書の音読 ・内容の読み取り ・標識や表示の表す意味を考える。 ・標識や表示をみて、どのように行動するかを考える。 ・校内や身の回りにある標識、表示等について発表をする。
	4	(知及技) 物語文についてや文章が順序立てて構成されていることを知ることができる。 (思判表力) 文章を読んで感じたことや考えたことを自分の言葉で表現することができる。 (学・人) 心情や情景を読み取ることで、感じたことを深めようとする態度を養う。	(知・技) 物語が文章の順序で構成されていることを理解している。 (思・判・表) 文章を読んで感じたことや考えたことを自分の言葉で表現している。 (主学) 心情や情景を読み取ることで、感じたことを伝えようとしている。	オオカミと羊飼	・教科書の音読 ・場面の情景や事柄の流れ、登場人物の心情などを読み取る。

	4	(知及技) 文章を読んで十二支の由来について知ったり、物語を場面ごとに分けたりすることができる。 (思判表力)文章を読み、情景や登場人物の心情を想像し、伝えることができる。 (学・人)順序を追って内容を理解する楽しさや場面を想像しようとする態度を養う。	(知・技) 文章を読んで十二支の由来について知ったり、物語を場面ごとに分けたりしている。 (思・判・表)文章を読み、情景や登場人物の心情を想像し話をしている。 (主学)物語の流れやその場面を想像し、内容を伝えようとしている。	ねぼうしたねこ 年賀状	・教科書の音読 ・十二支についての理解 ・事柄の順序を追って、場面の様子や登場人物の心情などを読み取る。
	6	(知及技) 年賀状の書き方や目的について知ることができる。 (思判表力)伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をすることができる。 (学・人)手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。	(知・技) 年賀状の基本的な書き方を理解している。 (思・判・表)伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をしている。 (主学)年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。	年賀状	・年賀状の書き方 ・年賀状の作成(日本郵便のテキスト)
3 学 期	4	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方、文字の形、点画、筆圧等に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力)書いたものを見返して、修正を加えることができる。 (学・人)自分が書いたものを見返して、よりよく文字を書こうとする態度を養う。	(知・技) 姿勢や筆記具の持ち方、文字の形、点画、筆圧等に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表)書いたものを見返して、修正を加えている。 (主学)自分が書いたものを見返して、よりよく文字を書こうとしている。	書いてみよう②	・書くときの姿勢 ・点画や筆圧に意識して書く ・書いたものを見返して、手直しする。
	6	(知及技) 身の回りにあるローマ字について知ることができる。 (思判表力)簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりすることができる。 (学・人)身の回りにあるローマ字について関心を持ち、活用しようとする態度を養う。	(知・技) 身の回りにローマ字が使われていることを理解している。 (思・判・表)簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりしている。 (主学)身の回りにあるローマ字表記について関心を持つようとしている。	ローマ字	・日常で使われている簡単な単語について、ローマ字を読んだり、書いたりする。 ・PCやタブレットを使って、ローマ字で入力する。
	2	(知及技) 文字を正しく読み、順序よく文を並べることができる。 (思判表力)文章を読んで、大体の使い方や作り方を捉えることができる。 (学・人)調べたり読んだりして得られた知識を活用しようとする態度を養う。	(知・技) 文字を正しく読み、順序よく文を並べている。 (思・判・表)文章を読んで、大体の使い方や作り方を捉えている。 (主学)説明書を読んで、自分で作ってみようとしている。	作ってみよう	・教科書の音読 ・内容のよみとり ・文章を順序よく並べる。 ・説明書を読んで、制作する。
	6	(知及技) 時間的な順序を示す言葉を手がかりに内容の整理ができる。 (思判表力)時間の経過を意識して文章を読み、内容の大体を理解することができる。 (学・人)文章に対する興味や関心を高め、調べようとする態度を養う。	(知・技) 時間的な順序を示す言葉を手がかりに内容を整理している。 (思・判・表)時間の経過の言葉を意識して読み、内容の大体を理解している。 (主学)身近にある様々なものの今昔について関心を持つようとしている。	自動車の今昔	・教科書の音読 ・時間的な順序を手がかりに内容を読み取る。
	6	(知及技) ひとまとまりの語彙や文を意識して読むことができる。 (思判表力)登場人物の心情や情景を読み取り、伝えることができる。 (学・人)音読を楽しんだり、感じたことを伝えようとする態度を養う。	(知・技) ひとまとまりの語彙や文を意識して読んでいる。 (思・判・表)登場人物の心情や情景を読み取り、伝えている。 (主学)言い回しを楽しんだり、感じたことを伝えようとしている。	わらしべ長者	・教科書の音読 ・主人公の様子や心情を想像したり、場面を想像したりしながら文章を読み取る。
	6	(知及技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、撥音や声の大きさに気をつけて話すことができる。 (思判表力)伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えることができる。 (学・人)自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする態度を養う。	(知・技) 主語や述語など語句の役割を理解して文を構成し、撥音や声の大きさに気をつけて話している。 (思・判・表)伝えたいことを決め発表をするとともに、聞いた話を書き留めたりして話の大体を捉えている。 (主学)自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとしている。	自分の夢を話そう	・教科書の音読 ・自分の思いや考え方をまとめる。 ・相手にわかりやすく伝える。 ・相手の話に関心を持ち、分かったことや感じたことを伝える。
	留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部3年(Ⅱ課程A) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
105	3年Ⅱ課程A		文部科学省著作教科書 国語☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。</p> <p>(思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) 詩の表現方法について知り、内容の大体を意識しながら音読することができる。 (思判表力) 詩の情景や、作者の心情を想像し、感じたことを伝えることができる。 (学・人) 多様な文章があることを知り読書の幅を広げようとする態度を養う。	(知・技) 比喩表現についてわかり、詩の内容を大まかに捉えながら音読している。 (思・判・表) 詩の情景や、作者の心情を想像し、感じたことを伝えていく。 (主学) 様々な詩や文章に感心を持つようとしている。	詩「けいどうの花」「私と小鳥と鈴と」	・教科書の音読 ・比喩表現 ・詩の内容の読み取り ○単語(名称のマッチング、なぞりなど) ○「私と小鳥と鈴と」の歌を聴く
	6	(知及技) 易しい文語調の短歌や俳句を通して言葉の響きやリズムを理解することができる。 (思判表力) 俳句や短歌の情景を想像することができる。 (学・人) 感じたことや読み取ったことを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 俳句や短歌のリズム、文語調に着目して音読している。 (思・判・表) 俳句や短歌の音読から情景を想像している。 (主学) 好きな俳句や短歌を音読し、暗唱しようとしている。	俳句・短歌	・教科書の音読 ・内容の読み取り ・好きな俳句や短歌の暗唱 ○俳句や短歌に出てくる言葉とイラストのマッチング ○単語(名称のマッチング、なぞりなど) ○俳句を視写、なぞりをする ○季節(四季)について
	6	(知及技) 修飾語や指示語の役割や使い方について理解することができる。 (思判表力) 情景、場面の様子を想像し、内容を大まかに捉えることができる。 (学・人) 説明的文章に親しみ、進んで読書しようとする態度を養う。	(知・技) 語と語、文と文との関係に着目して文章を音読している。 (思・判・表) 情景や場面の様子を想像し、時系列で内容を捉えている。 (主学) 文章から感じたことや思ったことを伝え合おうとしている。	ニホンザルの子供	・教科書の音読 ・内容の読み取り ○単語(名称のマッチング、なぞりなど) ○動物の赤ちゃんについて(写真等)
	3	(知及技) 生活に身近なことわざや標語について知り、活用することができる。 (思判表力) ことわざや標語の意味から言葉を使う場面を想像することができる。 (学・人) 身近な標語に気づき、関心を持つようとする態度を養う。	(知・技) 身近なところに標語やことわざがあることを理解している。 (思・判・表) ことわざや標語を使う場面を想像している。 (主学) 教科書以外のことわざや標語に関心を持つようとしている。	ことわざ 標語	・ことわざや標語の音読 ・教科書以外のことわざや標語を見つける。 ○単語(名称のマッチング、なぞりなど) ○ことわざカード ○標語を作ろう(色ぬり、なぞりなど)
	4	(知及技) 身の回りにあるローマ字について知ることができる。 (思判表力) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりすることができる。 (学・人) 身の回りにあるローマ字について関心を持ち、活用しようとする態度を養う。	(知・技) 身の回りにローマ字が使われていることを理解している。 (思・判・表) 簡単な単語について、ローマ字で書いたり読んだりしている。 (主学) 身の回りにあるローマ字表記について関心を持つようとしている。	ローマ字	・日常で使われている簡単な単語について、ローマ字を読んだり、書いたりする。 ・PCやタブレットを使って、ローマ字で入力する。 ○ローマ字のなぞり
	5	(知及技) 手紙の基本的な形式と書き方を知ることができる。 (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をすることができる。 (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。	(知・技) 暑中見舞いの基本的な形式や目的、書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をしている。 (主学) 暑中見舞いの作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。	暑中見舞い	・暑中見舞いの作成(PCの活用)

	<p>(知及技) 敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら書くことができる。  (思判表力) 文章を読み返す習慣を身に付け、間違いを正したり、語と語の続き方を確かめたりすることができる。  (学・人) 言葉の使い方について理解を深めることで、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 敬体と常体があることを理解し、その違いに注意しながら書くこととしている。  (思・判・表) 文章を読み返す習慣を身に付け、間違いを正したり、語と語の続き方を確かめようとしている。  (主学) 言葉の使い方について理解を深めることで、思いや考えを伝え合おうとしている。</p>	言葉のページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修飾語</li> <li>・指示語 (こそあど言葉)</li> <li>・敬体と常体</li> <li>○二語文 (例: 黄色い花)</li> <li>○三語文 (例: 黄色い花が咲く)</li> </ul>
2 学 期	<p>(知及技) 幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ることができる。  (思判表力) 様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。  (学・人) 図書に親しみ、言葉がもつよさに気付こうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ろうとしている。  (思・判・表) 様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。  (主学) 書に親しみ、言葉がもつよさに気付こうとしている。</p>	学校の図書館で本を探そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の分類</li> <li>・おすすめの本紹介</li> <li>○読み聞かせ</li> </ul>
	<p>(知及技) 必要な語句の書き留め方など情報の整理の仕方を理解し使うことができる。  (思判表力) 教師の説明を聞いて簡単に書き留めたり、聞き返したりして、内容の大体を捉えることができる。  (学・人) 言葉の伝え方や言葉の選択など、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 話を聞いて簡単なメモをとっている。  (思・判・表) 教師の話を聞いて簡単なメモをとるなどして、話の大体を捉えている。  (主学) 話を聞いて、自らメモをとろうとしている。</p>	校外学習に行く前に確認しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の音読</li> <li>・メモの内容の確認(修学旅行に向けて)</li> <li>・メモをとる</li> <li>・メモをもとに質問や対話をする</li> <li>○単語 (名称のマッチング、なぞりなど)</li> </ul>
	<p>(知及技) 語彙量を増やし、内容の大体を捉えながら音読することができる。  (思判表力) 中心となる語句に着目し、内容の大体を捉えることができる。  (学・人) 文章を読むことで必要な語彙を増やそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 語と語、文と文との関係に着目して文章を音読している。  (思・判・表) 語と語や文と文とのつながりに注意しながら場面の様子を想像したり、出来事の順序や変化などをたどり、内容の大体を捉えることができる。  (主学) 文章からわかったことなどを伝え合おうとしている。</p>	日本を旅して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の音読</li> <li>・内容の読み取り</li> <li>・わかったことについて発表したり、質問し合ったりする(修学旅行に向けて)。</li> <li>○単語 (名称のマッチング、なぞりなど)</li> <li>○文章と写真のマッチング</li> </ul>
	<p>(知及技) 修飾語や指示語などの語句の役割や使い方について理解することができる。  (思判表力) 語と語や文と文とのつながりに注意しながら場面の様子を想像したり、出来事の順序や変化などをたどり、内容の大体を捉えることができる。  (学・人) 説明的文章に親しみを持ち、進んで読書しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 語と語、文と文との関係に着目して文章を音読している。  (思・判・表) 語と語や文と文とのつながりに注意しながら場面の様子を想像したり、出来事の順序や変化などをたどり、内容の大体を捉えている。  (主学) 文章からわかったことなどを伝え合おうとしている。</p>	スーパーマーケットの見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の音読</li> <li>・内容の読み取り</li> <li>・わかったことについて発表したり、質問し合ったりする(修学旅行に向けて)。</li> <li>○単語 (名称のマッチング、なぞりなど)</li> </ul>
	<p>(知及技) 紀行文について知り、文末表現に注目して音読をすることができる。  (思判表力) 情景や場面の様子などを想像し、感じたことなどを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。  (学・人) 読書の幅を広げ、情景や心情を読み取って、情操を豊かにしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 文末表現に気をつけて音読をしている。  (思・判・表) 情景や場面の様子などを想像し、感じたことなどを伝えていく。  (主学) 文章を読んで感じたことなどを自分の言葉で伝えようとしている。</p>	おわら風の盆に行つて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の音読</li> <li>・内容の読み取り</li> <li>・わかったことについて発表や対話をする。</li> <li>○単語 (名称のマッチング、なぞりなど)</li> </ul>
	<p>(知及技) 紀行文について知り、文末表現に注目して音読をすることができる。  (思判表力) 情景や場面の様子などを想像したり自分の経験に結びつけたりして、感じたことなどを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。  (学・人) 読書の幅を広げ、情景や心情を読み取って、情操を豊かにしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 文末表現に気をつけて音読をしている。  (思・判・表) 情景や場面の様子などを想像したり自分の経験に結びつけたりして、感じたことなどを表現している。  (主学) 修学旅行の思い出を自分の言葉で表現しようとしている。</p>	修学旅行の思い出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の音読</li> <li>・内容の読み取り</li> <li>・修学旅行の感想文を書く</li> <li>・感想文を発表する</li> <li>○単語 (名称のマッチング、なぞりなど)</li> </ul>
	<p>(知及技) 長音や拗音の表記や使い方を理解し、年賀状の書き方や目的について知ることができる。  (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をすつとも読み返して間違いを正すことができる。  (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 年賀状の基本的な書き方を理解している。  (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正している。  (主学) 年賀状の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。</p>	年賀状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙を書くときの決まりを知る。</li> <li>・手紙を読みかえすことについて</li> <li>・年賀状の作成(日本郵便のテキスト)</li> </ul>

3 学 期	4	(知及技) 文字の点画や大きさ、形、配列、筆順等に注意しながら丁寧に書くことができる。 (思判表力) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを直すことができる。 (学・人) 書くことを通して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 文字の点画や大きさ、形、配列、筆順等に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表) 書いた文字を丁寧に読み返し、間違いを正している。 (主学) 書いた文字に対する思いや感想を伝えようとしている。	言葉のページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き初め</li> <li>書道の道具や使い方</li> <li>文字の書き方やバランス</li> <li>書いた文字の発表</li> </ul>
	6	(知及技) 修飾語と被修飾語の関係、指示する語句の役割について理解することができる。 (思判表力) 情景や場面の様子、登場人物の心情を想像することができる。 (学・人) 読んで感じたことや分かったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付こうとする態度を養う。	(知・技) 修飾語と被修飾語の関係、指示する語句の役割について理解しようとしている。 (思・判・表) 情景や場面の様子、登場人物の心情を想像しようとしている。 (主学) 読んで感じたことや分かったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付こうとしている。	泣いた赤おに	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読</li> <li>内容の読み取り</li> <li>わかったことや感じたことの発表</li> <li>ほかの伝記を読んでみる。</li> <li>○単語 (名称のマッチング、なぞりなど)</li> <li>○登場人物の気持ち (絵カード等活用)</li> </ul>
	3	(知及技) 入学試験の形式や問題について知ることができる。 (思判表力) 問題内容や解き方を理解し、問題を時間内に解答することができる。 (学・人) 高等部入試に向けて、意欲的に学習に取り組もうとする態度を養う。	(知・技) 入学試験の形式や問題について理解している。 (思・判・表) 問題内容や解き方を理解し、問題を時間内に解答している。 (主学) 過去の問題を、積極的に解こうとしている。	入試に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試について</li> <li>過去問題の取り組み、解答</li> </ul>
	6	(知及技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などの関係を明確にして文章の構成を考慮することができる。 (学・人) よりよい言葉を使って、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(知・技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などの関係を明確にして文章の構成を考えている。 (主学) 文章の構成を考えながら、文章を書こうとしている。	3年間の思い出を書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「職場体験の感想文を書こう」の音読</li> <li>内容の読み取り</li> <li>3年間の思い出を考え、まとめる。</li> <li>発表をする。</li> </ul>
	5	(知及技) 発声や発音、声の大きさに注意し、内容の大体を意識しながら音読することができる。 (思判表力) 学校生活を思い出し、話し合いをしながら、文章を作ることができる。 (学・人) 話し合いを通じて、卒業に向けて意欲的に学習使用をする態度を養う。	(知・技) 発声や発音、声の大きさに注意し、内容の大体を意識しながら音読をしている。 (思・判・表) 学校生活を思い出し、話し合いをしながら、文章を作っている。 (主学) 答辞を作るために、積極的に話し合いに参加している。	よびかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の音読</li> <li>内容の読み取り</li> <li>答辞作り(「3年間の思い出を書こう」をもとに)</li> <li>○単語 (名称のマッチング、なぞりなど)</li> </ul>
	6	(知及技) 長音や拗音の表記や使い方を理解し、手紙の書き方や目的について知ることができる。 (思判表力) 伝えたいことを大まかにまとめ、相手に応じた表現をするとともに読み返して間違いを直すことができる。 (学・人) 手紙を書くことで、日常生活を充実させたり人間関係の形成を図ったりしようとする態度を養う。	(知・技) 便せんの基本的な書き方を理解している。 (思・判・表) 伝えたいことを大まかにまとめ、文章を読み返して間違いを正している。 (主学) 手紙の作成を通して、相手を気遣う気持ちを表そうとしている。	在校生への手紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校生へ手紙を書く目的</li> <li>手紙の書き方</li> <li>手紙を出す相手を決め、内容を決める。</li> <li>手紙を書く。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動内容「○」は、昨年度の「Ⅱ課程B」の生徒用として、記載しています。</li> <li>個別の指導計画で、生徒の実態に合わせた目標を立てる。</li> </ul>				

令和 8年度 中学部 1年 (Ⅱ課程 AB) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	1学年Ⅱ課程AB		社会☆☆☆☆、社会☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技)                  地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。                  (思判表力)                  社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。                  (学・人)                  社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	<p>(知及技)                      自分たちの県の概要を理解することができる。                      (思判表力)                      県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。                      (学・人)                      地域社会の中で生活することの大切さを自覚し、身近な社会に自ら関わろうとする姿勢を身につけることができる。</p>	<p>(知・技)                      自分たちの県の概要を理解している。                      (思・判・表)                      県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。                      (主学)                      地域社会の中で生活することの大切さを自覚し、身近な社会に関わろうとしている。</p>	<p>「我が国の地理や歴史」                      身近な地域                      ・地理的環境の特色                      ・伝統行事、芸能、工芸品                      ・特産物 等</p>	<p>・沖縄の地形・気候・位置に関する写真や地図を見て、その名称や特色を確認する。                      ・伝統行事・芸能・工芸品の写真資料を見て、名称を答えながら基本的な特徴を理解する。                      ・沖縄の特産物や産業に関する写真を見て、その名前や産地を理解する。</p>
		<p>(知及技)                      学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。                      (思判表力)                      集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現することができる。                      (学・人)                      社会参加するために必要な集団生活に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)                      集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けている。                      (思・判・表)                      集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現している。                      (主学)                      社会参加するために必要な集団生活に関わろうとする態度を持っている。</p>	<p>「社会参加ときまり」                      役割ときまり                      ・社会参加</p>	<p>・将来の社会参加につなげるために、自分の役割を果たす価値やきまりを守る意義を、身近な家庭、学校、地域社会の中で、具体的な活動を通して気付き、自ら考える活動を行う。                      ・学級内の係活動は自分に任された果たすべき役割であり、それを遂行することは自分のためだけでなく、みんなの役に立つことについて考える。                      ・節電やリサイクル等により地球環境にも良い影響を与えることなどを学ぶ。</p>
1学期	2	<p>(知及技)                      家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さを知ることができる。                      (思判表力)                      社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。                      (学・人)                      社会参加するために必要なきまりを守ろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)                      家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さを理解している。                      (思・判・表)                      社会生活ときまりとの関連を考え、表現している。                      (主学)                      社会参加するために必要なきまりを守ることに関心を持っている。</p>	<p>「社会参加ときまり」                      役割ときまり                      ・きまり</p>	<p>・玄関で靴をそろえる、学校の時間割に沿って行動する、信号に従って道路を横断するなど、家庭や学校、通学路で、円滑な生活を送る上での基本的なルールや規則を身につける。                      ・きまりを守る意義(信号に従って横断歩道を渡ること、自分や周囲の安全が守られること)に気付き、その意義を考えて行動できるようにする。                      ・身近な生活の中には様々なきまりがあることを知り、なぜきまりを守るのか、その意義に気付いた上で、きまりを守ることの大切さを理解する。</p>
		<p>(知及技)                      沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを知ること。                      (思判表力)                      平和を守ることの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現すること。                      (学・人)                      平和を大切にしようとする姿勢を持ち、平和を築く一員としての自覚を養うことができる。</p>	<p>(知・技)                      沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを理解している。                      (思・判・表)                      平和を守ることの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現している。                      (主学)                      平和を大切にしようとする姿勢を持ち、平和を築く一員としての自覚を養おうとしている。</p>	<p>「我が国の地理や歴史」                      身近な地域                      ・平和学習</p>	<p>・沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを知ること。                      ・平和を守ることの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現すること。                      ・図書室の展示を見に行き、写真や資料を手がかりに戦争について考える活動。</p>
	<p>(知及技)                      身近な公共施設や公共物の役割を知ることができる。                      (思判表力)                      公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。                      (学・人)                      公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を積極的に利用しようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)                      身近な公共施設や公共物の役割を理解している。                      (思・判・表)                      公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現している。                      (主学)                      公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を利用することに関心を持っている。</p>	<p>「公共施設と制度」                      私たちの暮らし                      ・公共施設</p>	<p>・身近な公共施設(町役場、学校、公園、公民館、コミュニティセンター、図書館、児童館、体育館、美術館、博物館、資料館、文化会館、消防署、警察署、交番、裁判所など)の位置を地図で確認したり、施設についてインターネットを利用して調べたり、実際に見学や利用をしたりするなどして、その役割と名称と位置を一体的に結び付け、自分の生活との関連について考え、積極的に利用しようとする意識を育てる。</p>	
	<p>(知及技)                      身近な生活に関する制度を理解することができる。                      (思判表力)                      身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現することができる。                      (学・人)                      自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気付き、今後の生活に生かしていくという意欲を育てることができる。</p>	<p>(知・技)                      身近な生活に関する制度を理解している。                      (思・判・表)                      身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現している。                      (主学)                      自分たちの生活を円滑かつ快適に送ることができることに気付き、今後の生活に生かしていくことに関心をもっている。</p>	<p>「公共施設と制度」                      私たちの暮らし                      ・制度の仕組み</p>	<p>・自分たちの日常生活に関係する制度や行政サービス                      ・病院の受診時には保険証を用いることで医療費負担が軽減されること、交通機関の利用や余暇活動の際の施設利用において療育手帳や身体障害者手帳等を用いることで割引が受けられることなど、具体的な生活場面で利用と結び付けて制度について知ること。</p>	

2 学期	3	(知及技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の 人々と協力していることを知ることができ る。 (思判表力) 地域における災害や事故に対する施設・設備 などの配置、緊急時への備えや対応などに着 目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉 え、そこに関わる人々の動きを考え、表現す ることができる。 (学・人) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全 に生活していこうとする意欲を養うことが できる。	(知・技) 地域の安全を守るため、関係機関が地 域の人々と協力していることを理解し ている。 (思・判・表) 災害や事故に対する関係機関や地域の 人々の活動について調べたことを表現 している。 (主学) 自分が地域の一員であるという自覚 し、安全に生活していこうすることに関心 を持っている。	「地域の安全」 地域の安全①  ウ(ア)	・火災については消防署を中心に、様々な機関が協力、連携して地 域を守る働きをしていることを学ぶ。 ・防災に対する取り組みを調べる。 ・安全に対して取り組んでいる施設を見学したり、話を聞いたりし てまとめる学習を行う。(ハザードマップの作成も考えられる。) ・自分たちでできる防災への取り組みを行う。(防災リュックや非 常食、避難経路や避難場所の確認)
	3	(知及技) 地域の安全を守るため、関係機関が地域の 人々と協力していることを知ることができ る。 (思判表力) 地域における災害や事故に対する施設・設備 などの配置、緊急時への備えや対応などに着 目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉 え、そこに関わる人々の動きを考え、表現す ることができる。 (学・人) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全 に生活していこうとする意欲を養うことが できる。	(知・技) 地域の安全を守るため、関係機関が地 域の人々と協力していることを理解し ている。 (思・判・表) 災害や事故に対する関係機関や地域の 人々の活動について調べたことを表現 している。 (主学) 自分が地域の一員であるという自覚 し、安全に生活していこうすることに関心 を持っている。	「地域の安全」 地域の安全②  ウ(ア)	・交通事故や犯罪などについて、警察署が中心となって様々な機関 が協力、連携して地域を守る働きをしていることを学ぶ。 ・警察署の人々の働き方を調べる活動を行う。 ・身近な地域の安全マップ作成への取り組みを行う。
	3	(知及技) 生産の仕事が、地域の人々の生活と密接な関 わりをもって行われていることを知ることが できる。 (思判表力) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携 わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の 人々の生活との関連を考え、表現することが できる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、 地域社会の一員として人々と共に生きてい くことの大切さについての自覚を養うことが できる。	(知・技) 生産の仕事が、地域の人々の生活と密 接な関わりをもって行われていること を理解している。 (思・判・表) 生産に携わっている人々の仕事の様子 を、地域の人々の生活との関連を考 え、表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を 養い、地域社会の一員として人々と共 に生きていくことの大切さについて関 心を持っている。	「産業と生活」 働く人と私たちの暮らし ・工場の仕事  工(ア)	・身近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事の生産物、 商品に注目し、人々の生活との関わりについて考える。 ・市内の生産の仕事の種類や仕事の進め方などを調べる。 ・地形や気候などの自然条件との関わり、働く人の様子、機械や道 具などの工夫や食の安全の確保のための努力について理解する。
	3	(知及技) 生産の仕事が、地域の人々の生活と密接な関 わりをもって行われていることを知ることが できる。 (思判表力) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携 わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の 人々の生活との関連を考え、表現することが できる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、 地域社会の一員として人々と共に生きてい くことの大切さについての自覚を養うことが できる。	(知・技) 生産の仕事が、地域の人々の生活と密 接な関わりをもって行われていること を理解している。 (思・判・表) 生産に携わっている人々の仕事の様子 を、地域の人々の生活との関連を考 え、表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を 養い、地域社会の一員として人々と共 に生きていくことの大切さについて関 心を持っている。	「産業と生活」 働く人と私たちの暮らし ・農家の仕事  工(ア)	・身近な生産活動や販売活動などを取り上げ、その仕事の生産物、 商品に注目し、人々の生活との関わりについて考える。 ・市内の生産の仕事の種類や仕事の進め方などを調べる。 ・地形や気候などの自然条件との関わり、働く人の様子、機械や道 具などの工夫や食の安全の確保のための努力について理解する。
	3	(知及技) 販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫し て行われていることを知ることができ る。 (思判表力) 消費者の願いや他地域との関わりなどに着目 して、販売の仕事に携わっている人々の仕事 の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫 を考え、表現することができる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、 地域社会の一員として人々と共に生きてい くことの大切さについての自覚を養うことが できる。	(知・技) 販売の仕事は、消費者のことを考え、 工夫して行われていることを理解して いる。 (思・判・表) 消費者の願いや他地域との関わりなど に着目して、販売の仕事に携わって いる人々の仕事の様子を捉え、それら の仕事に見られる工夫を考え、表現し ている。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を 養い、地域社会の一員として人々と共 に生きていくことの大切さについて関 心を持っている。	「産業と生活」 働く人と私たちの暮らし ・店で働く人の様子  工(イ)	・身近な社会として「販売」と「消費」に関する部分を取り上げ、生活 を支える事業に関する仕事があり、それらが自分たちの生活と関 わりがあることについて学ぶ。 ・販売の仕事に従事している人が、商品を購入する消費者の多様な 願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫していることや、外国を 含めた商品の産地や仕入れ先などを調べる。
3 学期	4	(知及技) 社会に関する基本的な制度について理解する ことができる。 (思判表力) 社会に関する基本的な制度について調べ、そ れらの意味を考え、表現することができる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、 地域社会の一員として人々と共に生きてい くことの大切さについての自覚を養うことが できる。	(知・技) 社会に関する基本的な制度について理 解している。 (思・判・表) 社会に関する基本的な制度について調 べ、それらの意味を考え、表現して いる。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を 養い、地域社会の一員として人々と共 に生きていくことの大切さについて関 心をもっている。	「公共施設と制度」 ・選挙  イ(イ)	・選挙の意義、種類、ルール、流れ・選挙権、被選挙権・模擬選 挙、生徒会役員選挙への参加・首長選や住民選挙
	3	(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子を知ること ができる。 (思判表力) 都道府県内における市の位置や市の地形、土 地利用などに着目して、身近な地域や市の様 子を捉え、場所による違いを考え、表現す ることができる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、 地域社会の一員として人々と共に生きてい くことの大切さについての自覚を養うことが できる。	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子を理 解している。 (思・判・表) 都道府県内における市の位置や市の地 形、土地利用などに着目して、身近な 地域や市の様子を捉え、場所による違 いを考え、表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を 養い、地域社会の一員として人々と共 に生きていくことの大切さについて関 心をもっている。	「我が国の地理や歴史」 私たちの町と市 ・町の様子  オ(ア)	・学校の回りの道路の広さ、道路沿いの建物の様子など身近な地域 の様子から、県における市の位置、土地の高低や海岸沿いなどの地 形、住宅・商店街・田畑・森林・港などの様子、駅前・大きな道路 に面したところ、市街地の広がりなどの様子、学校・公園・図書館 など多くの市民が利用している公共施設の場所、古くから残る建造 物の分布などの町の様子を大観する。

	<p>(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子を知ることができる。</p> <p>(思判表力) 都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することができる。</p> <p>(学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子を理解している。</p> <p>(思・判・表) 都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現している。</p> <p>(主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについて関心をもっている。</p>	<p>「我が国の地理や歴史」 私たちの町と市 ・市の様子</p> <p>オ（イ）</p>	<p>・地図を活用し、県内における市の位置を形の特徴を手がかりに確認しながら、方位の表し方について学習する。</p> <p>・市の土地利用、交通の様子、地形の様子などを地図資料から読み取る活動を行う。</p>
年間	<p>(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かり、施設での決まりを守ることの大切さが分かる。</p> <p>(思判表力) 身近な公共施設や公共物について調べ、社会生活ときまりとの関連を考え表現すること。</p> <p>(学・人) 地域社会の一員として共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かり、施設での決まりを守ることの大切さが分かることができる。</p> <p>(思・判・表) 身近な公共施設や公共物について調べ、社会生活ときまりとの関連を考え表現することができる。</p> <p>(主学) 地域社会の一員として共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。</p>	<p>・校外学習 「ア・社会参加ときまり」「イ・公共施設と制度」</p> <p>・買い物学習 「工・産業と生活」</p>	<p>・家庭や学校、通学路で、円滑な生活を送る上での基本的なルールや規則について。</p> <p>・なぜきまりが必要なのかについて、具体的な活動を通して自分の生活と関連付けながら考える。</p> <p>・公共施設について位置を地図で確認したり、施設についてインターネットを利用して調べたり、実際に見学や利用をしたりする。</p> <p>・近隣の小売店やスーパーマーケット、商業施設などを見学して、働く人の様子や商品を具体的に観察したり、そこで働いている人から聞き取り調査をしたりする。</p>
留意点 引継ぎ等				

令和 8年度 中学部 2年 (Ⅱ課程 AB) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	2学年Ⅱ課程AB		社会☆☆☆☆、社会☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 自分たちの県の概要を理解することができる。 (思判表力) 県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。 (学・人) 地域社会の中で生活することの大切さを自覚し、身近な社会に自ら関わろうとする姿勢を身に付けることができる。	(知・技) 自分たちの県の概要を理解している。 (思・判・表) 県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 (主学) 地域社会の中で生活することの大切さを自覚し、身近な社会に関わろうとしている。	「我が国の地理や歴史」 身近な地域 ・地理的環境の特色 ・伝統行事、芸能、工芸品 ・特産物 等  オ(イ)	・沖縄の地形・気候・位置に関する写真や地図を見て、その名称や特色を確認する。 ・伝統行事・芸能・工芸品の写真資料を見て、名称を答えながら基本的な特徴を理解する。 ・沖縄の特産物や産業に関する写真を見て、その名前や産地を理解する。
		(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ることができる。 (思判表力) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することができる。 (学・人) 時代や時間とともに移り変わっていく社会について、自分なりに考えをもち、身近な地域社会に関わろうとすることができる。	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを理解している。 (思・判・表) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとすることに興味を持っている。	「我が国の地理や歴史」 移り変わる町と暮らし ・変化する暮らしの様子  オ(イ)	・我が国の国土に関する地理的な事象、歴史や伝統と文化、それらと人々の生活との関連について、具体的な活動を通して気付き、考えられる活動を行う。 ・自分の住んでいる市区町村までの範囲で、地域の様子や移り変わりについて取り上げ、特徴的な違いに気付き発表する活動を行う。
1学期	2	(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを知ることができる。 (思判表力) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することができる。 (学・人) 時代や時間とともに移り変わっていく社会について、自分なりに考えをもち、身近な地域社会に関わろうとすることができる。	(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子、人々の生活は、時間とともに移り変わってきたことを理解している。 (思・判・表) 交通や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要な集団生活に関わろうとすることに興味を持っている。	「我が国の地理や歴史」 移り変わる町と暮らし ・変化する町の様子  オ(イ)	・自分たちが住んでいる町の様子について、実際に観察や調査をして具体的に確かめたり、視覚的に分かりやすい資料を基にそれぞれ比較したりする学習を行う。 ・バスなどの交通や、公共施設・畑の広がり・住宅や商店・工場の分布などの様子が、時期によってどのように変わってきたか、生活の道具はどのように変化してきたかなどについて、予想を立てたり、聞き取り調査をしたりして、その変化について話し合う活動を行う。
		(知及技) 沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを知ること。 (思判表力) 平和を守ることの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現すること。 (学・人) 平和を大切にしようとする姿勢を持ち、平和を築く一員としての自覚を養うことができる。	(知・技) 沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを知っている。 (思・判・表) 平和を守ることの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現している。 (主学) 平和を大切にしようとする姿勢を持ち、平和を築く一員としての自覚を養おうとしている。	「我が国の地理や歴史」 身近な地域 ・平和学習  オ(イ)	・沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを知ること。 ・平和を守ることの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現すること。 ・図書室の展示を見に行き、写真や資料を手がかりに戦争について考える活動。
	(知及技) 文化や風習の特徴や違いを知ることができる。 (思判表力) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。 (学・人) 外国の文化や生活の多様性に目を向け、世界の人々と共に生きることの大切さに気付くことができる。	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを理解している。 (思・判・表) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現している。 (主学) 外国の文化や生活の多様性に目を向け、世界の人々と共に生きることの大切さに気付くようとしている。	「外国の様子」 世界の国と日本 ・世界の国  カ(ア)	・世界の国のうち、1～2か国を選んで、生活に関係の深い文化や風習を取り上げ、日本と他の国との違いを知る。 ・世界各国の生活習慣、文化、子供の生活、あいさつ、マナー、自然、産業、歴史的背景及び最近の文化やスポーツ等の出来事について取り上げ、異なる文化や習慣を知る学習を行う。	
	(知及技) 文化や風習の特徴や違いを知ることができる。 (思判表力) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。 (学・人) 外国の文化や生活の多様性に目を向け、世界の人々と共に生きることの大切さに気付くことができる。	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを理解している。 (思・判・表) そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現している。 (主学) 外国の文化や生活の多様性に目を向け、世界の人々と共に生きることの大切さに気付くようとしている。	「外国の様子」 世界の国と日本 ・アメリカと中国  カ(ア)	・衣服、料理、食事の習慣、住居、国民に親しまれている行事、学校生活や子供の遊び、あいさつの仕方やマナー等、特徴的で具体的に分かりやすい事項について調べまとめ、日本と他の国の違いを考える。	

2 学 期	3	(知及技) 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を知ることができる。 (思判表力) 周囲の状況を判断し、集団生活の中での自分の役割と責任について考え、表現することができる。 (学・人) 社会参加するために必要な集団生活に関わるとする態度を養うことができる。	(知・技) 学級や学校の中で、意見を述べ合い、助け合い、協力しながら生活する必要性を理解している。 (思・判・表) 周囲の状況を判断し、集団生活の中での自分の役割と責任について考え、表現している。 (主学) 社会参加するために必要な集団生活に関わるとする態度を養おうとしている。	「社会参加とさきまり」 安全で快適な地域生活を 目指して ・役割と責任  ア(ア)	・よりよい集団生活のために、周囲の人と意見交換をしながら協力し合うことの必要性を理解したり、周囲の状況を捉え判断し、自分の役割とその責任について考える活動を行う。 ・自分の役割を行うだけでなく、周囲の人の様子や時、場面などの状況を捉え、適切な行動を考える活動を行う。 ・集団生活の中での自分の役割を理解することに加え、役割を果たすことで責任が生じてくることを知り、それが社会参加への意欲や態度につながるよう体験や活動を通して具体的に考える学習を行う。
	3	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのさきまりは、社会生活を送るために必要であることを知ることができる。 (思判表力) 社会生活に必要なさきまりの意義について考え、表現することができる。 (学・人) 社会参加するために必要な集団生活に関わるとする態度を養うことができる。	(知・技) 家庭や学校、地域社会でのさきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解している。 (思・判・表) 災害や事故に対する関係機関や地域の人々の活動について調べたことを表現している。 (主学) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していくことに関心を持っている。	「社会参加とさきまり」 安全で快適な地域生活を 目指して ・みんなのための施設やサービス  ア(イ)	・自分の住む地域社会でのルールや規則、法について、具体的に理解する。 ・さきまりがなぜ必要か、さきまりを守ることが円滑な社会生活を営むこととどう関係しているのかなどを考えたと、さきまりを守ることが自分や周囲の人々の安心で安全な生活につながっていることを関連付けて、さきまりの意義を考える。
	3	(知及技) 自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を知ることができる。 (思判表力) 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現することができる。 (学・人) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設を積極的に利用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 自分の生活の中での公共施設や公共物の役割とその必要性を理解している。 (思・判・表) 公共施設や公共物の役割について調べ、生活の中での利用を考え、表現している。 (主学) 公共施設と自分の生活との関連に気づき、生活に必要な施設に関心をもっている。	「公共施設と制度」 私たちの暮らし ・みんなのための施設やサービス  イ(ア)	・公共施設や公共物の必要性について考え、利用に必要な事柄を調べる活動を行う。 ・施設や交通機関の利用の際の適切な方法について考えたとともに、それらを利用することにより、どのように快適な生活に結び付くかについて考える。 ・公共物である情報メディアから得た情報を活用することにより、自分の生活が快適になったり、円滑になったりすることを理解する。
	3	(知及技) 社会に関する基本的な制度について知ることができる。 (思判表力) 社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現することができる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。	(知・技) 社会に関する基本的な制度について理解している。 (思・判・表) 社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについて関心をもっている。	「公共施設と制度」 私たちの暮らし ・暮らしを支える仕組み  イ(イ)	・社会に関する基本的な制度について理解し、制度を活用することで人々の生活が快適かつ円滑に営まれることに気付き、制度の意味や必要性について考える。 ・国民が社会生活を円滑に送るために国や地方公共団体が定めた制度や行政サービスを取り扱い、それらを利用することで、自分の生活や社会全体が秩序ある快適な生活を送ることにつながることを理解する。 ・自分の生活とのつながりについて考えながら、租税の果たす役割について調べる。
3 学 期	3	(知及技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを知ることができる。 (思判表力) 過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現することができる。 (学・人) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していくことと意識を養うことができる。	(知・技) 地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 (思・判・表) 過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現している。 (主学) 自分が地域の一員であるという自覚し、安全に生活していくことと意識している。	「地域の安全」 自然災害から暮らしを守る ・地震から暮らしを守る ・水害から暮らしを守る  ウ(ア)	・市や県が単独で活動しているのではなく、連携して地域の安全を守っていることを押さえ、様々な協力の下、災害に対する備えをしていることを理解する。 ・土地や気候の特徴など地域の実態と、過去に地域で起きた災害を考慮し、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などに対し、県や市、警察署や消防署、消防団などの関係機関や地域の人々が協力して、災害や事故を未然に防ぐ努力や備えをしていることを、具体的に調べる活動を行う。 ・災害時に主体的な行動がとれるように、災害情報の獲得方法や、警察、消防への通報の仕方などを体験的に学ぶ。
	4	(知及技) 社会に関する基本的な制度について理解することができる。 (思判表力) 社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現することができる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。	(知・技) 社会に関する基本的な制度について理解している。 (思・判・表) 社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについて関心をもっている。	「公共施設と制度」 ・選挙  イ(イ)	・選挙の意義、種類、ルール、流れ・選挙権、被選挙権・模擬選挙、生徒会役員選挙への参加・首長選や住民選挙
3	(知及技) 地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを知ることができる。 (思判表力) 人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。	(知・技) 地域では、人々が協力し、産業の発展に努めていることを理解している。 (思・判・表) 人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについて関心をもっている。	「産業と生活」 私たちの住む県と産業 ・伝統的な工業がさかんな地域  エ(ア)	・県内の特色ある地域における産業を取り上げ、その特徴や従事する人々の働きについて考えたり、生活を支える事業の内容や必要性について考える活動を行う。	

	<p>(知及技) 身近な地域や自分たちの市の様子を知ることができる。</p> <p>(思判表力) 都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することができる。</p> <p>(学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 身近な地域や自分たちの市の様子を理解している。</p> <p>(思判表力) 都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現している。</p> <p>(主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについて関心をもっている。</p>	<p>「産業と生活」 私たちの住む県と産業 ・美しい景観を生かす地域</p> <p>工(ア)</p>	<p>・地域の人々が互いに協力して、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解する。</p>
年間	<p>(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かり、施設での決まりを守ることの大切さが分かる。</p> <p>(思判表力) 身近な公共施設や公共物について調べ、社会生活ときまりとの関連を考え表現すること。</p> <p>(学・人) 地域社会の一員として共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かり、施設での決まりを守ることの大切さが分かることができる。</p> <p>(思判表力) 身近な公共施設や公共物について調べ、社会生活ときまりとの関連を考え表現することができる。</p> <p>(主学) 地域社会の一員として共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。</p>	<p>・校外学習 「ア・社会参加ときまり」「イ・公共施設と制度」</p> <p>・買い物学習 「工・産業と生活」</p>	<p>・家庭や学校、通学路で、円滑な生活を送る上での基本的なルールや規則について。</p> <p>・なぜきまりが必要なのかについて、具体的な活動を通して自分の生活と関連付けながら考える。</p> <p>・公共施設について位置を地図で確認したり、施設についてインターネットを利用して調べたり、実際に見学や利用をしたりする。</p> <p>・近隣の小売店やスーパーマーケット、商業施設などを見学して、働く人の様子や商品を具体的に観察したり、そこで働いている人から聞き取り調査をしたりする。</p>
留意点 引継ぎ等				

令和 8年度 中学部 3年 (Ⅱ課程 AB) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年Ⅱ課程AB		社会☆☆☆☆、社会☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 自分たちの県の概要を理解することができる。 (思判表力) 県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。 (学・人) 地域社会の中で生活することの大切さを自覚し、身近な社会に自ら関わろうとする姿勢を身につけることができる。	(知・技) 自分たちの県の概要を理解している。 (思・判・表) 県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 (主学) 地域社会の中で生活することの大切さを自覚し、身近な社会に関わろうとしている。	「我が国の地理や歴史」 身近な地域 ・地理的環境の特色 ・伝統行事、芸能、工芸品 ・特産物 等	・沖縄の地形・気候・位置に関する写真や地図を見て、その名称や特色を確認する。 ・伝統行事・芸能・工芸品の写真資料を見て、名称を答えながら基本的な特徴を理解する。 ・沖縄の特産物や産業に関する写真を見て、その名前や産地を確認する。
		(知及技) 水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解することができる。 (思判表力) 供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現することができる。 (学・人) 自分の生活との関連に気づき、自分なりに考えをもち、身近な地域社会に関わろうとすることができる。	(知・技) 水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 (思・判・表) 供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 (主学) 自分の生活との関連に気づき、自分なりに考えをもち、身近な地域社会に関わろうとしている。	「産業と生活」 住みよい暮らしをつくる ・暮らしを支える水	・日常生活を送る上で欠かせない飲料水、電気、ガスを供給する事業や、ごみや下水などの廃棄物処理に関わる事業について、安全で安定的な供給や処理のための工夫、人々の協力などに着目し、それが生活環境の維持と向上に役立っていることや、自分の生活と深く関わっていることについて考え、学校や家庭での水道や電気の節約やごみの分別などの資源を大切にすることを考える活動を行う。
1学期	3	(知及技) 水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の健康な生活の維持と向上に役立っていることを知ることができる。 (思判表力) 供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現することができる。 (学・人) 自分の生活との関連に気づき、自分なりに考えをもち、身近な地域社会に関わろうとすることができる。	(知・技) 水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 (思・判・表) 供給や処理の仕組みや関係機関の協力などに着目して、水道、電気及びガスなどの生活を支える事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現している。 (主学) 自分の生活との関連に気づき、自分なりに考えをもち、身近な地域社会に関わろうとしている。	「産業と生活」 住みよい暮らしをつくる ・ごみの処理と活用	・日常生活を送る上で欠かせない飲料水、電気、ガスを供給する事業や、ごみや下水などの廃棄物処理に関わる事業について、安全で安定的な供給や処理のための工夫、人々の協力などに着目し、それが生活環境の維持と向上に役立っていることや、自分の生活と深く関わっていることについて考え、学校や家庭での水道や電気の節約やごみの分別などの資源を大切にすることを考える活動を行う。
		(知及技) 沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを知ることができる。 (思判表力) 平和を守るものの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現することができる。 (学・人) 平和を大切にしようとする姿勢を持ち、平和を築く一員としての自覚を養うことができる。	(知・技) 沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを理解している。 (思・判・表) 平和を守るものの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現している。 (主学) 平和を大切にしようとする姿勢を持ち、平和を築く一員としての自覚を養おうとしている。	「我が国の地理や歴史」 身近な地域 ・平和学習	・沖縄戦を通して、戦争の残酷さを知り、平和の大切さを知ること。 ・平和を守るものの大切さについて考え、平和を追求する思いを表現する活動を行う。 ・図書室の展示を見に行き、写真や資料を手がかりに戦争について考える活動を行う。
	5	(知及技) 自分たちの県の概要を知ることができる。 (思判表力) 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現することができる。 (学・人) 自分たちの県の自然や暮らしに興味をもち、学習したことを生活と結び付けながら、県のように気付くことができる。	(知・技) 自分たちの県の概要を理解している。 (思・判・表) 我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、県の様子を捉え、地理的環境の特色を考え、表現している。 (主学) 自分たちの県の自然や暮らしに興味をもち、学習したことを生活と結び付けようとしている。	「我が国の地理や歴史」 私たちの県	・我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置、県内の特色ある地域の人々の生活や産業について調べる活動を行う。

2 学期	5	(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現することができる。 (学・人) 県内の歴史や文化財、年中行事に興味をもち、それらが受け継がれてきたことに気付く、地域の文化を大切にすることができる。	(知・技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを理解している。 (思・判・表) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 (主学) 県内の歴史や文化財、年中行事に興味をもち、それらが受け継がれてきたことに気付こうとしている。	「我が国の地理や歴史」 私たちの歴史や伝統 ・受けつがれてきたもの ・各地域の行事や祭り	・我が国や県の歴史の進展に大きな影響を与えた各時代の代表的な歴史的事象を取り上げ、先人の働きや出来事、文化遺産などを中心に歴史を学ぶことによって、今日の自分たちの生活は長い間の我が国の歴史や先人の働きの上に成り立っていることや、遠い祖先の生活が自分たちの生活と深く関わっていることを理解する。 ・世界文化遺産に登録されているものなど人々の工夫や努力によって生み出され、保存・保護されてきた国家・社会の発展を象徴する優れた文化遺産について、その文化遺産ができた経緯や、どのようにして守られてきたのか、文化遺産を生かした県の取り組み等について調べる活動を行う。
	5	(知及技) 九州地方の位置や県の構成、主な自然や産業、文化などの概要を知ることができる。 (思判表力) 九州地方の位置や自然環境、人々の生活などに着目して地域の様子を捉え、自分たちの県との違いや特色について考え、表現することができる。 (学・人) 九州地方の自然や文化、人々の暮らしに関心を持ち、修学旅行と関連付けながら学習し、地域のよさに気付くことができる。	(知・技) 九州地方の位置や県の構成、主な自然や産業、文化などの概要を理解している。 (思・判・表) 九州地方の位置や自然環境、人々の生活などに着目して地域の様子を捉え、自分たちの県との違いや特色について考え、表現している。 (主学) 九州地方の自然や文化、人々の暮らしに関心を持ち、修学旅行と関連付けながら学習し、地域のよさに気付こうとする。	「我が国の地理や歴史」 修学旅行に向けて ・九州地方	・地図や写真、資料などを見て、九州地方の位置や県の構成、主な自然や都市の様子を確認する。 ・火山や温泉などの自然環境、農業や観光などの産業の様子について資料から調べる活動を行う。 ・九州地方の自然や人々の生活について、自分たちの県との違いや共通点を考える活動を行う。 ・調べたことや気付いたことを発表し、九州地方の特色や修学旅行で訪れる地域への理解を深める。
3 学期	4	(知及技) 社会に関する基本的な制度について理解することができる。 (思判表力) 社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現することができる。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。	(知・技) 社会に関する基本的な制度について理解している。 (思・判・表) 社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現している。 (主学) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについて関心をもっている。	「公共施設と制度」 ・選挙	・選挙の意義、種類、ルール、流れ・選挙権、被選挙権・模擬選挙、生徒会役員選挙への参加・首長選や住民選挙
	3	(知及技) 文化や風習の特徴や違いを知ることができる。 (思判表力) 人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現することができる。 (学・人) 外国の文化や生活の多様性に目を向け、世界の人々と共に生きることの大切さに気付くことができる。	(知・技) 文化や風習の特徴や違いを理解している。 (思・判・表) 人々の生活や習慣などに着目して、多様な文化について考え、表現している。 (主学) 外国の文化や生活の多様性に目を向け、世界の人々と共に生きることの大切さに気付こうとしている。	「外国の様子」 世界の国と日本 ・世界の民族衣装 ・サウジアラビアの暮らし ・韓国の暮らし	・日本とは生活や習慣が違う国に着目して、なぜその生活や習慣が日本とは異なるのかを考えるを通して、自然や気候、歴史的背景が国によって異なること、人々の生活や活動は地域の自然や気候、歴史的背景によっても規定されたり方向付けられたりすること、そこから世界には多様な文化が存在していることについて学ぶ。
	3	(知及技) 人々の生活の様子を大まかに知ることができる。 (思判表力) 世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉え、交流することの大切さを考え、表現することができる。 (学・人) 外国の文化や生活の違いに興味をもち、それぞれのよさに気付く、互いを尊重することができる。	(知・技) 人々の生活の様子を大まかに理解している。 (思・判・表) 世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉え、交流することの大切さを考え、表現している。 (主学) 外国の文化や生活の違いに興味をもち、それぞれのよさに気付こうとしている。	「外国の様子」 世界の国と日本 ・世界の民族衣装 ・サウジアラビアの暮らし ・韓国の暮らし	・ノーベル賞や国際的なスポーツ大会のような文化・スポーツに関すること及び政治や経済等の出来事に関わっている国や地域の特徴について、具体的事例を通して、何か国を選んで調べる活動を行う。
年間		(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かり、施設での決まりを守ることの大切さが分かる。 (思判表力) 身近な公共施設や公共物について調べ、社会生活とさまじとの関連を考え表現すること。 (学・人) 地域社会の一員として共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割が分かり、施設での決まりを守ることの大切さが分かる。 (思・判・表) 身近な公共施設や公共物について調べ、社会生活とさまじとの関連を考え表現することができる。 (主学) 地域社会の一員として共に生きていくことの大切さについての自覚を養うことができる。	「校外学習」 「ア・社会参加とさまじ」 「イ・公共施設と制度」  「買い物学習」 「エ・産業と生活」	・家庭や学校、通学路で、円滑な生活を送る上での基本的なルールや規則について。 ・なぜさまじが必要なのかについて、具体的な活動を通して自分の生活と関連付けながら考える。 ・公共施設について位置を地図で確認したり、施設についてインターネットを利用して調べたり、実際に見学や利用をしたりする。 ・近隣の小売店やスーパーマーケット、商業施設などを見学して、働く人の様子や商品を具体的に観察したり、そこで働いている人から聞き取り調査をしたりする。
	留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 中学部 1 年 (Ⅱ課程A) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	1学年Ⅱ課程A		数学☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技) 1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりしようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 A整数の表し方 ・数えてみよう①～③	・数えてみよう①～③：数の範囲を1000までに拡張し、数の読み方や書き方の理解を深める。3位数までの数を十進法取りの原則に沿って、正確に読み力を身に付ける。
	8	(知及技) 2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができる。また、それらの筆算の仕方について知ることができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 2位数の加法及び減法について理解し、その計算ができる。また、それらの筆算の仕方について知ろうとしている。 (思・判・表) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 1整数の加法及び減法 ・2位数のたし算①～③ ・2位数のひき算①～③	・2位数のたし算①：繰り上がりのない2位数の加法計算の仕方を考えたり、加法の筆算の仕方を理解する。 ・2位数のたし算②：一の位から十の位への繰り上がりのあるたし算の筆算の仕方を理解する。 ・2位数のたし算③：十の位から百の位への繰り上がりのあるたし算の筆算の仕方を理解する。 ・2位数のひき算①：繰り下がりがあるひき算(2位数-1位数)の仕方を理解する。 ・2位数のひき算②：繰り下がりのないひき算(2位数-2位数)の筆算の仕方を理解する。 ・2位数のひき算③：十の位から一の位への繰り下がりのあるひき算の筆算の仕方を理解する。
	3	(知及技) 加法及び減法に関して成り立つ性質について理解することができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 加法及び減法に関して成り立つ性質について理解しようとしている。 (思・判・表) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 1整数の乗法 ・計算のさまり①②	・計算のさまり①：足す数と足される数を入れ替えても答えが同じになることに気付く。 ・計算のさまり②：減法の答えを加法で確かめられるということに気付く。
	2	(知及技) 計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算ができる。 (思判表力) 数量関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 計算機を使って、具体的な生活場面における簡単な加法及び減法の計算をしようとしている。 (思・判・表) 数量関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 1整数の乗法 ・計算機	・計算機：計算機の基礎的な使い方について知り、加法や減法をする際の操作方法を覚える。
	6	(知及技) 直線について知ることができる。・直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現することができる。・三角形や四角形について知ることができる。・正方形、長方形及び直角三角形について知ることができる。正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解したりすることができる。 (思判表力) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方と考えとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。 (学・人) 図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 直線について知ろうとしている。・直角、頂点、辺及び面という用語を用いて図形の性質を表現しようとしている。・三角形や四角形について知ろうとしている。・正方形、長方形及び直角三角形について知ろうとしている。正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解したりしようとしている。 (思・判・表) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方と考えとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えようとしている。 (主学) 図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 B図形 A図形 1. 図形1～図形8 (三角形、四角形、長方形、四角形) 2. 図形9～図形12(箱の形)	・図形1～3：辺、頂点、角の数に着目して図形を弁別する。 ・図形4～8：正方形、長方形、直角三角形の形の性質について理解する。 ・図形9～12：正方形や長方形で捉えられる箱の形をしたものについて理解し、それらを構成したり、分解したりする。

	4	(知及技) 1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりすることができる。3位数の数系列、順序、大小について、数直線上の目盛りを読んで理解したり、数を表したりすることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 1000までの数をいくつかの同じまとまりに分割したうえで数えたり、分類して数えたりしようとしている。3位数の数系列、順序、大小について、数直線上の目盛りを読んで理解したり、数を表したりしようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 A整数の表し方 ・数えてみよう④ ・数比べ①②	・数えてみよう④：同じ数について、単位を変えて捉えたり、数直線上に表す位置について10を単位にして考えたりする。 ・数比べ②：数直線を使って3位数を表したり、大小を判断したり、調べたりする。
2 学期	11	(知及技) 簡単な場合について3位数の加法及び減法の計算方法を知ることができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 簡単な場合について3位数の加法及び減法の計算方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 数量の関係に着目し、数を適用する範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 A整数の表し方 ・3位数のたし算、ひき算	・3桁のたし算：繰り上がりのなり3桁同士のたし算の筆算、繰り上がりのある3位数+1、2位数のたし算の筆算の仕方を理解する。 ・3桁のひき算：3位数-1、2位数のひき算も、2位数-1位数などの基本的な計算を基にすればできるということを理解する。
	11	(知及技) 乗法が用いられる場合や意味について知ることができる。乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解することができる。・一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けることができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技) 乗法が用いられる場合や意味について知ろうとしている。乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ろうとしている。乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解しようとしている。・一つの数をほかの数の積としてみるなど、ほかの数と関係付けることができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 A整数の乗法 ・かけ算①～⑥	・かけ算①～④：「一つ分の数」と「いくつ分」の関係が成り立つ場合には乗法を用いることを知り、乗法の場面をタイルや式で表し、乗法の意味を理解する。 ・かけ算⑤～⑥：乗法の答えは、被乗数を乗数の数だけ累加して求めることができることや、被乗数と乗数を入れ替えても積が変わらないことを知る。
	12	(知及技) 乗法が用いられる場合や意味について知ることができる。乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算ができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技) 乗法が用いられる場合や意味について知ろうとしている。乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。乗法九九について知り、1位数と1位数との乗法の計算しようとしている。 (思判表力) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 A整数の乗法 ・かけ算⑦～⑪	・かけ算①～④：「一つ分の数」と「いくつ分」の関係が成り立つ場合には乗法を用いることを知り、乗法の場面をタイルや式で表し、乗法の意味を理解する。 ・かけ算⑤～⑥：乗法の答えは、被乗数を乗数の数だけ累加して求めることができることや、被乗数と乗数を入れ替えても積が変わらないことを知る。
11	(知及技) 基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ったりすることができる。・正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面も敷き詰めたりすることができる。 (思判表力) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えるときともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。 (学・人) 図形について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技) 基本的な図形が分かり、その図形をかいたり、簡単な図表を作ろうとしている。正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面も敷き詰めたりしようとしている。 (思判表力) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方考えるときともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えようとしている。 (主学) 図形について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 B図形 A図形 3. 図形13 (模様を作ろう) 4. 図形14 (長方形、正方形、直角三角形をかこう)	・図形13～14：正方形、長方形及び直角三角形をかいたり、作ったり、それらを使って平面に敷き詰めたりする。	
3 学期	10	(知及技) 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解することができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、思考する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技) 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、思考する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 A整数の表し方 1. お金 (そろえてみよう)	・お金 (そろえてみよう)：同じ金額でも、使う硬貨 (まとまり) によっていろいろな揃え方ができることを知る。いろいろな種類のお金を使って値段と同じ金額を出す。
	10	(知及技) 日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。 (思判表力) 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。 (思・判・表) 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (主学) 数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部1段階 C測定 A時刻と時間 1. 時刻と時間1～5	・時計の長い針が1目盛り進む時間を「1分間」、長い針が一回りする時間を「1時間 (60分間)」ということを理解する。 ・「午前」「午後」「正午」の意味を理解と違いを理解し、「午前」「午後」を使い使い分けて時刻を読んだり、1日の中にある二つの同じ時刻の違いを理解する。

	<p>10</p> <p>(知・技)日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。時間の単位(秒)について知ることができる。・身の回りにおける数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすることができる。</p> <p>(思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。・身の回りにおける事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察したりすることができる。</p> <p>(学・人)数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。時間の単位(秒)について知ろうとしている。・身の回りにおける数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりしようとしている。</p> <p>(思・判・表)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。・身の回りにおける事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ったり、考察しようとしている。</p> <p>(主学)数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>4. 時刻と時間6～9 5. 表とグラフ1～3</p>	<p>・時刻と時間1～2:1分単位の時刻を正しく読み取る。</p> <p>・時刻と時間8～9:「分」より短い時間の単位</p> <p>・「秒」について知り、1分との関係性が分かる。</p> <p>・表とグラフ1～3:身の回りにおける数量について、簡単な表やグラフから数量の大小を読み取る。</p>
<p>留意点 引継ぎ等</p>				

令和8年度 中学部 2年（Ⅱ課程A）数学科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	2年 Ⅱ課程A		数学☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技)4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について、理解することができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)4位数までの十進位取り記数法による数の表し方及び数の大小や順序について、理解しようとしている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 ア整数の表し方 1. 1000より大きい数 2. 数の大きさの比べ方	・1000より大きい数：1000より大きい数の表し方を理解する。 ・数の大きさの比べ方：1000より大きい数の大小を理解する。
	10	(知及技)3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算ができる。また、それらの筆算についての仕方を知ることができる。加法及び減法に関して成り立つ性質を理解することができる。 (思判表力)数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)・3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算しようとしている。また、それらの筆算についての仕方を知ろうとしている。加法及び減法に関して成り立つ性質を理解しようとしている。 (思・判・表)数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 イ整数の加法及び減法 1. 3けたの数の計算1～2 2. 4けたの数の計算 3. 計算のきまり	・3けたの数の計算1～2：2位数の加法の計算を本にして、3位数の加法の計算の仕方について考え、筆算を用いた計算の仕方を理解する。 ・4けたの数の計算：4位数になっても、2位数、3位数の時と同じように計算することを理解する。 ・計算のきまり：3位数や4位数の計算でも加法や減法の計算の決まりが成り立つことを理解する。
	10	(知及技)円について、中心、半径及び直径を知ることができる。また、円に関連して、球についても直径などを知ることができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。 (学・人)図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)円について、中心、半径及び直径を知ろうとしている。また、円に関連して、球についても直径などを知ろうとしている。 (思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すようとしている。 (主学)図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 B図形 ア図形 1. 図形3 (円) 2. 図形4 (円と球)	・図形3：コンパスの扱いに慣れ、確実に円をかくことができるようにし、そこから円の定義や円を構成する要素である用語「中心」「半径」「直径」について理解できるようにする。 ・図形4：球を構成する要素に着目し、その関係や特徴、性質について考える。
11	(知及技)10倍、100倍、1/10の大きさの数及びその表し方について知ることができる。・計算機を使って、具体的な生活場面における加法及び減法の計算ができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)10倍、100倍、1/10の大きさの数及びその表し方について知ろうとしている。・計算機を使って、具体的な生活場面における加法及び減法の計算ができる。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 ア 整数の表し方 1. 10倍、100倍の数や10に分けた数1～3 2. 計算機	・10倍、100倍の数や10に分けた数1～3：数を10倍、100倍した数の表し方や数の大小や順序について理解する。 ・計算機：日常の場面で計算機を使えるようにする。	

2 学 期	11	(知・技)1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いることができる。 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いようとしている。 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 ウ 整数の乗法 1. かけ算1～2	・かけ算1～2：1位数と1位数との乗法の計算ができる。
	12	(知・技)数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解することができる。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、思考する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、思考する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 ア 整数の表し方 1. お金の学習	・お金の学習：すべてのお金の種類が分かる。買い物の簡単な計算やおつりの計算をする。
	11	(知・技)変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができる。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察することができる。 (学・人)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりしようとしている。 (思・判・表)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴を考察しようとしている。 (主学)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部2段階 C変化と関係 ア 伴って変わる二つの数量 1. 2つの量の変わり方1 (変わり方を調べましょう①②)	・表、式、グラフそれぞれの特徴を捉え、目的に応じて使えるようにする。
3 学 期	8	(知・技)1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いることができる。 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いようとしている。 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かそうとしている。 (主学)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 ウ 整数の乗法 1. かけ算3～4 2. かけ算5	・乗法の式では×(かける)の前後の数を入れ替えることができる交換法則が成り立つことを知る。
	8	(知・技)除法が用いられる場合や意味について理解することができる。 (思・判・表)数量関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かすことができる。 (学・人)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)除法が用いられる場合や意味について理解しようとしている。 (思・判・表)数量関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かそうとしている。 (主学)数量について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 ウ 整数の乗法 1 割り算1～3	・1人に一つずつ配っていき1人分を求めていく包含除や具体物を同じ数ずつつけた時何人に分けられるかの等分除を理解する。
	7	(知・技)目盛の原点を対象の端に当てて測定することができる。 (思・判・表)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。 (学・人)図形について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)目盛の原点を対象の端に当てて測定しようとしている。 (思・判・表)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりしようとしている。 (主学)図形について関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部1段階 C測定 ア 量の単位と測定 1. 長さ1～3 2. かさ1～2 3. 重さ1～4	・長さ1～3：目盛りテープを活用することで1cmという長さが分かる。 ・かさ1～2：かさの単位リットル(L)について知り、単位を用いた測定ができるようにする。 ・重さ1～4：重さの単位グラム(g)について知り、1gという重さを理解することができる。

7	<p>(知・技)データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりすることができる。表や棒グラフの意味やその用い方を理解することができる。</p> <p>(思・判・表)身の回りにおける事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすることができる。・目的に応じてデータを集めて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察したりすることができる。</p> <p>(学・人)数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表や棒グラフで表したり、読んだりすることができる。表や棒グラフの意味やその用い方を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)身の回りにおける事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現しようとしている。・目的に応じてデータを集めて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察しようとしている。</p> <p>(主学)数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>中学部2段階 Dデータの活用 ア データを表やグラフで表したり、読み取ったりすること 1. 表と棒グラフ</p>	<p>・時刻と時間3～7：日常生活に必要な時刻や時間を求める。 ・表とグラフ1～3：身の回りにおける数量について、簡単な表やグラフから数量の大小を読み取る。</p>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程A）数学科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年Ⅱ課程A		数学☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち道筋を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	10	(知及技)除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。・除法と乗法との関係について理解することができる。・除法と商が1位数である除法の計算ができる。 (思判表力)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かすことができる。 (学・人)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしようとしている。・除法と乗法との関係について理解しようとしている。・除法と商が1位数である除法の計算をしようとしている。 (思・判・表)数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活に生かそうとしている。 (主学)数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 Ⅰ. 整数の除法 1. 割り算3 (口を使った考え方) 2. 割り算4 (余りのある計算)	・割り算3：同じ数ずつ分けることや何人に分けられるかを考える。 ・割り算4：除算では「割り切れない」ことがあることや、余りが出ることを理解する。また、具体物や半具体物の操作を通じて、余りは除数より少なくなることを体感的につかむ。
1学期	10	(知及技)二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらに関係に着目することができる。・二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図すること。・基本的な図形と関連して角について知る。・面積の単位「平方センチメートル (cm <sup>2</sup> )平方メートル (m <sup>2</sup> )平方キロメートル (km <sup>2</sup> )」について知り、測定の意味について理解することができる。・正方形及び長方形の面積の求め方について知ることができる。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方等を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。・面積の単位に着目し、図形の面積について、求め方を考えたり、計算して表したりすることができる。 (学・人)図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらに関係に着目しようとしている。・二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図しようとしている。・基本的な図形と関連して角について知ろうとしている。・面積の単位「平方センチメートル (cm <sup>2</sup> )平方メートル (m <sup>2</sup> )平方キロメートル (km <sup>2</sup> )」について知り、測定の意味について理解しようとしている。・正方形及び長方形の面積の求め方について知ろうとしている。 (思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方等を考察して、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すようとしている。・面積の単位に着目し、図形の面積について、求め方を考えたり、計算して表したりしようとしている。 (主学)図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 B図形 A図形 1. 図形1～図形2 (二等辺三角形と正方形、垂直と平行) イ. 面積 1. 面積	・図形1 (二等辺三角形と三角形)：定規やコンパスによる作図、作図した図形を観察、分類する等により、図の特徴や性質について理解する。 ・図形2 (垂直と平行)：二つの直線の関係えを平行や垂直について理解する。 ・一辺の長さが1cm、1m、1kmの正方形を単位図形とし、その個数を計算で求めることによって測定する。
	10	(知及技)角の大きさを回転し大きさとして捉えることができる。・角の大きさの単位 (度 (°)) について知り、測定の意味について理解することができる。・角の大きさを測定することができる。 (思判表力)角の大きさの単位に着目し、図形の角の大きさを的確に表現して比較したり、図形の考察に生かしたりすることができる。 (学・人)図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)角の大きさを回転し大きさとして捉えようとしている。・角の大きさの単位 (度 (°)) について知り、測定の意味について理解しようとしている。・角の大きさを測定しようとしている。 (思・判・表)角の大きさの単位に着目し、図形の角の大きさを的確に表現して比較したり、図形の考察に生かそうとしている。 (主学)図形について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 B図形 ウ 角の大きさ 1. 角度	・角の大きさ：一つの頂点から出ている2本の辺が作る形を角と呼ぶことを抑えた上で、角の大きさを捉え、角の大きさの大きさを判断したり、分度器を用いて数値化したりする。

2 学 期	15	(知及技) 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解することができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、思考する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知及技) 数を十や百を単位としてみるなど、数の相対的な大きさについて理解しようとしている。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、思考する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かそうとしている。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第1段階 A数と計算 ア 整数の表し方 1. お金の学習	・お金の学習：現金の支払い方を工夫し、決まった予算内で買い物をする。
	15	(知及技) 端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知ることができる。・1/10の位までの小数の仕組みや表し方について理解することができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知ろうとしている。 ・1/10の位までの小数の仕組みや表し方について理解しようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 オ 小数の表し方 1. 小数1 (1より小さい数の読み方①) 2. 小数2 (1より小さい数の読み方②~③) 3. 小数3 (1より小さい数の読み方④) 4. 小数4 (1より小さい数の読み方⑤)	・小数1：身近にある小数の表記を探る活動などを通して、1より小さな数の読み方を知る。 ・小数2：身近な小数に慣れ、自分で測ったり書いたりする。 ・小数3：1/10の位までの表し方を知る。
	15	(知及技) 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ることができる。 (思判表力) 日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察することができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知ろうとしている。 (思・判・表) 日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察しようとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部2段階 C変化と関係 イ 二つの数量関係 1. 二つの量の変わり方2 (変わり方を調べましょう)	・二つの量の変わり方2：二つの数量関係が、基準とする数量を1とみたときにもう一方の数量が、2倍、3倍、4倍などの整数で表される場合について、割合を用いて比べる。
3 学 期	10	(知及技) 1/21/4などの簡単な分数について知ることができる。数量の関係を式に表したり、式と図を関連付けたりすることができる。・□などを用いて数量の関係を式に表すことができる。・□などに数を当てはめて調べることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 1/21/4などの簡単な分数について知ろうとしている。数量の関係を式に表したり、式と図を関連付けたりしようとしている。・□などを用いて数量の関係を式に表そうとしている。・□などに数を当てはめて調べようとしている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部第2段階 A数と計算 オ 小数の表し方 1. 分数1 (同じ量や同じ大きさに分けてみよう①) 2. 分数2 (同じ量や同じ大きさに分けてみよう②) 3. □を使った式と図	・分数1：一つしかないものを分けられること、そして、分けたものの一つ分の量を分数で表せることを理解する。 ・分数2：分数が示した量を表す。 ・□を使った式と図：□を用いた式と図を見ながら解の求め方を見付けたり、自ら□を用いた式を立てて買い求めたりする。
	10	(知及技) 日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。 (思判表力) 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) 日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。 (思・判・表) 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部1段階 C測定 イ 時刻や時間 1. 時刻と時間6～7	・時間と時刻6：図や数直線を手掛かりにして、ある時刻からある時間経過したときの時刻を求める。 ・時間と時刻7：図や数直線を手掛かりにして、ある時刻よりある時間前の時刻を求める。
	10	(知及技) データを二つの観点から分類及び整理し、折れ線グラフで表したり、読み取ったりすることができる。・表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解することができる。 (思判表力) 身の回りにある事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすることができる。・目的に応じてデータをまとめて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察したりすることができる。 (学・人) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技) データを二つの観点から分類及び整理し、折れ線グラフで表したり、読み取ったりしようとしている。・表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解しようとしている。 (思・判・表) 身の回りにある事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現しようとしている。・目的に応じてデータをまとめて分類及び整理し、データの特徴や傾向を見つけて、適切なグラフを用いて表現したり、考察しようとしている。 (主学) 数量について関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	中学部2段階 Dデータの活用 ア データを表やグラフで表したり、読み取ったりすること 1. 折れ線グラフ	・折れ線グラフ：記録した結果をグラフにまとめたりグラフから結果を読み取ったりする。時間の経過に伴って変化する様子を把握できることに気付き、特徴や傾向を捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 中学部 (1年 II 課程A) 理科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	生徒	担当者	教科書/副教材
70	1学年 II 課程 A (知的/重複)		参考資料として、理科の☆☆☆教科書を使用

目標: (知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価: (知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	3 5	(知及技) 植物や動物を育て、その成長の変化を観察することができる。(中理A7) (思判表力) 身近な材料を使用した実験に興味をもって参加できる。(中理(2)) (学・人) ことも新聞を教師と一緒に読むことができる。(中理(3))	(知・技) 植物や動物の成長の変化に気づくことができる。 (思・判・表) 身近な材料を使用した実験で気づいたことを表現している。 (主学) ことも新聞を教師と一緒に読もうとしている。	【科学ニュースをよもう】 【生き物を育てよう】 【お天気調べ】 【宇宙科学館調べ学習】 【お楽しみ実験】 【校外学習】	・ ことも新聞の科学記事を読む ・ 植物の水やり、観察 ・ 動物の餌やり、水替え、観察 ・ 天気と気温を調べる ・ お楽しみ実験の計画、調べ学習
		(知及技) 身近な植物や動物の名前や特徴を調べることができる。(中理A7) (思判表力) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現できる。(中理A7) (学・人) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。(中理A7)	(知・技) 植物の名前や特徴をとらえることができる。 (思・判・表) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現している。 (主学) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。	身のまわりの自然観察	・ 観察の際の注意事項について、確認する ・ 校庭にある植物から春の生物を探す ・ 自分で探してきた植物の名前を調べる
1 学期	4 6	(知及技) 昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることがわかる。(中理A7) (思判表力) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることに気づくことができる。(中理A7) (学・人) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとする。(中理A7)	(知・技) 蝶などの昆虫は幼虫と成虫で異なる姿をしていることに気が付くことができる。 (思・判・表) 昆虫などの姿が異なっているにも同じ個体であることに気が付いて表現している。 (主学) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとしている。	身のまわりの生物	・ 昆虫の一生について調べる ・ 虫眼鏡、顕微鏡、ICT機器を用いて観察を行う ・ 観察したものをスケッチや写真で記録をとる ・ 共通点と差異点について話し合う
		(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解することができる。(中理B(7)②) (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだすことができる。(中理B(7)②) (学・人) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理B(7))	(知・技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解している。 (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだしている。 (主学) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	太陽と地面の様子	・ 日なたと日陰の地面の様子に着目し、それらを比較しながら観察する ・ 日向と日陰での気温や地面の温度を測り、表を作成する ・ 日時計を用い、影が動く様子を観察する ・ 太陽の白周運動を観察できる ・ 温度計、遮光板、方位磁針を用いる
2 学期	7 8	(知及技) 光がまっすぐ進むことがわかる。物に日光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。(中理ウ(7)②、④) (思判表力) 光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときと差異点に気づき表現することができる。(中理ウ(7)) (学・人) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする。(中理ウ(7))	(知・技) 光がまっすぐ進むことがわかり、物に光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。 (思・判・表) 物から音が出たり伝わったりするとき、物は振れていることに気づくことができる。 (主学) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることに気づくことができる。	光の性質	・ 鏡に日光をあて、向きと光の様子について調べる ・ 鏡で太陽光を反射させ、指定の場所を照らす
		(知及技) 風の力は、物を動かすことができることがわかる。(中理イ(7)①) (思判表力) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。(中理イ(7)) (学・人) 風の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとする。(中理イ(7))	(知・技) 風の力は、物を動かすことができることを理解している。 (思・判・表) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。 (主学) 風の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとしている。	風の力の働き	・ 扇風機やうちわで風を感じる ・ 風の力で物が動く様子について調べる ・ 風をつかたおもちゃや制作 ・ 扇風機、うちわ、工作材料を準備
3 学期	5 5	(知及技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることがわかる。(中理エ(7)) (思判表力) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを調べ、表現することができる。(中理ウ(7)) (学・人) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理C)	(知・技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることに興味をもっている。 (思・判・表) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを見だし、表現している。 (主学) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	磁石の性質	・ 家庭で磁石が使われている場面を発表する ・ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を区別する ・ 棒磁石2本で反発する極と引き付けあう極の組み合わせを見つける ・ 区別したもの、組み合わせを表にまとめる ・ 磁性体の素材を「鉄」と区別できる ・ 磁石、くさ、アルミ缶等を準備
		留意点 引継ぎ等	・ 出席 ・ 授業態度 ・ ワークシート ・ 提出物 ・ 発表		

令和 8 年度 中学部 (2年 II 課程A) 理科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	生徒	担当者	教科書/副教材
70	2学年 II 課程 A (知的/重複)		参考資料として、理科の☆☆☆教科書を使用

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	3 5	(知及技) 植物や動物を育て、その成長の変化を観察することができる。(中理A7) (思判表力) 身近な材料を使用した実験に興味をもって参加できる。(中理(2)) (学・人) ことも新聞を教師と一緒に読むことができる。(中理(3))	(知・技) 植物や動物の成長の変化に気づくことができる。 (思・判・表) 身近な材料を使用した実験で気づいたことを表現している。 (主学) ことも新聞を教師と一緒に読もうとしている。	【科学ニュースをよもう】 【生き物を育てよう】 【お天気調べ】 【宇宙科学館調べ学習】 【お楽しみ実験】 【校外学習】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことも新聞の科学記事を読む</li> <li>・植物の水やり、観察</li> <li>・動物の餌やり、水替え、観察</li> <li>・天気と気温を調べる</li> <li>・お楽しみ実験の計画、調べ学習</li> </ul>
		(知及技) 身近な植物や動物の名前や特徴を調べることができる。(中理A7) (思判表力) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現できる。(中理A7) (学・人) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。(中理A7)	(知・技) 植物の名前や特徴をとらえることができる。 (思・判・表) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現している。 (主学) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。	身のまわりの自然観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察の際の注意事項について、確認する</li> <li>・校庭にある植物から春の生物を探す</li> <li>・自分で探してきた植物の名前を調べる</li> </ul>
1 学期	4 6	(知及技) 昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることがわかる。(中理A7) (思判表力) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることに気づくことができる。(中理A7) (学・人) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとする。(中理A7)	(知・技) 蝶などの昆虫は幼虫と成虫で異なる姿をしていることに気が付くことができる。 (思・判・表) 昆虫などの姿が異なっているにも同じ個体であることに気が付いて表現している。 (主学) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとしている。	身のまわりの生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫の一生について調べる</li> <li>・虫眼鏡、顕微鏡、ICT機器を用いて観察を行う</li> <li>・観察したものをスケッチや写真で記録をとる</li> <li>・共通点と差異点について話し合う</li> </ul>
		(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解することができる。(中理B(7)②) (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだすことができる。(中理B(7)②) (学・人) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理B(7))	(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解している。 (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだしている。 (主学) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	太陽と地面の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日なたと日陰の地面の様子に着目し、それらを比較しながら観察する</li> <li>・日向と日陰での気温や地面の温度を測り、表を作成する</li> <li>・日時計を用い、影が動く事を観察する</li> <li>・太陽の白周運動が観察できる</li> <li>・温度計、遮光板、方位磁針を用いる</li> </ul>
2 学期	7 8	(知及技) 光がまっすぐ進むことがわかる。物に日光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。(中理ウ(7)②、④) (思判表力) 光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときと差異点に気づき表現することができる。(中理ウ(7)) (学・人) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする。(中理ウ(7))	(知・技) 光がまっすぐ進むことがわかり、物に光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。 (思・判・表) 物から音が出たり伝わったりするとき、物は振れていることに気づくことができる。 (主学) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることに気づくことができる。	光の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡に日光をあて、向きと光の様子について調べる</li> <li>・鏡で太陽光を反射させ、指定の場所を照らす</li> </ul>
		(知及技) 風の力は、物を動かすことができることがわかる。(中理イ(7)①) (思判表力) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。(中理イ(7)) (学・人) 風の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとする。(中理イ(7))	(知・技) 風の力は、物を動かすことができることを理解している。 (思・判・表) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。 (主学) 風の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとしている。	風の力の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・扇風機やうちわで風を感じる</li> <li>・風の力で物が動く様子について調べる</li> <li>・風をつかたおもちゃや制作</li> <li>・扇風機、うちわ、工作材料を準備</li> </ul>
3 学期	5 5	(知及技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることがわかる。(中理エ(7)) (思判表力) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを調べ、表現することができる。(中理ウ(7)) (学・人) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理C)	(知・技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることに興味をもっている。 (思・判・表) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを見だし、表現している。 (主学) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	磁石の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で磁石が使われている場面を発表する</li> <li>・磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を区別する</li> <li>・棒磁石2本で反発する極と引き付けあう極の組み合わせを見つける</li> <li>・区別したもの、組み合わせを表にまとめる</li> <li>・磁性体の素材を「鉄」と区別できる</li> <li>・磁石、くさ、アルミ缶等を準備</li> </ul>
		留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・授業態度</li> <li>・ワークシート</li> <li>・提出物</li> <li>・発表</li> </ul>		

令和 8 年度 中学部 (3年Ⅱ課程A) 理科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	生徒	担当者	教科書/副教材
70	3学年Ⅱ課程 A (知的/重複)		参考資料として、理科の☆☆☆教科書を使用

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通 年	3 5	(知及技) 植物や動物を育て、その成長の変化を観察することができる。(中理A7) (思判表力) 身近な材料を使用した実験に興味をもって参加できる。(中理(2)) (学・人) ことも新聞を教師と一緒に読むことができる。(中理(3))	(知・技) 植物や動物の成長の変化に気づくことができる。 (思・判・表) 身近な材料を使用した実験で気づいたことを表現している。 (主学) ことも新聞を教師と一緒に読もうとしている。	【科学ニュースをよもう】 【生き物を育てよう】 【お天気調べ】 【宇宙科学館調べ学習】 【お楽しみ実験】 【校外学習】	・ことも新聞の科学記事を読む ・植物の水やり、観察 ・動物の餌やり、水替え、観察 ・天気と気温を調べる ・お楽しみ実験の計画、調べ学習
		(知及技) 身近な植物や動物の名前や特徴を調べることができる。(中理A7) (思判表力) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現できる。(中理A7) (学・人) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。(中理A7)	(知・技) 植物の名前や特徴をとらえることができる。 (思・判・表) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現している。 (主学) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。	身のまわりの自然観察	・観察の際の注意事項について、確認する ・校庭にある植物から春の生物を探す ・自分で探してきた植物の名前を調べる
1 学 期	4 6	(知及技) 昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることがわかる。(中理A7) (思判表力) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることに気づくことができる。(中理A7) (学・人) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとする。(中理A7)	(知・技) 蝶などの昆虫は幼虫と成虫で異なる姿をしていることに気が付くことができる。 (思・判・表) 昆虫などの姿が異なっているにも同じ個体であることに気付いて表現している。 (主学) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとしている。	身のまわりの生物	・昆虫の一生について調べる ・虫眼鏡、顕微鏡、ICT機器を用いて観察を行う ・観察したものをスケッチや写真で記録をとる ・共通点と差異点について話し合う
		(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解することができる。(中理B(7)②) (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだすことができる。(中理B(7)②) (学・人) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理B(7))	(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解している。 (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだしている。 (主学) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	太陽と地面の様子	・日なたと日陰の地面の様子に着目し、それらを比較しながら観察する ・日向と日陰での気温や地面の温度を測り、表を作成する ・日時計を用い、影が動く車を観察する ・太陽の白周運動が観察できる ・温度計、遮光板、方位磁針を用いる
2 学 期	7 8	(知及技) 光がまっすぐ進むことがわかる。物に日光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。(中理ウ(7)②、④) (思判表力) 光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときと差異点に気づき表現することができる。(中理ウ(7)) (学・人) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする。(中理ウ(7))	(知・技) 光がまっすぐ進むことがわかり、物に光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。 (思・判・表) 物から音が伝わり伝わったりするとき、物は振れていることに気づくことができる。 (主学) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることに気づくことができる。	光の性質	・鏡に日光をあて、向きと光の様子について調べる ・鏡で太陽光を反射させ、指定の場所を照らす
		(知及技) 風の力は、物を動かすことができることがわかる。(中理イ(7)①) (思判表力) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。(中理イ(7)) (学・人) 風の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとする。(中理イ(7))	(知・技) 風の力は、物を動かすことができることを理解している。 (思・判・表) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。 (主学) 風の力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとしている。	風の力の働き	・扇風機やうちわで風を感じる ・風の力で物が動く様子について調べる ・風をつかたおもちゃや制作 ・扇風機、うちわ、工作材料を準備
3 学 期	5	(知及技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることがわかる。(中理エ(7)①) (思判表力) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを調べ、表現することができる。(中理ウ(7)) (学・人) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理エ(7))	(知・技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることに興味をもっている。 (思・判・表) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを見だし、表現している。 (主学) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	磁石の性質	・家庭で磁石が使われている場面を発表する ・磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を区別する ・棒磁石2本で反発する極と引き付けあう極の組み合わせを見つける ・区別したもの、組み合わせを表にまとめる ・磁性体の素材を「鉄」と区別できる ・磁石、くさ、アルミ缶等を準備
		留意点 引継ぎ等	・出席 ・授業態度 ・ワークシート ・提出物 ・発表		

令和 8年度 中学部 1年 (Ⅱ課程A) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	1学年 Ⅱ課程A		音楽☆☆～ 音楽☆☆☆☆☆

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思・判)思考力 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階) (学・人)人間性 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階)	器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階)
------	--	------------------------------------

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
----	----	----------	------------	--------	------------

1 学期	20	(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて身体表現をすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達と動きを合わせて表現することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階B(イ))	(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現しようとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて身体表現しようとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 友達と動きを合わせて表現しようとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かるようにしている。(中1段階B(イ))	みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう。  【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌ってみよう ・平和に向けて  【身体表現】 ・2拍子の指揮をしよう  【鑑賞】 ・オーケストラを聴こう	みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう。  【歌唱】 ・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。 「春の小川」「校歌」 ・平和に関する音楽 「月桃」「いのちのりレー」等 ・ラデツキー行進曲に合わせ2拍子の指揮を振る。 ・指揮の振り方を大小で強弱を表現する。演奏では指揮者の振り方見て強弱を表現する。 ・手話ソング(手話を模倣しながら歌唱する) 4月「きみに会えてうれしい」 5月「かせよふけふけ」 6月「緑の風と青い空」 7月「やっほっほ夏休み」「なかまたから」等
---------	----	--	---	--	---

		(思・判)思考力 【歌唱】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(ア)) 【身体表現】 リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)) 【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B(ア))	(思・判)思考力 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(ア)) 【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)) 【鑑賞】 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B(ア))		
--	--	--	--	--	--

		(学・人)人間性 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)	(主学)主体的に学習に取り組む態度 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。(中1段階)		
--	--	---	--	--	--

		(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【器楽】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の声や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊦) リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくることができる。(中1段階A(ウ)㊦)	(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 【器楽】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付いている。(中1段階A(イ)㊦) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏しようとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏しようとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の声や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏しようとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付いている。(中1段階A(ウ)㊦) リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いている。(中1段階A(ウ)㊦) 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現しようとしている。(中1段階A(ウ)㊦) 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくらうとしている。(中1段階A(ウ)㊦)	みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう。  【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌おう  【器楽】 ・郷土の音楽、楽器 「三線」について、取り扱いは方、演奏方法について視覚映像を活用して、理解を深め、三線演奏をする。動物の鳴き声やパーランクーの音を三線を用いて表現する。 「かんから三線うむるむん」等  【音楽づくり】 「表現を楽しもう：オリジナルボディパづくり」  【身体表現】 「表現を楽しもう」  【鑑賞】 いろいろな音楽を聴こう	みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう。  【歌唱】 ・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。 「もみじ」「ふじ山」 ・郷土の音楽、楽器 「三線」について、取り扱いは方、演奏方法について視覚映像を活用して、理解を深め、三線演奏をする。動物の鳴き声やパーランクーの音を三線を用いて表現する。 「かんから三線うむるむん」等  【音楽づくり】 「表現を楽しもう：オリジナルボディパづくり」  【身体表現】 「表現を楽しもう」  【鑑賞】 ・好きな音楽を紹介したり、友達の良い音楽を聴く。  ・手話ソング(手話を模倣しながら歌
--	--	--	--	---	--

2 学期	<p>30</p> <p>【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わり気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 曲名や歌詞と体の動きとの関わり気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりすることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現をすることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 友達と動きを合わせて表現することができる。(中1段階A(ウ)㊟)</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階B(ア)㊟)</p> <p>(思判表力) 【歌唱】 曲の雰囲気や合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟)</p> <p>【器楽】 曲の雰囲気や合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟)</p> <p>【音楽づくり】 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ウ)㊟)</p> <p>【身体表現】 リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについて思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟)</p> <p>【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B(ア)㊟)</p> <p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)</p>	<p>【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付いている。 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現しようとしている。 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現しようとしている。 友達と動きを合わせて表現しようとしている。</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かるようになっている。</p> <p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気や合いそうな表現を工夫しようとしている。</p> <p>【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気や合いそうな表現を工夫しようとしている。</p> <p>【音楽づくり】 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、発想を得たり、構成しようとしている。</p> <p>【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かそうとしている。</p> <p>【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。</p> <p>(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。</p>	<p>唱する) 9月「あいうえおともだち」 10月「手のひらを太陽に」「あの青い空のように」 11月「あしたも元気に」 12月「ハッピークリスマス」「ともだちになるために」等</p>
3 学期	<p>20</p> <p>(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気や音楽の構造との関わり気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わり気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊟) 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊟)</p> <p>【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊟) リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊟) 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現することができる。(中1段階A(ウ)㊟) 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくることができる。(中1段階A(ウ)㊟)</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階B(ア)㊟)</p> <p>(思判表力) 【歌唱】 曲の雰囲気や合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟)</p> <p>【音楽づくり】 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ウ)㊟)</p> <p>【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B(ア)㊟)</p> <p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付いている。 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。</p> <p>【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付いている。 リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いている。 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現しようとしている。 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくらうとしている。</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かるようになっている。</p> <p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気や合いそうな表現を工夫しようとしている。</p> <p>【音楽づくり】 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、発想を得たり、構成しようとしている。</p> <p>【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。</p> <p>(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。</p>	<p>1年間で学んだ事を思い出しながら表現・鑑賞しよう。</p> <p>【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌ってみよう ・気持ちよこめて歌おう</p> <p>【音楽づくり】 ・表現を楽しもう：楽器づくり</p> <p>【鑑賞】 楽器の音色を聴いてみよう</p> <p>・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。卒業する先輩達へ気持ちを込めて歌唱する。 「卒業のうた」「校歌」</p> <p>・楽器づくり「ウッドブロック」 ・「シンコペーテッドクロック」の曲のシンコペーションのイメージをもたせ、手作り楽器でリズム打ちを行う。</p> <p>・オーケストラの楽器についての映像を視聴しながら、楽器の名前を覚えたり、音の違いを感じる。</p> <p>・手話ソング(手話を模倣しながら歌唱する) 1月「花さき山」 2.3月「にじいろ」</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・手話ソング(毎月違う曲)、年間通して行う。 ・共通教材「春の小川」「もみじ」「ふじ山」音楽☆☆☆☆</p>		

令和8年度 中学部 2年 (Ⅱ課程A) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	2学年 Ⅱ課程Aグループ		音楽☆☆～ 音楽☆☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階) 【思判表力】 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階)	器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階)
------	---	------------------------------------

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
----	----	----------	------------	--------	------------

1 学期	20	(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて身体表現をすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達と動きを合わせて表現することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階B(アイ))	(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付いている。 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。 【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付いている。 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現しようとしている。 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせて身体表現しようとしている。 友達と動きを合わせて表現しようとしている。 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かるようになっている。	みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう。  【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌おう！ ・平和に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。「茶つみ」「校歌」「ともだちはいいもんだ」</li> <li>・平和に関する音楽「月桃」「いのちのリレー」等</li> <li>・校歌に合わせて2拍子の指揮を振る。</li> <li>・指揮の振り方を大小で強弱を表現する。演奏では指揮者の振り方見て強弱を表現する。</li> <li>・手話ソング(手話を模倣しながら歌唱する)4月「さみに会えてうれしい」5月「かせよふけふけ」6月「緑の風と青い空」7月「やっほっほ夏休み」「なかまたから」等</li> </ul>
		(思判表力) 【歌唱】 曲の雰囲気や音楽の構造に合うような表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)) 【身体表現】 リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)) 【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B(ア))	(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気や音楽の構造に合うような表現を工夫しようとしている。 【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かそうとしている。 【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。	【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌おう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の音楽、楽器「三線」について、取り扱い方、演奏方法について視覚映像を活用して、理解を深め、三線演奏をする。簡易楽を見ながら演奏する。動物の鳴き声やパーランクーの音を三線を用いて表現する。「かんから三線うむるむん」「山原や」等</li> </ul>
		(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)	(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。	【器楽】 ・郷土の音楽に親しもう(三線をひこう) ・クリスマスを楽しもう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を意識した楽器演奏クリスマスやイメージし、トーンチャイムの音色や和音に親しむ。「よろこびの歌」</li> <li>・iPadを活用して、音楽的ななまじりを守りつつ、沖繩をイメージした旋律を創作する。</li> <li>・好きな音楽を紹介したり、友達の好きな音楽を聴く。</li> </ul>

		(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【器楽】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付くことができる。(中1段階A(イ)㊦) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊦) リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊦) 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現することができる。(中1段階A(ウ)㊦) 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくることができる。(中1段階A(ウ)㊦) 【身体表現】	(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付いている。 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。 【器楽】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりについて気付いている。 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付いている。 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏しようとしている。 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏しようとしている。 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏しようとしている。 【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付いている。 リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いている。 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現しようとしている。 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくらうとしている。	みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう。  【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌おう！  【器楽】 ・郷土の音楽に親しもう(三線をひこう) ・クリスマスを楽しもう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。「ふるさと」「うさぎ」</li> <li>・郷土の音楽、楽器「三線」について、取り扱い方、演奏方法について視覚映像を活用して、理解を深め、三線演奏をする。動物の鳴き声やパーランクーの音を三線を用いて表現する。「かんから三線うむるむん」「山原や」等</li> <li>・季節を意識した楽器演奏クリスマスやイメージし、トーンチャイムの音色や和音に親しむ。「よろこびの歌」</li> <li>・iPadを活用して、音楽的ななまじりを守りつつ、沖繩をイメージした旋律を創作する。</li> <li>・好きな音楽を紹介したり、友達の好きな音楽を聴く。</li> </ul>
--	--	--	--	--	--

2 学期	30	<p>曲の雰囲気や音楽の構造との関わりに気付くことができる。(中1段階A工(イ)㊦)</p> <p>曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付くことができる。(中1段階A工(イ)㊦)</p> <p>示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりすることができる。(中1段階A工(ウ)㊦)</p> <p>音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現をすることができる。(中1段階A工(ウ)㊦)</p> <p>友達と動きを合わせて表現することができる。(中1段階A工(ウ)㊦)</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階Bア(イ))</p>	<p>【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いている。</p> <p>示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現しようとしている。</p> <p>音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現しようとしている。</p> <p>友達と動きを合わせて表現しようとしている。</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かってらうしている。</p>		<p>・手話ソング(手話を模倣しながら歌唱する)</p> <p>9月「あいうえおともだち」</p> <p>10月「手のひらを太陽に」「あの青い空のように」</p> <p>11月「あしたも元気に」</p> <p>12月「ハッピークリスマス」「ともだちになるために」等</p>
		<p>(思判表力) 【歌唱】 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階Aア(ア))</p> <p>【器楽】 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階Aイ(ア))</p> <p>【音楽づくり】 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ることができる。(中1段階Aウ(ア)㊦)</p> <p>音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。(中1段階Aウ(ア)㊦)</p> <p>【身体表現】 リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。(中1段階A工(ア))</p> <p>【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階Bア)</p>	<p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫しようとしている。</p> <p>【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫しようとしている。</p> <p>【音楽づくり】 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、発想を得たり、構成しようとしている。</p> <p>【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かそうとしている。</p> <p>【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。</p>		
		<p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)</p>	<p>(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。</p>		
3 学期	20	<p>(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気や音楽の構造との関わりに気付くことができる。(中1段階Aア(イ)㊦)</p> <p>曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付くことができる。(中1段階Aア(イ)㊦)</p> <p>範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階Aア(ウ)㊦)</p> <p>発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階Aア(ウ)㊦)</p> <p>友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階Aア(ウ)㊦)</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階Bア(イ))</p>	<p>(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気や音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。</p> <p>範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。</p> <p>発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。</p> <p>友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。</p> <p>【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かってらうしている。</p>	<p>1年間で学んだ事を思い出しながら表現・鑑賞しよう。</p> <p>【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌ってみよう ・気持ちをこめて歌おう</p> <p>【鑑賞】 楽器の仲間分けをしよう！</p>	<p>・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。卒業する先輩達へ気持ちを込めて歌唱する。「卒業のうた」「校歌」等</p> <p>・オーケストラの楽器についての映像を視聴しながら、楽器を仲間分けしたり特徴を感じ取る。</p>
		<p>(思判表力) 【歌唱】 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階Aア(ア))</p> <p>【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階Bア)</p>	<p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫しようとしている。</p> <p>【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。</p>		<p>・手話ソング(手話を模倣しながら歌唱する)</p> <p>1月「花さき山」</p> <p>2.3月「にじいろ」</p>
		<p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)</p>	<p>(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。</p>		
留意点 引継ぎ等		<p>・手話ソング(毎月違う曲)、年間通して行う。</p> <p>・共通教材「茶つみ」「うさぎ」音楽☆☆☆☆「ふるさと」音楽☆☆☆☆</p>			

令和8年度 中学部 3年(Ⅱ課程A) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
70	3学年 Ⅱ課程A			音楽☆☆～ 音楽☆☆☆☆☆	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階Aア(イ)㊦) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付くことができる。(中1段階Aア(イ)㊦) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階Aア(ウ)㊦) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階Aア(ウ)㊦) 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階Aア(ウ)㊦) 【器楽】 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階Aイ(イ)㊦) 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付くことができる。(中1段階Aイ(イ)㊦) 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏することができる。(中1段階Aイ(ウ)㊦) 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏することができる。(中1段階Aイ(ウ)㊦) 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。(中1段階Aイ(ウ)㊦) 【身体表現】 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付くことができる。(中1段階Aエ(イ)㊦) 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付くことができる。(中1段階Aエ(イ)㊦) 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりすることができる。(中1段階Aエ(ウ)㊦) 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現をすることができる。(中1段階Aエ(ウ)㊦) 友達と動きを合わせて表現することができる。(中1段階Aエ(ウ)㊦) 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階Bア(イ))	(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付いている。 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。 【器楽】 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付いている。 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付いている。 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏しようとしている。 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏しようとしている。 友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏しようとしている。 【身体表現】 曲の雰囲気と音楽の構造との関わりについて気付いている。 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現しようとしている。 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現しようとしている。 友達と動きを合わせて表現しようとしている。 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かるようになっている。	みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう  【歌唱】 ・歌詞をイメージして歌ってみよう ・平和に向けて  【器楽】 ・郷土の音楽に親しもう(三線をひこう)  【身体表現】 ・リズムを感じよう  【鑑賞】 ・オーケストラを聴こう	・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。 「夏の思い出」「校歌」  ・平和に関する音楽 「月桃」「いのちのリレー」等  ・郷土の音楽、楽器 「三線」について、取り扱い方、演奏方法について視覚映像を活用して、理解を深め、三線演奏をする。 簡易楽を見ながら演奏する。動物の鳴き声やパーランクーの音を三線を用いて表現する。 「かんから三線うむるむん」 「ていんさくぬ花等」  ・音楽に合わせて身体表現を行う  ・手話ソング(手話を模倣しながら歌唱する) 4月「きみに会えてうれしい」 5月「かせよふけふけ」 6月「緑の風と青い空」 7月「やっほっほ夏休み」「なかまだから」等
		(思判表力) 【歌唱】 曲の雰囲気合いにそなう表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階Aア(ア)) 【器楽】 曲の雰囲気合いにそなう表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階Aイ(ア)) 【身体表現】 リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。(中1段階Aエ(ア)) 【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見だして聴くことができる。(中1段階Bア)	(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いにそなう表現を工夫しようとしている。 【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いにそなう表現を工夫しようとしている。 【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かそうとしている。 【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だして聴こうとしている。		
		(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)	(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。		

2 学期	30	<p>(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊟) 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊟) 【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊟) リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付くことができる。(中1段階A(ウ)㊟) 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現することができる。(中1段階A(ウ)㊟) 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりに気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりすることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現をすることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 友達と動きを合わせて表現することができる。(中1段階A(ウ)㊟) 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階B(ア)㊟)</p>	<p>(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いている。 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。 【音楽づくり】 いろいろな音の響きの特徴に気付いている。 リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いている。 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現しようとしている。 音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくらうとしている。 【身体表現】 曲の雰囲気や音楽の構造との関わりに気付いている。 曲名や歌詞と体の動きとの関わりに気付いている。 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現しようとしている。 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる身体表現しようとしている。 友達と動きを合わせて表現しようとしている。 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かるようになっている。</p>	<p>みんなで歌い、演奏し、いろいろな音楽を表現しよう。いろいろな音楽を聴こう</p> <p>【歌唱】 歌詞をイメージして歌おう</p> <p>【音楽づくり】 「表現を楽しもう：オリジナルボディパづくり」 「修学旅行の歌をつくらう」</p> <p>【身体表現】 「表現を楽しもう」</p> <p>【鑑賞】 いろいろな音楽を聴こう</p>	<p>・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。 「赤とんぼ」「とんび」</p> <p>・音楽に合わせて身体表現を楽しむ。</p> <p>・音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽(リズム・歌詞・身体表現)を作る。</p> <p>・好きな音楽を紹介したり、友達の好きな音楽を聴く。</p>
		<p>(思・判・表) 【歌唱】 曲の雰囲気や曲の構造に合うような表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟) 【音楽づくり】 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ることができる。(中1段階A(ア)㊟) 音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟) 【身体表現】 リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟) 【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B(ア)㊟)</p>	<p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気や曲の構造に合うような表現を工夫しようとしている。 【音楽づくり】 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、発想を得たり、構成しようとしている。 【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かそうとしている。 【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。</p>		
		<p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)</p>	<p>(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。</p>		
3 学期	20	<p>(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付くことができる。(中1段階A(イ)㊟) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。(中1段階A(ウ)㊟) 発声の仕方に気を付けて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊟) 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌うことができる。(中1段階A(ウ)㊟) 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。(中1段階B(ア)㊟)</p>	<p>(知・技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わりに気付いている。 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。 発声の仕方に気を付けて歌おうとしている。 友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌おうとしている。 【鑑賞】 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かるようになっている。</p>	<p>1年間で学んだ事を思い出しながら表現・鑑賞しよう。</p> <p>【歌唱】 歌詞をイメージして歌ってみよう ・気持ちをこめて歌おう</p> <p>【鑑賞】 楽器の音色を聴いてみよう</p>	<p>・歌詞の意味を深く考えるため、関係のある映像、写真等、視覚的教材を活用し、理解を深めて歌唱する。卒業へ気持ちを込めて歌唱する。 「卒業のうた」「校歌」</p> <p>・オーケストラの楽器についての映像を視聴しながら、楽器の名前を覚えたり、音の違いを感じ取る。</p>
		<p>(思・判・表) 【歌唱】 曲の雰囲気や曲の構造に合うような表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。(中1段階A(ア)㊟) 【鑑賞】 曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。(中1段階B(ア)㊟)</p>	<p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気や曲の構造に合うような表現を工夫しようとしている。 【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。</p>		<p>・手話ソング(手話を模倣しながら歌唱する) 1月「花さき山」 2.3月「にじいろ」</p>
		<p>(学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れることができる。(中1段階)</p>	<p>(主学) 進んで音や音楽に関わったり、協働して音楽活動を楽しんで取り組もうとしたり、様々な音楽に触れようとしている。</p>		
留意点 引継ぎ等		<p>・手話ソング(毎月違う曲)、年間通して行う。 ・共通教材「夏の思い出」「とんび」「赤とんぼ」音楽☆☆☆☆</p>			

令和8年度 中学部 1年(Ⅱ課程Aグループ) 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
70	1学年Ⅱ課程A		なし		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方などに親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中Ⅰ段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中Ⅰ段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中Ⅰ段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 水彩用具の扱い方を身につけるとともに、絵の具やマジックの表現の違いや、色や線の重なりで表現される美しさを感じ取ることができる。 (思判表力) 絵の具の発色や色の重なりによる美しさを捉え、それをもとに発想や構想をすることができる。 (学・人) 色彩による表現や鑑賞の活動に関心を持って取り組み、美しい色彩に気づき楽しむ態度を養う。	(知・技) 水彩用具の扱い方を身につけるとともに、絵の具やマジックの表現の違いや、色や線の重なりで表現される美しさを感じ取り制作に取り組もうとしている。 (思・判・表) 絵の具の発色や色の重なりによる美しさを捉え、それをもとに発想や構想しようとしている。 (主学) 色彩による表現や鑑賞の活動に関心を持って取り組み、美しい色彩に気づき楽しむようとしている。	絵画表現<色の重なり>	・水彩絵の具やマジックペンで線や面を描く。 ・色や線の重なりを観察し、美しいと感じるところを選び切り取る。 ・切り取った部分やそれを組み合わせた物を一つの作品として観察し、題名をつける。 ・作品を展示し、互いに鑑賞しあう。感想を述べたり、自分だったらどんな題をつけるかなどを発表する。 ・絵の具の出し方、溶き方、筆の使い方、洗い方など、道具の正しい扱い方を身につける
	10	(知及技) スチレンボードの特性に気づき、模様をつけた際の道具による表現の違いを感じることができる。 (思判表力) 切り出した形をどのように組み合わせるか、模様や色を重ねることにより、どのような構成になるか想定したり、偶然を楽しみながら構成することができる。 (学・人) 色や模様が重なることにより、色の見え方や模様の複雑さ美しさに気づき楽しむ態度を養う。	(知・技) スチレンボードの特性に気づき、模様をつけた際の道具による表現の違いを感じ、取り組もうとしている。 (思・判・表) 切り出した形をどのように組み合わせるか、模様や色を重ねることにより、どのような構成になるか想定したり、偶然を楽しみながら構成しようとしている。 (主学) 色や模様が重なることにより、色の見え方や模様の複雑さ美しさに気づき楽しむようとしている。	版画<分割版画>	・スチレンボードに油性ペン、竹串、フォーク、除光液等で模様をつける。 ・黄色い版画用インクで版を刷る。 ・雲形定規で版に線を引く。(切り取りは教師が行う) ・分割した版に赤い版画用インクをつけて、黄色いインクを刷った用紙の上から刷る。 ・分割した版に青い版画用インクをつけて、黄色いインクを刷った用紙の上から刷る。 ・色や線の重なりを鑑賞し、面白さや美しさに気づき、発表する。 ・版画の特性を理解し、工程などの知識を身に付ける。
	6	(知及技) クレヨンによる線表現に、水彩絵の具の色彩表現が合わさる特性に気づき、面白さや美しさを感じ取ることができる。 (思判表力) クレヨンと水彩絵の具とどのような色合いにすると特性を引き出せるかを考え、工夫して制作できる。 (学・人) 線と面の表現が合わさる美しさに気づき、楽しむ態度を養う。	(知・技) クレヨンによる線表現に、水彩絵の具の色彩表現が合わさる特性に気づき、面白さや美しさを感じ、取り組もうとしている。 (思・判・表) クレヨンと水彩絵の具とどのような色合いにすると特性を引き出せるかを考え、工夫して制作しようとしている。 (主学) 線と面の表現が合わさる美しさに気づき、楽しむようとしている。	絵画表現 <パチックで描こう>	・パチックの参考作品を見せ、特性やどのような作品が作れるか見通しを持たせる。 ・クレヨンと水彩絵の具での色合わせや表現のことを考えながら制作を行う。

2 学期	12	(知及技)はさみ、のり、セロハンテープの扱い方を身に付けると共に、安全に気をつけて使用することができる。 (思判表) 紙コップや画用紙等の身近な素材をどのように使用することで立体表現になるか考え、工夫して制作することができる。 (学・人) 平面と立体の表現の違いによる面白さや美しさに気づき、楽しむ態度を養う。	(知・技)はさみ、のり、セロハンテープの扱い方を身に付けると共に、安全に気をつけて使用しようとしている。 (思・判・表) 紙コップや画用紙等の身近な素材をどのように使用することで立体表現になるか考え、工夫して制作しようとしている。 (主学) 平面と立体の表現の違いによる面白さや美しさに気づき、楽しむようとしている。	工作 <紙コップUF0、びっくり箱>	・道具の特性や安全な使用方法について確認する。 ・参考作品を見せ、完成に対する見通しを持つ。 ・平面の紙を立体にする方法を確認し、作品制作で好きな表現ができるようにする。 ・実際にびっくり箱のように制作できているか確認する。 ・好きな素材で装飾を行う。
	12	(知及技) 粘土の基本的な扱いに親しみ、ヘラや竹串など、成形に必要な道具の扱いを身に付けることができる。 (思判表) 球体や自分の希望した形を作成できるよう、工夫することができる。 (学・人) 様々な角度から見える、作品の表情の違いの美しさや面白さに気づき、楽しむことができる。	(知・技) 粘土の基本的な扱いに親しみ、ヘラや竹串など、成形に必要な道具の扱いを身に付けようとしている。 (思・判・表) 球体や自分の希望した形を作成できるよう、工夫しようとしている。 (主学) 様々な角度から見える、作品の表情の違いの美しさや面白さに気きき、楽しむようとしている。	彫塑・工作<つるすかざり>	・粘土で成形を行うことがどれだけできるか確認するために、油粘土で練習制作を行う。 ・ヘラや竹串などで模様や溝を作ることができる参考動画、参考作品などを見せる。 ・好きな形を作る。 ・様々な角度から見た時の見え方の違いを考えながら、針金を曲げる。
3 学期	8	(知及技) これまでの制作活動を活かしながら、壁画制作に必要な制作表現を行うことができる。 (思判表力) 友達と協力しながら、卒業生を祝う気持ちを持って良い壁画を作るよう制作することができる。 (学・人) 壁画全体の完成を鑑賞した際に、自分の制作箇所がどのように活かされ、美しい作品の表現に使用されているか気づくことができる。	(知・技) これまでの制作活動を活かしながら、壁画制作に必要な制作表現を行おうとしている。 (思・判・表) 友達と協力しながら、卒業生を祝う気持ちを持って良い壁画を作るよう制作しようとしている。 (主学) 壁画全体の完成を鑑賞した際に、自分の制作箇所がどのように活かされ、美しい作品の表現に使用されているか気づこうとしている。	卒業式の壁画	・卒業式の壁画の使用目的やテーマ担当箇所、学部全体で取り組むことを確認する。 ・担当箇所の作成に必要な画材を丁寧に扱う。 ・完成した作品を体育館に見に行ったり、写真で見て確認する。
	4	(知及技) 作品集を作る上で、本にまとめる方法を知ることができる。 (思判表力) これまでの制作活動を思い出しながら、好きな技法、画材で表紙を作成することができる。 (学・人) 自分の一年間の制作の様子を振り返りながら、一番楽しかった制作や、好きな作品について伝えることができる。	(知・技) 作品集を作る上で、本にまとめる方法を知ろうとしている。 (思・判・表) これまでの制作活動を思い出しながら、好きな技法、画材で表紙を作成しようとしている。 (主学) 自分の一年間の制作の様子を振り返りながら、一番楽しかった制作や、好きな作品について伝えようとしている。	作品集作り	・一年間で制作した作品を配り、どのような単元を行ったか振り返る。 ・作品端を丁寧に半分に折り曲げ、片面をのり付けて本にする。 ・小さな作品や写真はほかの作品と同じ大きさの画用紙に貼り合わせる。 ・好きな色の画用紙を選び、表紙には好きなイラストやモダンテクニックを描いて作品集を完成し、友達と鑑賞する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 2年 ( II 課程Aグループ) 美術科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒		担当者	教科書／副教材	
70	2 学年 II 課程 A			図画工作 5・6 下	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方などに親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中 I 段階) (思判表力) 造形的なよきや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中 I 段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中 I 段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) パステルの持ち味や使い方、ステンシルの方法などを理解し、それらを活かして表現活動を行うことができる。 (思判表力) 表したいことを構想し、工夫して表現することができる。 (学・人) パステルによる表現や作品鑑賞の活動に関心を持って取り組み、画材による美しさの違いに気づき楽しむ態度養う。	(知・技) パステルの持ち味や使い方、ステンシルの方法などを理解し、それらを活かして表現活動に取り組もうとしている。 (思・判・表) 表したいことを構想し、工夫して表現しようとしている。 (主学) パステルによる表現や作品鑑賞の活動に関心を持って取り組み、画材による美しさの違いに気づき楽しもうとしている。	パステル画を描こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パステル粉の特徴や使い方について理解し、表現方法を学習し、ステンシルの技法で作品を作ることができる。</li> <li>・様々な色を組み合わせて作品を仕上げるができる。</li> <li>・暖色や寒色の違いに気づき、色の組み合わせを自分で決めて作品を作ることができる。</li> <li>・友達を発表を聞き、感じたことを述べる。</li> <li>・協力して後片付けを行う。</li> </ul>
	10	(知及技) ハサミやのりなどの道具を安全に気を付けながら丁寧に扱い、段ボールの素材を活かしながら表現活動を行うことができる。 (思判表力) 様々な形を自由に組み合わせ、フレームの模様を工夫しながら表現することができる。 (学・人) 表現や作品鑑賞の活動に関心を持って取り組み、素材を活かした美しさの違いに気づき楽しむ態度養う。	(知・技) ハサミやのりなどの道具を丁寧に扱い、段ボールの素材を活かしながら表現活動に取り組もうとしている。 (思・判・表) 様々な形を自由に組み合わせ、フレームの模様を工夫しながら表現しようとしている。 (主学) 表現や作品鑑賞の活動に関心を持って取り組み、素材を活かした美しさの違いに気づき楽しもうとしている。	工作 <アートフレームを作ろう>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形のパーツを組み合わせ、段ボールの素材でフレームを制作する。</li> <li>・段ボール断面の模様や厚さのある素材を活かし、ハサミやのりを使ってフレーム制作ができる。</li> <li>・前回までに制作したパステル画の作品と組み合わせ、どのようなフレームに仕上げるか考える。</li> <li>・完成した作品を飾り、鑑賞する。</li> </ul>
2 学期	10	(知及技) 和紙の折り方やインクの着彩によって変わる形や染まり方の違いに気づき、丁寧に折ったり染める等の制作活動を行うことができる。 (思判表力) 様々な色の中から好きな色を選び、色合いを工夫して表現することができる。 (学・人) 折り方や染め方によって偶然にできた色合いや混ざり合う色彩の美しさや気づき楽しむ態度養う。	(知及技) 和紙の折り方やインクの着彩によって変わる形や染まり方の違いに気づき、丁寧に折ったり染める等の制作活動に取り組もうとしている。 (思・判・表) 様々な色の中から好きな色を選び、色合いを工夫して表現しようとしている。 (主学) 折り方や染め方によって偶然にできた色合いや混ざり合う色彩の美しさや気づき楽しむ態度養う。	染めく折り染めをしよう>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和紙を蛇腹折りにし、三角や四角に折る際はどのような形に仕上がるか見て考え制作する。</li> <li>・ボスターカラーやマープリング用インク、プリンターインク等で染める際、辺り角に染めるか考え取り組む。</li> <li>・着彩後は木板で板締めしインクを染みこませる。</li> <li>・完成した作品はうちわやランブシード等に制作する。</li> </ul>
	10	(知及技) はさみやのり、ばれんやローラー、プレス機等を正しく使用するとともに、丁寧に貼り合わせやインクを塗ることができる。 (思判表力) 版作り、刷り、裏彩色の方法を理解し、手順を確認しながら、変化する画面を調整するなど工夫して制作することができる。中 I 段階 A 表現 A (ア)、B 鑑賞 A (ア) (イ)、共通 A (ア) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことを通して、色や模様、形の重なりによる美しさや気づき楽しむ態度養う。中 I 段階	(知・技) はさみやのり、ばれんやローラー、プレス機等を正しく使用するとともに、丁寧に貼り合わせやインクを塗ることに取り組もうとしている。 (思判表力) 版作り、刷り、裏彩色の方法を理解し、手順を確認しながら、変化する画面を調整するなど工夫して制作しようとしている。 (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことを通して、色や模様、形の重なりによる美しさや気づき楽しむ態度養う。	版画<コラグラフ>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作工程動画や参考作品を見て制作工程の見直しを持つ。</li> <li>・条件に注意しながら版に様々な素材を貼り合わせて制作する。</li> <li>・版を刷る際は一度ローラーとばれんを使い刷った後、プレス機で仕上げる。</li> <li>・作品を観察し、インクの色の調整を考える。</li> <li>・お互いの作品を鑑賞する。</li> <li>・協力して後片付けをする。</li> </ul>

	<p>(知及技) 粘土の特性を知るとともに、ヘラや竹串等の用具を適切に使用して想像した物(面や動物)を粘土で表現することができる。中I段階A表現ア(イ) B鑑賞ア(ア) 共通ア(ア) (思判表力) どのような形に仕上げるか考えながら粘土を成形し、様々な色や素材で装飾し制作することができる。中I段階A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア) (イ)、共通ア(ア) (学・人) 楽しく粘土制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、自由に成形できる楽しさを味わう態度を養う。中I段階</p>	<p>(知・技) 粘土の特性を知るとともに、ヘラや竹串等の用具を適切に使用して想像した物(面や動物)を粘土で表現しようとしている。中I段階A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア) (イ)、共通ア(ア) (思・判・表) どのような形に仕上げるか考えながら粘土を成形し、様々な色や素材で装飾し制作しようとしている。中I段階A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア) (イ)、共通ア(ア) (主学) 楽しく粘土制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、自由に成形できる楽しもうとしている。中I段階</p>	<p>彫塑&lt;魔除けのお面&gt;&lt;想像の動物&gt;</p>	<p>・見本作品やスライドで制作工程や必要な道具について知る。 ・粘土の感触になれるため、伸ばしたり団子やひもなどを作る。 ・好きな物を作る。 ・粘土の特性を知り、好きな作品を考える。 ・成形後好きな色で着彩する。 ・紐やヒース等で装飾を施す。</p>
	<p>(知及技) 様々な好きなイラストや写真等を切ったり貼り合わせるあとともに、参考例から色、形、大きさやその組み合わせが生み出すイメージの違いを感じ取ることができる。 (思判表力) 色や形、大きさの異なる切り紙の組み合わせを工夫して、好みのデザインを作ることができる。 (学・人) 楽しく制作活動に取り組む、切り紙の面白さや、色や形の組み合わせなどを生活の中で楽しむ態度を養う。</p>	<p>(知・技) 様々な好きなイラストや写真等を切ったり貼り合わせるあとともに、参考例から色、形、大きさやその組み合わせが生み出すイメージの違いを感じ取ろうとしている。 (思・判・表) 色や形、大きさの異なる切り紙の組み合わせを工夫して、好みのデザインを作ろうとしている。 (主学) 楽しく制作活動に取り組む、切り紙の面白さや、色や形の組み合わせなどを生活の中で楽しもうとしている。</p>	<p>絵画表現&lt;コラージュをしよう&gt;</p>	<p>・様々なイラストや写真の中から好きな部分をハサミを使って切り抜き、貼り合わせて1枚の作品に仕上げる。 ・どのようなパーツを使って組み合わせるか考えながら作品を貼り合わせる。</p>
3 学期	<p>(知及技) 絵の具やマジック、クレヨン等画材の特徴を活かし、ハサミやのりを丁寧に扱いながら表現活動を行うことができる。 (思判表力) 壁画全体像から制作する部分を理解しつつ、制作において工夫して表現することができる。 (学・人) 共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさの違いに気づき楽しむ態度を養う。</p>	<p>(知・技) 絵の具やマジック、クレヨン等画材の特徴を活かし、ハサミやのりを丁寧に扱いながら表現活動を行おうとしている。 (思・判・表) 壁画全体像から制作する部分を理解しつつ、制作において工夫して表現しようとしている。 (主学) 共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさの違いに気づき楽しむうとしている。</p>	<p>卒業式の壁画</p>	<p>・卒業式の壁画のテーマや仕上がり、制作する部分や制作方法をスライドで確認する。 ・壁画制作は学校全体で行うことを確認し、共同制作で作品を仕上げていく。 ・様々な画材を丁寧に扱う。 ・完成したら体育館に見に行ったり、写真で確認し鑑賞する。</p>
	<p>(知及技) 作品集の制作工程や、のりハサミの使い方を理解し、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧にすることができる。 (思判表力) どのように作品集を仕上げるか、作品の配置や、ページの順番、表紙の色等を考え、工夫しながら制作することができる。 (学・人) 1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、作品の美しさや違いに気づき楽しむ態度を養う。</p>	<p>(知・技) 作品集の制作工程や、のりハサミの使い方を理解し、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧にすることができる。 (思・判・表) どのように作品集を仕上げるか、作品の配置や、ページの順番、表紙の色等を考え、工夫しながら制作しようとしている。 (主学) 1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、作品の美しさや違いに気づき楽しむうとしている。</p>	<p>作品集作り</p>	<p>・1年間を通して制作した作品を1冊にまとめ、作品集として持ち帰る。 ・四つ切りサイズの作品は端を丁寧に折り曲げ、片面にのり付けする。 ・小さな作品や写真は四つ切りサイズの画用紙に貼り合わせる。 ・表紙や背表紙の好きな色を選び、好きなイラストを描いて作品集を完成し、友達と交換しながら鑑賞する。</p>
	<p>留意点 引継ぎ等</p>			

令和8年度 中学部 3年 ( II課程Aグループ) 美術 科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年II課程A		図画工作1、2年下、5、6年下

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間目標		(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方などに親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中I段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中I段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中I段階)			
1 学期	10	(知及技) 色や形の特徴を感じ取ったり、個々の色やその組み合わせがイメージを伝えたりすることに気付くことができる。(中I段階 共通ア、イ) (思判表力) 意図したイメージを伝えるために色や形の構成を考えることができる。(中I段階表現ア、イ) (学・人) 楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、色や形、その組み合わせから伝わるイメージに関心を持ち、楽しむ態度を養う。(中I段階表現ア、鑑賞ア)	(知・技) 色や形の特徴を感じ取ったり、個々の色やその組み合わせがイメージを伝えたりすることに気づくことができる。(思・判・表) 意図したイメージを伝えるために色や形の構成を考えようとしている。(主学) 楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、色や形、その組み合わせから伝わるイメージに関心を持ち、楽しむことができる。 評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)	平面構成 <寒い国の旗、暖かい国の旗> または <甘いお菓子、辛いお菓子のパッケージデザイン> <優しい王(女王)様、怖い王(女王)様の服のデザイン>	・ポスターやお菓子のパッケージ、参考作品などを見て、暖かい、冷たい、さびしい、元気な、怖い、穏やかななどの両極の印象を考えたり、教師の発問に合う作品を選んだりする。 ・各自テーマを決め、デザインする。線や形、色を発想できないときは、型やサンプルから選ぶ。 ・画用紙に要素を組み合わせて作品に仕上げる。 ・何をテーマにしたか、伝えようとしたかについて教師が問いかけ言葉を補足しながら発表する。 ・友達の発表を聞き、感じたことを述べる。 ・協力して後片付けを行う。
	10	(知及技) はさみ、のり、セロハンテープなどの基本的な道具やコンパス、段のこなどの使い方を知り、それらを活用して表現活動を行うことができる。(中I段階 共通ア、イ) (思判表力) どのようにしてコマの本体を作ることができるか、手順や必要な道具、材料について大まかに考えることができる。回転させて変化する模様を観察したり、作ったりすることができる。(中I段階 表現ア、イ) (学・人) コマや、コマの模様の制作・鑑賞に楽しく取り組むことを通し、作る喜びや工夫する楽しさを味わうことができる。(中I段階)	(知・技) はさみ、のり、セロハンテープなどの基本的な道具やコンパス、段のこなどの使い方を知り、それらを活用して表現活動を行おうとしている。(思・判・表) どのようにしてコマの本体を作ることができるか、手順や必要な道具、材料について大まかに考えることができる。回転させて変化する模様を観察したり作ったりしている。 コマや、コマの模様の制作・鑑賞に楽しく取り組むことを通し、作る喜びや工夫する楽しさを味わうことができる。 評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)	コマを作ろう ・必要な材料、道具、制作方法を考えてみよう ・コマの作成 ・コンパス、ダンノコの使い方を練習しよう ・いろいろな模様を回してみよう ・模様を作ってみよう ・ペンハムのコマを回してみよう	・コマの見本を見て、どのような材料・道具が必要か、どのような手順で作ったら良いかを教師の問いかけに答えながら考える。 ・コンパス、だんのこの使い方を練習する。 ・必要な道具・材料を自分で選び、コマを作成する。 ・はさみ、のり、テープの使い方を確認する。 ・テンプレートの模様を選んでコマに貼り、模様の変化を観察する。 ・帯状の紙を組み合わせた模様を、回転させたらどうなるかを予想したり、実際に作って確認したりする。 ・テンプレートの模様を選んで着色したり、折り紙などを使って自分で模様をデザインする。 ・回転した様子を動画に撮り、鑑賞する。 ・協力して後片付けを行う。
	4	(知及技) 作品が生まれた国や時代、作者について大まかに知ることができる。(中I段階 共通イ) (思判表力) 自分が好きな作品を選んだり、好きなところや好きな理由を考えて発表することができる。(中I段階鑑賞アイ) (学・人) 作品鑑賞に関心を持って取り組み、作品の見方を広げるとともに、美術作品に親しみ楽しむ態度を養う。(中I段階)	(知・技) 作品が生まれた国や時代、作者について、大まかに知ることができる。(思判表力) 自分が好きな作品を選んだり、どこが好きか、なぜ好きかなどについて考えたり発表したりすることができる。(学・人) 作品鑑賞に関心を持って取り組み、作品の見方を広げるとともに、美術作品に親しんだり楽しんだりしている。 評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)	鑑賞 作家の作品を鑑賞しよう ・ミレーの「落ち穂拾い」 or・ピカソの「(泣く女)」 or・デュシャンの「泉」 ・感じたことを話し合ってみよう ・作品の時代背景、作家について知ろう ・作品の見え方が変わったかな？作品について話そう、聞こう	・作品の拡大画像を注意深く見る ・どんな色が使われているか、何に見えるか、どんな感じがするか等について、話し合う。 ・時代背景や作者の背景について説明する。 ・見え方に変化があったか、どのように変わったかを話し合う。 ・ワークシートに記入する。
	10	(知・技) 粘土の特性や焼き物の制作工程を知るとともに、用具を適切に使用して制作活動を行うことができる。中I段階A表現(イ) B鑑賞ア(ア) 共通ア(ア) (思判表力) 力の入れ方を調節しながら粘土を平らに成形したり、色や形を選んで装飾するなど工夫して制作することができる。中I段階A表現(イ)、B鑑賞ア、共通ア (学・人) 楽しく焼き物の制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、日常的に使われている陶器や沖繩の陶器に親しんだり大切にしようとしている。 評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)	(知・技) 粘土の特性や焼き物の制作工程を大まかに知るとともに、用具を正しく使用して制作活動を行おうとしている。(思・判・表) 力の入れ方を調節しながら粘土を平らに成形しようとして、色や形を自分で選んで装飾するなどができる。(主学) 楽しく焼き物の制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、日常的に使われている陶器や沖繩の陶器に親しんだり大切にしようとしている。 評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)	工芸 <やきものをつくらう> ・焼き物の作り方を知ろう ・年度に触れよう ・たたら作りで皿を作ろう (or面シーサーorフォトフレーム) <沖繩の伝統工芸> ・やちむんの制作工程 ・いろいろなやちむん ・焼成後、展示・鑑賞	・PWPで焼き物の制作工程や必要な道具について知る。 ・粘土の感触になれるため、伸ばしたり団子やひもなどを作る。 ・好きな物を作る、水を足して練る。 ・たたら板を作ったり、型に沿って切ったりする。 ・色土で装飾を施す。 ・型に落とし込む。 ・素焼き後の処理、施釉

2 学期	10	<p>(知・技) スチレンボードの特性に気付いたり、透明色を重ねて混色できることを知るができる。用具を適切に使用して制作活動を行うことができる。中1段階A表現(イ) B鑑賞(ア) 共通ア(ア) (思判表力) ・判のデザインを考え、表すことができる。 ・回転させながら刷り重ねていく方法を知り、変化する画面を見ながら色や刷り方を工夫することができる。中1段階A表現(ア)、B鑑賞(ア) (イ)、共通ア(ア) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組むことを通して、色や形、素材の面白さに気づき、心豊かな生活を営む態度を養う。 (中1段階)</p>	<p>(知・技) スチレンボードの特性に気付いたり、透明色を重ねて混色できることに気付いている。用具を適切に使用して制作活動を行うことができる。 (思・判・表) 回転させながら刷り重ねていく方法を知り、変化する画面を見ながら色や刷り方を工夫しようとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組むことを通して、色や形、素材の面白さに気づいたり、たのしんだりしている。  評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)</p>	<p>&lt;回転版画&gt; ・制作工程の見通しを持つ ・条件に注意しながら版をデザインする。 ・いろいろな道具を用いてスチレンボードに傷をつけ、版を作成する。 ・回転させながら、刷り重ねる。 ・作品を観察し、色の調整を考える。 ・作品から受け取るイメージをまとめ、作品に題名をつける。 ・お互いの作品を鑑賞する。 ・協力して後片付けをする。</p>	<p>・PWPや参考作品を見て制作工程の見通しを持つ。 ・条件に注意しながら版をデザインする。 ・いろいろな道具を用いてスチレンボードに傷をつけ、版を作成する。 ・回転させながら、刷り重ねる。 ・作品を観察し、色の調整を考える。 ・作品から受け取るイメージをまとめ、作品に題名をつける。 ・お互いの作品を鑑賞する。 ・協力して後片付けをする。</p>
	6	<p>(知・技) コンパス、はさみ、のりなどを正しく使用するとともに、丁寧に折ったり切ったりして制作しようとしている。色の仲間分けができる。(中1段階表現イ、共通ア) (思判表力) バランスを取って吊そうとしたり、イメージに合う色や構成を考えることができる。(中1段階表現ア) (学・人) 楽しく制作活動に取り組むことを通し、モビールの面白さに気付いたり、色や形の組み合わせを楽しむ力を養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) コンパス、はさみ、のりなどを正しく使用するとともに、丁寧に折ったり切ったりして制作しようとしている。色の仲間分けがだいたいできている。 (思判表力) バランスを取って吊そうとしたり、イメージに合う色や構成を考えようとしている。 (主学) 楽しく制作活動に取り組むことを通し、モビールの面白さに気付いたり、色や形の組み合わせを楽しもうとしている。  評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)</p>	<p>モビールを作ろう ・モビールの仕組みを知ろう ・テーマ &lt;宇宙&gt;に合わせデザインしよう ・制作計画を立てよう ・モチーフを作ろう ・色の分類 ・組み立ててみよう ・展示、鑑賞</p>	<p>・参考作品やPWPで、手順を確認したりモビールの構造を理解して制作の見通しを持つ。 ・針金や丸シールなど具体物を使って画用紙上にモビールのデザインをし、パーツの個数や全体像を把握する。 ・コンパスやはさみの使い方を確認する。 ・円を描く、切り取る、折る、貼り付ける作業を繰り返し、パーツを作る(予め切られた円を色別に分類整理して使用する)。 ・デザイン画を参考にモチーフを組み立て、バランスを調整する。 ・お互いの作品を鑑賞する。 ・協力して後片付けを行う。</p>
3 学期	4	<p>(知・技) 切り紙の方法・仕組みを知り、丁寧に折ったり切ったりするとともに、参考例から色、形、大きさやその組み合わせが生み出すイメージの違いを感じ取ることができる。(中1段階共通アイ、表現イ) (思判表力) 色や形、大きさの異なる切り紙の組み合わせを工夫して、好みのデザインを作ることができる。(中1段階表現ア) (学・人) 楽しく制作活動に取り組む、切り紙やその組み合わせの楽しさや布プリントの味わいを生活の中で楽しむ態度を養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 切り紙の方法・仕組みを知り、丁寧に折ったり切ったりしようとするとともに、参考例から色、形、大きさやその組み合わせが生み出すイメージの違いに気付くことができる。 (思・判・表) 色や形、大きさの異なる切り紙の組み合わせを工夫して、好みのデザインを作ろうとしている。 (主学) 楽しく制作活動に取り組む、切り紙やその組み合わせの楽しさや布プリントの味わいを生活の中で楽しむ態度を養う。  評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)</p>	<p>切り紙 ・8折りの方法を知ろう ・12折りに挑戦しよう ・トートバッグの模様をデザインしよう ・アイロンプリントの版を作ろう ・プリントしよう ・掲示、鑑賞</p>	<p>・PWPや参考作品を見て制作工程の見通しを持つ。 ・8折りで大小の切り紙を練習する。 ・12折りの切り紙を練習する。 ・作った切り紙を構成して好みのデザインを作る。 ・トレーシングペーパーにみづろうクレヨンで塗って手作りの折り紙を作り、切り紙をする。 ・無地綿バッグにアイロンで転写する。 ・互いに作品を鑑賞する。</p>
	10	<p>(知・技) 卒業やお祝いのテーマを表現するイメージを理解したり、水彩用具やクレヨン、はさみ、のり等の基本的な材料、用具の使い方を身につける。(中1段階表現イ) (思判表力) 卒業を祝う気持ちや思い出を大切にしている気持ち、これから始まる新しい生活への期待などを表すテーマや色、形を考え、表現することができる。(中1段階共通イ、表現イ) (学・人) 共同制作の方法や目的を理解し、仲間と協力し目的に向かって活動することができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 卒業やお祝いのテーマを表現するイメージを理解したり、水彩用具やクレヨン、はさみ、のり等の基本的な材料、用具の使い方を身につけたりしようとしている。 (思・判・表) 卒業を祝う気持ちや思い出を大切にしている気持ち、これから始まる新しい生活への期待などを表すテーマや色、形を考えようとしていたり、表現しようとしている。 (主学) 共同制作の方法や目的を理解し、仲間と協力し目的に向かって活動しようとしている。  評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)</p>	<p>卒業式の壁画 ・卒業を表すイメージを考えよう ・協力して制作しよう</p>	<p>・テーマに沿ったデザインをする。 ・全体像と割り当てられた部分について理解し、協力して割り当てられた仕事を行う。(着色、パーツ作り、パーツの貼り付け、絵のつなぎ合わせなど)</p>
	6	<p>(知・技) 正確に折ったり貼ったりすることができる。のりやセロテープを適切に使うことができる。(中1段階)表現ア(イ) (思判表力) 表紙やタイトルの色や、イラストを自分で選び、使うことができる。1年間の自分の作品や、活動中の写真を整理し、振り返ったり感想を述べたりすることができる。(中1段階)表現ア(イ) 鑑賞(ア) (学・人) 制作した作品や活動中の写真を見て1年間を振り返り、達成感を得たり、作品を大切にしたりする気持ちを養う。 (中1段階)</p>	<p>(知・技) 正確に折ったり貼ったりすることができる。のりやセロテープを適切に使うことができる。 (思・判・表) 表紙やタイトルの色や、イラストを自分で選び、使うことができる。1年間の自分の作品や、活動中の写真を整理し、振り返ったり感想を述べたりすることができる。 (主学) 制作した作品や活動中の写真を見て1年間を振り返り、達成感を得たり、作品を大切にしたりする気持ちが身についている。  評価資料：活動の姿、実技の様子、提出物、発言内容等)</p>	<p>作品集づくり ・作品を整理しよう ・製本しよう ・装飾しよう ・鑑賞、発表をしよう</p>	<p>・活動の見通しを持つ。 ・必要な道具を選ぶ。 ・作品を四つ切り画用紙に貼り、二つ折りにする。 ・順序や上下を確認し、貼り合わせて冊子にする。 ・好みの色画用紙、タイトル、イラストを選び、表紙を作る。 ・活動中の写真ははさみで切り取る。 ・写真を最後のページに貼る。 ・自分や友達の本を開いて見る。</p>
留意点 引継ぎ等					

R8年度 中学部1年(Ⅱ課程A) 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
105	I学年 Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	<p>(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。</p> <p>(思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めている。</p> <p>(思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	・体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力の動きを高める運動
		<p>(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。</p> <p>(主学) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	・水泳運動	・補助具を使った泳ぎ ・ばた足泳ぎ(10m) ・面クロール
		<p>(知及技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p>	・器械運動	・マット運動 前転、後転、開脚前転

2 学期	45	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。</p> <p>(思判表力) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	<p>・ダンス</p>	<p>・郷土の踊り（エイサー）</p> <p>・創作ダンス</p>
		<p>(知及技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な型を展開することができる。</p> <p>(思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な型を展開することができる。</p> <p>(思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>・武道</p>	<p>・空手道 中1段階 基本動作（突き、受け、蹴り） 基本移動（突き、受け、蹴り） 普及型Ⅰ</p>
		<p>(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	<p>・陸上運動</p>	<p>・短距離走、リレー ・長距離走（時間・距離走、駅伝タスキリレー）</p> <p>・走り幅跳び、走り高跳び ※備品及び教材教具が整えば実施</p>
3 学期	30	<p>(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 自らの健康を適切に管理し、改善していくことができる。</p>	<p>(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 自らの健康を適切に管理し、改善している。</p>	<p>・保健</p>	<p>・心身機能の発達と心の健康 ・傷害の防止</p>
		<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームをしようとしている。</p> <p>(思・判・表) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	<p>・球技 ネット型 ゴール型 ベースボール型</p>	<p>・ネット型 ・風船バレー ・ゴール型 ・サッカー ・ベースボール型 ・ティボール ・学校独自種目 ・グラウンドゴルフ ・ポッチャ</p>

留意点 引継ぎ等	<p>①マット運動 「跳び箱運動」は、備品及び教材教具が整い安全が確保できれば取り扱う。実施不可の場合は、マット運動へ変更。</p> <p>②陸上運動場 「走り幅跳び、走り高跳び」は、備品及び教材教具が整い安全が確保できれば取り扱う。</p> <p>③陸上長距離 「駅伝」は校外学習で特待連駅伝コース及び近隣公園での試走・タスキリレーを数回行う。</p>
-------------	---

R8年度 中学部2年（Ⅱ課程A） 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年 Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(学・人) 各種の運動に進んで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	<p>(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。</p> <p>(思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりや用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。</p>	<p>(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めている。</p> <p>(思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりや用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p>	・体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動</li> <li>・体力の動きを高める運動</li> </ul>
		<p>(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。</p>	<p>(知・技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。</p> <p>(主学) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p>	・水泳運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助具を使った泳ぎ</li> <li>・ばた足泳ぎ(10m)</li> <li>・面クロール</li> </ul>
		<p>(知及技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動することができる。</p>	<p>(知・技) 器械・器具を使った運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 器械・器具を使った運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 器械・器具を使った運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や器械・器具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動しようとしている。</p>	・器械運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動</li> <li>前転、後転、開脚前転</li> </ul>

2 学期	45	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。</p> <p>(思判表力) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、表現したり踊ろうとしている。</p> <p>(思・判・表) ダンスについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) ダンスに進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	<p>・ダンス</p>	<p>・郷土の踊り（エイサー）</p> <p>・創作ダンス</p>
		<p>(知及技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な型を展開することができる。</p> <p>(思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 武道の楽しさを感じ、その行い方や伝統的な考え方が分かり、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な型を展開することができる。</p> <p>(思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 武道に進んで取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>・武道</p>	<p>・空手道 中1段階 基本動作（突き、受け、蹴り） 基本移動（突き、受け、蹴り） 普及型Ⅰ</p>
		<p>(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 陸上運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	<p>・陸上運動</p>	<p>・短距離走、リレー ・長距離走（時間・距離走、駅伝タスキリレー）</p> <p>・走り幅跳び、走り高跳び ※備品及び教材教具が整えば実施</p>
3 学期	30	<p>(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 自らの健康を適切に管理し、改善していくことができる。</p>	<p>(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な知識及び技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 自分の健康・安全についての課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 自らの健康を適切に管理し、改善している。</p>	<p>・保健</p>	<p>・心身機能の発達と心の健康 ・傷害の防止</p>
		<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームをしようとしている。</p> <p>(思・判・表) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をしようとしている。</p>	<p>・球技 ネット型 ゴール型 ベースボール型</p>	<p>・ネット型 ・風船バレー ・ゴール型 ・サッカー ・ベースボール型 ・ティボール ・学校独自種目 ・グラウンドゴルフ ・ポッチャ</p>

留意点 引継ぎ等	<p>①マット運動 「跳び箱運動」は、備品及び教材教具が整い安全が確保できれば取り扱う。実施不可の場合は、マット運動へ変更。</p> <p>②陸上運動場 「走り幅跳び、走り高跳び」は、備品及び教材教具が整い安全が確保できれば取り扱う。</p> <p>③陸上長距離 「駅伝」は校外学習で特待連駅伝コース及び近隣公園での試走・タスキリレーを数回行う。</p>
-------------	---

令和8年度 中学部3年(Ⅱ課程A) 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
105	3学年 Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた行い方及び体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 各種の運動や健康な生活における自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進と回復に進んで取り組むことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを継続する能力などを高めたりすることができる。 (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、その行い方を理解し、友達と関わったり、動きを継続する能力などを高めようとしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をしようとしている。	・体づくり運動	・体ほぐしの運動 ・体力の動きを高める運動
		(知及技) 水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。 (思判表力) 水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) 水泳運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 水泳運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 水泳運動に積極的に取り組み、きまりなどを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。	・水泳運動	・補助具を使った泳ぎ ・呼吸を入れたばた足泳ぎ(12.5m) ・面クロール(7m以上)
		(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技を身に付けることができる。 (思判表力) 器械運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 器械運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や器械・器具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。	(知・技) 器械運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技を身に付けようとしている。 (思・判・表) 器械運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。 (主学) 器械運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や器械・器具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。	・器械運動	・マット運動 後転、開脚前転、開脚後転、側転 連続した技の組み合わせ

2 学期	45	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりすることができる。</p> <p>(思判表力) ダンスについての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) ダンスに積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、表現したり踊ったりしようとしている。</p> <p>(思・判・表) ダンスについての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) ダンスに積極的に取り組み、友達のよさを認め助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。</p>	・ダンス	・郷土の踊り（エイサー）  ・創作ダンス
		<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、その行い方や伝統的な考え方を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な型を展開することができる。</p> <p>(思判表力) 武道についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 武道に積極的に取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 武道の楽しさや喜びに触れ、その行い方や伝統的な考え方を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な型を展開しようとしている。</p> <p>(思・判・表) 武道についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 武道に積極的に取り組み、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。</p>	・武道	・空手道 中2段階 基本動作（突き、受け、蹴り） 基本移動（突き、受け、蹴り） 普及型 I
		<p>(知及技) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動することができる。</p>	<p>(知・技) 陸上運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 陸上運動についての自分やグループの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 陸上運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。</p>	・陸上運動	・短距離走、リレー ・長距離走(時間・距離走、駅伝タスキリレー)  ・走り幅跳び、走り高跳び ※備品及び教材教具が整えば実施
3 学期	30	<p>(知及技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 自分やグループの健康・安全についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 自らの健康を適切に管理し、改善していくことができる。</p>	<p>(知・技) 体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 自分やグループの健康・安全についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 自らの健康を適切に管理し、改善しようとしている。</p>	・保健分野	・健康と環境 ・健康な生活と疾病の予防
		<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し、基本的な技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うようとしている。</p> <p>(思・判・表) 球技についての自分やチームの課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えるようとしている。</p> <p>(主学) 球技に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と助け合ったり、場や用具の安全に留意したりし、自己の力を発揮して運動しようとしている。</p>	・球技 ネット型 ネット型 ゴール型 ベースボール型	・ネット型 ・風船バレー ・ゴール型 ・サッカー ・ベースボール型 ・ティボール ・学校独自種目 ・グラウンドゴルフ ・ポッチャ
留意点 引継ぎ等		<p>①マット運動「跳び箱運動」は、備品及び教材教具が整い安全が確保できれば取り扱う。実施不可の場合は、マット運動へ変更。</p> <p>②陸上運動場「走り幅跳び、走り高跳び」は、備品及び教材教具が整い安全が確保できれば取り扱う。</p> <p>③陸上長距離「駅伝」は校外学習で特待連駅伝コース及び近隣公園での試走・タスキリレーを数回行う。</p>			

令和8年度 中学部 1年 ( II課程A ) 職業・家庭科/職業分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
105	1学年II課程A		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知乃技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。(中学部職業分野2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中学部職業分野2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中学部職業分野2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	30	(知及技) ・働くことの目的などを理解する。  ・職業生活に必要な知識や技能を理解する。	(知・技) ・働くことの目的などを理解しようとしている。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学ぶ。
		(思判表力) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考える。	(思・判・表) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考えようとしている。	単元2 生物育成①-1 「農作物を育てよう」  職場体験活動期間 「あいさつ」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場で使うあいさつについて学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり①-1 「身近にある材料を使用したものづくり」	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。
				単元4 清掃作業 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
		(知及技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解する。	(知・技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。

2 学期	45	(思判表力) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する。	(思・判・表) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表しようとしている。	単元2 生物育成①-2 「農作物を育てよう」 職場体験活動期間 「健康管理・安全や衛生」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場での健康管理、安全や衛生について学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり①-2 「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃作業 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
3 学期	30	(知及技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解する。	(知・技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れる。	・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れようとしている。	単元2 生物育成①-3 「農作物を育てよう」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。
		(思判表力) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する。	(思・判・表) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表しようとしている。	単元3 ものづくり①-3 「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
	・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する。	・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現しようとしている。	単元4 清掃作業 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。	
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。		
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 2年（Ⅱ課程A） 職業・家庭科／職業分野 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年Ⅱ課程A		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知乃技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。 (中学部職業分野2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中学部職業分野2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中学部職業分野2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	(知及技) ・働くことの目的などを理解する。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解する。 (思判表力) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考える。 (学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(知・技) ・働くことの目的などを理解しようとしている。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解しようとしている。 (思・判・表) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学ぶ。
				単元2 生物育成②-1「農作物を育てよう」 職場体験活動期間「あいさつ」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場で使うあいさつについて学ぶ。
				単元3 ものづくり②-1「身近にある材料を使用したものづくり」	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC、タブレットを利用して調べ学習等を行う。

2 学 期	45	(知及技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解する。	(知・技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫する。	(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。	単元2 生物育成②-2「農作物を育てよう」 職場体験活動期間「健康管理・安全や衛生」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場での健康管理、安全や衛生について学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり②-2「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
3 学 期	30	(知及技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解する。	(知・技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れる。	・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れようとしている。	単元2 生物育成②-3「農作物を育てよう」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。
		(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫する。	(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。	単元3 ものづくり②-3「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
		・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する。	・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現しようとしている。	単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。 (キーボード入力：ローマ字入力を学習する)
	(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。			
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程A） 職業・家庭科／職業分野 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年Ⅱ課程A		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知乃技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。(中学部職業分野2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中学部職業分野2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中学部職業分野2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	(知及技) ・働くことの目的などを理解する。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解する。 (思判表力) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考える。 (学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(知・技) ・働くことの目的などを理解しようとしている。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解しようとしている。 (思・判・表) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学ぶ。
				単元2 生物育成③-1「農作物を育てよう」 職場体験活動期間「あいさつ」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場で使うあいさつについて学ぶ。
				単元3 ものづくり③-1「身近にある材料を使用したものづくり」	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC、タブレットを利用して調べ学習等を行う。

2 学期	45	(知及技) ・職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解する。  ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解する。	(知・技) ・職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解しようとしている。  ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		(思判表力) ・職業生活に必要な健康管理について考える。	(思・判・表) ・職業生活に必要な健康管理について考えようとしている。	単元2 生物育成③-2「農作物を育てよう」  職場体験活動期間「健康管理・安全や衛生」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場での健康管理、安全や衛生について学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり③-2「身近にある材料を使用したものづくり」  販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
3 学期	30	(知及技) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付ける。 ・職業や進路に関わることについて調べて、理解する。	(知・技) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付けようとしている。 ・職業や進路に関わることについて調べて、理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		(思判表力) ・職業生活に必要な健康管理について考える。 ・職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する。	(思・判・表) ・職業生活に必要な健康管理について考えようとしている。 ・職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表しようとしている。	単元2 生物育成③-3「農作物を育てよう」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり③-3「身近にある材料を使用したものづくり」  販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。 (キーボード入力：ローマ字入力を学習する)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1年（Ⅱ課程A） 職業・家庭科／家庭分野 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年Ⅱ課程A		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力) 家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、日常生活において課題を解決する力を養う。(中2段階) (学・人) 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切に育む、よりよい関わり方について考え、表現することができる。(中2段階Aア(イ)) (学・人) よりよい家庭生活について自分なりの工夫を考えることができる。(中2段階Aア)	(知・技) 自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを理解できている。 (思・判・表) 家族とのやりとりを通して、家族を大切に育む、よりよい関わり方について考えている。 (主学) よりよい家庭生活について自分なりの工夫を考えようとしている。	単元1「自分の成長と家族」 ・自分を知る ・家族について	・自分データの整理。 ・家族紹介についての調べ学習。(家族へのインタビュー活動等)
		(知及技) 家庭における役割や地域との関わりについて調べて、理解することができる。(中2段階Aイ(ア)) (思判表力) 家庭生活に必要なことに関して、家族の一員として、自分の果たす役割を考え、表現することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人) 家庭の中で自分ができることを考え、実践しようことができる。(中2段階Aイ)	(知・技) 家庭における役割や地域との関わりについて知っている。 (思・判・表) 家庭生活に必要なことに関して、家族の一員として、自分の果たす役割を考えている。 (主学) 家庭の中で自分ができることを考え、実践しようとしている。	単元2「家庭生活と役割」 ・家庭の仕事 ・自分の役割	・家庭の仕事と家族の役割の整理。 ・家庭の仕事で自分の役割やできることを考える。 ・家族への感謝の気持ちを表現する。
2 学期	30	(知及技) 快適な住まい方や、安全について理解し、実践することができる。(中2段階Bオ(ア)) (思判表力) 季節の変化に合わせた快適な住まい方に気づき、工夫することができる。(中2段階Bオ(イ)) (学・人) 快適な住まい方について、自分なりの工夫を実践することができる。(中2段階Bオ)	(知・技) 快適な住まい方や、安全について理解している。 (思・判・表) 季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付いている。 (主学) 快適な住まい方について、自分なりの工夫を実践しようとしている。	単元6「快適な住まい方」 ・住まいの働き ・整理、整頓、清掃 ・防犯と災害対策	・住まいの働きについての整理。 ・整理、整頓の方法についての学習。 ・整理、整頓、清掃活動の実践。 ・家庭内の事故や防犯、災害等に関する対応方法についての調べ学習。
		(知及技) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解することができる。(中2段階Bア(ア)) (思判表力) 日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現することができる。(中2段階Bア(イ)) (学・人) 自分の食事内容の改善点を考え、実践しようすることができる。(中2段階Bア)	(知・技) 健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解している。 (思・判・表) 日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考慮することができる。 (主学) 自分の食事内容の改善点を実践しようとしている。	単元7「食事の役割」 ・健康と食事	・食事の役割について整理する。 ・自分の食事内容と改善点についての整理。
		(知及技) 身体に必要な栄養について関心をもち、理解し、実践することができる。(中2段階Bイ(ア)) (思判表力) バランスのとれた食事について気づき、献立などを工夫することができる。(中2段階Bイ(イ)) (学・人) バランスの良い食事をするために、自分なりの工夫をすることができる。(中2段階Bイ)	(知・技) 身体に必要な栄養について理解できている。 (思・判・表) バランスのとれた献立を考え、実践することができる。 (主学) バランスの良い食事をするために、自分なりの工夫をしようとしている。	単元8「栄養を考えた食事」 ・栄養素 ・栄養バランス ・伝統料理	・三大栄養素についての学習。 ・栄養バランスの良い食事についての学習。 ・食事のマナーについての学習。(校外学習含む) ・沖縄や各地域、他国の伝統料理についての調べ学習。
3 学期	20	(知及技) 調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切に行うことができる。(中2段階Bウ(ア)) (思判表力) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫することができる。(中2段階Bウ(イ)) (学・人) 調理計画の中で、自分のできることを考え、家庭で実践しようすることができる。(中2段階Bウ)	(知・技) 調理に必要な材料の分量や手順などについて理解している。 (思・判・表) 調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫しようとしている。 (主学) 調理計画の中で、自分のできることを考え、家庭で実践しようとしている。	単元9「調理の基礎」 ・調理計画 ・調理実習	・調理における、安全面、衛生面についての整理。 ・食品の保存方法についての調べ学習。 ・献立を考える。 ・調理手順、材料、調理計画の整理。 ・道具や材料の準備。(校外学習含む) ・調理実習の実践。
通 年		(知及技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決することができる。 (学・人) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようすることができる。	(知・技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決しようとしている。 (主学) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。	・校外学習(買い物学習、施設見学、調べ学習) ・衣服の手入れ ・被服実習 ・調理実習(行事食) ・住居の手入れ ・他学部の授業見学、交流学習	・学習内容を深めるために、校外学習や交流学習を行う。 ・学習内容の定着を図るために、継続的に被服実習や清掃活動の実践を行なう。
留意点 引継ぎ等		・週2単位 ・調理実習は、感染症の状況を見て実施し、感染症対策及び衛生対策を徹底する。 ・調理実習、被服実習等、実習の内容は生徒の実態に応じて設定する。			

令和8年度 中学部 2年Ⅱ(課程A) 職業・家庭科/家庭分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	2学年Ⅱ課程A		職業・家庭☆☆☆☆ 文部科学省 職業・家庭☆☆☆☆ 文部科学省

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、日常生活において課題を解決する力を養う。(中2段階) (学・人)家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技)自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) (思判表力)家族とのやりとりを通して、家族を大切に育み、よりよい関わり方について考え、表現することができる。(中2段階Aア(イ)) (学・人)よりよい家庭生活について自分なりの工夫を考えることができる。(中2段階Aア)	(知・技)自分の成長を振り返り、家庭生活の大切さを理解できている。 (思・判・表)家族とのやりとりを通して、家族を大切に育み、よりよい関わり方について考えている。 (主学)よりよい家庭生活について自分なりの工夫を考えようとしている。	単元1「自分の成長と家族」 ・自分を知る ・家族について	・自分データの整理。 ・家族紹介についての調べ学習。(家族へのインタビュー活動等)
		(知及技)家庭における役割や地域との関わりについて調べて、理解することができる。(中2段階Aイ(ア)) (思判表力)家庭生活に必要なことに関して、家族の一員として、自分の果たす役割を考え、表現することができる。(中2段階Aイ(イ)) (学・人)家庭の中で自分ができることを考え、実践しようすることができる。(中2段階Aイ)	(知・技)家庭における役割や地域との関わりについて知っている。 (思・判・表)家庭生活に必要なことに関して、家族の一員として、自分の果たす役割を考えている。 (主学)家庭の中で自分ができることを考え、実践しようとしている。	単元2「家庭生活と役割」 ・家庭の仕事 ・自分の役割	・家庭の仕事と家族の役割の整理。 ・家庭の仕事で自分の役割やできることを考える。 ・家族への感謝の気持ちを表現する。
		(知及技)健康管理や余暇の過ごし方について理解し、実践することができる。(中2段階Aウ(ア)) (思判表力)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現することができる。(中2段階Aウ(イ)) (学・人)健康な生活について自分なりに工夫しようすることができる。(中2段階Aウ)	(知・技)健康管理や余暇の過ごし方について理解している。 (思・判・表)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考えている。 (主学)健康な生活について自分なりに工夫しようとしている。	単元3「家庭生活における余暇」 ・健康な生活とは ・余暇とは ・余暇の過ごし方	・自分の生活リズムを整理する。 ・規則正しい生活について考える。 ・自分の生活リズムと規則正しい生活を比較して見直す。 ・余暇の過ごし方についての調べ学習。
		(知及技)地域生活や地域の活動について調べて、理解することができる。(中2段階Aエ(ア)) (思判表力)家族との触れ合いや地域生活に関心をもち、家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気付き、表現することができる。(中2段階Aエ(イ)) (学・人)地域の活動について、自分ができることを考え、実践しようすることができる。(中2段階Aエ)	(知・技)地域生活や地域の活動について理解している。 (思・判・表)家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気付くことができる。 (主学)地域の活動について、自分ができることを実践しようとしている。	単元4「家族や地域の人々との関わり」 ・地域調べ ・地域との関わり	・学校周辺の地域についての調べ学習。(校外学習含む) ・地域の働く人々へのインタビュー活動。(校外学習含む) ・地域の高齢者との交流。(校外学習含む)
		(知及技)幼児の特徴や過ごし方について知ることができる。(中1段階Aエ(ア)) (思判表力)幼児への適切な関わり方について気付き、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aエ(イ)) (学・人)幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えることができる。(中1段階Aエ)	(知・技)幼児の特徴や過ごし方について知っている。 (思・判・表)幼児への適切な関わり方について気付いている。 (主学)幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えようとしている。	単元5「幼児の生活と家族」 ・幼児の特徴や過ごし方 ・幼児との関わり方	・幼児の特徴や関わり方について整理する。 ・幼児との交流(校外学習、他学部との交流学习含む)
		(知及技)日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解し、実践することができる。(中2段階Bエ(ア)) (思判表力)日常着の快適な着方や手入れの仕方考え、工夫することができる。(中2段階Bエ(イ)) (学・人)日常着の手入れについて、自分なりの工夫を実践することができる。(中2段階Bエ)	(知・技)日常着の使い分けや手入れの仕方などについて知っている。 (思・判・表)日常着の快適な着方や手入れの仕方を考えている。 (主学)日常着の手入れについて、自分なりの工夫を実践しようとしている。	単元1「衣服の着用と手入れ」 ・衣服とは ・日常着の着方、身だしなみ ・衣服の選択と管理 ・日常着の使い分け ・衣服の手入れ	・衣服の種類についての整理。 ・日常着の着方や身だしなみについての整理。 ・目的、時期、場所に合った衣服についての整理。 ・行事服、和服、冠婚葬祭用の衣服等についての整理。 ・被服実習(洗濯、裁縫等)

2 学期	30	(知及技)快適な住まい方や、安全について理解し、実践することができる。(中2段階Bオ(ア)) (思判表力)季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付く、工夫することができる。(中2段階Bオ(イ)) (学・人)快適な住まい方について、自分なりの工夫を実践することができる。(中2段階Bオ)	(知・技)快適な住まい方や、安全について理解している。 (思・判・表)季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付いている。 (主学)快適な住まい方について、自分なりの工夫を実践しようとしている。	単元2「快適で安全な住まい方」 ・住まいの働き ・整理、整頓、清掃 ・防犯と災害対策	・住まいの働きについての整理。 ・整理、整頓の方法についての学習。 ・整理、整頓、清掃活動の実践。 ・家庭内の事故や防犯、災害等に関する対応方法についての調べ学習。
		(知及技)健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解することができる。(中2段階Bア(ア)) (思判表力)日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現することができる。(中2段階Bア(イ)) (学・人)自分の食事内容の改善点を考え、実践しようすることができる。(中2段階Bア)	(知・技)健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解している。 (思・判・表)日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現することができる。(中2段階Bア(イ)) (主学)自分の食事内容の改善点を実践しようとしている。	単元3「食事の役割」 ・健康と食事	・食事の役割について整理する。 ・自分の食事内容と改善点についての整理。
		(知及技)身体に必要な栄養について関心をもち、理解し、実践することができる。(中2段階Bイ(ア)) (思判表力)バランスのとれた食事について気付く、献立などを工夫することができる。(中2段階Bイ(イ)) (学・人)バランスの良い食事をするために、自分なりの工夫をすることができる。(中2段階Bイ)	(知・技)身体に必要な栄養について理解できている。 (思・判・表)バランスのとれた献立を考えることができる。 (主学)バランスの良い食事をするために、自分なりの工夫をしようとしている。	単元4「栄養を考えた食事」 ・栄養素 ・栄養バランス ・伝統料理	・三大栄養素についての学習。 ・栄養バランスの良い食事についての学習。 ・食事のマナーについての学習。(校外学習含む) ・沖縄や各地域、他国の伝統料理についての調べ学習。
		(知及技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切に行うことができる。(中2段階Bウ(ア)) (思判表力)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫することができる。(中2段階Bウ(イ)) (学・人)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようすることができる。(中2段階Bウ)	(知・技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解している。 (思・判・表)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫しようとしている。 (主学)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようとしている。	単元5「調理の基礎」 ・調理計画 ・調理実習	・調理における、安全面、衛生面についての整理。 ・食品の保存方法についての調べ学習。 ・献立を考える。 ・調理手順、材料、調理計画の整理。 ・道具や材料の準備。(校外学習含む) ・調理実習の実践。
3 学期	20	(知及技)生活に必要な物の選択や扱い方について理解し、実践することができる。(中2段階Cア(ア)) (思判表力)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすることができる。(中2段階Cア(イ)) (学・人)目的や予算に合った物の選び方について、自分なりに考えて買い物を実践することができる。(中2段階Cア)	(知・技)生活に必要な物の選択や扱い方について理解している。 (思・判・表)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすることができる。 (主学)目的や予算に合った物の選び方について、自分なりに考えて買い物を実践しようとしている。	単元1「身近な消費生活」 ・買い物の手順 ・買い物学習	・買い物の手順や方法についての整理。 ・品質や価格、予算等、目的に合った物の選び方についての学習。 ・買い物の実践。(校外学習を含む)
		(知及技)身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解し、実践することができる。(中2段階Cイ(ア)) (思判表力)身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えて、物の使い方などを工夫することができる。(中2段階Cイ(イ)) (学・人)環境に配慮した生活について、自分なりの意見を述べるすることができる。(中2段階Cイ)	(知・技)身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。 (思・判・表)身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えることができる。 (主学)環境に配慮した生活について、自分なりの意見を述べることができる。	単元2「環境に配慮した生活」 ・ゴミの分別 ・リサイクル	・ゴミの分別方法についての整理。 ・地域のゴミの分別方法についての調べ学習。 ・節電、節水等についての整理。 ・リサイクルについての調べ学習。(校外学習含む) ・リサイクルの実践(作品制作等)
通年		(知及技)生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)将来の家庭生活に必要な事柄を見だして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決することができる。 (学・人)よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようすることができる。	(知・技)生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)将来の家庭生活に必要な事柄を見だして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決しようとしている。 (主学)よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。	・校外学習(買い物学習、施設見学、調べ学習) ・衣服の手入れ ・住居の手入れ ・他学部の授業見学、交流学習 ・調理実習	・学習内容を深めるために、校外学習や交流学習を行う。 ・学習内容の定着を図るために、継続的に被服実習や清掃活動の実践を行なう。
留意点 引継ぎ等		週2単位 ・毎時の授業前後には、手洗い、手指の消毒、机上の消毒を行う。 ・調理実習は、衛生対策を徹底する。 ・調理実習、被服実習等、実習の内容は生徒の実態に応じて設定する。			

令和8年度 中学部 3年(Ⅱ課程A) 職業・家庭／家庭分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年Ⅱ課程A		職業・家庭☆☆☆☆

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中2段階) (思判表力)家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、日常生活において課題を解決する力を養う。(中2段階) (学・人)家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技)健康管理や余暇の過ごし方について理解し、実践することができる。(中2段階Aウ(ア)) (思判表力)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考え、表現することができる。(中2段階Aウ(イ)) (学・人)健康な生活について自分なりに工夫しようとする。(中2段階Aウ)	(知・技)健康管理や余暇の過ごし方について理解している。 (思・判・表)望ましい生活環境や健康管理及び自分に合った余暇の過ごし方について考えている。 (主学)健康な生活について自分なりに工夫しようとしている。	単元1「家庭生活における余暇」 ・健康な生活とは ・余暇とは ・余暇の過ごし方	・自分の生活リズムを整理する。 ・規則正しい生活について考える。 ・自分の生活リズムと規則正しい生活を比較して見直す。 ・余暇の過ごし方についての調べ学習。
		(知及技)地域生活や地域の活動について調べて、理解することができる。(中2段階Aエ(ア)) (思判表力)家族との触れ合いや地域生活に関心をもち、家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気付き、表現することができる。(中2段階Aエ(イ)) (学・人)地域の活動について、自分ができることを考え、実践しようとする。(中2段階Aエ)	(知・技)地域生活や地域の活動について理解している。 (思・判・表)家族や地域の人々と地域活動への関わりについて気付き、表現することができる。 (主学)地域の活動について、自分ができることを実践しようとしている。	単元2「家族や地域の人々との関わり」 ・地域調べ ・地域との関わり	・学校周辺の地域についての調べ学習。 ・地域の働く人々について調べ学習。 ・身近な高齢者との交流。
		(知及技)幼児の特徴や過ごし方について知ることができる。(中1段階Aエ(ア)) (思判表力)幼児への適切な関わり方について気付き、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aエ(イ)) (学・人)幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えることができる。(中1段階Aエ)	(知・技)幼児の特徴や過ごし方について知っている。 (思・判・表)幼児への適切な関わり方について気付き、それらを他者に伝えることができる。 (主学)幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えようとしている。	単元3「幼児の生活と家族」 ・幼児の特徴や過ごし方 ・幼児との関わり方	・幼児の特徴や関わり方について整理する。 ・幼児との交流(校外学習、他学部との交流学习含む)
		(知及技)生活に必要な物の選択や扱い方について理解し、実践することができる。(中2段階Cア(ア)) (思判表力)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすることができる。(中2段階Cア(イ)) (学・人)目的や予算に合った物の選び方について、自分なりに考えて買い物を実践することができる。(中2段階Cア)	(知・技)生活に必要な物の選択や扱い方について理解している。 (思・判・表)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすることができる。 (主学)目的や予算に合った物の選び方について、自分なりに考えて買い物を実践しようとしている。	単元4「身近な消費生活」 ・買い物の手順 ・買い物学習	・買い物の手順や方法についての整理。 ・品質や価格、予算等、目的に合った物の選び方についての学習。 ・買い物の実践。(校外学習を含む)
		(知及技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切に行うことができる。(中2段階Bウ(ア)) (思判表力)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫することができる。(中2段階Bウ(イ)) (学・人)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようとする。(中2段階Bウ)	(知・技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解している。 (思・判・表)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫しようとしている。 (主学)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようとしている。	単元5「調理の基礎」 ・調理計画 ・調理実習	・調理における、安全面、衛生面についての整理。 ・食品の保存方法についての調べ学習。 ・献立を考える。 ・調理手順、材料、調理計画の整理。 ・道具や材料の準備。(校外学習含む) ・調理実習の実践。
		(知及技)日常着の使い分けや手入れの仕方などについて理解し、実践することができる。(中2段階Bエ(ア)) (思判表力)日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫することができる。(中2段階Bエ(イ)) (学・人)日常着の手入れについて、自分なりの工夫を実践することができる。(中2段階Bエ)	(知・技)日常着の使い分けや手入れの仕方などについて知っている。 (思・判・表)日常着の快適な着方や手入れの仕方を考えている。 (主学)日常着の手入れについて、自分なりの工夫を実践しようとしている。	単元1「衣服の着用と手入れ」 ・衣服とは ・日常着の着方、身だしなみ ・衣服の選択と管理 ・日常着の使い分け ・衣服の手入れ	・衣服の種類についての整理。 ・日常着の着方や身だしなみについての整理。 ・目的、時期、場所に合った衣服についての整理。 ・行事服、和服、冠婚葬祭用の衣服等についての整理。 ・被服実習(洗濯、裁縫等)

2 学期	30	(知及技)快適な住まい方や、安全について理解し、実践することができる。 (中2段階Bオ(ア)) (思判表力)季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付き、工夫することができる。(中2段階Bオ(イ)) (学・人)快適な住まい方について、自分なりの工夫を実践することができる。(中2段階Bオ)	(知・技)快適な住まい方や、安全について理解している。 (思・判・表)季節の変化に合わせた快適な住まい方に気付いている。 (主学)快適な住まい方について、自分なりの工夫を実践しようとしている。	単元2「快適で安全な住まい方」 ・住まいの働き ・整理、整頓、清掃 ・防犯と災害対策 ・防災食について	・住まいの働きについての整理。 ・整理、整頓の方法についての学習。 ・整理、整頓、清掃活動の実践。 ・家庭内の事故や防犯、災害等に関する対応方法についての調べ学習。
		(知及技)健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解することができる。(中2段階Bア(ア)) (思判表力)日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現することができる。(中2段階Bア(イ)) (学・人)自分の食事内容の改善点を考え、実践しようとする。(中2段階Bア)	(知・技)健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解している。 (思・判・表)日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考慮することができる。 (主学)自分の食事内容の改善点を実践しようとしている。	単元3「食事の役割」 ・健康と食事	・食事の役割について整理する。 ・自分の食事内容と改善点についての整理。
		(知及技)身体に必要な栄養について関心をもち、理解し、実践することができる。(中2段階Bイ(ア)) (思判表力)バランスのとれた食事について気付き、献立などを工夫することができる。(中2段階Bイ(イ)) (学・人)バランスの良い食事をするために、自分なりの工夫をすることができる。(中2段階Bイ)	(知・技)身体に必要な栄養について理解できている。 (思・判・表)バランスのとれた献立を考慮することができる。 (主学)バランスの良い食事をするために、自分なりの工夫をしようとしている。	単元4「栄養を考えた食事」 ・栄養素 ・栄養バランス ・伝統料理等	・三大栄養素についての学習。 ・栄養バランスの良い食事についての学習。 ・食事のマナーについての学習。(校外学習含む) ・沖縄や各地域、他国の伝統料理についての調べ学習。
		(知及技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切に行うことができる。(中2段階Bウ(ア)) (思判表力)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫することができる。(中2段階Bウ(イ)) (学・人)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようとする。(中2段階Bウ)	(知・技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解している。 (思・判・表)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫しようとしている。 (主学)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようとしている。	単元5「調理の基礎」 ・調理計画 ・調理実習	・調理における、安全面、衛生面についての整理。 ・食品の保存方法についての調べ学習。 ・献立を考える。 ・調理手順、材料、調理計画の整理。 ・道具や材料の準備。(校外学習含む) ・調理実習の実践。 ・伝統料理の試食
3 学期	20	(知及技)身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解し、実践することができる。(中2段階Cイ(ア)) (思判表力)身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えて、物の使い方などを工夫することができる。(中2段階Cイ(イ)) (学・人)環境に配慮した生活について、自分なりの意見を述べる。(中2段階Cイ)	(知・技)身近な生活の中での環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。 (思・判・表)身近な生活の中で、環境との関わりや環境に配慮した生活について考えることができる。 (主学)環境に配慮した生活について、自分なりの意見を述べる。(中2段階Cイ)	単元1「環境に配慮した生活」 ・ゴミの分別 ・リサイクル	・ゴミの分別方法についての整理。 ・地域のゴミの分別方法についての調べ学習。 ・節電、節水等についての整理。 ・リサイクルについての調べ学習。(校外学習含む) ・リサイクルの実践(作品制作等)
		(知及技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解し、適切に行うことができる。(中2段階Bウ(ア)) (思判表力)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫することができる。(中2段階Bウ(イ)) (学・人)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようとする。(中2段階Bウ)	(知・技)調理に必要な材料の分量や手順などについて理解している。 (思・判・表)調理計画に沿って、調理の手順や仕方を工夫しようとしている。 (主学)調理計画の中で、自分でできることを考え、家庭で実践しようとしている。	単元5「調理の基礎」 ・調理計画 ・調理実習	・調理における、安全面、衛生面についての整理。 ・食品の保存方法についての調べ学習。 ・献立を考える。 ・調理手順、材料、調理計画の整理。 ・道具や材料の準備。(校外学習含む) ・調理実習の実践。 ・伝統料理の試食
通年		(知及技)生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力)将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決することができる。 (学・人)よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする。(中2段階Cイ)	(知・技)生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表)将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決しようとしている。 (主学)よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。	・校外学習(買い物学習、施設見学、調べ学習) ・衣服の手入れ ・住居の手入れ ・調理実習 ・他学部の授業見学、交流学習	・学習内容を深めるために、校外学習や交流学習を行う。 ・学習内容の定着を図るために、継続的に調理実習、被服実習、清掃活動の実践を行なう。
留意点 引継ぎ等		<ul style="list-style-type: none"> <li>調理実習は、感染症の状況を見て実施し、感染症対策及び衛生対策を徹底する。</li> <li>調理実習、被服実習等、実習の内容は生徒の実態に応じて設定する。</li> </ul>			

令和8年度 中学部 1年(Ⅱ課程A) 外国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	1学年 Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりすることができる。(中 英語の特徴等に関する事項ア)	(知・技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりしようとしている。	単元1「世界のあいさつを知ろう」 (中学校 言語の働きに関する事項ア)	・10カ国語での「こんにちは」を集めたHello Songをwarming-up songとして繰り返し聞く。 ・国旗とあいさつのマッチングを行う。
		(思判表力) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えることができる。(中 言語の働きに関する事項ア)	(思・判・表) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えようとしている。	単元2「自己紹介しよう」 (中学校 言語の働きに関する事項ア)	・NHK for Schoolの動画を見ながら、【Hello. I'm ○○. Nice to meet you.】を使って自己紹介する方法を学ぶ。 ・繰り返し発音練習をして、みんなの前で発表する。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「日付や曜日、天気を伝えよう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項ア)	・小学部で習った月、曜日、天気などの単語を、歌やダンス、絵カードマッチングなどを通して復習し、When is your birthday?の曲に合わせて、誕生日を伝える練習をする。 ・毎回の授業始めに日付、曜日、天気を確認する。
				単元4「アルファベットを書いてみよう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項ア)	・楽しく学習し習得できるように、英語の歌やダンスで繰り返し学習する。 ・教師がプリントを用意し、アルファベットのなぞりや模写を行う。
2 学期	30	(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりすることができる。(中 英語の特徴等に関する事項ア)	(知・技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりしようとしている。	単元1「夏の思い出や伝統文化・慣習を伝えよう」 (中学校 言語活動及び言語の働きに関する事項ア)	・絵カードや写真などを見ながら、夏休みの思い出や旧盆、祭り、浴衣など沖縄・日本の伝統文化及び慣習に関する英単語を学習する。 ・Yes/Noで分類し、Yesの内容を紹介したり、ビンゴゲームなどを楽しんだりする。
		(思判表力) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えることができる。(中 言語の働きに関する事項ア)	(思・判・表) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えようとしている。	単元2「数を伝えよう(1~20)」 (中学校 言語活動及び言語の働きに関する事項)	・楽しく学習し習得できるように、英語の歌から発音を繰り返し聞く。 ・玉入れやボウリングなどのゲームを通じて、数を数える活動を行う。 ・自分の年齢を言う練習をする。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「好きなものを伝えよう」 (中学校 言語活動及び言語の働きに関する事項)	・動画やスライド視聴を通して、動物、色、食べ物、教科など、生徒が興味を持ちそうなジャンルの英単語を学ぶ。 ・【Hello. I'm ○○. I like □□.】を使い、繰り返し発音練習をして、みんなの前で発表する。
				単元4「欲しいものを伝えよう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項ア)	・動画やスライド視聴を通して、おもちゃ、学用品、お菓子など、生徒が興味を持ちそうなジャンルの英単語を学ぶ。 ・【Hello. I'm ○○. I want □□ (for my birthday/Christmas).】を使い、繰り返し発音練習をして、みんなの前で発表する。
				単元5「外国の文化を体験しよう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項イ)	・ハロウィンやクリスマスについて、動画やALTなどを活用し、日本との違いを学ぶ。 ・実際に仮装や、お菓子をもらう体験をする。また、友達や先生にクリスマスカードを作成して送る。
		(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりすることができる。(中 英語の特徴等に関する事項ア)	(知・技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりしようとしている。	単元1「冬の思い出や伝統文化・慣習を伝えよう」 (中学校 言語の働きに関する事項イ)	・絵カードや写真などを見ながら、冬休みの思い出や年越しそば、お年玉、初詣など沖縄・日本の伝統文化及び慣習に関する英単語を学習する。 ・Yes/Noで分類し、Yesの内容を紹介したり、ビンゴゲームなどを楽しんだりする。
		(思判表力) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えようとしている。	(思・判・表) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えようとしている。		

3 学期	20	<p>使って、自分のことを伝えることができる。(中 言語の働きに関する事項ア)</p> <p>(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。</p>	<p>ようとしている。</p> <p>(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。</p>	<p>単元2「人やものを紹介しよう」【 This is ~】(中学校 言語活動及び言語の働きに関する事項)</p> <p>単元3「学習した英語表現を使って会話を楽しもう」(中学校 言語活動及び言語の働きに関する事項)</p>	<p>・動画やスライド視聴を通して、roomやgymなどの場所や建物を表す名詞や、studyやplayなどの動詞を学ぶ。</p> <p>・【This is a ○○.I study □□ here.】や【This is (人名). She/He is my □□ teacher.】を使い、繰り返し発音練習をする。写真などを見せながら、みんなの前で発表する。</p> <p>・これまで習った英語表現を基に、【Do you like~? / How about you? / What ○○ do you like~?】などの質問文を使い、クラスメートと英語で会話を行う。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 2年(Ⅱ課程A) 外国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
70	2学年 Ⅱ課程A				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (学・人)外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりすることができる。  (思判表力) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えることができる。  (学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(知・技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しもうとしている。  (思・判・表) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えようとしている。  (主学) 外国の言語や文化を学ぼうとすしている。	単元1「自己紹介をしよう」 (中学校 言語の働きに関する事項イ)	これまでに学習した表現「I like ~」「My birthday is ~」「My name is ~」「This is ~」などの英語表現を使って、自分のことを相手に紹介する。 ・ICT機器等を活用し、生徒が視覚的に理解しやすいように工夫したり、自己表現したりしやすいようにする。
				単元2「アルファベットを書こう」 (言語活動に関する事項ア、エ(ア))	・簡単に身近な英単語や自分の名前(ローマ字も含む)などをなぞりを繰り返し練習する。 ・アルファベットビンゴや文字探しゲーム、チャンツなどを取り入れ、音と文字を結び付けられるよう指導する。また、文字の形を理解できる教材を用意する。
				単元3「数を伝えよう(1~31)」 (中学校 英語の特徴等に関する事項ア)	・楽しく学習し習得できるように、英語の歌から発音を繰り返し聞く。 ・買い物ごっこや数を使ったゲームを通じて、数を数える活動を行う。 ・自分の年齢や日付などを言う練習をする。
				単元4「世界の国々を知ろう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項イ(ア))	・ICT機器等を活用し、自分の興味のある国の文化について調べたり、相手に伝えたりする。 ・世界のあいさつソングやダンスなどを通して、生徒が楽しく学習できるよう工夫する。
2 学期	30	(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりすることができる。  (思判表力) 簡単な英語表現を使って、自分のことを伝えることができる。  (学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(知・技) 簡単に身近な文字を書いたり、声に出そうとしている。  (思・判・表) 簡単な英語で体調を伝えたり、好きなものを発表しようとしている。  (主学) 簡単な英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	単元1「夏の思い出や伝統文化・慣習を伝えよう」 (中学校 言語の働きに関する事項ア)	・絵カードや写真などを見ながら、夏休みの思い出や旧盆、祭り、浴衣など沖繩・日本の伝統文化・慣習に関する英単語を学習する。 ・Yes/Noで分類し、Yesの内容を紹介したり、ビンゴゲームなどを楽しんだりする。
				単元2「好きなものを伝え合おう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項(2)イ)	【What do you like?】などの英語表現を使って、自分の好きなことやお気に入り写真を写真や動画を使って紹介したり、ペア活動で相手に訊いたりする。 ・ICT機器等を効果的に活用し、教師は生徒が視覚的に理解しやすいように工夫する。
				単元3「時間を伝えよう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項ア)	・時間の概念が難しい生徒にも分かるよう、「What's time is it?」などの歌やジェスチャーで「時刻のイメージ」をつかむ活動をする。また、「It~」を使って時刻を英語で言うように練習する。
				単元4「学校生活を紹介しよう」 (中学校 英語の特徴等に関する事項(2)ア)	・生徒が、普段の学校生活や行事を写真やイラストで振り返りながら、「This is ~.」を用いて学校生活を紹介する活動を行う。 ICT機器を活用し、視覚的にわかりやすく提示することで、生徒の理解を促す。
				単元5「外国の文化を体験しよう(ハロウィン・クリスマス)」 (中学校 英語の特徴等に関する事項イ)	・ハロウィンやクリスマスについて、動画やALTなどを活用し、日本との違いを学ぶ。 ・実際に仮装や、お菓子をもらって体験をする。また、友達や先生にクリスマスカードを作成して送る。
		(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出したり、文字に慣れ親しんだりすることができる。 (思判表力) 簡単な英語表現を使って、自	(知・技) 簡単に身近な文字を書いたり、声に出そうとしている。 (思・判・表) 簡単な英語で体調を伝えたり、好きなものを発表しよう	単元1「冬の思い出や伝統文化・慣習を伝えよう」 (中学校 言語の働きに関する事項イ)	・絵カードや写真などを見ながら、冬休みの思い出や年越しそば、お年玉、初詣など沖繩・日本の伝統文化・慣習に関する英単語を学習する。 ・Yes/Noで分類し、Yesの内容を紹介したり、ビンゴゲームなどを楽しんだりする。

3 学期	20	<p>自分のことを伝えることができる。 (学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。</p>	<p>としている。 (主学) 簡単な英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>単元2「人やものを紹介しよう」 (中学校 言語活動及び言語の働きに関する事項)</p> <p>単元3「学習した英語表現を使って会話を楽しもう」 (中学校 言語活動及び言語の働きに関する事項)</p>	<p>・「This is～」「He is/She is」などの英語表現を使い、友達や家族、好きな芸能人などを紹介する練習をする。 ・発表する際には、写真を使って、相手に見せながら紹介する。</p> <p>・これまでに学習してきた英語表現や身近な英単語などを確認し、自己表現活動を行う。 ・ICT機器や絵カードなどを活用し、生徒が視覚的に理解しやすいよう工夫する。 ・英語の音と文字が一致できるよう、発音練習をしたり、書く活動を設けたりする。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程A） 外国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年 Ⅱ課程A		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出だしたり、文字に慣れ親しんだりすることができる。  (思判表力) 簡単に英語表現を使って、自分のことを伝えることができる。  (学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(知・技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出だしたり、文字に慣れ親しもうとしている。  (思・判・表) 簡単に英語表現を使って、自分のことを伝えようとしている。  (主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元1「自分や他者のことを伝えよう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・「I like ～」「This is ～」「He/She is ～」などの英語表現を使って、自分のことや身近な人を紹介する。 ・ICT機器等を効果的に活用し、生徒が視覚的に理解しやすいように工夫する。
				単元2「アルファベットを書こう」 (中学校 言語活動に関する事項工)	・簡単に身近な英単語や自分の名前（ローマ字も含む）などを書けるように繰り返し練習する。 ・チャッツでの指導なども交えながら、音と文字が一致できるように指導する。
				単元3「自分のできることを紹介しよう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・「I can ～」「I'm good at ～」等の英語表現を使って、自分のできることや得意なことを紹介したり、書く活動を設けたりする。 ・生徒の英語表現に合わせた一般動詞の指導も行う。
				単元4「世界の国々を知ろう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・世界の食文化などに触れながら、生徒にとって身近な異文化を学習する。 ・世界のあいさつソングやダンスなどを通して、生徒が楽しく学習できるよう工夫する。
2 学期	30	(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出だしたり、文字に慣れ親しんだりすることができる。  (思判表力) 簡単に英語表現を使って、自分のことを伝えることができる。  (学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(知・技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出だしたり、文字に慣れ親しもうとしている。  (思・判・表) 簡単に英語表現を使って、自分のことを伝えようとしている。  (主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元1 「夏の思い出や伝統文化・慣習を伝えよう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・絵カードや写真などを見ながら、夏休みの思い出や旧盆、祭り、浴衣など沖縄・日本の伝統文化及び慣習に関する英単語を学習する。 ・パワーポイントや発表用のワークシートなどを作成し、夏休みの思い出を発表する。
				単元2「好きなものを伝えよう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・「I like」「My favorite ～」などの英語表現を使って、自分の好きなことやお気に入りのを紹介したり、書く活動を設けたりする。 ・ICT機器等を効果的に活用し、生徒が視覚的に理解しやすいように工夫する。
				単元3「時間を伝えよう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・教科の時間割を活用し、「I study ○○ at ～」などの時間を表す英文の表現を学習する。あわせて、朝・夜、午前・午後などの時間帯の概念を確認しながら指導を進める。
				単元4「日常生活を伝えよう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・自宅や学校での過ごし方を確認し、起床・就寝時間や余暇に楽しんでいる活動について紹介する。また、「I get up at ～」「I go to bed at ～」「I enjoy ～」などの肯定文を導入し、日常の行動を英語で表現する。
				単元5「外国の文化を体験しよう」 (中学校 言語の動きに関する事項ア)	・ハロウィンやクリスマスなど、異文化理解を促す。ハロウィンでは、仮装やお菓子をもちょう体験をし、クリスマスでは、友人とのクリスマスカード交換を行うために、カード作成を行う。
		(知及技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出だしたり、文字に慣れ親しんだりすることができる。  (思判表力) 簡単に英語表現を使って、自分	(知・技) 簡単に身近な英語を聞いて声に出だしたり、文字に慣れ親しもうとしている。  (思・判・表) 簡単に英語表現を使って、自分	単元1 「冬の思い出や伝統文化・慣習を伝えよう」 (中学校 言語の動きに関する事項イ)	・絵カードや写真などを見ながら、冬休みの思い出や年越しそば、お年玉、初詣など沖縄・日本の伝統文化及び慣習に関する英単語を学習する。 ・冬休みの出来事を振り返りつつ、食べたものや訪れた場所等を英語で伝える。

3 学期	20	<p>のことを伝えることができる。</p> <p>(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。</p>	<p>のことを伝えようとしている。</p> <p>(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。</p>	<p>単元2「将来の夢を伝えよう」 (中学校 言語の働きの に関する事項ア)</p> <p>単元3「3年間の学習を ふりかえろう」 (中学校 言語の働きの に関する事項ア)</p>	<p>・「I want to be a ～」「My dream is ～」などの英語表現を用いて、自分の将来の夢やなりたい人物について紹介したり、書く活動を設けたりする。 ・職業に関する英単語も確認し、生徒がイメージしやすいよう工夫して学習を進める。</p> <p>・これまでに学習してきた英語表現や身近な英単語などを確認し、自己表現活動を行う。 ・ICT機器や絵カードなどを活用し、生徒が視覚的に理解しやすいよう工夫する。 ・英語の音と文字が一致できるよう、発音練習をしたり、書く活動を設けたりする。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1年（Ⅱ課程A・B） 特別の教科道徳 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学部1年Ⅱ課程A・B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解に基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	内容項目	指導方法 支援の手立て
1 学期	2	・先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることができる。	・進級や学年開き等を通して、先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 よりよい学校生活、集団生活の充実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることができる。	・新たな学級での生活等を通して、約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 規則の尊重	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活することができる。	・身近な教師や友達との関わり等を通して、うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活することについて学ぶ。	【自分自身】 正直、誠実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることができる。	・友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることについて学ぶ。	【人との関わり】 親切、思いやり	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・友達と仲よくし、助け合うことができる。	・教師や友達との学習や遊び等を通して、友達と仲よくし、助け合うことについて学ぶ。	【人との関わり】 友情、信頼	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・母の日に向けての学習を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることができる。	・慰霊の日に向けての学習等を通して、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なものとの関わり】 生命の尊さ	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することができる。	・暑中見舞いの作成等を通して、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することについて学ぶ。	【人との関わり】 礼儀	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・自分の特徴に気付くことができる。	・前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、自分の特徴に気付くことについて学ぶ。	【自分自身】 個性の伸長	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うことができる。	・課題学習や係活動、生徒会活動等を通して、自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うことについて学ぶ。	【自分自身】 希望と勇気/努力と強い意志	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・敬老の日に向けた学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことができる。	・敬老の日に向けた学習等を通して、父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 家族愛、家庭生活の充実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・異性の特性や違いを受け止め、相手を理解しながら、人間関係を築いていけるような態度を養うことができる。	・校外学習等に向けた学習等を通して、友達と仲よくし、助け合うことについて学ぶ。	【人との関わり】 友情、信頼	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接することができる。	・校外学習等に向けた学習等を通して、自分の好き嫌いとらわれないで接することについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 公正、公平、社会正義	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話

2 学期	1	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することができる。	・校外学習等を通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なもの の関わり】 自然愛護	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつことができる。	・校外学習等を通して、美しいものに触れ、すがすがしい心をもつことについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なもの の関わり】 感動、畏敬の念	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・勤労感謝の日に向けた学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・他国の人々や文化に親しむことができる。	・ハロウィンやクリスマス等に関する学習を通して、他国の人々や文化に親しむことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 国際理解、国際親善	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・働くことのよさを知り、みんなのために働くことができる。	・年末の大掃除等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 勤労、公共の精神	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
3 学期	1	・我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことができる。	・年賀状や新年の挨拶、書き初め等の正月についての学習を通して、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活を送ることができる。	・節分や豆まきについての学習等を通して、健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活を送ることについて学ぶ。	【自分自身】 節度、節制	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・よいことができると悪いことができるとの区別をし、よいと思うことを進んで行うことができる。	・教科書「ネット障害」についての学習等を通して、よいと悪いとの区別をし、よいと思うことを進んで行うことについて学ぶ。	【自分自身】 善悪の判断/自律、自由と責任	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・自分の特徴に気付くことができる。	・1年間の振り返りや卒業に向けての学習等を通して、自分の特徴に気付くことについて学ぶ。	【自分自身】 個性の伸長	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・1年間の振り返りや卒業に向けての学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
留意点 引継ぎ等						

令和8年度 中学部 2年（Ⅱ課程A・B） 特別の教科道徳 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学部2年Ⅱ課程A・B		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解に基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	内容項目	指導方法 支援の手立て
1 学期	2	・先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることができる。	・進級や学年開き等を通して、先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 よりよい学校生活、集団生活の充実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることができる。	・新たな学級での生活等を通して、約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 規則の尊重	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活することができる。	・身近な教師や友達との関わり等を通して、うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活することについて学ぶ。	【自分自身】 正直、誠実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることができる。	・友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることについて学ぶ。	【人との関わり】 親切、思いやり	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・友達と仲よくし、助け合うことができる。	・教師や友達との学習や遊び等を通して、友達と仲よくし、助け合うことについて学ぶ。	【人との関わり】 友情、信頼	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・母の日に向けての学習を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることができる。	・慰霊の日に向けての学習等を通して、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なものとの関わり】 生命の尊さ	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
2	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することができる。	・暑中見舞いの作成等を通して、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することについて学ぶ。	【人との関わり】 礼儀	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	
	1	・自分の特徴に気付くことができる。	・前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、自分の特徴に気付くことについて学ぶ。	【自分自身】 個性の伸長	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うことができる。	・課題学習や係活動、生徒会活動等を通して、自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うことについて学ぶ。	【自分自身】 希望と勇気/努力と強い意志	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・敬老の日に向けた学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことができる。	・敬老の日に向けた学習等を通して、父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 家族愛、家庭生活の充実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・異性の特性や違いを受け止め、相手を理解しながら、人間関係を築いていけるような態度を養うことができる。	・友達と仲よくし、助け合うことについて学ぶ。	【人との関わり】 友情、信頼	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接することができる。	・自分の好き嫌いとらわれないで接することについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 公正、公平、社会正義	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話

2 学期	1	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することができる。	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なものとの関わり】 自然愛護	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつことができる。	・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつことについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なものとの関わり】 感動、畏敬の念	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・勤労感謝の日に向けた学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・他国の人々や文化に親しむことができる。	・ハロウィンやクリスマス等に関する学習を通して、他国の人々や文化に親しむことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 国際理解、国際親善	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・働くことのよさを知り、みんなのために働くことができる。	・年末の大掃除等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 勤労、公共の精神	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
3 学期	1	・我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことができる。	・年賀状や新年の挨拶、書き初め等の正月についての学習を通して、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活を送ることができる。	・節分や豆まきについての学習等を通して、健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活を送ることについて学ぶ。	【自分自身】 節度、節制	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・よいことができると悪いことができるとの区別をし、よいと思うことを進んで行うことができる。	・教科書「ネット将棋」についての学習等を通して、よいと悪いとの区別をし、よいと思うことを進んで行うことについて学ぶ。	【自分自身】 善悪の判断/自律、自由と責任	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・自分の特徴に気付くことができる。	・1年間の振り返りや卒業に向けての学習等を通して、自分の特徴に気付くことについて学ぶ。	【自分自身】 個性の伸長	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・1年間の振り返りや卒業に向けての学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
留意点 引継ぎ等						

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程A・B） 特別の教科道徳 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学部3年Ⅱ課程A・B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解に基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	内容項目	指導方法 支援の手立て
1 学期	2	・先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることができる。	・進級や学年開き等を通して、先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすることについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 よりよい学校生活、集団生活の充実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることができる。	・新たな学級での生活等を通して、約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 規則の尊重	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活することができる。	・身近な教師や友達との関わり等を通して、うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活することについて学ぶ。	【自分自身】 正直、誠実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることができる。	・友達との関わりや教師の手伝い等を通して、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることについて学ぶ。	【人との関わり】 親切、思いやり	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・友達と仲よくし、助け合うことができる。	・教師や友達との学習や遊び等を通して、友達と仲よくし、助け合うことについて学ぶ。	【人との関わり】 友情、信頼	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・母の日に向けての学習を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることができる。	・慰霊の日に向けての学習等を通して、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なものとの関わり】 生命の尊さ	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することができる。	・暑中見舞いの作成等を通して、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することについて学ぶ。	【人との関わり】 礼儀	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・自分の特徴に気付くことができる。	・前学期の振り返りや新学期の目標づくり等を通して、自分の特徴に気付くことについて学ぶ。	【自分自身】 個性の伸長	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うことができる。	・課題学習や係活動、生徒会活動等を通して、自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うことについて学ぶ。	【自分自身】 希望と勇気/努力と強い意志	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・敬老の日に向けた学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことができる。	・敬老の日に向けた学習等を通して、父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 家族愛、家庭生活の充実	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	1	・異性の特性や違いを受け止め、相手を理解しながら、人間関係を築いていけるような態度を養うことができる。	・修学旅行に向けた学習等を通して、友達と仲よくし、助け合うことについて学ぶ。	【人との関わり】 友情、信頼	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話
	2	・誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接することができる。	・修学旅行に向けた学習等を通して、自分の好き嫌いとらわれないで接することについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 公正、公平、社会正義	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話

2 学期	1	・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することができる。	・校外学習や修学旅行等を通して、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なもの の関わり】 自然愛護	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・美しいものに触れ、すがすがしい心をもつことができる。	・校外学習や修学旅行等を通して、美しいものに触れ、すがすがしい心をもつことについて学ぶ。	【生命や自然、崇高なもの の関わり】 感動、畏敬の念	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・勤労感謝の日に向けた学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・他国の人々や文化に親しむことができる。	・ハロウィンやクリスマス等に関する学習を通して、他国の人々や文化に親しむことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 国際理解、国際親善	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・働くことのよさを知り、みんなのために働くことができる。	・年末の大掃除等を通して、働くことのよさを知り、みんなのために働くことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 勤労、公共の精神	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
3 学期	1	・我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことができる。	・年賀状や新年の挨拶、書き初め等の正月についての学習を通して、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことについて学ぶ。	【集団や社会との関わり】 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活を送ることができる。	・節分や豆まきについての学習等を通して、健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活を送ることについて学ぶ。	【自分自身】 節度、節制	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	2	・よいことができると悪いことができるとの区別をし、よいと思うことを進んで行うことができる。	・教科書「ネット将棋」についての学習等を通して、よいと悪いとの区別をし、よいと思うことを進んで行うことについて学ぶ。	【自分自身】 善悪の判断/自律、自由と責任	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・自分の特徴に気付くことができる。	・1年間の振り返りや卒業に向けての学習等を通して、自分の特徴に気付くことについて学ぶ。	【自分自身】 個性の伸長	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
	1	・家族など日頃世話になっている人々に感謝することができる。	・1年間の振り返りや卒業に向けての学習等を通して、家族など日頃世話になっている人々に感謝することについて学ぶ。	【人との関わり】 感謝	1 資料提示 3 話し合い 5 表現活動 7 説話	2 発問 4 書く活動 6 板書
留意点 引継ぎ等						

令和8年度 中学部 1年 ( II課程A・B ) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学1年生		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養うことができる。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	<p>(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことをみいだすことができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。</p> <p>(学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。</p>	<p>(知・技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことをみいだしている。</p> <p>(思・判・表) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。</p> <p>(主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分について考えよう</li> <li>1年間の目標を立てよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。</li> <li>生徒が将来の自己イメージ(高等部の自分や将来働く姿等)を描けるよう、自己理解や自己探求を促す活動を取り入れる。</li> </ul>
	4	<p>(知及技) 沖繩戦について調べ、戦時中の人々の生活や被害の様子を知り平和や命の尊さを知ることができる。</p> <p>(思判表力) 沖繩戦について調べた事や平和や命の大切について感じた事について発表することができる。</p> <p>(学・人) 意欲的に学習に取り組むとともに、身近な平和のために自分にできることを考えることができる。</p>	<p>(知・技) 沖繩戦について調べ、戦時中の人々の生活や被害の様子を知り平和や命の尊さを知っている。</p> <p>(思・判・表) 沖繩戦について調べた事や平和や命の大切について感じた事について発表している。</p> <p>(主学) 意欲的に学習に取り組むとともに、身近な平和のために自分にできることを考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和学習</li> <li>調べ学習</li> <li>校外学習 (平和記念公園)</li> <li>発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖繩戦に関して、調べ学習、グループ発表を行う。</li> <li>戦争に関する掲示物や平和の歌なども取り入れながら、生徒の実態に応じた活動を行う。</li> <li>校外学習を通して、理解を深める</li> </ul>
	4	<p>(知及技) SDGsについて知ることができる。環境を守るための方法を知ることができる。</p> <p>(思判表力) SDGsについて学んだ事や、環境について感じた事について発表することができる。</p> <p>(学・人) 意欲的に学習に取り組むとともに、身近な環境保全のために自分にできることを考えることができる。</p>	<p>(知・技) SDGsについて知っている。環境を守るための方法を知っている。</p> <p>(思・判・表) SDGsについて学んだ事や、環境について感じた事について発表している。</p> <p>(主学) 意欲的に学習に取り組むとともに、身近な環境保全のために自分にできることを考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs</li> <li>SDGsについて</li> <li>環境保全について</li> <li>発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsや環境保全に関して、調べ学習、グループ発表を行う。</li> <li>身近な環境保全について取り上げ、生徒が関心を持てるような工夫をする。</li> </ul>
	7	<p>(知及技) 他校の生徒と活動を共にし、お互いを尊重しあう大切さについて理解することができる。</p> <p>(思判表力) 障害の有無に関わらず相互理解を深め、好ましい人間関係が築くことができる。</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に他校の生徒と活動を行おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 他校の生徒と活動を共にし、お互いを尊重しあう大切さについて理解している。</p> <p>(思・判・表) 障害の有無に関わらず相互理解を深め、好ましい人間関係が築いている。</p> <p>(主学) 主体的・協働的に他校の生徒と活動を行おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学習</li> <li>具志頭中学校との交流及び共同学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動を通して、他校の生徒と交流する。</li> <li>相互理解をしながら交流したことを振り返り、お礼の手紙を作成する。</li> </ul>

2 学 期	<p>(知及技) さまざまな職種や職業生活及び自己の進路について関心を持つことができる。 見学や体験を通して、将来の自分の姿や生き方をイメージすることができる。 (思判表力) 見学や体験を振り返り、考えたことや感じたことを発表することができる。 (学・人) 学習を通して、将来の自分の姿を思い描こうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) さまざまな職種や職業生活及び自己の進路について関心を持っている 見学や体験を通して、将来の自分の姿や生き方をイメージしている。 (思・判・表) 見学や体験を振り返り、考えたことや感じたことを発表している。 (主学) 将来の自分の姿を思い描こうとしている。</p>	<p>進路学習 ・調べ学習 ・発表会 ・進路講話 ・校外学習</p>	<p>・様々な職種や職業生活に関する調べ学習に取り組む。 ・調べ学習での取り組みを発表会にて発表する。 ・進路講話を通して、生徒が将来の自分について考えることができるよう促す。 ・校外学習を通して自己の進路や職業観を広げる。</p>
3 学 期	<p>(知及技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付くことができる。 (思判表力) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えることができる。 (学・人) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かすことができる。</p>	<p>(知・技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付いている。 (思・判・表) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えていく。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとしている。</p>	<p>・自分の思いや考えを発信しよう ・進級前に自分にできることを考えよう(進級に向けて、奉仕活動などを行う)</p>	<p>・進級の前に、自分自身ができること(奉仕活動、清掃活動等)に取り組む。</p>
	<p>(知及技)自己の成長や課題を振り返ることの大切さを理解し、自己評価ができる。 (思判表力)1年間で成長したこと・できるようになったこと等を考え、整理して、表現できる。 (学・人)自他のよさを生かしながら、主体的・協働的に取り組み、学習したことを自己の形成に生かすことができる。</p>	<p>(知・技)自己の成長や課題を振り返ることが、自己実現していくために大切であることを理解し、自己評価しようとする。 (思・判・表)1年間で成長したこと、できるようになったこと等を考え、1年前の自分と比較する等して振り返り、表現しようとする。 (主学)自他の成長を見つけ、主体的・協働的に伝え認め合う等して、自己のよさを生かしながら取り組もうとする。</p>	<p>修了を迎えて</p>	<p>・キャリアパスポートを活用しながら、前年度の自分を思い起こす等して自身の姿や成長を振り返る。 ・自分や友だちの考えたことや成長したことから、自己のよさや課題、なりたい自分になるために必要なこと等、今後の目標を考える。ワークシートや学習成果の写真や作品等を自己選択しながら表現する。 ・自他のよさや考えたこと等を伝え認め合い、進級する自分や将来に向けた自己イメージを描く。</p>
	<p>留意点 引継ぎ等</p>			

令和8年度 中学部 2年 ( II課程A・B ) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
35	2年 II課程A、II課程B		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養うことができる。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	<p>(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことをみだすことができる。</p> <p>(思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。</p> <p>(学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。</p>	<p>(知・技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことをみだしている。</p> <p>(思・判・表) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。</p> <p>(主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分について考えよう</li> <li>・1年間の目標を立てよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。</li> <li>・1年間の目標を考え、発表する。</li> </ul>
	8	<p>(知及技) 見学先について理解を深めることができる。集団行動の大切さや公共施設、公共交通機関の利用方法やマナーについて理解することができる。</p> <p>(思判表力) 校外学習等を通して、体験、学び、感じたことを他者へ伝えることができる。</p> <p>(学・人) 校外学習について関心を持ち、主体的に楽しく活動しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 地域文化等について理解を深めている。集団行動の大切さや公共施設、公共交通機関の利用方法やマナーについて理解している。</p> <p>(思・判・表) 校外学習等を通して、体験、学び、感じたことを他者へ伝えている。</p> <p>(主学) 校外学習について関心を持ち、主体的に楽しい活動しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習</li> <li>・調べ学習</li> <li>・発表会</li> <li>・報告会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動の大切さや公共施設、公共交通機関の利用方法やマナーについての調べ学習を行う。</li> <li>・見学先についての調べ学習を行う。</li> <li>・校外学習で体験、学び、感じたことを報告会で発表する。</li> </ul>
2 学期	7	<p>(知及技) 他校の生徒と活動を共にし、お互いを尊重しあう大切さについて理解することができる。</p> <p>(思判表力) 障害の有無に関わらず相互理解を深め、好ましい人間関係が築くことができる。</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に他校の生徒と活動を行おうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 他校の生徒と活動を共にし、お互いを尊重しあう大切さについて理解している。</p> <p>(思・判・表) 障害の有無に関わらず相互理解を深め、好ましい人間関係が築いている。</p> <p>(主学) 主体的・協働的に他校の生徒と活動を行おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学習</li> <li>・具志頭中学校との交流及び共同学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動をしながらか、他校の生徒と交流する。</li> <li>・相互理解をしながらか交流したことを振り返り、お礼の手紙を作成する。</li> </ul>
	8	<p>(知及技) さまざまな職種や職業生活及び自己の進路について関心を持つことができる。</p> <p>見学や体験を通して、見聞を広げ、将来の自分の姿や生き方をイメージすることができる。</p> <p>(思判表力) 見学や体験を振り返り、考えたことや感じたことを発表することができる。</p> <p>(学・人) 学習を通して、将来の自分の姿を思い描こうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) さまざまな職種や職業生活及び自己の進路について関心を持っている。</p> <p>(思・判・表) 見学や体験を通して、将来の自分の姿や生き方をイメージしている。</p> <p>(主学) 見学や体験を振り返り、考えたことや感じたことを発表している。</p> <p>(主学) 将来の自分の姿を思い描こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習</li> <li>・調べ学習</li> <li>・発表会</li> <li>・進路講話</li> <li>・校外学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな職種や職業生活に関する調べ学習に取り組む。</li> <li>・調べ学習での取り組みを発表会にて発表する。</li> <li>・進路講話</li> <li>・校外学習を通して自己の進路や職業観を広げる。</li> <li>・校外学習を通して社会的見聞を広げ、社会への関心を高める。</li> </ul>

3 学 期	5	(知及技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付くことができる (思判表力) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えることができる。 (学・人) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かすことができる。	(知・技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付いている。 (思・判・表) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えている。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとしている。	・自分の思いや考えを発信しよう ・進級を前に自分にできることを考えよう（進級に向けて、奉仕活動などを行う）	・進級を前に、自分自身ができること（奉仕活動、清掃活動等）に取り組む。
	5	(知及技)自己の成長や課題を振り返ることの大切さを理解し、自己評価ができる。 (思判表力)1年間で成長したこと・できるようになったこと等を考え、整理して、表現できる。 (学・人)自他のよさを生かしながら、主体的・協働的に取り組み、学習したことを自己の形成に生かすことができる。	(知・技)自己の成長や課題を振り返ることが、自己実現していくために大切なことと理解し、自己評価しようとする。 (思・判・表)1年間で成長したこと、できるようになったこと等を考え、1年前の自分と比較する等して振り返り、表現しようとする。 (主学)自他の成長を見つけ、主体的・協働的に伝え認め合う等して、自己のよさを生かしながら取り組もうとする。	修了を迎えて	・キャリアパスポートを活用しながら、前年度の自分を思い起こす等して自身の姿や成長を振り返る。 ・自分や友だちの考えたことや成長したことから、自己のよさや課題、なりたい自分になるために必要なこと等、今後の目標を考える。ワークシートや学習成果の写真や作品等を自己選択しながら表現する。 ・自他のよさや考えたこと等を伝え認め合い、進級する自分のイメージを持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 中学部 3年 (Ⅱ課程A・B) 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学部3年		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解することができる。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことをみだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。	(知・技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことをみだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解しようとしている。	・自分について考えよう ・1年間の目標を立てよう	・これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・1年間の目標を考え、発表する。
	7	(知及技) さまざまな職種や職業生活及び自己の進路について関心を持つことができる。 進路講話を通して、将来の自分の姿や生き方をイメージすることができる。 (思判表力) 進路講話を振り返り、考えたことや感じたことを発表することができる。 (学・人) 学習を通して、将来の自分の姿を思い描こうとする態度を養う。	(知・技) さまざまな職種や職業生活及び自己の進路について関心を持っている。 進路講話を通して、将来の自分の姿や生き方をイメージしている。 (思・判・表) 進路講話を振り返り、考えたことや感じたことを発表している。 (主学) 将来の自分の姿を思い描こうとしている。	進路学習 ・調べ学習 ・発表会 ・進路講話	・さまざまな職種や職業生活に関する調べ学習に取り組む。 ・調べ学習での取り組みを発表会にて発表する。 ・進路講話を聞いて、自分の卒業後について考える。
2 学期	15	(知及技) 旅行先の文化等について理解を深めることができる。集団行動の大切さや公共施設でのマナーについて理解することができる。 (思判表力) 校外学習等を通して、体験、学び、感じたことを他者へ伝えることができる。 (学・人) 修学旅行について関心を持ち、主体的に楽しい旅行にしようとする態度を養う。	(知・技) 旅行先の文化等について理解を深めている。集団行動の大切さや公共施設でのマナーについて理解している。 (思・判・表) 校外学習等を通して、体験、学び、感じたことを他者へ伝えるている。 (主学) 修学旅行について関心を持ち、主体的に楽しい旅行にしようとしている。	修学旅行 ・事前学習 ・事後学習(報告会)	・集団行動の大切さや公共施設でのマナーについての調べ学習を行う。 ・空港での搭乗方法について動画資料を活用して学習する。 ・旅行先の文化等についての調べ学習を行う。 ・修学旅行で体験、学び、感じたことを報告会で発表する。
3 学期	5	(知及技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付くことができる。 (思判表力) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えることができる。 (学・人) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かすことができる。	(知・技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付いている。 (思・判・表) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えている。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとしている。	・進級を前に自分にできることを考えよう ・卒業後の進路について知る	・卒業を前に、自分自身ができること(奉仕活動、清掃活動等)に取り組む。 ・高等部、就労支援事業所、企業就労などについて、写真や映像資料を通して学習する。 ・高等部の授業の様子を見学する。
	5	(知及技) 自己の成長や課題を振り返ることの大切さを理解し、自己評価・他者評価ができる。 (思判表力) 3年間で成長したこと・できるようになったこと等を考え、整理して、表現できる。 (学・人) 自他のよさを生かしながら、主体的・協働的に取り組み、学習したことを自己の形成に生かすことができる。	(知・技) 自己の成長や課題を振り返ることが、自己実現していくために大切であることを理解し、自己評価・他者評価しようとする。 (思・判・表) 成長したこと、できるようになったこと等を考え、3年間の自分を振り返り、表現しようとする。 (主学) 自他の成長を見つけ、主体的・協働的に伝え認め合う等して、自己のよさを生かしながら取り組もうとする。	・卒業を向かえて	・キャリアパスポートを活用しながら、3年間の自分を思い起こす等して自身の姿や成長を振り返る。 ・自分や友だちの考えたことや成長したことから、自己のよさや課題、なりたい自分になるために必要なこと等、今後の目標を考える。ワークシートや学習成果の写真や作品等を自己選択しながら表現する。 ・自他のよさや考えたこと等を伝え認め合い、進学する学部へのイメージを持つ。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1年(Ⅱ課程AB) 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
35	中学部1年 30名		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。</p> <p>(学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	<p>【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (学・人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<p>(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができている。 (思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができている。 (主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き、学年開き</li> <li>・係決め</li> <li>・学級目標、個人目標</li> <li>・学級レクリエーション、学年レクリエーション</li> <li>・生徒指導集会(学校生活のルール、GWの過ごし方、夏休みの過ごし方)</li> <li>・1学期の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級、学年のメンバー紹介や、1年間の日程確認等。</li> <li>・係や学級目標の話し合い。</li> <li>・自分の役割を考える。</li> <li>・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。</li> <li>・学校生活のルールを確認する。</li> <li>・校則や学校生活のルールの確認。</li> <li>・長期の休日の過ごし方についての留意点を確認し、計画を立てる。</li> <li>・自分や友達のがんばりを振り返る。(画像や映像視聴、自己評価、発表等)</li> </ul>
		<p>【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。 (思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。</p>	<p>(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒総会</li> <li>・新入生歓迎会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員紹介、活動内容の説明、決まりの確認、学校生活をよりよく過ごすための意見の集約等。</li> <li>・新入生の紹介、歓迎の挨拶や出しもの、異年齢の生徒同士で交流を目的としたゲーム等。</li> </ul>
		<p>【学校行事】 (知及技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができている。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式(儀式的)</li> <li>・身体測定、内科検診、心電図検査(健康安全・体育的)</li> <li>・火災避難訓練(健康安全・体育的)</li> <li>・1学期終業式(儀式的)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・各検診の意義の確認と参加。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・火災避難訓練や消防隊による消火活動の実演。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見通しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
2 学期	15	<p>【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (学・人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<p>(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができている。 (思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができている。 (主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期開き</li> <li>・個人目標</li> <li>・交流学习に向けて</li> <li>・学級レクリエーション、学年レクリエーション</li> <li>・冬休みの過ごし方</li> <li>・2学期のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の日程や役割の確認。</li> <li>・自分の役割を考える。</li> <li>・交流学习のねらいを確認、活動内容の企画等。</li> <li>・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。</li> <li>・学校生活のルールを確認する。</li> <li>・長期の休日の過ごし方についての留意点を確認し、計画を立てる。</li> <li>・自分や友達のがんばりを振り返る。(画像や映像視聴、自己評価、発表等)</li> </ul>
		<p>【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。 (思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。</p>	<p>(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行壮行会</li> <li>・幼児児童生徒交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行のねらいや日程確認、安全祈願、お守り贈呈等。</li> <li>・活動の経過報告、学校生活をよりよく過ごすための意見の集約等。</li> </ul>

		<p>【学校行事】 (知及技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができている。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期始業式（儀式的）</li> <li>・地震・火災・津波避難訓練（健康安全・体育的）</li> <li>・運動会（健康安全・体育的）</li> <li>・2学期終業式（儀式的）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・地震津波火災避難訓練や消防隊等による消火活動の実演。</li> <li>・各種目のねらいの確認と練習、参加。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見通しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
3 学 期	10	<p>【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (学・人) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<p>(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができている。 (思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができている。 (主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期開き</li> <li>・個人目標</li> <li>・学級しクリエーション、学年しクリエーション</li> <li>・1年間のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期の日程や役割の確認。</li> <li>・自分の役割を考える。</li> <li>・交流学習のねらいを確認、活動内容の企画等。</li> <li>・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。</li> <li>・自分や友達のがんばりを振り返る。（画像や映像視聴、自己評価、発表等）</li> </ul>
		<p>【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。 (思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。</p>	<p>(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員選挙告示</li> <li>・生徒会役員選挙</li> <li>・3年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員選挙のねらいや立候補の留意点等を確認。</li> <li>・選挙の手順や留意点を確認、立会演説、投票。</li> <li>・卒業生の紹介、卒業の挨拶、激励の出しものや贈り物、思い出のアルバム視聴、異年齢の生徒同士で交流を目的としたゲーム等。</li> </ul>
		<p>【学校行事】 (知及技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができている。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期始業式（儀式的）</li> <li>・学習発表会（文化的）</li> <li>・中学部卒業式（儀式的）</li> <li>・修了式（儀式的）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・各テーマに沿った発表活動。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見通しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
年 間 を 通 し て	<p>【学級活動】 (知及技) 学習内容について理解し、将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために必要な知識と技能を身に付けることができる。 (思判表力) 将来の生き方や進路について学ぶことで、自己の将来像を描くことができる。 (学・人) 将来への目標をもち、実現に向けて行動することができる。</p>	<p>(知・技) 学習内容について理解し、将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために必要な知識と技能を身に付けている。 (思・判・表) 将来の生き方や進路について学ぶことで、自己の将来像を描くことができている。 (主学) 将来への目標をもち、実現に向けて行動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習</li> <li>・学校生活について</li> <li>・学習発表会（文化的）</li> <li>・社会生活について</li> <li>・職業生活について</li> <li>・芸術鑑賞会</li> <li>・校外学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各テーマに沿った調べ学習をキャリアパスポートに整理する。</li> <li>・進路に関する学習（自分を知る、職業調べ、高等部見学、進路講和等）</li> <li>・地域の伝統芸能、大道芸、楽器演奏等の鑑賞。</li> <li>・校外学習のねらいや内容の確認、事前準備、振り返り。</li> </ul>	
留 意 点 引 継 ぎ 等	・感染症対策として、学校行事や集会形式の学習内容は、状況に応じて動画視聴や分散実施等の工夫をする。				

令和8年度 中学部 2年（Ⅱ課程A B）特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年 Ⅱ課程A、Ⅱ課程B		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。</p> <p>(学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	<p>【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。</p> <p>(思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。</p> <p>(学・人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<p>(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。</p> <p>(思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。</p> <p>(主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き、学年開き</li> <li>・係決め</li> <li>・学級目標、個人目標</li> <li>・学級レクリエーション、学年レクリエーション</li> <li>・生徒指導集会（学校生活のルール、GWの過ごし方、夏休みの過ごし方）</li> <li>・1学期の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級、学年のメンバー紹介や、1年間の日程確認等。</li> <li>・係や学級目標の話し合い。</li> <li>・自分の役割を考える。</li> <li>・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。</li> <li>・学校生活のルールを確認する。</li> <li>・校則や学校生活のルールの確認。</li> <li>・長期の休日の過ごし方についての留意点を確認し、計画を立てる。</li> <li>・自分や友達のがんばりを振り返る。（画像や映像視聴、自己評価、発表等）</li> </ul>
		<p>【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。</p> <p>(思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。</p> <p>(学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。</p>	<p>(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。</p> <p>(思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。</p> <p>(主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒集会</li> <li>・新入生歓迎会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員紹介、活動内容の説明、決まりの確認、学校生活をよりよく過ごすための意見の集約等。</li> <li>・新入生の紹介、歓迎の挨拶や出しもの、異年齢の生徒同士で交流を目的としたゲーム等。</li> </ul>
		<p>【学校行事】 (知及技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。</p> <p>(学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。</p> <p>(主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期始業式（儀式的）</li> <li>・身体測定、内科検診、心電図検査（健康安全・体育的）</li> <li>・火災避難訓練（健康安全・体育的）</li> <li>・1学期終業式（儀式的）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・各検診の意義の確認と参加。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・火災避難訓練や消防隊等による消火活動の実演。</li> <li>・集団生活の過ごし方や公共施設でのマナーとその実践。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見通しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
2 学期	15	<p>【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。</p> <p>(思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。</p> <p>(学・人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<p>(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。</p> <p>(思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。</p> <p>(主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期開き</li> <li>・個人目標</li> <li>・交流学習に向けて</li> <li>・学級レクリエーション、学年レクリエーション</li> <li>・冬休みの過ごし方</li> <li>・2学期のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の日程や役割の確認。</li> <li>・自分の役割を考える。</li> <li>・交流学習のねらいを確認、活動内容の企画等。</li> <li>・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。</li> <li>・学校生活のルールを確認する。</li> <li>・長期の休日の過ごし方についての留意点を確認し、計画を立てる。</li> <li>・自分や友達のがんばりを振り返る。（画像や映像視聴、自己評価、発表等）</li> </ul>
		<p>【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。</p> <p>(思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。</p> <p>(学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。</p>	<p>(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。</p> <p>(思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。</p> <p>(主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行壮行会</li> <li>・幼児児童生徒集会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行のねらいや日程確認、安全祈願、お守り贈呈等。</li> <li>・活動の経過報告、学校生活をよりよく過ごすための意見の集約等。</li> </ul>

		<p>【学校行事】 (知及技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができている。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期始業式(儀式的)</li> <li>・地震・火災・津波避難訓練(健康安全・体育的)</li> <li>・運動会(健康安全・体育的)</li> <li>・2学期終業式(儀式的)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・地震津波火災避難訓練や消防隊等による消火活動の実演。</li> <li>・各種目のねらいの確認と練習、参加。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見直しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
3 学期	10	<p>【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (学・人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<p>(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができている。 (思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができている。 (主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期開き</li> <li>・個人目標</li> <li>・学級しクリエーション、学年しクリエーション</li> <li>・1年間のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期の日程や役割の確認。</li> <li>・自分の役割を考える。</li> <li>・交流学習のねらいを確認、活動内容の企画等。</li> <li>・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。</li> <li>・自分や友達のがんばりを振り返る。(画像や映像視聴、自己評価、発表等)</li> </ul>
		<p>【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。 (思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。</p>	<p>(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員選挙告示</li> <li>・生徒会役員選挙</li> <li>・生徒会役員認証式</li> <li>・3年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員選挙のねらいや立候補の留意点等を確認。</li> <li>・選挙の手順や留意点を確認、立会演説、投票。</li> <li>・卒業生の紹介、卒業の挨拶、激励の出しものや贈り物、思い出のアルバム視聴、異年齢の生徒同士で交流を目的としたゲーム等。</li> </ul>
		<p>【学校行事】 (知及技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができている。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期始業式(儀式的)</li> <li>・学習発表会(文化的)</li> <li>・高等部卒業式(儀式的)</li> <li>・中学部卒業式(儀式的)</li> <li>・修了式(儀式的)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・各テーマに沿った発表活動。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見直しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
年間を通して	<p>【学級活動】 (知及技) 学習内容について理解し、将来の社会・職業生活とのつながり考えるために必要な知識と技能を身に付けることができる。 (思判表力) 将来の生き方や進路について学ぶことで、自己の将来像を描くことができる。 (学・人) 将来への目標をもち、実現に向けて行動することができる。</p>	<p>(知・技) 学習内容について理解し、将来の社会・職業生活とのつながり考えるために必要な知識と技能を身に付けている。 (思・判・表) 将来の生き方や進路について学ぶことで、自己の将来像を描くことができている。 (主学) 将来への目標をもち、実現に向けて行動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習</li> <li>・学校生活について</li> <li>・社会生活について</li> <li>・職業生活について</li> <li>・校外学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各テーマに沿った調べ学習をキャリアパスポートに整理する。</li> <li>・進路に関する学習(自分を知る、職業調べ、高等部見学、進路講和等)</li> <li>・地域の伝統芸能、大道芸、楽器演奏等の鑑賞。</li> <li>・校外学習のねらいや内容の確認、事前準備、振り返り。</li> </ul>	
留意点 引継ぎ等	<p>・感染症対策として、学校行事や集会形式の学習内容は、状況に応じて動画視聴や分散実施等の工夫をする。</p>				

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程A B） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	中学部3年		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけることができる。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (学・人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加することができる。	(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。	・学級開き、学年開き ・係決め ・学級目標、個人目標 ・学級レクリエーション、学年レクリエーション ・生徒指導集会(学校生活のルール、GWの過ごし方、夏休みの過ごし方) ・1学期の振り返り	・学級、学年のメンバー紹介や、1年間の日程確認等。 ・係や学級目標の話し合い。 ・自分の役割を考える。 ・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。 ・学校生活のルールを確認する。 ・校則や学校生活のルールの確認。 ・長期の休日の過ごし方についての留意点を確認し、計画を立てる。 ・自分や友達のがんばりを振り返る。(画像や映像視聴、自己評価、発表等)
		【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。 (思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。	(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。	・幼児児童生徒総会 ・新入生歓迎会	・生徒会役員紹介、活動内容の説明、決まりの確認、学校生活をよりよく過ごすための意見の集約等。 ・新入生の紹介、歓迎の挨拶や出しもの、異年齢の生徒同士で交流を目的としたゲーム等。
		【学校行事】 (知及技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。	(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。	・1学期始業式(儀式的) ・身体測定、内科検診、心電図検査(健康安全・体育的) ・火災避難訓練(健康安全・体育的) ・1学期終業式(儀式的)	・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。 ・各検診の意義の確認と参加。 ・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。 ・火災避難訓練や消防隊等による消火活動の実演。 ・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見通しやこれまでの振り返り。
2 学期	15	【学級活動】 (知及技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (学・人) クラス、学年の一員として、話し合いに参加することができる。	(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (主学) クラスの一員として、話し合いに参加することができる。	・2学期開き ・個人目標 ・交流学習に向けて ・学級レクリエーション、学年レクリエーション ・冬休みの過ごし方 ・2学期のまとめ	・2学期の日程や役割の確認。 ・自分の役割を考える。 ・交流学習のねらいを確認、活動内容の企画等。 ・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。 ・学校生活のルールを確認する。 ・長期の休日の過ごし方についての留意点を確認し、計画を立てる。 ・自分や友達のがんばりを振り返る。(画像や映像視聴、自己評価、発表等)
		【生徒会活動】 (知及技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。 (思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。	(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。	・修学旅行壮行会 ・幼児児童生徒総会	・修学旅行のねらいや日程確認、安全祈願、お守り贈呈等。 ・活動の経過報告、学校生活をよりよく過ごすための意見の集約等。

		<p>【学校行事】 (知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができている。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期始業式（儀式的）</li> <li>・地震・火災・津波避難訓練（健康安全・体育的）</li> <li>・修学旅行（旅行・集团的）</li> <li>・2学期終業式（儀式的）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・地震津波火災避難訓練や消防隊による消火活動の実演。</li> <li>・各種目のねらいの確認と練習、参加。</li> <li>・集団生活の過ごし方や公共施設でのマナーとその実践。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見通しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
3 学 期	10	<p>【学級活動】 (知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができる。 (思判表力) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) テーマや課題を理解して、クラスメイトと話し合い活動ができている。 (思・判・表) 互いの意見を認め合いながら話し合い、意思決定ができている。 (主学) クラスの一人として、話し合いに参加することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期開き</li> <li>・個人目標</li> <li>・学級しクリエーション、学年しクリエーション</li> <li>・学習成果発表会（文化的）</li> <li>・1年間のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期の日程や役割の確認。</li> <li>・自分の役割を考える。</li> <li>・交流学習のねらいを確認、活動内容の企画等。</li> <li>・会の内容を企画し、学年・学級で協力して運営を行う。</li> <li>・自分や友達のがんばりを振り返る。（画像や映像視聴、自己評価、発表等）</li> </ul>
		<p>【生徒会活動】 (知・技) 活動のねらいや自分の役割を理解して参加することができる。 (思判表力) 異年齢の生徒同士の交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加することができる。</p>	<p>(知・技) 活動のねらいや役割を理解して参加することができる。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 仲間と協力しながら、生徒会の取り組みに参加しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員選挙告示</li> <li>・生徒会役員選挙</li> <li>・3年生を送る会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会役員選挙のねらいや立候補の留意点等を確認。</li> <li>・選挙の手順や留意点を確認、立会演説、投票。</li> <li>・卒業生の紹介、卒業の挨拶、激励の出しものや贈り物、思い出のアルバム視聴、異年齢の生徒同士で交流を目的としたゲーム等。</li> </ul>
		<p>【学校行事】 (知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげることができる。</p>	<p>(知・技) 各行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けている。 (思・判・表) これまでの生活を振り返ったり、新たな学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができている。 (主学) 各行事を通して、新たな生活への意欲につなげようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期始業式（儀式的）</li> <li>・高等部卒業式（儀式的）</li> <li>・中学部卒業式（儀式的）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の意義や参加する際の留意事項の確認。</li> <li>・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方。</li> <li>・各テーマに沿った発表活動。</li> <li>・儀式的行事を節目とした、これからの生活についての見通しやこれまでの振り返り。</li> </ul>
年 間 を 通 し て		<p>【学級活動】 (知・技) 学習内容について理解し、将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために必要な知識と技能を身に付けることができる。 (思判表力) 将来の生き方や進路について学ぶことで、自己の将来像を描くことができる。 (学・人) 将来への目標をもち、実現に向けて行動することができる。</p>	<p>(知・技) 学習内容について理解し、将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために必要な知識と技能を身に付けている。 (思・判・表) 将来の生き方や進路について学ぶことで、自己の将来像を描くことができる。 (主学) 将来への目標をもち、実現に向けて行動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路学習</li> <li>・学校生活について</li> <li>・社会生活について</li> <li>・職業生活について</li> <li>・芸術鑑賞会</li> <li>・校外学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各テーマに沿った調べ学習をキャリアパスポートに整理する。</li> <li>・進路に関する学習（自分を知る、職業調べ、高等部見学、進路講和等）</li> <li>・地域の伝統芸能、大道芸、楽器演奏等の鑑賞。</li> <li>・校外学習のねらいや内容の確認、事前準備、振り返り。</li> </ul>
	留 意 点 引 継 ぎ 等				

# 中学部（Ⅱ課程 B）

令和 8 年度 中学部 1 年 (Ⅱ課程Bグループ) 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	1 学年Ⅱ課程B		文部科学省著作教科書 国語☆ 国語☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。</p> <p>(思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	年間を通して	<p>(知及技) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。</p> <p>(思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。</p> <p>(思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。</p> <p>(主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。</p>	まほうのはこ☆ 本にしたしもう☆☆	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本やタブレット等での読み聞かせでいろいろなお話にふれる。</li> <li>・自分の好きな絵本を探したり見たりする。</li> </ul>
	8	<p>(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。</p> <p>(思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたら、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。</p> <p>(思・判・表) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたら、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。</p> <p>(主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。</p>	<p>がっこうだいすき☆ がっこうせいいかつ☆☆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あさのかい</li> <li>・かかり</li> <li>・こくご</li> <li>・たいいく</li> <li>・きゅうしよく</li> <li>・そうじ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あさのかい：言葉の学習、学級の日課や予定の確認、挨拶等</li> <li>・かかり：言葉の学習、やり取り、話し合い等</li> <li>・こくご：図書室、挨拶、絵本、話し合い等</li> <li>・たいいく：言葉の学習、やり取り、運動遊びやスポーツの種類等</li> <li>・きゅうしよく：言葉の学習、献立名、挨拶、会話等</li> <li>・そうじ：清掃用具の名前、言葉と行動の結び付け、言葉の学習等</li> </ul>
	12	<p>(知及技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。</p> <p>(思判表力) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。</p> <p>(思・判・表) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をしようとしている。</p> <p>(主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。</p>	<p>おはなしのできるかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おでかけ</li> <li>・かいもの</li> <li>・あそび</li> <li>・たまご</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おでかけ：母親と一緒に電車に乗って外出する様子。どこに出かけたのかを想像を膨らませて考える。</li> <li>・かいもの：保護者から頼まれた品物を買ってくる様子。お店で買ったものを想像し言葉にする。</li> <li>・あそび：児童が友達と一緒に遊ぶ様子。したい遊びを選んだり日頃楽しんでいる遊びを伝えたりする。</li> <li>・たまご：卵を使った調理。何ができるか想像する。</li> </ul>
18	<p>(知及技) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。</p> <p>(思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。</p> <p>(思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。</p> <p>(主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。</p>	<p>ひらがなをよんでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごじゅうおん</li> <li>・あいうえお～わをん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごじゅうおん：あいうえお五十音。</li> <li>・あいうえお～わをん：各文字を冒頭にもつ身近なものの名前を絵と平仮名によって示している。</li> </ul>	
6	<p>(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。</p> <p>(思判表力) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。</p> <p>(思・判・表) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えている。</p> <p>(主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。</p>	<p>どんなきもちかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶれげんと</li> <li>・ころんだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶれげんと：プレゼントを「わたすーもらう」場面。場面において想起した気持ちを言葉で伝える。</li> <li>・ころんだ：「走る一転ぶ」場面。言葉と気持ち、表情記号。</li> </ul>	

2 学 期	28	(知及技) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	なまえなあんだ ・あいうえお ・じぶんのなまえともだちのなまえ ・どうぶつ ・おかし ・のりもの ・やさい ・せいかつ ・かお ・からだ ・かけえ	・あいうえお：母音を正しい口形で発音。口形と平仮名、発音。 ・じぶんのなまえともだちのなまえ：僕、私。友達の名前を正しい発音で発音する。 ・どうぶつ：テレビや絵本などで見ることが多い動物。 ・おかし：食べた経験があると思われるお菓子。横書きで表記。 ・のりもの：生活の中で利用したり絵本の中で見たりする身近な乗り物。 ・やさい：給食や買い物などで見たり食べたりすることが多い野菜。 ・せいかつ：家庭等において見たり使ったりしている家電。 ・かお：人の顔の名称。 ・からだ：人の体の各部の名称。 ・かけえ：実物や絵本等でみたことがあるであろう動物や昆虫、魚を題材にした影絵。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	5	(知及技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう☆ かいてみよう☆☆① ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしな指や筆記具でなぞって練習する。
3 学 期	20	(知及技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表) 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	あなたはだあれ☆ くわしくはなそう☆☆ ・いろ ・はんたいことば ・だれのなに ・なにをするのかな① ・なにをするのかな② ・「わ」と「は」	・いろ：青、黄、赤、緑を取り上げ、色の名称をしること、物の名称をしること、そして「〇〇い△△」という表現方法を知る。 ・はんたいことば：対語になった形容詞「大きい、小さい」「多い、少ない」「長い、短い」「重い、軽い」など。 ・だれのなに：動物の一部を○で囲って示し、「〇〇の△△」という所有を表す助詞の表現方法に慣れる。 ・なにをするのかな①：ものの名称や用途を考えたり、動作を表す言葉とつなげて表現したりする。 ・なにをするのかな②：日常生活で行っている動作を分かりやすい絵で表現し、その動作を動詞と一致させることで知っている言葉の数を増やす。 ・「わ」と「は」：「わ」と「は」の違いに気がついて、会話の中で聞いたり話したりできるようにすること、扱える助詞の種類を増やすこと。
	8	(知及技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう☆ かいてみよう☆☆② ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしな指や筆記具でなぞって練習する。
	留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 中学部 2 年 (Ⅱ課程 B) 国語科 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書 / 副教材
105	2 学年 Ⅱ課程 B		文科省著作教科書 ☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。 (思判表力)出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して	35	(知及技)読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本や易しい読みもの、タブレット等で読み聞かせを聞き、様々なお話にふれる。
	10	(知及技)図書を用いた調べ方を理解し使うことができる。・読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)図書を用いた調べ方を理解し使おうとしている。・読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることを知ろうとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む 本をさがそう	【図書の活用】(図書に親しむ) ・利用方法や図書室に置いてある本について知る。 ・興味関心のある本を図書室で探す。 ・図書を用いた調べ方を理解することができるようにする。(本には目次があることなど) ※行事(読書月間など)や季節等に関する内容については随時取り扱う。
	10	(知及技)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思判表力)絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ろうとしている。・絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。・絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む おじいさんとねずみのはなし	【絵本の読解】【おおよそを捉え、あらましを話す】 【時間や手順に沿って、順序立てて話す】 【感じたことや経験したことを話す】【音読や劇】 ・挿絵を示しながら、読み聞かせを行う。 ・言葉と一緒に読んだり、動きを併せて読んだりして、言葉の響きやリズムに親しめるようにする。 ・場面ごとに挿絵を提示し、気付いたことを伝え合い、話の大体を理解する。 ・文と挿絵を基に、おじいさんの行動を読み取る。また、表情から気持ちを考えたりする。
1 学期	10	(知及技)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。 (思判表力)日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技)日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を読もうとしている。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思判表力)日常生活に必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む ひらがなをよもう	【文字・文を読む】 ・挿絵とひらがなを合わせて提示するなど、声に出す活動を行う。 ・長音、拗音、促音などが含まれている語句を読む。 ・「おもち」と「おもちゃ」の文字を並べて示し、違う部分に着目できるようにし、文字と読み方の関係を理解する。 ・言葉集め(拗音・長音・促音などの入った言葉)やかた取りなどを行う。

2 学 期	8	<p>(知及技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考える事ができる。</p> <p>・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすることができる。</p> <p>・相手に伝えるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。</p> <p>・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えようとしている。</p> <p>・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりしようとしている。</p> <p>・相手に伝えるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。</p> <p>・相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>A聞く話す たのしかった満足</p>	<p>【感じたことや経験したことを話す】【おおよそを捉え、あらましを話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等の動画や写真を見て、経験したことを思い浮かべる。</li> <li>・思い出や伝えたいことを発表する。</li> </ul> <p>※行事(読書月間など)や季節等に関する内容については随時取り扱う。</p>
	10	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。</p> <p>・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。</p> <p>(思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。</p> <p>・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。</p> <p>(思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>B書く ひらがなをかこう</p>	<p>【文字を書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名カードを並べて単語をつくる。</li> <li>・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。</li> <li>・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。</li> <li>・かるた取りの札を作成する。(相手が読めるように丁寧に書く)</li> </ul>
	6	<p>(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。</p> <p>(思判表力) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しむことができる。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。</p> <p>(思判表力) 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>C読む わらべうた</p>	<p>【絵本の読解】【感じたことや経験したことを話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵をみながら、言葉が表している内容を理解する。</li> <li>・わらべ歌遊びをする。</li> </ul>
	9	<p>(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。</p> <p>(思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動したりすることができる。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。</p> <p>(思判表力) 日常生活で必要な語句や文、看板などを読み、必要な物を選んだり行動しようとしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>C読む かたかなをよもう</p>	<p>【文字・文を読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵を手がかりに、表記している片仮名を読む。</li> <li>・似ている文字の違いに気付けるようにする。</li> <li>・長音や拗音の表記の特徴に気付けるようにする。</li> </ul>
10	<p>(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。</p> <p>・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。</p> <p>・正しい姿勢で音読することができる。</p> <p>(思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 日常でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方で読もうとしている。</p> <p>・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。</p> <p>・正しい姿勢で音読しようとしている。</p> <p>(思判表力) 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像しようとしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>C読む かたかなをさがそう</p>	<p>【文字・文を読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の読み聞かせを聞き、片仮名で書かれているものが、挿絵のどこにあるか探す。</li> <li>・似ている文字に続けて、音読する。</li> <li>・校内や図書資料から片仮名で表す語句を探す。</li> </ul> <p>※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。</p>	
15	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。</p> <p>・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。</p> <p>(思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。</p> <p>(学・人) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。</p> <p>・姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、平仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。</p> <p>(思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。</p> <p>(主学) 言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。</p>	<p>B書く かたかなをかこう</p>	<p>【文字を書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の名称を確認し、五十音表から読みと対応する片仮名を探したり、片仮名カードを並べて単語をつくる。</li> <li>・書くときの姿勢や鉛筆の持ち方について知る。</li> <li>・平仮名を書写する。書写した平仮名と見本を比較し、誤りがある場合は修正する。</li> <li>・かるた取りの札を作成する。(相手が読めるように丁寧に書く)</li> </ul>	

	8	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。 (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む パーティーをしよう	【おおよそを捉え、あらましを話す】【音読や劇】 ・読み聞かせを聞く。 ・登場人物になったつもりで音読する。 ・同じ行で始まる言葉集めを行う。
	25	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ることができる。 ・出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。 (思判表力)見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くことができる。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技) 文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることを知ろうとしている。 ・出来事や経験したことを伝え合う活動を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとしている。 (思判表力)見聞きたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこととしている。 ・書いた語句や文を読み、間違いを正そうとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	B書く 文をかこう	【簡単な文の記述・構成】 ・文節ごとに区切ったカードを並び替えて文を作ったり、完成した文を見本にして書く。 ・身近な事柄を表す絵や写真を見て、簡単な文章を作る。 ・文を書き、相互に発表し合う。 ・助詞を抜いた文を読んで、当てはまる助詞を考える。 ・文を読んで、絵や写真を選択する。 ・文を書き、相互に発表し合う。 ・主語や述語など、一部が抜けた文に入る語句を考え、文を完成させる。
3 学期	13	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ることができる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方を知ろうとしている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	C読む のりもの	【物語の時間経過・文章の内容のまとまりを捉える】 (図書に親しむ・図書の活用) ・読み聞かせを行う ・内容の大体を捉える。 ・促音、長音、拗音を含む平仮名の読み方、漢字の読み方を知る。 ・身近な乗り物を調べ、発表する。
	6	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うことができる。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 (学・人)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。	(知及技) 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使おうとしている。 ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学)言葉が持つよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	A聞く・話す でんわ	・電話の受け方や掛け方を知る。 ・電話を受けたり掛けたりする。
	留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 中学部 3 年 (Ⅱ課程B) 国語科 年間指導計画

単位数/配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	3年Ⅱ課程B		国語☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		<p>(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。</p> <p>(思判表力) 言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる。</p> <p>(学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	35	(知及技) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 読み聞かせに親しんだり、文字を拾い読みしたりして、いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	本にしたしもう	・絵本やタブレット等での読み聞かせでいろいろなお話しにふれる。 ・自分の好きな絵本を探したり見たりする。
	8	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じようとしている。 (思・判・表) 身近な人の話に慣れ、簡単な事項と語句などを結びつけたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	がっこうせいかつ ・あさのかい ・かかり ・くご ・たいいく ・きゅうしょく ・そうじ	・あさのかい：言葉の学習、学級の日課や予定の確認、挨拶等 ・かかり：言葉の学習、やり取り、話し合い等 ・くご：図書室、挨拶、絵本、話し合い等 ・たいいく：言葉の学習、やり取り、運動遊びやスポーツの種類等 ・きゅうしょく：言葉の学習、献立名、挨拶、会話等 ・そうじ：清掃用具の名前、言葉と行動の結び付け、言葉の学習等
	12	(知及技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れることができる。 (思判表力) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	おはなしのできるかな ・おでかけ ・かきもの ・あそび ・たまご	・おでかけ：母親と一緒に電車に乗って外出する様子。どこに出かけたのかを想像を膨らませて考える。 ・かきもの：保護者から頼まれた品物を買ってくる様子。お店で買ったものを想像し言葉にする。 ・あそび：児童が友達と一緒に遊ぶ様子。したい遊びを選んだり日頃楽しんでいる遊びを伝えたりする。 ・たまご：卵を使った調理。何ができるか想像する。
	18	(知及技) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	ひらがなをよんでみよう ・ごじゅうおん ・あいうえお～わをん	・ごじゅうおん：あいうえお五十音。 ・あいうえお～わをん：各文字を冒頭にもつ身近なものの名前を絵と平仮名によって示している。
	6	(知及技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じることができる。 (思判表力) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じている。 (思・判・表) 体験したことなどについて、伝えたいことを考えている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	どんなきもちかな ・ぶれげんと ・ころんだ	・ぶれげんと：プレゼントを「わたすーもらう」場面。場面において想起した気持ちを言葉で伝える。 ・ころんだ：「走る一転ぶ」場面。言葉と気持ち、表情記号。

2 学 期	28	(知及技) 日常生活でよく使われている平仮名を読むことができる。 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 日常生活でよく使われている平仮名を読もうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、登場するものや動作などを思い浮かべようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	なまえなあんだ ・あいうえお ・じぶんのなまえともだちのなまえ ・どうぶつ ・おかし ・のりもの ・やさい ・せいかつ ・かお ・からだ ・かけえ	・あいうえお：母音を正しい口形で発音。口形と平仮名、発音。 ・じぶんのなまえともだちのなまえ：僕、私。友達の名前を正しい発音で発音する。 ・どうぶつ：テレビや絵本などで見ることが多い動物。 ・おかし：食べた経験があると思われるお菓子。横書きで表記。 ・のりもの：生活の中で利用したり絵本の中で見たりする身近な乗り物。 ・やさい：給食や買い物などで見たり食べたりすることが多い野菜。 ・せいかつ：家庭等において見たり使ったりしている家電。 ・かお：人の顔の名称。 ・からだ：人の体の各部の名称。 ・かけえ：実物や絵本等でみたことがあるであろう動物や昆虫、魚を題材にした影絵。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。
	5	(知及技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう① ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしなごら指や筆記具でなぞって練習する。
3 学 期	20	(知及技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思判表力) 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れようとしている。 (思・判・表) 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	くわしくはなそう ・いろ ・はんたいことば ・だれのなに ・なにをするのかな① ・なにをするのかな② ・「わ」と「は」	・いろ：青、黄、赤、緑を取り上げ、色の名称をしること、物の名称を知ること、そして「〇〇い△△」という表現方法を知る。 ・はんたいことば：対語になった形容詞「大きい、小さい」「多い、少ない」「長い、短い」「重い、軽い」など。 ・だれのなに：動物の一部を○で囲って示し、「〇〇の△△」という所有を表す助詞の表現方法に慣れる。 ・なにをするのかな①：ものの名称や用途を考えたり、動作を表す言葉とつなげて表現したりする。 ・なにをするのかな②：日常生活で行っている動作を分かりやすい絵で表現し、その動作を動詞と一致させることで知っている言葉の数を増やす。 ・「わ」と「は」：「わ」と「は」の違いに気がついて、会話の中で聞いたり話したりできるようにすること、扱える助詞の種類を増やすこと。
	8	(知及技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しむことができる。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けることができる。 (思判表力) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすることができる。 (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。	(知・技) いろいろな筆記具を用いて、書くことに親しもうとしている。 写し書きやなぞり書きなどにより、筆記具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢など、書写の基本を身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	かいてみよう② ・なぞる ・むすぶ	・なぞる：なぞって指や手、腕などの動かし方を練習する。 ・むすぶ：平仮名を構成している基本的な直線や曲線の動きを、言葉にしなごら指や筆記具でなぞって練習する。
留意点 引継ぎ等					

## 中学部 1 年～ 3 年（Ⅱ 課程 B）社会科 年間指導計画

※本教科はⅡ 課程 A および B で共通の年間指導計画を用いるため、計画内容は①Ⅱ 課程 A に「Ⅱ 課程 A・B」として掲載しているものを参照してください。

令和 8 年度 中学部 1年 (Ⅱ課程B) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
105	1年Ⅱ課程B		文部科学省著作教科書 さんすう☆、さんすう☆☆		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
<b>年間目標</b> (知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	10	(知及技)ものの集まりと対応して、数詞が分かる。ものの集まりや数詞と対応して数字が分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)ものの集まりと対応して、数詞を理解しようとしている。ものの集まりや数詞と対応して数字を理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算A:かぞえましよう①②③④ ・10までのかずかぞえましよう①②③④ ・10までのかず	・10までのかずかぞえましよう①:1~10の数唱 ・10までのかずかぞえましよう②:(1~5)数唱とものごとに対応して数える。 ・10までのかずかぞえましよう③:(1~10)数唱とものごとに対応して数える。 ・10までのかずかぞえましよう④:具体物を半具体物(おはじき)に置き換えて数える。 ・10までのかず:挿絵を見て1から10までの数を唱えながら数える。
1学期	10	(知及技)二つの数を比べて数の大小が分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)二つの数を比べて数の大小を理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算A:くらべてみよう①②③④	・くらべてみよう①:身近にあるものの数を比べる。3までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう②:5までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう③:10までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう④:数詞や数字だけで数の大小を判断する。
	10	(知及技)色や形、大きさに着目して分類することができる。身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 (思判表力)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。 (学・人)図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)色や形、大きさに着目して分類しようとしている。身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類しようとしている。 (思・判・表)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かそうとしている。 (主学)図形に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形アイ:ななまあつめ①②③④ ・ななまあつめ⑤⑥	・ななまあつめ①:ものを「色」の違いに着目して分類する。 ・ななまあつめ②:ものを「形」に着目して分類する。 ・ななまあつめ③:ものを「大きさ」に着目して分類する。 ・ななまあつめ④⑤:ものを「目的」「用途」「機能」に着目して分類する。 ・ななまあつめ⑥:ものを「用途」や「色」や「大きさ」に着目して分類する。
2学期	15	(知及技)数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心をもち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算A:なんばんめ①②③	・なんばんめ①:順序数としての数詞や数詞を使った表現(○ばんめ)を理解する。 ・なんばんめ②:10までの数で、順序数としての数詞や数詞を使った表現(○ばんめ)を理解する。 ・なんばんめ③:物の位置など方向性がきまっていない場合、場面に合わせて基準を決め、その物の位置を表す表現を理解する。

	<p>(知・技)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。</p> <p>(思・判・表力)身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。</p> <p>(学・人)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。</p> <p>(思・判・表力)身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。</p> <p>(主学)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>B図形イ:まるさんかくしかく②③④</p>	<p>・身の回りにある物の様々な形を取り上げ、色や大きさ、材質など属性の異なるものであっても、形のみに着目して「丸の仲間」、「三角の仲間」、「四角の仲間」で分類する。</p>
15	<p>(知・技)一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりに表すことができる。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてみることができる。・10の補数がかかる。</p> <p>(思・判・表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。</p> <p>(学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたりに表そうとしている。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてようとしている。・10の補数を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。</p> <p>(主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>A数と計算ア:いくつといくつ①②③④</p> <p>・いくつといくつ⑤⑥</p> <p>・10はいくつといくつまとめ</p>	<p>・いくつといくつ①:(1~4の数)一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。</p> <p>・いくつといくつ②③④:(5~7の数)一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。</p> <p>・いくつといくつ⑤⑥:今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。</p> <p>・10はいくつといくつ:10の補数について調べ、理解する。</p> <p>・まとめ:2段階「数と計算」のまとめ。</p>
3 学期	<p>(知・技)重さ、広さなどの量の大きさが分かる。・重い・軽い・広い・狭いなどの用語が分かる。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。</p> <p>(学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)重さ、広さなどの量の大きさを理解しようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。</p> <p>(主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>C測定ア:おもい、かるい ひろい、せまい</p>	<p>・おもい、かるい:教師の支援のもと、物に触れたり教師と一緒に持ったりする体験を通して、「重い」「軽い」の違いを感じ取る。</p> <p>・ひろい、せまい:広さの異なるシートやマットを見たり触れたりする活動を通して、「広い」「狭い」の違いを感じ取る。</p>
	20	<p>(知・技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語が分かる。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。</p> <p>(学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。</p> <p>(主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>C測定ア: どっちがおもい、どっちがかるい どっちがひろい、どっちがせまい どっちがあつい、どっちがうすい どっちがふかい、どっちがあさい くらべてみよう</p>
留意点 引継ぎ 等				

令和 8 年度 中学部 2年 (Ⅱ課程B) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
105	2学年Ⅱ課程B		文部科学省著作教科書 さんすう☆

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・ものともを対応させて配ることができる。 (思判表力) ・ものともを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。 (学・人) ・数量や図形に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・ものともを対応させて配ろうとしている。 (思・判・表) ・ものともを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりしようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとしている。	A数量の基礎イ ・おなじまーくは、どれでしょう ・じぶんのまーくは、どこでしょう	【おなじまーくは、どれでしょう/じぶんのまーくは、どこでしょう】 ・特別な物(自分のもの)を他と見分ける。 【みんなに(くばりましょう)】 ・一人に一つのもの、一つのものに他の一つものを対応する。
	6	(知及技) ・目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。 ・5までの範囲で数唱をすることができる。 ・3までの範囲で具体物を取ることができる。 ・対応させてものを配ることができる。 ・形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付くことができる。 (思判表力) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 (学・人) ・数量に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・目の前のものを、1個、2個、たくさんで表そうとしている。 ・5までの範囲で数唱をしようとしている。 ・3までの範囲で具体物を取ろうとしている。 ・対応させてものを配ろうとしている。 ・形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付くことができる。 (思・判・表) ・数詞とものの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かそうとしている。 (主学) ・数量に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとしている。	B数と計算ア ・いち、に、たくさん ・いち、に、さん、し、ご ・とりましょう ・まーくに、あわせて、ならべましょう ・ぜんぶ「さん」	【いち、に、たくさん】 ①教師の支援のもと、具体物を見たり触れたり(必要に応じて教師が手添え)して量感を捉える。自分の手では保持が難しい量があることに気付く。 ②「1個、2個、たくさん」と表現することに気付く。 【いち、に、さん、し、ご】 ・5までの範囲で数を唱える。 【とりましょう】 ・3までの数について、提示された具体物から必要な個数を選ぶ。 【まーくに、あわせて、ならべましょう】 ・ホウリングのピンを準備する場面を捉え、マークを手掛かりに必要な数を判断する。 【ぜんぶ「さん」】 ・様々な具体物やイラストを見比べ、必要に応じて触察しながら(指差し・視線等で意思表示)、形・色・配置が変わっても数が変わらないことに気付く。
	9	(知及技) ・大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学・人) ・数量や図形に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。	(知・技) ・大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思・判・表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。	D測定ア ・おなじ、ちがう ・おおきい、ちいさい①②	【おなじ、ちがう】 ①教師が提示する具体物を見たり触れたりして観察する。 ②基準に対して、同じであるか、同じでないかを区別する。 ③「同じ」「違う」という用語を用いる。 【おおきい、ちいさい①】 ①生徒が直接働きかける具体物を観察する。 ②具体物の大きさに注目して、それを「大きい」か「小さい」か決める。 ③大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別する。 ④「大きい」「小さい」という用語を用いる。 【おおきい、ちいさい②】 ①二つの大きさの違いに注目する。 ②二つの大きさのいずれかに働きかけて同じ大きさにする。

	<p>(知及技) ・大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。 (思判表力) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。 (学・人) ・数量や図形に気付き、数学の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別しようとしている。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現しようとしている。 (思・判・表) ・大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現しようとしている。 (主学) ・数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとしている。</p>	<p>D測定ア ・おおい、すくない①② ・ながい、みじかい</p>	<p>【おおい、すくない①】 ①生徒が直接働きかける対象などを観察する。 ②かさ等に注目して、それを「多い」と「少ない」に区別する。 ③かさ等の異なる二つの量を「多い」と「少ない」に区別する。 ④「多い」「少ない」という用語を用いる。 【おおい、すくない②】 ①二つのかさ注目して、「多い」「少ない」を選ぶ。 ②「多い」「少ない」という用語を用いる。 【ながい、みじかい】 ①具体物の長さに注目する。 ②基準に対して、同じであるか、同じでないかを区別する。</p>
2 学期	<p>(知及技)もの集まりと対応して、数詞が分かる。もの集まりや数詞と対応して数字が分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)もの集まりや数詞と対応して数字を理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>A数と計算ア: ・10までのかず かぞえましょ ①②③④ ・10までのかず</p>	<p>・10までのかずかぞえましょ①:1~10の数唱 ・10までのかずかぞえましょ②:(1~5)数唱とものごとに対応して数える。 ・10までのかずかぞえましょ③:(1~10)数唱とものごとに対応して数える。 ・10までのかずかぞえましょ④:具体物を半具体物(おはじき)に置き換えて数える。 ・10までのかず:挿絵を見て1から10までの数を唱えながら数える。 ※校外学習にて体験的な活動を取り扱う。</p>
15	<p>(知及技)色や形、大きさに着目して分類することができる。身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 (思判表力)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。 (学・人)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)色や形、大きさに着目して分類しようとしている。身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類しようとしている。 (思・判・表)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かそうとしている。 (主学)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>B図形アイ:なまかまつめ①②③④ ・なまかまつめ⑤⑥</p>	<p>・なまかまつめ①:ものを「色」の違いに着目して分類する。 ・なまかまつめ②:ものを「形」に着目して分類する。 ・なまかまつめ③:ものを「大きさ」に着目して分類する。 ・なまかまつめ④⑤:ものを「目的」「用途」「機能」に着目して分類する。 ・なまかまつめ⑥:ものを「用途」や「色」や「大きさ」に着目して分類する。</p>
15	<p>(知及技)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ることができる。縦や横の線、十字、△や□をかくことができる。 (思判表力)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ろうとしている。縦や横の線、十字、△や□をかこうとしている。 (思・判・表)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角を考えながら分けたり、集めたりしようとしている。 (主学)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>B図形イ:まる、さんかく、しかく① ・はたをつくらう</p>	<p>・まる、さんかく、しかく①:丸、三角、四角を見た目の違いや周りを触った感触の違いなどによる弁別を通して、形のみに着目して違いに気づく。</p>
10	<p>(知及技)個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。0の意味について分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)個数を正しく数えたり書き表したりすることができる。0の意味について分かる。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量や図形に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>A数と計算ア:かーどづくり①②③ ・10までのかずみえないものをかぞえる ・10までのかずうごきをかぞえる ・10までのかず0のりかい</p>	<p>・かーどづくり①:1~10までの数字の正しい読み方を身に付ける。数字の正しい読み方を身に付ける。教師の支援のもと、補助具やICT等を用いて数字をなぞったり書き表したりする。 ・かーどづくり②:動物の数に合わせて数字を選び、カードに書き表す。 ・カードづくり③:数字カードを見て、カードに書かれた数字カードの数に対応する個数を判断し、必要な個数を示す。 ・10までのかずみえないものをかぞえる:太鼓の音を鳴らした回数を数える。 ・10までのかずうごきをかぞえる:縄跳びの動き(教師の実演や動画等)を見て回数を数える。 ・10までのかず0のりかい:空位を理解する初期段階。一つもない」が分かり、それを「0」と表記する。</p>
5	<p>(知及技)長さ、高さなどの量の大きさが分かる。長い・短い、高い・低いなどの用語が分かる。 (思判表力)長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味を持ち、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学・人)数量や図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)長さ、高さなどの量の大きさを理解しようとしている。長い・短い、高い・低いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表)長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味を持ち、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>C測定ア:ながい、みじかい ・たかい、ひくい</p>	<p>・ながい、みじかい:二つの具体物を見たり触れたりして比較し、「長い」「短い」を判断する。 ・たかい、ひくい:直感的に「高いなあ」という感覚をもつことで「高い」「低い」を捉える。</p>

期	10	(知・技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・長い・短い、高い・低いなどの用語が分かる。 (思判表力)長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。 (学・人)数量や図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている。・長い・短い、高い・低いなどの用語を理解しようとしている。 (思・判・表)長さ、高さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。 (主学)数量や図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	C測定A:どっちがおおきい、どっちがちいさい ・どっちがながい、どっちがみじかい ・どっちがたかい、どっちがひくい	・どっちがおおきい、どっちがちいさい:二つの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「大きい」「小さい」が分かる。 ・どっちがながい、どっちがみじかい:二つの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「長い」「短い」が分かる。 ・どっちがたかい、どっちがひくい:「高さ」という属性に着目して二つの量の関係について「こっちが高い」「こっちが低い」等と比べたり判断したりする。
	5	(知及技)ものともを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少がわかる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)ものともを対応させることによって、ものの個数を比べ同等・多少を理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算A:くみあわせ①②③	・くみあわせ①②:ものともを対応させることによってものの個数を比べ、同等がわかる。 ・くみあわせ③:ものともを対応させることによってものの個数を比べ、多少がわかる。
留意点 引継ぎ 等					

令和 8 年度 中学部 3 年 (Ⅱ課程B) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
105	3学年Ⅱ課程B		文部科学省著作教科書 さんすう☆、さんすう☆☆		
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を身につけることができる。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	10	(知及技)もの集まりと対応して、数詞が分かる。もの集まりや数詞と対応して数字が分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)もの集まりと対応して、数詞を理解しようとしている。もの集まりや数詞と対応して数字を理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算A:かぞえましよう①②③④ ・10までのかず かぞえましよう①②③④ ・10までのかず	・10までのかずかぞえましよう①:1~10の数唱 ・10までのかずかぞえましよう②:(1~5)数唱とものごとに対応して数える。 ・10までのかずかぞえましよう③:(1~10)数唱とものごとに対応して数える。 ・10までのかずかぞえましよう④:具体物を半具体物(おはじき)に置き換えて数える。 ・10までのかず:挿絵を見て1から10までの数を唱えながら数える。
1 学期	10	(知及技)二つの数を比べて数の大きさが分かる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)二つの数を比べて数の大きさを理解しようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算A:くらべてみよう①②③④	・くらべてみよう①:身近にあるものの数を比べる。3までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう②:5までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう③:10までの数の大小を理解する。 ・くらべてみよう④:数詞や数字だけで数の大小を判断する。
	10	(知及技)色や形、大きさに着目して分類することができる。身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。 (思判表力)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かすことができる。 (学・人)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)色や形、大きさに着目して分類しようとしている。身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類しようとしている。 (思・判・表)ものを色や形、大きさ、目的、用途及び機能に着目し、共通点や相違点について考えて、分類する方法を日常生活で生かそうとしている。 (主学)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	B図形アイ:ななまあつめ①②③④ ・ななまあつめ⑤⑥	・ななまあつめ①:ものを「色」の違いに着目して分類する。 ・ななまあつめ②:ものを「形」に着目して分類する。 ・ななまあつめ③:ものを「大きさ」に着目して分類する。 ・ななまあつめ④⑤:ものを「目的」「用途」「機能」に着目して分類する。 ・ななまあつめ⑥:ものを「用途」や「色」や「大きさ」に着目して分類する。
2 学期	15	(知及技)数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いることができる。 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。 (学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。	(知・技)数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いようとしている。 (思・判・表)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。 (主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。	A数と計算A:なんばんめ①②③	・なんばんめ①:順序数としての数詞や数詞を使った表現(○ばんめ)を理解する。 ・なんばんめ②:10までの数で、順序数としての数詞や数詞を使った表現(○ばんめ)を理解する。 ・なんばんめ③:物の位置など方向性がきまっていない場合、場面に合わせて基準を決め、その物の位置を表す表現を理解する。

	<p>(知・技)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を知ることができる。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めたりすることができる。</p> <p>(思・判・表力)身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。</p> <p>(学・人)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)身の回りにあるものの形に関心を持ち、丸や△、四角という名称を理解しようとしている。大きさや色など属性の異なるものであっても形の属性に着目して、分類したり、集めようとしている。</p> <p>(思・判・表力)身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めようとしている。</p> <p>(主学)図形に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>B図形イ:まるさんかくしかく②③④</p>	<p>・身の回りにある物の様々な形を取り上げ、色や大きさ、材質など属性の異なるものであっても、形のみに着目して「丸の仲間」、「三角の仲間」、「四角の仲間」で分類する。</p>	
15	<p>(知・技)一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたてて表すことができる。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてみることができる。・10の補数がかかる。</p> <p>(思・判・表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすことができる。</p> <p>(学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)一つの数を二つの数に分けたり、二つの数を一つの数にまとめたてて表そうとしている。・具体的な事物を加えたり、減らしたりしながら、集合数を一つの数と他の数と関係づけてようとしている。・10の補数を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かそうとしている。</p> <p>(主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>A数と計算ア:いくつといくつ①②③④</p> <p>・いくつといくつ⑤⑥</p> <p>・10はいくつといくつまとめ</p>	<p>・いくつといくつ①:(1~4の数)一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。</p> <p>・いくつといくつ②③④:(5~7の数)一つの数を二つに分けたり、分けた数をまとめて元の数に戻したりする数の変化に気づき、その変化を数詞・数字と結び付ける。</p> <p>・いくつといくつ⑤⑥:今ある数が目的の数になるためにはいくつ加えるかを考える。</p> <p>・10はいくつといくつ:10の補数について調べ、理解する。</p> <p>・まとめ:2段階「数と計算」のまとめ。</p>	
3 学期	10	<p>(知・技)重さ、広さなどの量の大きさが分かる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語が分かる。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。</p> <p>(学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)重さ、広さなどの量の大きさが分かる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。</p> <p>(主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>C測定ア:おもい、かるい、ひろい、せまい</p>	<p>・おもい、かるい:物を持ち上げたり、運んだり、引っ張ったりする体験の中で感覚により「重い」「軽い」を捉える。</p> <p>・ひろい、せまい:広さの異なるシートに座ったり荷物を広げたりして「広い」「狭い」を感覚的に捉える。</p>
	20	<p>(知・技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べることができる。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語が分かる。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現したりすることができる。</p> <p>(学・人)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>	<p>(知・技)二つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べようとしている。・重い・軽い、広い・狭いなどの用語を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表力)重さ、広さなどの量を、一方を基準にして比べることに興味をもったり、量の大きさを用語を用いて表現しようとしている。</p> <p>(主学)数量に関心を持ち、数学で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学んでいる。</p>	<p>C測定ア: どっちがおもい、どっちがかるい どっちがひろい、どっちがせまい どっちがあつ、どっちがうすい どっちがふかい、どっちがあさい くらべてみよう</p>	<p>・どっちがおもい、どっちがかるい:二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「軽い」「重い」が分かる。</p> <p>・どっちがひろい、どっちがせまい:二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「広い」「狭い」が分かる。</p> <p>・どっちがあつ、どっちがうすい:二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「厚い」「薄い」が分かる。</p> <p>・どっちがふかい、どっちがあさい:二つのものの具体物を、一方を基準にして相対的に比べて「深い」「浅い」が分かる。</p> <p>・くらべてみよう:積み木を並べたり積み上げたりする活動の中で、長さや高さ、広さなどの適切な用語を使って積み木で作った形を表現したり、なぜ高いのか、短いのかなどの理由に気づく。</p>
留意点 引継ぎ 等					



令和 8 年度 中学部 (2年Ⅱ課程B) 理科 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	生徒	担当者	教科書/副教材
70	2学年Ⅱ課程 B (肢体/医ケア)		理科☆☆☆☆を参考に自作教材を使用

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 植物や動物を育て、その成長の変化を観察することができる。(中理A7A) (思判表力) 身近な材料を使用した実験に興味をもって参加できる。(中理A7) (学・人) ことも新聞を教師と一緒に読むことができる。(中理(3))	(知・技) 植物や動物の成長の変化に気づくことができる。 (思・判・表) 身近な材料を使用した実験で気づいたことを表現している。 (主学) ことも新聞を教師と一緒に読もうとしている。	【科学ニュースをよもう】 【生き物を育てよう】 【お天気調べ】 【宇宙科学館調べ学習】 【お楽しみ実験】 【校外学習】	・ ことも新聞の科学記事を読む ・ 植物の水やり、観察 ・ 動物の餌やり、水替え、観察 ・ 天気と気温を調べる ・ お楽しみ実験の計画、調べ学習
1学期	4	(知及技) 身近な植物や動物の名前や特徴を調べることができる。(中理A7A) (思判表力) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現できる。(中理A7A) (学・人) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。(中理A7A)	(知・技) 植物の名前や特徴をとらえることができる。 (思・判・表) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現している。 (主学) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。	身のまわりの自然観察	・ 観察の際の注意事項について、確認する ・ 校庭にある植物から春の生物を探す ・ 自分で探してきた植物の名前を調べる
	6	(知及技) 昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることがわかる。(中理A7A) (思判表力) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることに気づくことができる。(中理A7A) (学・人) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとする。(中理A7A)	(知・技) 蝶などの昆虫は幼虫と成虫で異なる姿をしていることに気がつくことができる。 (思・判・表) 昆虫などの姿が異なっているのも同じ個体であることに気付いて表現している。 (学・人) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとしている。	身のまわりの生物	・ 昆虫の一生について調べる ・ 虫眼鏡、顕微鏡、ICT機器を用いて観察を行う ・ 観察したものをスケッチや写真で記録をとる ・ 共通点と差異点について話し合う
2学期	8	(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解することができる。(中理B(7)(8)) (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだすことができる。(中理B(7)(8)) (学・人) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理B(7)(8))	(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解している。 (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだしている。 (主学) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	太陽と地面の様子	・ 日なたと日陰の地面の様子に着目し、それらを比較しながら観察する ・ 日向と日陰での気温や地面の温度を測り、表を作成する ・ 日時計を用い、影が動く事を観察する ・ 太陽の日周運動が観察できる ・ 温度計、遮光板、方位磁針を用いる
	7	(知及技) 光がまっすぐ進むことがわかる。物に日光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。(中理ウ(7)(8)(9)) (思判表力) 光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときと差異点に気づき表現することができる。(中理ウ(7)(8)(9)) (学・人) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする。(中理ウ(7)(8)(9))	(知・技) 光がまっすぐ進むことがわかり、物に光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。 (思・判・表) 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていることに気づくことができる。 (主学) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることに気づくことができる。	光の性質	・ 鏡に日光をあて、向きと光の様子について調べる ・ 鏡で太陽光を反射させ、指定の場所を照らす
3学期	5	(知及技) 風の力は、物を動かすことができることがわかる。(中理イ(7)(8)) (思判表力) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。(中理イ(7)(8)) (学・人) 風で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとする。(中理イ(7)(8))	(知・技) 風の力は、物を動かすことができることを理解している。 (思・判・表) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現している。 (主学) 風で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとしている。	風の力の働き	・ 扇風機やうちわで風を感じる ・ 風の力で物が動く様子について調べる ・ 風をつかたおもちゃ制作 ・ 扇風機、うちわ、工作材料を準備
	5	(知及技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることがわかる。(中理C(7)(8)) (思判表力) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを調べ、表現することができる。(中理ウ(7)(8)) (学・人) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理C(7)(8))	(知・技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることに興味をもっている。 (思・判・表) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを見いだし、表現している。 (主学) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	磁石の性質	・ 家庭で磁石が使われている場面を発表する ・ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を区別する ・ 棒磁石2本で反発する極と引き付けあう極の組み合わせを見つめる ・ 区別したものの、組み合わせを表にまとめる ・ 磁性体の素材を「鉄」と区別できる ・ 磁石、くぎ、アルミ缶等を準備
留意点 引継ぎ等	・ 出席 ・ 授業態度 ・ ワークシート ・ 提出物 ・ 発表				

令和 8 年度 中学部 (3年Ⅱ課程B) 理科 年間指導計画

単位数 / 配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年Ⅱ課程 B (肢体/医ケア)		理科☆☆☆☆を参考に自作教材を使用

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事象・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3 5	(知及技) 植物や動物を育て、その成長の変化を観察することができる。(中理Aアウ) (思判表力) 身近な材料を使用した実験に興味をもって参加できる。(中理(2)) (学・人) ことも新聞を教師と一緒に読むことができる。(中理(3))	(知・技) 植物や動物の成長の変化に気づくことができる。 (思・判・表) 身近な材料を使用した実験で気づいたことを表現している。 (学・人) ことも新聞を教師と一緒に読もうとしている。	【科学ニュースをよもう】 【生き物を育てよう】 【お天気調べ】 【宇宙科学館調べ学習】 【お楽しみ実験】 【校外学習】	・ ことも新聞の科学記事を読む ・ 植物の水やり、観察 ・ 動物の餌やり、水替え、観察 ・ 天気と気温を調べる ・ お楽しみ実験の計画、調べ学習
		(知及技) 身近な植物や動物の名前や特徴を調べることができる。(中理Aアウ) (思判表力) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現できる。(中理Aアイ) (学・人) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。(中理Aアウ)	(知・技) 植物の名前や特徴をとらえることができる。 (思・判・表) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然の観察し、それを表現している。 (主学) 観察の際の注意事項を踏まえ、行動することができる。	身のまわりの自然観察	・ 観察の際の注意事項について、確認する ・ 校庭にある植物から春の生物を探す ・ 自分で探してきた植物の名前を調べる
1 学期	6	(知及技) 昆虫や植物の育ち方には一定の順序があることがわかる。(中理Aアウ) (思判表力) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることに気づくことができる。(中理Aアウ) (学・人) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとする。(中理Aアウ)	(知・技) 蝶などの昆虫は幼虫と成虫で異なる姿をしていることに気が付くことができる。 (思・判・表) 昆虫などの姿が異なっているにも同じ個体であることに気付いて表現している。 (学・人) 身近な生物について学んだことを、学習や生活で見つけようとしている。	身のまわりの生物	・ 昆虫の一生について調べる ・ 虫眼鏡、顕微鏡、ICT機器を用いて観察を行う ・ 観察したものをスケッチや写真で記録をとる ・ 共通点と差異点について話し合う
		(知及技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解することができる。(中理B(ア)ウ) (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだすことができる。(中理B(ア)ウ) (学・人) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理B(イ))	(知・技) 地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさに違いがあることを理解している。 (思判表力) 日陰は太陽の光を遮るとできることを実験から見いだしている。 (学・人) 太陽と地面の様子について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	太陽と地面の様子	・ 日なたと日陰の地面の様子に着目し、それらを比較しながら観察する ・ 日向と日陰での気温や地面の温度を測り、表を作成する ・ 日時計を用い、影が動く車を観察する ・ 太陽の自転運動を観察できる ・ 温度計、遮光板、方位磁針を用いる
2 学期	7	(知及技) 光がまっすぐ進むことがわかる。物に日光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。(中理ウ(ア)ウ、イ) (思判表力) 光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときと差異点に気づき表現することができる。(中理ウ(イ)) (学・人) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする。(中理ウ(イ))	(知・技) 光がまっすぐ進むことがわかり、物に光を当てると物の暖かさや明るさが変わることがわかる。 (思・判・表) 物から音が伝わり伝わったりするとき、物は震えていることに気づくことができる。 (主学) 光の性質について学ぶ中で、日常生活で生かされていることに気づくことができる。	光の性質	・ 鏡に日光をあて、向きと光の様子について調べる ・ 鏡で太陽光を反射させ、指定の場所を照らす
		(知及技) 風の力は、物を動かすことができることがわかる。(中理イ(ア)ウ) (思判表力) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。(中理イ(イ)) (学・人) 風ので物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとする。(中理イ(イ))	(知・技) 風の力は、物を動かすことができることを理解している。 (思・判・表) 風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることがわかり、表現することができる。 (主学) 風ので物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かそうとしている。	風の力の働き	・ 扇風機やうちわで風を感じる ・ 風ので物が動く様子について調べる ・ 風をつかったおもちゃ制作 ・ 扇風機、うちわ、工作材料を準備
3 学期	5	(知及技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることがわかる。(中理エ(ア)) (思判表力) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを調べ、表現することができる。(中理ウ(ア)) (学・人) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとする。(中理ウ(イ))	(知・技) 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることに興味をもっている。 (思・判・表) 磁石の異極は引き合い、同極は避け合うことを見いだし、表現している。 (主学) 磁石の性質を知り、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	磁石の性質	・ 家庭で磁石が使われている場面を発表する ・ 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を区別する ・ 棒磁石2本で反発する極と引き付けあう極の組み合わせを見つける ・ 区別したものを、組み合わせを表にまとめる ・ 磁性体の素材を「鉄」と区別できる ・ 磁石、くさ、アルミ缶等を準備
		留意点 引継ぎ等	・ 出席 ・ 授業態度 ・ ワークシート ・ 提出物 ・ 発表		

令和8年度 中学部 1年 ( II課程B) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	1学年 II課程B		音楽☆・音楽☆☆ 音楽☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(イ)㉔㉕) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(ウ)㉗) 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗) 教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) (思判表力) 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階A(ア)㉑) 【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階A(イ)㉔) 【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A(イ)㉔) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(イ)㉔㉕) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(ウ)㉗) 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗) 教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) (思判表力) 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階A(ア)㉑) 【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階A(イ)㉔) 【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A(イ)㉔) (学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)	(知・技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌おうとしている。教師や友達と一緒に歌おうとしている。 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。楽器の音色の違いに気付いている。範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。身近な打楽器を演奏しようとしている。教師や友達と一緒に演奏しようとしている。 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。曲名と動きとの関りに気付いている。示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。	のびのびと歌い、楽器に親しむと共に、いろいろな表現を楽しもう。いろいろな音楽を聴こう 【歌唱】 夏を感じながら表現しよう 【器楽】 身近な楽器で表現しよう 【身体表現】 遊び歌で身体表現を楽しもう	・季節の音楽「雨ふり」「月桃」等、音楽に合わせて範奏を聴き、模倣をして一部の旋律をタンバリンや木琴、または身近な楽器等で演奏する。 ・季節の音楽「春の小川」歌詞にある情景を動画等で提示してイメージを持つ。 ・春をイメージする色のスカーフで表現活動をする。 ・親しみのある遊び歌の曲で表現活動をする。「幸せなら手をたたこう」「ひげいさん」「手をたたきましよう」「あたまかたむざボン」等 ・手話ソングでは動作のポイントをしぼり表現活動する。 4月「きみに会えてうれしい」 5月「かぜよかけふけ」 6月「緑の風と青い空」 7月「やっほっほ夏休み」「なかまただら」等 ・パネルシアターで表現する。 「海のうたをうたおう」 「こいのぼり」 「おべんどうぼこのうた」等
2		(知及技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(イ)㉔㉕) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(ウ)㉗) 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 【音楽づくり】 声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 音を選んだりつなげたりして、表現することができる。(小2段階A(ウ)㉗㉘) 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階	(知・技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌おうとしている。教師や友達と一緒に歌おうとしている。 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。楽器の音色の違いに気付いている。範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。身近な打楽器を演奏しようとしている。教師や友達と一緒に演奏しようとしている。 【音楽づくり】 声や身の回りの様々な音の特徴に気付いている。音を選んだりつなげたりして、表現しようとしている。 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。曲名と動きとの関りに気付いている。示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識	のびのびと歌い、楽器に親しむと共に、いろいろな表現を楽しもう。いろいろな音楽を聴こう 【歌唱】 秋色で表現しよう 【器楽】 リズム楽器で進行曲にチャレンジ 【音楽づくり】 すきな音を探そう・鳴らそう 【身体表現】 新聞紙で表現しよう	・季節の音楽「ふじやま」「もみじ」歌詞にある情景を動画等で提示してイメージを持つ。 ・「もみじ」では秋をイメージする色のスカーフで表現活動をする。 ・パネルシアターで「もみじ」を表現する。 ・「ミッキー・マウスマーチ」の曲に合わせて、小太鼓、中太鼓で決められたリズム又は、自分なりのリズムで演奏する。 ・「新聞」の動画に合わせて新聞紙を叩いたり、くしゃくしゃにしたり、丸めたり、破ったりする。 ・「ハンガリー舞曲」では曲想の変化に合わせて、新聞紙をちぎる、揺らす、たたくいたり表現を楽しむ。 ・パネルシアター「ボンクんの夏休み」「はらべこあおむし」「森のクリスマス」「サンタクロースの5人兄弟」等好きな絵カードを選び、曲に合わせてパネルに貼り、協力して表現する。 ・手話ソングでは動作のポイントをしぼり表現活動する。 9月「あいうえおとだち」 10月「手のひらを太陽に」「あの青い空のように」 11月「あしたも元気に」 12月「ハッピークリスマス」「ともだち

1学期	<p>30 AI(イ)④        示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階AI(ウ)㉔)</p> <p>(思判表力)        【歌唱】        好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階AI(ア))        【器楽】        身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階AI(ア))        【音楽づくり】        音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。(小2段階AI(ア)㉔)        音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(小2段階AI(ア)㉔)        【身体表現】        簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階AI(ア))</p> <p>(学・人)        音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)</p>	<p>したりして手足や身体全体を動かそうとしている。音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。</p> <p>(思・判・表)        【歌唱】        歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。        【器楽】        器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。        【音楽づくり】        音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音の面白さに気付いたり、表現しようとしている。        【身体表現】        身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。</p> <p>(主学)        音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもとうとしている。</p>	<p>になるために」等</p>
3学期	<p>20 (知及技)        【歌唱】        曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階AI(イ)㉔)        範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        【器楽】        拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階AI(イ)㉔)        楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階AI(イ)㉔)        範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        【身体表現】        拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階AI(イ)㉔)        曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階AI(イ)㉔)        示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階AI(ウ)㉔)        【鑑賞】        身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けすることができる。(小2段階B(イ))</p> <p>(思判表力)        【歌唱】        好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階AI(ア))        【器楽】        身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階AI(ア))        【身体表現】        簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階AI(ア))        【鑑賞】        身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(小2段階B(ア))</p> <p>(学・人)        音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)</p>	<p>(知・技)        【歌唱】        曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見ながら歌おうとしている。自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌おうとしている。        【器楽】        拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。楽器の音色の違いに気付いている。範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。身近な打楽器を演奏しようとしている。教師や友達と一緒に演奏しようとしている。        【身体表現】        拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。曲名と動きとの関りに気付いている。示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。</p> <p>(鑑賞)        身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)        【歌唱】        歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。        【器楽】        器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。        【身体表現】        身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。        【鑑賞】        鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。</p> <p>(主学)        音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもとうとしている。</p>	<p>1年間で学んだ事を思い出しながら表現・鑑賞しよう。        【歌唱】        季節の音楽に親しもう        【器楽】        琉球音楽に親しもう～三線にチャレンジ～        【身体表現】        手話ソングやパネルシアターで表現活動しよう        【鑑賞】        いろいろな音楽をきこう</p> <p>・キーボードで、「ドレミファソラド」を練習し、「ドレミの歌」「キラキラ星」を演奏する。パワーポイントを使って、ドレミのキーボードの位置を確認したり、YouTubeで歌を流したりする。        ・「春の海」(箏、尺八の楽曲に触れる)、「さくらさくら」の情景を動画等で提示してイメージを持つ。「卒業式に向けて「卒業の歌」「校歌」「国歌」儀式の歌を聴き、慣れ親しむ。        ・「十二支の歌」では、干支カードを一緒に確認しながら順序よく並べる。        ・手話ソングでは積極的に模倣で、ある程度覚えて手話表現する。        1月「花さき山」        2.3月「にじいろ」</p>
留意点 引継ぎ等	<p>・「始まり終わりの歌」「名前の歌」、手話ソング(毎月違う曲)、年間通して行う。パネルシアターは随時行う。        ・曲の雰囲気味わったり、情緒安定を図るために教室を暗くし、季節に応じて、キラキラライト、バルーン等を使用し鑑賞活動を取り入れる。        ・共通教材「春の小川」「もみじ」「ふじ山」音楽☆☆☆☆</p>		

令和8年度 中学部 2年 (II課程B) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	2学年 II課程B		音楽☆・音楽☆☆ 音楽☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階) (学・人) 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aア(イ)㉞㉟) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aア(ウ)㉞㉟) 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階Aア(ウ)㉞㉟)	(知・技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌おうとしている。 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌おうとしている。 教師や友達と一緒に歌おうとしている。	【歌唱】 夏を感じながら表現しよう	・季節の音楽「雨ふり」「月桃」等、音楽に合わせて範奏を聴き、模倣をして一部の旋律をタンバリンや木琴、または身近な楽器等で演奏する。 ・季節の音楽「茶つみ」歌詞にある情景を動画等で提示してイメージを持つ。 ・春をイメージする色のスカーフで表現活動をする。
		【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㉞) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㉞) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㉞) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㉞) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㉞)	【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。 楽器の音色の違いに気付いている。 範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。 身近な打楽器を演奏しようとしている。 教師や友達と一緒に演奏しようとしている。	【器楽】 身近な楽器で表現しよう	・親しみのある遊び歌の曲で表現活動をする。「幸せなら手をたたこう」「あたまかたむしきボン」等 ・手話ソングでは、簡単にできる部分を手話表現する。 4月「きみに会えてうれしい」 5月「かぜよかけんげん」 6月「緑の風と青い空」 7月「やっほっほ夏休み」「なかまたち」等 ・パズルシアターで表現する「海のうたをうたおう」「こいのぼり」等
		【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㉞) 曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㉞) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階Aイ(ウ)㉞) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階Aイ(ウ)㉞) 教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階Aイ(ウ)㉞)	【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。 曲名と動きとの関りに気付いている。 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。 教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。	【身体表現】 遊び歌で身体表現を楽しもう	
		(思判表力) 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階Aア(ア)) 【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階Aイ(ア)) 【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階Aイ(ア))	(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。 【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。		
(学・人)		音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)	(主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもとうとしている。		

2 学期	<p>30</p> <p>【知及技】 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aア(イ)㊦㊧) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aア(ウ)㊦) 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階Aア(ウ)㊧㊨) 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊦) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊧) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦㊧) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊧㊨) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊨) 【音楽づくり】 声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(小2段階Aウ(イ)㊦) 音を選んだりつなげたりして、表現することができる。(小2段階Aウ(ウ)㊦) 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A工(イ)㊦) 曲名と動きとの関わりに気付くことができる。(小2段階A工(イ)㊧) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A工(ウ)㊦) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階A工(ウ)㊧) 教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階A工(ウ)㊨)</p> <p>【思判表力】 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階Aア(ア)) 【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階Aイ(ア)) 【音楽づくり】 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。(小2段階Aウ(ア)㊦) 音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(小2段階Aウ(ア)㊧) 【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A工(ア))</p> <p>【学・人】 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)</p>	<p>【知・技】 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見ながら歌おうとしている。自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌おうとしている。教師や友達と一緒に歌おうとしている。 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。楽器の音色の違いに気付いている。範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。身近な打楽器を演奏しようとしている。教師や友達と一緒に演奏しようとしている。 【音楽づくり】 声や身の回りの様々な音の特徴に気付いている。音を選んだりつなげたりして、表現しようとしている。 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。曲名と動きとの関わりに気付いている。示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。</p> <p>【思・判・表】 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。 【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 【音楽づくり】 音楽づくりに関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、音の面白さに気付いたり、表現しようとしている。 【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。</p> <p>【主学】 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもとうとしている。</p>	<p>のびのびと歌い、楽器に親しむと共に、いろいろな表現を楽しもう。いろいろな音楽を聴こう</p> <p>【歌唱】 秋色で表現しよう</p> <p>【器楽】 リズム楽器で進行曲にチャレンジ 琉球音楽に親しもう～三線にチャレンジ～</p> <p>【音楽づくり】 好きな音を探そう・鳴らそう</p> <p>【身体表現】 手話ソングやパネルシアターで楽しんでも表現しよう</p>	<p>・季節の音楽「ふじ山」「もみじ」「うさぎ」「ふるさと」歌詞にある情景を動画等で提示してイメージを持つ。 ・「もみじ」では秋をイメージする色のスクリーンで表現活動をする。 ・パネルシアターで「もみじ」を表現する。 ・「ミッキーマウスマーチ」の曲に合わせて、小太鼓、中太鼓で決められたリズム又は、自分なりのリズムで演奏する。 ・沖縄の音楽に触れ、三線に興味を持ち、三線の開放弦を響かせることができる。「ていんさく太鼓」「カンカラ三線うむしるむん」 ・パネルシアター「ポンくんの夏休み」「はらべこあおむし」「森のクリスマス」「サンタクロースの5人兄弟」等好きな絵カードを選び、曲に合わせてパネルに貼り、協力して表現する。 ・手話ソングでは動作のポイントをしばらく表現活動する。 9月「あいうえおともだち」 10月「手のひらを太陽に」「あの青い空のように」 11月「あしたも元気に」 12月「ハッピークリスマス」「ともだちになるために」等</p>
3 学期	<p>20</p> <p>【知及技】 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aア(イ)㊦㊧) 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aア(ウ)㊦) 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階Aア(ウ)㊧㊨) 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊦) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊧) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦㊧) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊧㊨) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊨) 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A工(イ)㊦) 曲名と動きとの関わりに気付くことができる。(小2段階A工(イ)㊧) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A工(ウ)㊦) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階A工(ウ)㊧) 教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階A工(ウ)㊨)</p> <p>【鑑賞】 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。(小2段階Bア(イ))</p>	<p>【知・技】 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見ながら歌おうとしている。自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌おうとしている。教師や友達と一緒に歌おうとしている。 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。楽器の音色の違いに気付いている。範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。身近な打楽器を演奏しようとしている。教師や友達と一緒に演奏しようとしている。 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。曲名と動きとの関わりに気付いている。示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。 【鑑賞】 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。</p>	<p>1年間で学んだ事を思い出しながら表現・鑑賞しよう</p> <p>【歌唱】 季節の音楽に親しもう</p> <p>【器楽】 キーボードでドレミの練習</p> <p>【身体表現】 手話ソングやパネルシアターで表現活動をしよう</p> <p>【鑑賞】 いろいろな音楽をきこう</p>	<p>・キーボードで、ドレミファソラドを練習し、「ドレミの歌」「キラキラ星」を演奏する。パワーポイントを使って、ドレミのキーボードの位置を確認したり、YouTubeで歌を流したりする。 ・「春の海」(箏、尺八の楽曲に触れる)、「さくらさくら」の情景を動画等で提示してイメージを持つ。 ・卒業式に向けて「卒業の歌」「校歌」「国歌」儀式的歌を聴き、慣れ親しむ。 ・「十二支の歌」では、干支カードと一緒に確認しながら順序よく並べる。 ・手話ソングでは積極的に模倣で、ある程度覚えて手話表現する。 1月「花さき山」 2、3月「にじいろ」</p>

	<p>(思判表力) 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階Aア(ア))</p> <p>【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階アイ(ア))</p> <p>【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A工(ア))</p> <p>【鑑賞】 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(小2段階Bア)</p>	<p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。</p> <p>【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。</p> <p>【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。</p> <p>【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。</p>	
	<p>(学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)</p>	<p>(主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもとうとしている。</p>	
<p>留意点 引継ぎ等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「始まり終わりの歌」「名前の歌」、手話ソング(毎月違う曲)、年間通して行う。パネルシアターは随時行う。</li> <li>・曲の雰囲気味わったり、情緒安定を図るために教室を暗くし、季節に応じて、キラキラライト、バルーン等を使用し鑑賞活動を取り入れる。</li> <li>・共通教材「茶つき」「うさぎ」音楽☆☆☆☆ 「ふるさと」音楽☆☆☆☆</li> </ul>		

令和8年度 中学部 3年 ( II課程B ) 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	3学年 II課程B		音楽☆・音楽☆☆ 音楽☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 【歌唱】 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などに関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 【器楽】 音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。(中1段階) (学・人) 【身体表現】 進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。(中1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(イ)㉔㉕) 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉕) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階A(イ)㉖) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階A(イ)㉗) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階A(イ)㉘) 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉕) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉔㉕) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉖) 教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗)	(知・技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。 楽器の音色の違いに気付いている。 範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。 身近な打楽器を演奏しようとしている。 教師や友達と一緒に演奏しようとしている。 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。 曲名と動きとの関りに気付いている。 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。 教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。	のびのびと歌い、楽器に親しむと共に、いろいろな表現を楽しもう。いろいろな音楽を聴こう 【歌唱】 夏を感じながら表現しよう 【器楽】 身近な楽器で表現しよう 琉球音楽に親しもう ～「三線にチャレンジ」～ 【身体表現】 遊び歌で身体表現を楽しもう	・季節の音楽「だから雨ふり」「月桃」等、音楽に合わせて範奏を聴き、模倣をして一部の旋律をタンバリンや木琴、または身近な楽器等で演奏する。 ・季節の音楽「夏の思い出」、「茶摘み」等の夏をイメージする映像 YouTube等を生徒に見せながら歌の一部を歌う。 ・沖縄の音楽に触れ、三線に興味を持ち、三線の開放弦を響かせることができる。「ていんさくぬ花」「カンカラ三線うむしるむん」 ・親しみのある遊び歌の曲で表現活動をする。「幸せなら手をたたこう」「あたまかたひきポン」等 ・手話ソングでは、簡単にできる部分を手話表現する。 4月「さみに会えてうれしい」 5月「かぜよふけふけ」 6月「緑の風と青い空」 7月「やつぱり夏休み」「ななかまたから」等 ・パネルシアターで表現する「海のうたをうたおう」「こいのぼり」等
		(思判表力) 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階A(ア)㉔) 【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階A(イ)㉔) 【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階A(ア)㉔)	(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。 【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。 【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。		
		(学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)	(主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。		
2 学期	30	(知及技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階A(イ)㉔㉕) 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉕) 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階A(イ)㉖) 身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階A(イ)㉗) 教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階A(イ)㉘) 【音楽づくり】 声や身の回りの様々な音の特徴に気付くことができる。(小2段階A(ウ)㉔㉕) 音を選んだりつなげたりして、表現することができる。(小2段階A(ウ)㉖㉗) 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉔) 曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階A(イ)㉕) 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉔㉕) 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉖) 教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階A(ウ)㉗)	(知・技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。 【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。 楽器の音色の違いに気付いている。 範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。 身近な打楽器を演奏しようとしている。 教師や友達と一緒に演奏しようとしている。 【音楽づくり】 声や身の回りの様々な音の特徴に気付いている。 音を選んだりつなげたりして、表現しようとしている。 【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。 曲名と動きとの関りに気付いている。 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。 教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。	のびのびと歌い、楽器に親しむと共に、いろいろな表現を楽しもう。いろいろな音楽を聴こう 【歌唱】 秋色で表現しよう 【器楽】 リズム楽器で進行曲にチャレンジ 【音楽づくり】 さまざまな音を探そう・鳴らそう 【身体表現】 手話ソングやパネルシアターで楽しんで表現しよう	・季節の音楽「ふじやま」「もみじ」「赤とんぼ」「もみじ」歌詞にある情景を動画等で提示してイメージを持つ。 ・「もみじ」では秋をイメージする色のスカーフで表現活動をする。 ・パネルシアターで「もみじ」を表現する。 ・「ミッキーマウスマーチ」の曲に合わせて、小太鼓、中太鼓で決められたリズム又は、自分なりのリズムで演奏する。 ・パネルシアター「ポンくんの夏休み」「はらぺこあむし」「森のクリスマス」「サンタクロースの5人兄弟」等好きな絵カードを選び、曲に合わせてパネルに貼り、協力して表現する。 ・手話ソングでは動作のポイントをしほり表現活動する。 9月「あいうえおともだち」 10月「手のひらを太陽に」「あの子の空のよう」 11月「あしたも元気に」 12月「ハッピークリスマス」「ともだちになるために」等

	<p>(思判表力) 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階Aア(ア))</p> <p>【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階Aイ(ア))</p> <p>【音楽づくり】 音遊びを通して、音の面白さに気付くことができる。(小2段階Aウ(ア)㊦)</p> <p>音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。(小2段階Aウ(ア)㊦)</p> <p>【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階Aイ(ア))</p>	<p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。</p> <p>【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。</p> <p>【音楽づくり】 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音の面白さに気付いたり、表現しようとしている。</p> <p>【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。</p>		
	<p>(学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)</p>	<p>(主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもとうとしている。</p>		
3 学 期	<p>(知及技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aイ(イ)㊦)</p> <p>④ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりすることができる。(小2段階Aウ(ウ)㊦)</p> <p>自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて、教師や友達と一緒に歌ったりすることができる。(小2段階Aウ(ウ)㊦)</p> <p>【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊦)</p> <p>楽器の音色の違いに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊦)</p> <p>④ 範奏を聴き、模倣をして演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦)</p> <p>身近な打楽器を演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦)</p> <p>教師や友達と一緒に演奏することができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦)</p> <p>【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊦)</p> <p>曲名と動きとの関りに気付くことができる。(小2段階Aイ(イ)㊦)</p> <p>④ 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かすことができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦)</p> <p>⑦ 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かすことができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦)</p> <p>教師や友達と一緒に体を動かすことができる。(小2段階Aイ(ウ)㊦)</p> <p>【鑑賞】</p>	<p>(知・技) 【歌唱】 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関りに気づき、範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌おうとしている。自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌おうとしている。</p> <p>④ 教師や友達と一緒に歌おうとしている。</p> <p>【器楽】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。楽器の音色の違いに気付いている。範奏を聴き、模倣をして演奏しようとしている。身近な打楽器を演奏しようとしている。教師や友達と一緒に演奏しようとしている。</p> <p>【身体表現】 拍や曲の特徴的なリズムに気付いている。曲名と動きとの関りに気付いている。示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かそうとしている。音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かそうとしている。教師や友達と一緒に体を動かそうとしている。</p> <p>【鑑賞】 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けようとしている。</p>	<p>1年間で学んだ事を思い出しながら表現・鑑賞しよう。</p> <p>【歌唱】 季節の音楽に親しもう</p> <p>【器楽】 キーボードでドレミの練習</p> <p>【身体表現】 手話ソングやパネルシアターで表現活動をしよう</p> <p>【鑑賞】 いろいろな音楽をきこう</p>	<p>・キーボードで、ドレミファソラシドを練習し、「ドレミの歌」「キラキラ星」を演奏をする。パワーポイントを使って、ドレミのキーボードの位置を確認したり、YouTubeで歌を流したりする。</p> <p>・「春の海」(箏、尺八の楽曲に触れる)、「さくらさくら」の情景を動画等で提示してイメージを持つ。</p> <p>・卒業式に向けて「卒業の歌」「校歌」「国歌」儀式的歌を聴き、慣れ親しむ。</p> <p>・「十二支の歌」では、干支カードと一緒に確認しながら順序よく並べる。</p> <p>・手話ソングでは積極的に模倣で、ある程度覚えて手話表現する。</p> <p>1月「花さき山」 2.3月「にじいろ」</p>
	<p>(思判表力) 【歌唱】 好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。(小2段階Aア(ア))</p> <p>【器楽】 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。(小2段階Aイ(ア))</p> <p>【身体表現】 簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつことができる。(小2段階Aイ(ア))</p> <p>【鑑賞】 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。(小2段階Bア)</p>	<p>(思・判・表) 【歌唱】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもっている。</p> <p>【器楽】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとしている。</p> <p>【身体表現】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かそうとしている。</p> <p>【鑑賞】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴こうとしている。</p>		
	<p>(学・人) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもつことができる。(小2段階)</p>	<p>(主学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもとうとしている。</p>		
留意点 引継ぎ等	<p>・「始まり終わりの歌」「名前の歌」、手話ソング(毎月違う曲)、年間通して行う。パネルシアターは随時行う。</p> <p>・曲の雰囲気や味わったり、情緒安定を図るために教室を暗くし、季節に応じて、キラキラライト、バルーン等を使用し鑑賞活動を取り入れる。</p> <p>・共通教材「夏の思い出」「赤とんぼ」「とんぼ」音楽☆☆☆☆</p>			

令和8年度 中学部 1年（ⅡB課程） 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年Ⅱ課程B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方などに親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(小3段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(小3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・さまざまな画材や技法の中から自分に合ったものを選び、それらを生かして表現することができる。(小3段階 表現ア(イ)、共通ア(ア)) (思判表力) ・自分の思い付いた形や色を画面に表すことができる。(中1段階 表現ア(ア)、共通ア(イ)) (学・人) ・さまざまな形や色に関心を持ち、画材による表現の違いに気づきながら、楽しむ態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア) 共通ア(ア))	(知・技) ・さまざまな画材や技法の中から自分に合ったものを選び、それらを生かして表現しようとしている。 (思・判・表) ・自分の思い付いた形や色を画面に表現しようとしている。 (主学) ・さまざまな形や色に関心を持ち、楽しんで活動に取り組むようとしている。	絵画表現 <自由画> ・いろいろな画材、好きな画材で自由に表現しよう。	・色画用紙から好みの色を選択する。 ・クレヨン、クーピー、色ペン・絵の具などの中から好きな画材を選び、画面に思い思いに描く。 ・切り貼りする活動が好きな生徒は、シールや色紙を用いて、切ったり破いたり貼ったりする活動を行う。 ・仕上がった作品の好きなところや工夫したところなどを教師と話しながら、みんなで鑑賞する。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
	6	(知及技) ・ビー玉が転がりながら出てくる模様の面白さに気づき、関心を持つことができる。(小3段階 表現ア(ア)、共通ア(ア)) (思判表力) ・ビー玉の転がる位置を調整したり、さまざまな色を用いてみるなど、工夫して作品に取り組むことができる。(中1段階 表現ア(イ)、共通ア(ア)) (学・人) 教師や仲間と一緒にビー玉を転がし共同で表現する楽しさを味わいながら、すすんで活動に取り組む態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア) 共通ア(ア))	(知・技) ・ビー玉が転がりながら出てくる模様の面白さに気づき、すすんで活動している。 ・道具の使い方を理解して制作を行っている。 (思・判・表) ・ビー玉の転がる位置を調整したり、さまざまな色を用いてみるなど、工夫して作品に取り組んでいる。 (主学) 教師や仲間と一緒にビー玉を転がして楽しみ、すすんで活動に取り組んでいる。	絵画表現 <ビー玉コロコロ絵画> ・ビー玉コロコロで描こう ・大きな作品をつくろう (共同制作)	・スライドや動画を見ながら、制作工程に見通しが持てるようにする。 ・使用する材料や道具を確認し、準備を行う。 ・色々な大きさの箱を使って、実際にビー玉絵の具で制作を行う。 ・慣れてきたら、大きな箱で共同作品に取り組む。 ・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。
	10	(知及技) ・絵の具やローラー、マスキングなど道具の扱いを理解し、適切に使用することができる。(小3段階 表現ア(イ)) (思判表力) ・思い描いた模様や、好きな形を画面に現れたり、自分なりに工夫して表現することができる。(中1段階 表現ア(ア)、共通ア(イ)) (学・人) ・出来上がった作品を鑑賞したり、仲間と模様や色の表現の違いを楽しみながら、すすんで活動に取り組む態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア))	(知・技) ・絵の具やローラー、マスキングなど道具の扱いを理解し、適切に使用することができる。 (思・判・表) ・思い描いた模様や、好きな形を画面に現れたり、自分なりに工夫して表現しようとしている。 (主学) 出来上がった作品を鑑賞したり、仲間と模様や色の表現の違いを楽しみながら、すすんで活動に取り組むようとしている。	版画 <マスキング・ローラーで描こう> ・ローラーと絵の具で好きな色を塗ろう ・マスキングで表現したい模様を表現しよう	・画用紙にローラーを用いて好きな色で塗りつぶす(ポスターカラー) ・画面が乾いたら、マスキングテープを貼り付けて模様をつくる。(マスキングの粘着は弱める) ・マスキングテープを貼り付けたまま、ローラーを使って別の色を塗り重ねる。 ・これらの工程をさらに2回繰り返す。 ・画面が乾いたら、すべてのマスキングテープをゆっくり剥がして出来上がった模様をみんなで鑑賞する。 ※工程に関するスライドや動画を用いて制作の見通しが持てるようにする。 ※いくつか参考作品を提示して、表現の幅が広がるようにする。

2 学 期	8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透き通ったカラーセロハンの美しさや色の重なりで変わる様子に気付き、関心を持って制作に取り組むことができる。(小3段階 表現ア(イ)、共通ア(イ))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・セロハンの色を選び、色の重なりや配置を工夫しながら制作することができる。(中1段階 表現ア(ア)(イ) 共通ア(ア)(イ))</li> <li>(学・人)</li> <li>・仕上がった作品を窓に飾り、光によって変わる色の様子や作品の雰囲気に関心を持ちながら、すすんで鑑賞する態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア) 共通ア(ア))</li> </ul>	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透き通ったカラーセロハンの美しさや色の重なりで変わる様子に気付き、関心を持って制作に取り組んでいる。</li> <li>(思判表力)</li> <li>・セロハンの色を選び、色の重なりや配置を工夫しながら制作している。</li> <li>(主学)</li> <li>・仕上がった作品を窓に飾り、光によって変わる色のおもしろさや、変化する作品の雰囲気に関心を持ちながら、すすんで鑑賞する態度を養う。</li> </ul>	<p>工作</p> <p>&lt;窓に飾ろう・透き通る色&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作工程や道具について、見本やスライドを提示して見通しを持たせる。</li> <li>・魚や星やハート、雪だるまなどの型(ラミネート済み)の中から好きなものを選び、カラーセロハンを切り貼りしながら、色の配置や重なりを楽しんで活動できるようにする。</li> <li>・仕上がった作品を暗い場所で光を当てて壁に投影し、みんなで鑑賞を楽しめるようにする。</li> <li>・さいごにみんなで作品を窓に貼り付けて展示し、光の具合で変化する作品の雰囲気を楽しめるようにする。</li> <li>・授業の最後に、活動の様子を写真や動画で振り返り、制作への関心や達成感が高められるようにする。</li> </ul>
	8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・描画とは違ったスタンプの面白さに気付き、関心を持って活動することができる。(小3段階 表現ア(イ)、共通ア(ア))</li> <li>・適切に道具を扱い、押したい箇所にスタンプをすることができる。</li> <li>(思判表力)</li> <li>・ビー玉コロコロでつくった模様から、好きな部分を選択して魚スタンプを押すことができる。(中1段階 表現ア(ア)、共通ア(イ))</li> <li>(学・人)</li> <li>・仕上がった作品での魚釣りゲーム大会を楽しむことで、自他の作品に親しみを持ってすすんで活動に参加する態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・描画とは違ったスタンプの面白さに気付き、関心を持って活動している。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・ビー玉コロコロでつくった模様から、好きな部分を選択して魚スタンプを制作している。</li> <li>(主学)</li> <li>・仕上がった作品での魚釣り大会を楽しみながら、自他の作品に親しみを持ってすすんで活動に参加している。</li> </ul>	<p>版画・工作</p> <p>&lt;魚を作ろう・釣ろう&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期に行ったビー玉コロコロを振り返り、今回もみんなで共同制作することを伝え、道具や制作過程を確認する。</li> <li>・仲間と大きな箱でコロコロ絵の具で制作を行う。</li> <li>・仕上がった作品にそれぞれ好きな模様の箇所に魚スタンプを押し、自分の魚を制作する。</li> <li>・魚を切り取って、クリップを貼り付けて魚釣りの準備を行う。</li> <li>・実際に釣りゲーム大会を行い、作品に親しみが持てるよう楽しい雰囲気ゲームを行う。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。</li> </ul>
	10	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や用具を適切に使いながらスライムをつくることことができる。(小3段階 表現ア(イ)、共通ア(ア))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・スライムの材料を混ぜながら自分好みの柔らかさにしたり、好みの色を選択して表現することができる。(中1段階 表現ア(イ)、共通ア(イ))</li> <li>(学・人)</li> <li>・スライムを作ったり感触や色を楽しみながら、すすんで活動に参加する態度を養う。(小3段階 表現ア(イ)、共通ア(ア))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <p>スライムの形や色、感触などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、工夫してつくろうとしている。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>スライムの材料を混ぜて自分好みの柔らかさにしたり、好みの色を選択して表現しようとしている</p> <p>(主学)</p> <p>スライムを作ったり感触や色を楽しみながら、すすんで活動に参加しようとしている。</p>	<p>感触</p> <p>&lt;スライムで遊ぼう&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまなスライムの写真を、スライドを使って見る。</li> <li>・材料と一緒に確認しながら、作り方を確認する。</li> <li>・紙コップ、割り箸などの道具を使ってスライムをつくってみる。かき混ぜながら自分好みの柔らかさにする。</li> <li>・トレー上で、スライムの感触を楽しんだり色々な形にして楽しむ。</li> <li>・自分のスライムに好きな色をつけて、色が付く面白さを楽しむ。</li> <li>・友達のスライムと比べたり、交換したりして仲間と活動を楽しむ。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。</li> </ul>
3 学 期	8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみや糊など、道具の扱いを理解し適切に使用することができる。(小3段階 表現ア(イ)、共通ア(ア))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・切り取った形を、自分なりに配置を考えて紙バッグに貼り付けたり装飾したりすることができる。(中1段階 表現ア(ア)、共通ア(イ))</li> <li>(学・人)</li> <li>・出来上がった作品をみんなで鑑賞したり、生活の中で使用することで、自らの作品に親しむ態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみや糊など、道具の扱いを理解し適切に使用しようとしている。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・切り取った形を、自分なりに配置を考えて紙バッグに貼り付けたり、装飾したりしてすすんで取り組んでいる。</li> <li>(主学)</li> <li>・出来上がった作品をみんなで鑑賞したり、実際に使用することを通して、自らの作品に親しもうとしている。</li> </ul>	<p>工作</p> <p>&lt;マイバッグを作ろう&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品を見せたり、制作工程をパワーポイントで見せるなどして、制作への見通しを持たせる。</li> <li>・必要な材料や道具を提示し、自ら準備できるようにする。(ペーパーバッグ、はさみ、糊)</li> <li>・色紙や、これまで制作した平面作品を材料に、好きな形に切り配置を考えて貼ったりする。</li> <li>・シールを貼ったり、ペーパーバッグに模様を加えるなどして仕上げる。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで見たり、自分作品の気に入っているところなどを伝え合ったりしながら、振り返りや鑑賞を楽しむ。</li> <li>・仕上がったペーパーバッグはこれまでの作品などを入れて持ち帰るなど、実際に使用できるようにする。</li> </ul>
	6	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具やマジック、クレヨン等画材を選択し、ハサミやのりを適切に扱いながら表現活動を行うことができる。(小3段階 表現ア(イ))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・制作において工夫して表現することができる。(中1段階 表現ア(イ)、共通ア(イ))</li> <li>(学・人)</li> <li>・共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさや気づき楽しむ態度を養う。(小3段階 表現ア(イ)、鑑賞ア(ア))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具やマジック、クレヨン等画材を選択し、ハサミやのりを適切に扱いながら表現活動を行おうとしている。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・制作において工夫して表現しようとしている。</li> <li>(主学)</li> <li>・共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさや気づき楽しむようとしている。</li> </ul>	<p>共同制作</p> <p>&lt;卒業式の壁画&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の壁画のテーマや仕上がり、制作する部分や制作方法をスライドで確認する。</li> <li>・壁画制作は学校全体で行うことを確認し、共同制作で作品を仕上げていく。</li> <li>・様々な画材を丁寧に扱う。</li> <li>・完成したら体育館に見に行ったり、写真で確認し鑑賞する。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。</li> </ul>

	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品集の制作工程や、のりハサミを適切に扱い、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧に行うことができる。(小3段階 表現ア (イ)、共通ア (ア))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・どのように作品集を仕上げるか、作品や写真の配置や、ページの順番、表紙の色等を選択し、関心を持って制作することができる。(中1段階 表現ア (ア)、共通ア (イ))</li> <li>(学・人)</li> <li>・1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、制作を楽しむ態度養う。(小3段階 鑑賞ア (ア))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品集の制作工程や、のりハサミを適切に扱い、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧に行おうとしている。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・どのように作品集を仕上げるか、作品や写真の配置や、ページの順番、表紙の色等を選択し、関心を持って制作している。</li> <li>(主学)</li> <li>・1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、制作を楽しんでいる。</li> </ul>	<p>鑑賞・工作 &lt;作品集作り&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を通して制作した作品を1冊にまとめ、作品集として持ち帰る。</li> <li>・四つ切りサイズの作品は端を丁寧に折り曲げ、片面にのり付けする。</li> <li>・小さな作品や写真は四つ切りサイズの画用紙に貼り合わせる。</li> <li>・表紙や背表紙の好きな色を選び、好きな画材で描いて作品集を完成し、友達と鑑賞する。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。</li> </ul>
<p>留意点 引継ぎ等</p>				

令和8年度 中学部 2年（Ⅱ課程Bグループ） 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年Ⅱ課程B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方などに親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階) (思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(小3段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	(知及技) ・さまざまな画材や技法の中から自分に合ったものを選択し、それらを生かして表現することができる。(中1段階ア) (思判表力) ・自分の思い付いた形や色を画面に表すことができる。(中1段階表現ア(ア)、共通ア(イ)) (学・人) ・さまざまな形や色に関心を持ち、画材による表現の違いに気付きながら、楽しむ態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア))	(知・技) ・さまざまな画材や技法の中から自分に合ったものを選択し、それらを生かして表現しようとしている。 (思・判・表) ・自分の思い付いた形や色を画面に表現しようとしている。 (主学) ・さまざまな形や色に関心を持ち、楽しんで活動に取り組むようとしている。	絵画表現 <自由画>	・色画用紙から好みの色を選択する。 ・クレヨン、クーピー、色ペン・絵の具などの中から好きな画材を選び、画面に思い思いに描く。 ・切り貼りする活動が好きな生徒は、シールや色紙を用いて、切ったり破いたり貼ったりする活動を行う。 ・仕上がった作品の好きなところや工夫したところなどを教師と話しながら、みんなで鑑賞する。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
	6	(知及技) ・意外な模様の出現に触れ、色や形への関心を持つことができる。 ・道具を適切に使用することができる。(中1段階 表現ア、共通ア(ア)) (思判表力) ・色や道具を自分で選び取ることができる。 ・色を変えてみたり、画用紙の持ち方を変えるなど工夫して取り組むことができる。(中1段階 表現ア(ア)、共通ア(イ)) (学・人) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、作り出す楽しさを味わい、自ら取り組もうとする態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア))	(知・技) ・意外な模様の出現に触れ、色や形への関心を持っている。 ・道具を適切に使用しようとしている。 (思・判・表) ・色や道具を自分で選び取ろうとしている。 ・色を変えてみたり、画用紙の持ち方を変えるなど工夫して取り組もうとしている。 (主学) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、作り出す楽しさを味わい、自ら取り組もうとしている。	絵画表現 <にじみ絵・たらし絵>	・はけや筆を使って、画用紙の表面を湿らせる。 ・好きな色を選択し、絵の具をのせて滲ませる。 1色だけでなくさまざまな色を選択し、滲む様子や色どうしが滲み合う様子を楽しむ。 ・作品が完成したら、表面を乾かし画用紙を立てて絵の具を垂らし落としていく。 ・画用紙の角度を変えてみたり、色を変えてみたりして、でき上がる模様を楽しむ。 ・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。
	10	(知及技) ・押したい箇所に適切にスタンプを押すことができる。 ・何度でも複製できるスタンプの面白さに気付き、関心を持って制作することができる。(中1段階 表現ア、共通ア(ア)) (思判表力) ・好きなスタンプや色を選びとることができる。(中1段階 表現ア(ア)、共通ア(イ)) (学・人) ・描画とは違ったスタンプ(版画)の特性の面白さを感じ、関心を持って制作できる態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(ア))	(知及技) ・押したい箇所に適切にスタンプを押すことができる。 ・何度でも複製できるスタンプの面白さに気付き、関心を持って制作することができる。 (思判表力) ・好きなスタンプや色を選びとることができる。 (学・人) ・描画とは違ったスタンプ(版画)の特性の面白さを感じ、関心を持って制作できる態度を養う。	版画 <スタンプをしよう>	・色々なスタンプに着色して、スタンプを押してみる。 ・スタンプの特性(複製できる)が理解できるよう、小さな紙を何枚か用意して何度も押しつけて複製できることが理解できるよう繰り返し行う。 ・好きなキャラクターやイラストを使い、パーツをスタンプしていくと、顔や形が完成するよう順を追って活動できるようにする。 ・友達が使用したスタンプでも試してみたり、同じ画用紙と一緒に押しつけてみたりするなど、仲間との活動も楽しめるようにする。

	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捏ねる、丸める、ちぎる、伸ばすなど粘土への扱いによって変化する形を楽しんだり、形や柔らかさの違いに気付く、つくり出すことの楽しさに気付く。</li> <li>・さまざまな道具を適切に扱うことができる。(中1段階 表現ア、共通ア(7))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・手指の動きによって自然にできた形から、つくりたい形を思いついたり、色々な形の面白さに関心を持つことができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(4))</li> <li>(学・人)</li> <li>・楽しく感触遊びや粘土制作活動に取り組むことを通して、自由に成形できる楽しさを味わう態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(7))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捏ねる、丸める、ちぎる、伸ばすなど粘土への扱いによって変化する形を楽しんだり、形や柔らかさの違いに気付く、つくり出すことの楽しさに気付く。</li> <li>・さまざまな道具を適切に扱うことができる。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・手指の動きによって自然にできた形から、つくりたい形を思いついたり、色々な形の面白さに関心を持つことができる。</li> <li>(主学)</li> <li>・楽しく感触遊びや粘土制作活動に取り組むことを通して、自由に成形できる楽しさを味わう態度を養う。</li> </ul>	<p>感触・彫塑          &lt;小麦粉粘土であそぼう&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦粉の粉に触れて感触を確かめ、水を足しながら小麦粉が粘土に変化する過程を確かめる。</li> <li>・出来上がった小麦粉粘土を伸ばしたり、丸めたりしながら形の変化を楽しむ。</li> <li>・着色したり、道具を使って思い思いの形にすすなどして創作する喜びを感じる。</li> <li>・出来上がった形をオーブントースターで焼いて固める。</li> <li>・ニスを塗り、マグネットやオブジェにするなどして完成した作品に親しみが持てるようにする。</li> <li>・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。</li> </ul>
2 学期	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和紙の折り方やインクの着彩によって変わる形や染まり方の面白さに気付く、丁寧に折ったり染める等の制作活動を行うことができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(4))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・様々な色の中から好きな色を選び、色合いに関心を持って表現することができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(4))</li> <li>(学・人)</li> <li>・偶然にできた色合いや混ざり合う色彩の美しさに気づき、制作を楽しむ態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(7))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和紙の折り方やインクの着彩によって変わる形や染まり方の面白さに気付く、丁寧に折ったり染める等の制作活動を行うとしている。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・様々な色の中から好きな色を選び、色合いに関心を持って表現しようとしている。</li> <li>(主学)</li> <li>・偶然にできた色合いや混ざり合う色彩の美しさに気づき、制作を楽しんでいる。</li> </ul>	<p>工芸・染め          &lt;折り染め&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和紙を蛇腹折りにし、できる色々な模様を楽しむ。</li> <li>・ポスターカラーやマーブリング用インク、プリンターインク等で染め、染める課程を楽しむ。</li> <li>・着色後は木板で板締めしインクを染みこませる。</li> <li>・完成した作品はうちわやランプシェードにして実際に使用できるようにする。</li> <li>・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。</li> </ul>
	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプを転がすことでできる模様の面白さに気付く、丁寧に画面上に表現することができる。</li> <li>・はさみや絵の具、コロコロなどの道具を適切に扱うことができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(4))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・素材の質感や形の違いを楽しみ、好きな素材や色を選択して配置することができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(4))</li> <li>(学・人)</li> <li>・描画とは違ったスタンプ(版画)の特性の面白さを感じ、関心を持って制作できる態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(7))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプを転がすことでできる模様の面白さに気付く、丁寧に画面上に表現しようとしている。</li> <li>・はさみや絵の具、コロコロなどの道具を適切に扱おうとしている。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・素材の質感や形の違いを楽しみ、好きな素材や色を選択して配置しようとしている。</li> <li>(主学)</li> <li>・描画とは違ったスタンプ(版画)の特性の面白さを感じ、関心を持って制作している。</li> </ul>	<p>版画          &lt;コロコロスタンプ&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなスタンプの材料を選択する。(プチプチや紐、模様になるようなもの)</li> <li>・材料を切ったり、掃除用コロコロの粘着部分に貼り付けながら、素材を配置したりしてコロコロスタンプを完成させる。</li> <li>・できあがったスタンプに絵の具を付けて、画用紙(白や黒)に、スタンプを転がせながら模様を描く。</li> <li>・スタンプを変えてみたり、絵の具の色を変えてスタンプを重ねながら、作品に仕上げていく。</li> <li>・大型画用紙で友達と一緒にスタンプを転がして、共同制作を行う。</li> <li>・出来上がった作品を、みんなで鑑賞して模様の面白さや違いを楽しむ。</li> </ul>
	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみや糊など、道具の扱いを理解し適切に使用することができる。(中1段階 表現ア、共通ア(7))</li> <li>(思判表力)</li> <li>・切り取った形を、自分なりに配置を考えて紙バッグに貼り付けたり装飾したりすることができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(4))</li> <li>(学・人)</li> <li>・出来上がった作品をみんなで鑑賞したり、生活の中で使用することで、自らの作品に親しむ態度を養う。(小3段階 鑑賞ア(7))</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみや糊など、道具の扱いを理解し適切に使用しようとしている。</li> <li>(思・判・表)</li> <li>・切り取った形を、自分なりに配置を考えて紙バッグに貼り付けたり、装飾したりしてすずんで取り組んでいる。</li> <li>(主学)</li> <li>・出来上がった作品をみんなで鑑賞したり、実際に使用することなどを通して、自らの作品に親しもうとしている。</li> </ul>	<p>工作          &lt;マイバッグを作ろう&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品を見せたり、制作工程をパワーポイントで見せるなどして、制作への見通しを持たせる。</li> <li>・必要な材料や道具を提示し、自ら準備できるようにする。(ペーパーバッグ、はさみ、糊)</li> <li>・色紙や、これまで制作した平面作品を材料に、好きな形に切ったり配置を考えて貼ったりする。</li> <li>・シールを貼ったり、ペーパーバッグに模様を加えるなどして仕上げる。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで見たり、自分作品の気に入っているところなどを伝え合ったりしながら、振り返りや鑑賞を楽しむ。</li> <li>・仕上がったペーパーバッグはこれまでの作品などを入れて持ち帰るなど、実際に使用できるようにする。</li> <li>・活動の様子を写真や動画を使って振りかえる。</li> </ul>

3 学 期	<p>(知及技) ・絵の具やマジック、クレヨン等画材を選択し、ハサミやのりを適切に扱いながら表現活動を行うことができる。(中1段階 表現ア、共通ア(7)) (思判表力) ・制作において工夫して表現することができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(1)) (学・人) ・共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさに気づき楽しむ態度養う。(小3段階 鑑賞ア(7))</p>	<p>(知・技) ・絵の具やマジック、クレヨン等画材を選択し、ハサミやのりを適切に扱いながら表現活動を行うとしている。 (思・判・表) ・制作において工夫して表現しようとしている。 (主学) ・共同制作活動に関心を持って取り組み、画材による美しさに気づき楽しむようとしている。</p>	共同制作 <卒業式の壁画>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の壁画のテーマや仕上がり、制作する部分や制作方法をスライドで確認する。</li> <li>・壁画制作は学校全体で行うことを確認し、共同制作で作品を仕上げていく。</li> <li>・様々な画材を丁寧に扱う。</li> <li>・完成したら体育館に見に行ったり、写真で確認し鑑賞する。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。</li> </ul>
8	<p>(知及技) ・作品集の制作工程や、のりハサミを適切に扱い、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧にすることができる。(中1段階 表現ア、共通ア(7)) (思判表力) ・どのように作品集を仕上げるか、作品や写真の配置や、ページの順番、表紙の色等を選択し、関心を持って制作することができる。(中1段階 表現ア(7)、共通ア(1)) ・1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、制作を楽しむ態度養う。(小3段階 鑑賞ア(7))</p>	<p>(知・技) ・作品集の制作工程や、のりハサミを適切に扱い、作品の折り曲げや貼り合わせを丁寧にしようとしている。 (思・判・表) ・どのように作品集を仕上げるか、作品や写真の配置や、ページの順番、表紙の色等を選択し、関心を持って制作している。 (主学) ・1年間の制作した活動を作品や写真で振り返りながら、制作を楽しんでいる。</p>	鑑賞・工作 <作品集作り>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間を通して制作した作品を1冊にまとめ、作品集として持ち帰る。</li> <li>・四つ切りサイズの作品は端を丁寧に折り曲げ、片面にのり付けする。</li> <li>・小さな作品や写真は四つ切りサイズの画用紙に貼り合わせる。</li> <li>・表紙や背表紙の好きな色を選び、好きな画材で描いて作品集を完成し、友達と鑑賞する。</li> <li>・仕上がった作品をみんなで鑑賞したり、活動の写真や動画を見ながら制作を振りかえる。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程Bグループ） 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年Ⅱ課程B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方などに親しむとともに、表し方を工夫する技能を身につけるようにする。(中1段階)</p> <p>(思判表力) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。(中1段階)</p> <p>(学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。(中1段階)</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	<p>(知及技) ・意外な模様や色への関心を高めることができる。 ・道具の使い方をすることができる。 (中1段階) ア表現(イ) 共通ア(ア) (イ)</p> <p>(思判表力) ・使う道具や色を自分で選んだり、表現方法に関心を寄せることができる。好奇心を持って制作活動に取り組むことができる。 ・作品の好きなところを見つけることができる。 (中1段階) ア表現(ア) 鑑賞ア(ア) (学・人) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、変化する色の楽しさを味わい、自ら取り組もうとする態度を養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) ・意外な模様や色への関心を高めることができる。 ・道具の使い方をすることができる。 (思・判・表) ・使う道具や色を自分で選んだり、表現方法に関心を寄せることができる。好奇心を持って制作活動に取り組むことができる。 ・作品の好きなところを見つけることができる。 (主学) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、変化する色の楽しさを味わい、自ら取り組もうとする態度を身につけている。 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	<p>いろいろな方法で描こう ・きりふきを使って描こう ・ビー玉を使って描こう ・パチツク技法で描こう</p>	<p>・制作の見通しを視覚資料で確認する。 ・霧吹きを使い方を知る。 ・必要な道具を揃える。 ・好きな色水を霧吹きに入れ、紙を着色する。別の色を重ねたり、好みの型を配置し、マスキングで模様を作る。 ・好みの色をビー玉につけ、転がして模様を作る。複数の色を組み合わせて模様の変化を楽しむ。 ・クレヨンで好きな形を描いた後、水彩絵の具を塗る。クレヨンが絵の具をはじく様子を楽しむ。 ・活動の様子を写真や作品を用いて振り返る。</p>
		<p>(知及技) ・針金の特性や、いろいろな道具の使い方をすることができる。 ・手指を使って、紙をもむ、広げる折等の作業ができる。 (中1段階) ア表現(イ) ア共通(ア) (イ)</p> <p>(思判表力) ・使う紙や道具を自分で選ぶことができる。 ・制作の見通しや完成のイメージを持ち、好奇心を持って制作活動に取り組むことができる。 (中1段階) ア表現(ア) 鑑賞ア(ア) (学・人) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、作り出す楽しさや完成していく喜びを味わい、自ら取り組もうとする態度を養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) ・針金の特性や、いろいろな道具の使い方をすることができる。 ・手指を使って、紙をもむ、広げる折等の作業ができる。 (思・判・表) ・使う紙や道具を自分で選ぶことができる。 ・制作の見通しや完成のイメージを持ち、好奇心を持って制作活動に取り組むことができる。 (主学) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、作り出す楽しさや完成していく喜びを味わい、自ら取り組もうとする態度を身につけている。 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	<p>カーネーションをつくらう</p>	<p>・制作の見通しを視覚資料で確認する。 ・必要な道具を選ぶ。 ・前単元で作成した色紙のうち、好みの物を選ぶ。 ・紙をもんだり広げたりして柔らかくする。 ・丸く型を取って切りとり、重ねて花びらを作る。 ・針金を曲げたり伸ばしたりして遊び、感触を味わう。 ・花に針金を通し、花の形を整える。 ・作品をラッピングし、鑑賞する。 ・活動の様子を写真や作品を用いて振り返る。</p>
		<p>(知及技) ・スチレンボードの特性や、いろいろな道具の使い方をすることができる。 ・版画の方法を知る。 ・色が重なり合って変化することに気付く。 (中1段階) ア表現(イ) 共通ア(ア) (イ)</p> <p>(思判表力) ・道具を自分で選ぶことができる。 ・好みの道具を用い、好みの模様を作ることができる。 ・制作の見通しを持ち、好奇心を持って制作活動に取り組むことができる。 (中1段階) ア表現(ア) 鑑賞ア(ア) (学・人) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、作り出す楽しさや完成していく喜びを味わい、自ら取り組もうとする態度を養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) ・スチレンボードの特性や、いろいろな道具の使い方をすることができる。 ・版画の方法を知る。 ・色が重なり合って変化することに気付くことができる。 (思・判・表) ・道具を自分で選ぶことができる。 ・好みの道具を用い、好みの模様を作ることができる。 ・制作の見通しを持ち、好奇心を持って制作活動に取り組むことができる。 (主学) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、作り出す楽しさや完成していく喜びを味わい、自ら取り組もうとする態度を養うことができる。 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	<p>スチレン版画</p>	<p>・視覚教材を使って、活動の見通しを持つ。 ・必要な道具を選ぶ。 ・スチレンボードに線や模様をつける。 ・魚や鳥の形のスタンプに、好みの模様をつけ、1版目を作る。 ・1版目を使って、地色を刷る。 ・魚や鳥の版を好みの色を使い良いと思う場所にスタンプし絵に仕上げる。 ・制作中の写真や完成作品を使って活動を振り返る。</p>

2 学 期	10	<p>(知及技) ・紙粘土や針金の特性を知ることができる。 ・手指を使って紙粘土をちぎったり丸めたりできる。 ・道具の使い方をすることができる。 (中1段階) ア表現 (イ) 共通ア (ア) (イ) (思判表力) ・大きさや形を揃えることに注意して団子を作ることができる。 ・好みの色を選んで着色したり、針金に通す順番を考えたりすることができる。 (中1段階) ア表現 (ア) 鑑賞ア (ア) (学・人) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、直接自分の手指を使った造形活動に親しむ態度を養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) ・紙粘土や針金の特性を知ることができる。 ・手指を使って紙粘土をちぎったり丸めたりできている。 ・道具の使い方をすることができる。 (思・判・表) ・大きさや形を揃えることに注意して団子を作ることができる。 ・好みの色を選んで着色したり、針金に通す順番を考えたりすることができる。 (小2段階) ア表現 (イ) (主学) 教師と一緒に楽しく制作活動や鑑賞を行うことを通し、直接自分の手指を使った造形活動に親しむ態度を養う。(小2段階) 鑑賞ア (ア) 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	つるす飾り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材を使って、活動の見通しを持つ。</li> <li>・必要な道具を選ぶ。</li> <li>・紙粘土をちぎったり、丸めたりして感触を味わう。</li> <li>・紙粘土を大きさを揃えてちぎったり、丸めたりする。</li> <li>・乾燥させるため、つま楊枝を刺し、発泡スチロールに立てる。</li> <li>・絵の具と筆を柄で着色する。</li> <li>・針金を曲げたり伸ばしたりして、感触を味わう。</li> <li>・団子の色を確かめながら針金につま楊枝を通す。</li> <li>・針金を曲げ、好みの形にして固定する。</li> <li>・広い空間に飾り、鑑賞する。</li> <li>・写真や作品を使って活動を振り返る。</li> </ul>
	10	<p>(知・技) 粘土の特性や、型抜き道具の使い方、模様作り方などを知ることができる。 (中1段階) ア表現 (イ) 共通ア (ア) (イ) (思判表力) 好みの型や、型抜きをする場所を選んだり、好みの道具や色土を選び、模様を作ることができる。 (中1段階) ア表現 (ア) 鑑賞ア (ア) (学・人) 楽しく焼き物の制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、作り出す楽しさを味わうとともに、身近にある焼き物に親しみ大切にすることを養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 粘土の特性や、道具の使い方、模様の作り方などを知ることができる。 (思判表力) 好みの型を選び、適度な力で年度に型を押して模様を作ることができる。 (学・人) 楽しく焼き物の制作活動に取り組むことを通して、粘土の特性に気づき、作り出す楽しさを味わうとともに、身近にある焼き物に親しみ大切にすることを養う。 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	やきものを作ろう ・小皿づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材を見て、活動の見通しを持つ。</li> <li>・必要な道具を選ぶ。</li> <li>・粘土をちぎったり、伸ばしたり、丸めたりして感触を味わう。</li> <li>・乾き始めた粘土に水分を足して、変化を味わう。</li> <li>・たたら粘土を準備し、色土を貼り付けたりスタンプ模様をつけるなどして装飾する。</li> <li>・小皿の型を使って型抜きし、成形する。</li> <li>・乾燥させ素焼きする。</li> <li>・制作中の写真や完成作品を使って活動を振り返る。</li> </ul>
	10	<p>(知及技) ・色や形、感触の違いに気づくことができる。 ・道具や材料の使い方を知り、それらを使って好みのデコレーションにすることができる。 (中1段階) 表現ア (イ) 共通ア (ア) (イ) (思判表力) 好みの色や形を選んでパーツを作ったり、好みのデコレーションを思いついたりすることができる。 (中1段階) 表現ア (ア) 鑑賞ア (ア) (学・人) 楽しく制作活動に取り組むことを通して、紙粘土やお花紙、綿、段ボールなどの特性に気づき、作り出す楽しさを味わう。(中1段階)</p>	<p>(知・技) ・色や形、感触の違いに気づくことができる。 ・道具や材料の使い方を知り、それらを使って好みのデコレーションにすることができる。 (思・判・表) 好みの色や形を選んでパーツを作ったり、好みのデコレーションを思いついたりすることができる。 (主学) 楽しく制作活動に取り組むことを通して、紙粘土やお花紙、綿、段ボールなどの特性に気づき、作り出す楽しさを味わうことができる。 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	クリスマスケーキを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材を見て、活動の見通しを持つ。</li> <li>・必要な道具を選ぶ。</li> <li>・フルーツやチョココレートをイメージし、お花紙を丸めたり紙粘土で成形、感想、着色する。</li> <li>・段ボール紙に並べて丸める。</li> <li>・クリームを絞ったり(または綿をつけたり)作ったパーツを貼り付けるなどしてデコレーションする。</li> <li>・乾燥させ、レースペーパーや紙皿に乗せて仕上げる。</li> <li>・写真や作品を使って活動の様子を振り返る。</li> </ul>
3 学 期	6	<p>(知及技) ・しぼり染めの方法を知るとともに、安全に気をつけて活動することができる。 ・結束バンドや、アイロンの使い方を知り、それらを使って制作活動ができる。 (中1段階) 表現ア (イ) (思判表力) 結束バンドの太さを選んだり、絞る場所や絞り方、布の織りなどを思いついたりすることができる。 (中1段階) 表現ア (ア) 鑑賞ア (ア) (学・人) 様々な色や形、造形要素に親しみ、生活の中で楽しもうとする態度を養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) ・しぼり染めの方法を知るとともに、安全に気をつけて活動することができる。 ・結束バンドや、アイロンの使い方を知り、それらを使って制作活動ができる。 (思・判・表) 結束バンドの太さを選んだり、絞る場所や絞り方、布の織りなどを思いついたりすることができる。 (主学) 様々な色や形、造形要素に親しみ、生活の中で楽しもうとする態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	しぼりぞめ ハンカチを染めよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材を見て、活動の見通しを持つ。</li> <li>・必要な道具を選ぶ。</li> <li>・結束バンドの太さや数を決め、縛る。</li> <li>・布を工夫しており、割りばしで挟む。</li> <li>・水で濡らし、軽く絞る。</li> <li>・染液(高温)につけ、ゆっくり攪拌する。</li> <li>・時間をおき、一旦取り出して流水で洗う。</li> <li>・色止め液に浸す。</li> <li>・取り出して良く洗い、広げて干す。</li> <li>・アイロンで伸ばす。</li> <li>・写真や作品を使って活動の様子を振り返る。</li> </ul>
	6	<p>(知及技) 共同制作の内容ややりかた、目的を理解し、目的に向かって活動することができる。水彩用具やクレヨン、はさみ、のり等の基本的な材料、用具の使い方を身につける。(中1段階) 表現ア (ア) (思判表力) 卒業を祝う気持ちや思い出を大切にすることをあらわす色や形を思いついたり、表したりすることができる。形を考え、表現することができる。(中1段階) 表現ア (イ) (学・人) 仲間と協力し、卒業への様々な思いを分かち合い壁面制作に取り組むことができる。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 共同制作の内容ややりかた、目的を理解し、目的に向かって活動することができる。水彩用具やクレヨン、はさみ、のり等の基本的な材料、用具の使い方を身につける。 (思・判・表) 卒業を祝う気持ちや思い出を大切にすることをあらわす色や形を思いついたり、表したりすることができる。形を考え、表現することができる。 (主学) 仲間と協力し、卒業への様々な思いを分かち合い壁面制作に取り組むことができる。 【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	卒業式の壁面 ・卒業のイメージについて考えよう ・協力して制作しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚教材で、活動の見通しを持つ。</li> <li>・必要な道具を選ぶ。</li> <li>・テーマに沿ったデザインを選ぶ。</li> <li>・全体像と割り当てられた部分について知り、協力して割り当てられた仕事を行う。(着色、パーツ作り、パーツの貼り付け、絵のつなぎ合わせなど)</li> </ul>

10	<p>(知及技) 丁寧に折ったり貼ったりすることができる。のりやセロテープを適切に使うことができる。(中1段階)表現ア(イ)</p> <p>(思判表力) 好みの色の表紙やタイトル、イラストを選美、使うことができる。1年間の自分の作品や、活動中の写真を確認したり思い出したりすることができる。(中1段階)表現ア(ア)鑑賞ア(ア)</p> <p>(学・人) 制作した作品や活動中の写真を見て1年間を振り返り、作品を大切にすることを養う。(中1段階)</p>	<p>(知・技) 丁寧な折ったり貼ったりすることができる。のりやセロテープを適切に使うことができる。</p> <p>(思・判・表) 好みの色の表紙やタイトル・イラストを選び、使うことができる。1年間の自分の作品や、活動中の写真を確認したり思い出したりすることができる。</p> <p>(主学) 制作した作品や活動中の写真を見て1年間を振り返り、作品を大切にすることを身につけようとしている。</p> <p>【評価資料】活動の姿、実技、提出物、発言内容等</p>	<p>作品集作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を整理しよう</li> <li>・製本しよう</li> <li>・装飾しよう</li> <li>・鑑賞、発表をしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の見通しを持つ。</li> <li>・必要な道具を選ぶ。</li> <li>・作品を四つ切り画用紙に貼り、二つ折りにする。</li> <li>・順序や上下を確認し、貼り合わせて冊子にする。</li> <li>・好みの色画用紙、タイトル、イラストを選び、表紙を作る。</li> <li>・活動中の写真をはさみで切り取+C19:F20。</li> <li>・写真を最後のページに貼る。</li> <li>・自分や友達の子集を開いて見る。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部1年(Ⅱ課程B) 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
70	1学年Ⅱ課程B				
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
<b>年間目標</b> (知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。(小1段階) (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。(小1段階) (学・人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。(小1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	<b>(知及技)</b> 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 <b>(思判表力)</b> 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 <b>(学・人)</b> 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動をしようすることができる。	<b>(知・技)</b> 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かしている。 <b>(思・判・表)</b> 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 <b>(主学)</b> 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動をしようとしている。	単元 体づくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト ・サーキット運動	・ビデオを見ながらの通し練習 ・部分練習 ・教師の模倣を見ながらの練習 ・通し練習 ・発表会 ・新体力テスト9種目を抜粋及び簡素化した内容を作成して実施する  <b>第5時～8時</b> <b>(知・技)</b> の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 ・複数回の測定記録を比較する。 <b>(思・判・表)</b> の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 <b>(主学)</b> の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。
		<b>(知及技)</b> 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。 <b>(思判表力)</b> 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 <b>(学・人)</b> 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての運動をすることができる。	<b>(知・技)</b> 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 <b>(思・判・表)</b> 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 <b>(主学)</b> 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って運動をしている。	単元 器械体操 ・マット運動(丸太転がり、前転) ・平均台(低平均台、中平均台、)	マット運動・平均台 ・部分練習を取り入れ、単一の種目ができるように取り組み、単一種目の連続や複数種目を連続してでできるようにする。(知乃技に関する活動) ・部分練習で教師の支援を減らしていけるようにする。活動したことを表情や身振り、言葉で表現できるようにする。(思判表現力に関する活動)  <b>第5時～8時(「知・技」「思判表」「主学」の評価)</b> <b>(知・技)</b> の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 <b>(思・判・表)</b> の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 <b>(主学)</b> の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。
		<b>(知及技)</b> 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水慣れを楽しむことができる。 <b>(思判表力)</b> 水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 <b>(学・人)</b> 簡単な合図や指示に従って、水慣れをすることができる。	<b>(知・技)</b> 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水慣れを楽しむことができる。 <b>(思・判・表)</b> 水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 <b>(主学)</b> 簡単な合図や指示に従って、水慣れをすることができる。	水泳 ・水慣れ(水中ウォーク、水かけ、潜り) ・パブリング・ホッピング ・浮き身 ・パタ足	水慣れ 浮き身 け伸び 板キック ・部分練習を行い、水中の基本的な運動ができるように取り組む。(知乃技に関する活動) ・部分練習で教師の支援を減らしていけるようにする。活動したことを表情や身振り、言葉で表現できるようにする。  <b>(知・技)</b> の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 ・1つの動作を複数に分割したチェックリストを活用してきた項目をチェックする。 <b>(思・判・表)</b> の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 <b>(主学)</b> の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。

2 学 期	40	<p>(知及技) 教師と一緒に、短い距離を走ったり、決められた時間を楽しく動き続けることができる。</p> <p>(思判表力) 短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けようとするができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、短い距離を走ったり、決められた時間を楽しく動き続けることができる。</p> <p>(思・判・表) 短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って、短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けようとするができる。</p>	<p>陸上運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内陸上に向けて</li> <li>・短距離走（30m走・50m走）</li> <li>・長距離走（10分間走）</li> <li>・リレー</li> </ul>	<p>短距離走 長距離走 リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕振り・もも上げ・スタートダッシュ</li> <li>・中間疾走・記録測定・バトンパス</li> </ul> <p>「思判表現力」に関する活動</p> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> <li>・複数回の測定記録を比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>
		<p>(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく踊ることができる。</p> <p>(思判表力) 音楽の流れている場所で踊ることの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、ダンスをしようとするができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく踊ることができる。</p> <p>(思・判・表) 音楽の流れている場所で踊ることの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って、ダンスをしようとするができる。</p>	<p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特体連ダンス</li> </ul>	<p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特体連ダンス</li> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・発表会</li> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・リズム打ち・手や足の動き、手と足の連動した動作、隊形移動</li> </ul> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>
		<p>(知及技) 教師と一緒に武道の特性を生かした伝統的な考え方や基本的な動作を楽しくふれることができる。</p> <p>(思判表力) 武道に触れることで身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って武道にふれることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に武道の特性を生かした伝統的な考え方や基本的な動作を楽しくふれようとしている。</p> <p>(思・判・表) 武道に触れることで身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って武道にふれようとしている。</p>	<p>武道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空手（突き、蹴り）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・発表会</li> </ul> <p>第4時～5時</p> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> <li>・複数回の測定記録を比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する</p>
3 学 期	15	<p>(知及技) 教師と一緒に、球技を通して楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思判表力) 球技を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、各種球技をしようとするができる。</p>	<p>(知・技)教師と一緒に、球技を通して楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思・判・表)球技を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学)簡単な合図や指示に従って、各種球技をしようとすることができる。</p>	<p>球技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポッチャ</li> <li>・ティーボール</li> <li>・風船バレー</li> </ul>	<p>ポッチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なルール・投球練習・簡易ゲーム</li> <li>ティーボール</li> <li>・簡単なルール・打撃練習・捕球練習・走塁練習・簡易ゲーム</li> <li>風船バレー</li> <li>・簡単なルール・サーブ練習、レシーブ練習・簡単なゲーム</li> </ul> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>

期	<p>(知及技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力) 健康な生活に必要な事柄に気付く、教師に伝えることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄に気付く、教師に伝えることができる。</p>	<p>保健 ・うがい・手洗い ・自分のからだ ・自分の大事なところ ・いやな気持ち</p>	<p>手洗い・うがい ・ビデオを見ながらの行動実践 ・教師の模倣を見ながらの練習 ・行動実践 自分のからだ 自分の大事なところ いやな気持ち ・絵本の読み聞かせ ・いのちの教材</p> <p>(知・技) の評価 ・ビデオや教師の模倣等で自分のからだを意識している様子を確認する。 (思・判・表) の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</p>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部2年（Ⅱ課程B） 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
70	2学年Ⅱ課程B				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようになる。(小1段階) (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。(小1段階) (学・人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。(小1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	(知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動をしようすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動をしようとしている。	単元 体づくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト ・サーキット運動	・ビデオを見ながらの通し練習 ・部分練習 ・教師の模倣を見ながらの練習 ・通し練習 ・発表会 ・新体力テスト9種目を抜粋及び簡素化した内容を作成して実施する  第5時～8時 (知・技)の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 ・複数回の測定記録を比較する。 (思・判・表)の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 (主学)の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。
		(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての運動をすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って運動をしている。	単元 器械体操 ・マット運動(丸太転がり、前転) ・平均台(低平均台、中平均台、)	マット運動・平均台 ・部分練習を取り入れ、単一の種目ができるようになり取り組み、単一種目の連続や複数種目を連続してできるようにする。(知乃技に関する活動) ・部分練習で教師の支援を減らしていけるようにする。活動したことを表情や身振り、言葉で表現できるようにする。(思判表現力に関する活動)  第5時～8時(「知・技」「思判表」「主学」の評価) (知・技)の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 (思・判・表)の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 (主学)の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。
		(知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水慣れを楽しむことができる。 (思判表力) 水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、水慣れをすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水慣れを楽しむことができる。 (思・判・表) 水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、水慣れをすることができる。	水泳 ・水慣れ(水中ウォーク、水かけ、潜り) ・バブリング・ホッピング ・浮き身 ・バタ足	水慣れ 浮き身 け伸び 板キック ・部分練習を行い、水中の基本的な運動ができるようになり取り組む。(知乃技に関する活動) ・部分練習で教師の支援を減らしていけるようにする。活動したことを表情や身振り、言葉で表現できるようにする。  (知・技)の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 ・1つの動作を複数に分割したチェックリストを活用してきた項目をチェックする。 (思・判・表)の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 (主学)の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。

2 学 期	40	<p>(知及技) 教師と一緒に、短い距離を走ったり、決められた時間を楽しく動き続けることができる。</p> <p>(思判表力) 短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けようとすることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、短い距離を走ったり、決められた時間を楽しく動き続けることができる。</p> <p>(思・判・表) 短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って、短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けようとするすることができる。</p>	<p>陸上運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内陸上に向けて</li> <li>・短距離走（30m走・50m走）</li> <li>・長距離走（10分間走）</li> <li>・リレー</li> </ul>	<p>短距離走 長距離走 リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕振り・もも上げ・スタートダッシュ</li> <li>・中間疾走・記録測定・バトンパス</li> </ul> <p>「思判表現力」に関する活動</p> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> <li>・複数回の測定記録を比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>
		<p>(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく踊ることができる。</p> <p>(思判表力) 音楽の流れている場所で踊ることの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、ダンスをしようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく踊ることができる。</p> <p>(思・判・表) 音楽の流れている場所で踊ることの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って、ダンスをしようとするすることができる。</p>	<p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特体連ダンス</li> </ul>	<p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特体連ダンス</li> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・発表会</li> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・リズム打ち・手や足の動き、手と足の連動した動作、隊形移動</li> </ul> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>
		<p>(知及技) 教師と一緒に武道の特性を生かした伝統的な考え方や基本的な動作を楽しくふれることができる。</p> <p>(思判表力) 武道に触れることで身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って武道にふれることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に武道の特性を生かした伝統的な考え方や基本的な動作を楽しくふれようとしている。</p> <p>(思・判・表) 武道に触れることで身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って武道にふれようとしている。</p>	<p>武道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空手（突き、蹴り）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・発表会</li> </ul> <p>第4時～5時</p> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> <li>・複数回の測定記録を比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する</p>
3 学 期	15	<p>(知及技) 教師と一緒に、球技を通して楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思判表力) 球技を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、各種球技をしようとするすることができる。</p>	<p>(知・技)教師と一緒に、球技を通して楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思・判・表)球技を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学)簡単な合図や指示に従って、各種球技をしようとすることができる。</p>	<p>球技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポッチャ</li> <li>・ティーボール</li> <li>・風船バレー</li> </ul>	<p>ポッチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なルール・投球練習・簡易ゲーム</li> <li>ティーボール</li> <li>・簡単なルール・打撃練習・捕球練習・走塁練習・簡易ゲーム</li> <li>風船バレー</li> <li>・簡単なルール・サーブ練習、レシーブ練習・簡単なゲーム</li> </ul> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>

期	<p>(知及技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができます。 (思判表力) 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができます。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄に気付き、教師に伝えることができます。</p>	<p>保健 ・うがい・手洗い ・自分のからだ ・自分の大事なところ ・いやな気持ち</p>	<p>手洗い・うがい ・ビデオを見ながらの行動実践 ・教師の模倣を見ながらの練習 ・行動実践 自分のからだ 自分の大事なところ いやな気持ち ・絵本の読み聞かせ ・いのちの教材</p> <p>(知・技) の評価 ・ビデオや教師の模倣等で自分のからだを意識している様子を確認する。 (思・判・表) の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</p>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部3年（Ⅱ課程B） 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
70	3学年Ⅱ課程B				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようになる。(小1段階) (思判表力)体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。(小1段階) (学・人)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。(小1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	(知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動をしようすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動をしようとしている。	単元 体づくり運動 ・ラジオ体操 ・集団行動 ・新体力テスト ・サーキット運動	・ビデオを見ながらの通し練習 ・部分練習 ・教師の模倣を見ながらの練習 ・通し練習 ・発表会 ・新体力テスト9種目を抜粋及び簡素化した内容を作成して実施する  第5時～8時 (知・技)の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 ・複数回の測定記録を比較する。 (思・判・表)の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 (主学)の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。
		(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての運動をすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使って運動をしている。	単元 器械体操 ・マット運動(丸太転がり、前転) ・平均台(低平均台、中平均台、)	マット運動・平均台 ・部分練習を取り入れ、単一の種目ができるようになり取り組み、単一種目の連続や複数種目を連続してできるようにする。(知乃技に関する活動) ・部分練習で教師の支援を減らしていけるようにする。活動したことを表情や身振り、言葉で表現できるようにする。(思判表現力に関する活動)  第5時～8時(「知・技」「思判表」「主学」の評価) (知・技)の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 (思・判・表)の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 (主学)の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。
		(知及技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水慣れを楽しむことができる。 (思判表力) 水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、水慣れをすることができる。	(知・技) 教師と一緒に、水の特性を生かした簡単な水慣れを楽しむことができる。 (思・判・表) 水の中で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、水慣れをすることができる。	水泳 ・水慣れ(水中ウォーク、水かけ、潜り) ・バブリング・ホッピング ・浮き身 ・バタ足	水慣れ 浮き身 け伸び 板キック ・部分練習を行い、水中の基本的な運動ができるようになり取り組む。(知乃技に関する活動) ・部分練習で教師の支援を減らしていけるようにする。活動したことを表情や身振り、言葉で表現できるようにする。  (知・技)の評価 ・第1時～第2時の活動の様子と比較する。 ・1つの動作を複数に分割したチェックリストを活用してきた項目をチェックする。 (思・判・表)の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。 (主学)の評価 ・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。  ※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。

2 学 期	40	<p>(知及技) 教師と一緒に、短い距離を走ったり、決められた時間を楽しく動き続けることができる。</p> <p>(思判表力) 短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けようとするができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、短い距離を走ったり、決められた時間を楽しく動き続けることができる。</p> <p>(思・判・表) 短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けたりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って、短い距離を走ったり、決められた時間を動き続けようとするができる。</p>	<p>陸上運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内陸上に向けて</li> <li>・短距離走（30m走・50m走）</li> <li>・長距離走（10分間走）</li> <li>・リレー</li> </ul>	<p>短距離走 長距離走 リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕振り・もも上げ・スタートダッシュ</li> <li>・中間疾走・記録測定・バトンパス</li> <li>「思判表現力」に関する活動</li> </ul> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> <li>・複数回の測定記録を比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な場所で待つことができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>
		<p>(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく踊ることができる。</p> <p>(思判表力) 音楽の流れている場所で踊ることの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、ダンスをしようとするができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく踊ることができる。</p> <p>(思・判・表) 音楽の流れている場所で踊ることの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って、ダンスをしようとするができる。</p>	<p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特体連ダンス</li> </ul>	<p>ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特体連ダンス</li> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・発表会</li> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・リズム打ち・手や足の動き、手と足の連動した動作、隊形移動</li> </ul> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>
		<p>(知及技) 教師と一緒に武道の特性を生かした伝統的な考え方や基本的な動作を楽しくふれることができる。</p> <p>(思判表力) 武道に触れることで身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って武道にふれることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に武道の特性を生かした伝統的な考え方や基本的な動作を楽しくふれようとしている。</p> <p>(思・判・表) 武道に触れることで身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。</p> <p>(主学) 簡単な合図や指示に従って武道にふれようとしている。</p>	<p>武道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空手（突き、蹴り）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオを見ながらの通し練習</li> <li>・部分練習</li> <li>・教師の模倣を見ながらの練習</li> <li>・通し練習</li> <li>・発表会</li> </ul> <p>第4時～5時</p> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> <li>・複数回の測定記録を比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、順番を守ったり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する</p>
3 学 期	15	<p>(知及技) 教師と一緒に、球技を通して楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思判表力) 球技を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、各種球技をしようとすることができる。</p>	<p>(知・技)教師と一緒に、球技を通して楽しく体を動かすことができる。</p> <p>(思・判・表)球技を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。</p> <p>(主学)簡単な合図や指示に従って、各種球技をしようとすることができる。</p>	<p>球技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポッチャ</li> <li>・ティーボール</li> <li>・風船バレー</li> </ul>	<p>ポッチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なルール・投球練習・簡易ゲーム</li> <li>ティーボール</li> <li>・簡単なルール・打撃練習・捕球練習・走塁練習・簡易ゲーム</li> <li>風船バレー</li> <li>・簡単なルール・サーブ練習、レシーブ練習・簡単なゲーム</li> </ul> <p>(知・技)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時～第2時の活動の様子と比較する。</li> </ul> <p>(思・判・表)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</li> </ul> <p>(主学)の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が指示した場所に集合・整列したり、友達が活動している時に安全な距離で活動することができる。</li> </ul> <p>※第3時以降でも変容が見られた内容があれば評価する。</p>

期	<p>(知及技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思判表力) 健康な生活に必要な事柄に気付く、教師に伝えることができる。</p>	<p>(知・技) 教師と一緒に、うがいなどの健康な生活に必要な事柄をすることができる。 (思・判・表) 健康な生活に必要な事柄に気付く、教師に伝えることができる。</p>	<p>保健 ・うがい・手洗い ・自分のからだ ・自分の大事なところ ・いやな気持ち</p>	<p>手洗い・うがい ・ビデオを見ながらの行動実践 ・教師の模倣を見ながらの練習 ・行動実践 自分のからだ 自分の大事なところ いやな気持ち ・絵本の読み聞かせ ・いのちの教材</p> <p>(知・技) の評価 ・ビデオや教師の模倣等で自分のからだを意識している様子を確認する。 (思・判・表) の評価 ・振り返りで活動内容を言葉や身振り、発表等で表現する。</p>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部 1年 ( II課程B ) 職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
70	1学年II課程B		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知乃技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。(中学部職業分野2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中学部職業分野2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中学部職業分野2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	20	(知及技) ・働くことの目的などを理解する。  ・職業生活に必要な知識や技能を理解する。  (思判表力) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考える。  (学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(知・技) ・働くことの目的などを理解しようとしている。  ・職業生活に必要な知識や技能を理解しようとしている。  (思・判・表) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考えようとしている。  (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学ぶ。
				単元2 生物育成①-1 「農作物を育てよう」 職場体験活動期間「あいさつ」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場で使うあいさつについて学ぶ。
				単元3 ものづくり①-1 「身近にある材料を使用したものづくり」	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。
				単元4 清掃作業 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
		(知及技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解する。	(知・技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。

2 学期	30	(思判表力) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する。	(思・判・表) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表しようとしている。	単元2 生物育成①-2 「農作物を育てよう」 職場体験活動期間 「健康管理・安全や衛生」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場での健康管理、安全や衛生について学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり①-2 「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃作業 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
3 学期	20	(知及技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解する。	(知・技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れる。	・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れようとしている。	単元2 生物育成①-3 「農作物を育てよう」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。
		(思判表力) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表する。	(思・判・表) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表しようとしている。	単元3 ものづくり①-3 「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
	・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する。	・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現しようとしている。			
	(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元4 清掃作業 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。	
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 2年（Ⅱ課程B） 職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年Ⅱ課程B		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知乃技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。 (中学部職業分野2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中学部職業分野2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中学部職業分野2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) ・働くこと目的などを理解する。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解する。 (思判表力) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考える。 (学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(知・技) ・働くこと目的などを理解しようとしている。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解しようとしている。 (思・判・表) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学ぶ。
				単元2 生物育成②-1「農作物を育てよう」 職場体験活動期間「あいさつ」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場で使うあいさつについて学ぶ。
				単元3 ものづくり②-1「身近にある材料を使用したものづくり」	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。

2 学 期	30	(知及技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解する。	(知・技) ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫する。	(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。	単元2 生物育成②-2 「農作物を育てよう」 職場体験活動期間 「健康管理・安全や衛生」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場での健康管理、安全や衛生について学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり②-2 「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
3 学 期	20	(知及技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解する。	(知・技) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れる。	・コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れようとしている。	単元2 生物育成②-3 「農作物を育てよう」	・季節の野菜の栽培方法（播種、鉢上げ、定植、収穫）を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。
		(思判表力) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫する。	(思・判・表) ・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫しようとしている。	単元3 ものづくり②-3 「身近にある材料を使用したものづくり」 販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
	・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する。	・コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現しようとしている。	単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。 (キーボード入力：ローマ字入力を学習する)	
	(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。			
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程B） 職業科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年Ⅱ課程B		職業・家庭☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知乃技)働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける。(中学部職業分野2段階) (思判表力)将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(中学部職業分野2段階) (学・人)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(中学部職業分野2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) ・働くことの目的などを理解する。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解する。 (思判表力) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考える。 (学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(知・技) ・働くことの目的などを理解しようとしている。 ・職業生活に必要な知識や技能を理解しようとしている。 (思・判・表) ・意欲や見通しをもって取り組み。自分と他者との関係や役割について考えようとしている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学ぶ。
				単元2 生物育成③-1「農作物を育てよう」 職場体験活動期間「あいさつ」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場で使うあいさつについて学ぶ。
				単元3 ものづくり③-1「身近にある材料を使用したものづくり」	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。

2 学期	30	(知及技) ・職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解する。  ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解する。	(知・技) ・職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解しようとしている。  ・材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		(思判表力) ・職業生活に必要な健康管理について考える。	(思・判・表) ・職業生活に必要な健康管理について考えようとしている。	単元2 生物育成③-2「農作物を育てよう」  職場体験活動期間「健康管理・安全や衛生」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。 ・職場での健康管理、安全や衛生について学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり③-2「身近にある材料を使用したものづくり」  販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。
3 学期	20	(知及技) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付ける。 ・職業や進路に関わることについて調べて、理解する。	(知・技) ・作業の確実性や持続性、巧緻性等を身に付けようとしている。 ・職業や進路に関わることについて調べて、理解しようとしている。	単元1 職業の心得「服装・身なり・挨拶について」	・職場で使う挨拶を復唱練習する。 ・ミーティングを行い本日の作業内容を確認する。 ・正しい服装・身だしなみについて学び、実践する。
		(思判表力) ・職業生活に必要な健康管理について考える。 ・職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表する。	(思・判・表) ・職業生活に必要な健康管理について考えようとしている。 ・職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表しようとしている。	単元2 生物育成③-3「農作物を育てよう」	・季節の野菜の栽培方法(播種、鉢上げ、定植、収穫)を知り、教師と共に実践する。 ・道具の選択と、安全な使い方を学ぶ。
		(学・人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組む。	(主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組もうとしている。	単元3 ものづくり③-3「身近にある材料を使用したものづくり」  販売学習 金銭学習	・木材、革、牛乳パックなど身近な材料を利用した作品を製作する。 ・道具の選択と安全な使い方を学び、実践する。 ・製作品や栽培物を販売する。 ・お金の計算や扱いについて学ぶ。
				単元4 清掃活動 単元5 ICT機器の活用	・清掃道具、ゴミの分別の仕方を学び、実践する。 ・PC, タブレットを利用して調べ学習等を行う。 (キーボード入力：ローマ字入力を学習する)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 1年(Ⅱ課程-B) 職業・家庭/家庭分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
70	1学年Ⅱ課程 B (肢体/医ケア)			職業・家庭☆☆☆☆	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 家庭の中の自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人) 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを育み、よりよい関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aア(イ)) (学・人) 家族とのよりよい関わり方について、自分なりに考えることができる。(中1段階Aア)	(知・技) 家庭生活の大切さを知っている (思・判・表) よりよい関わり方について気づいている。 (主学) 家族とのよりよい関わり方について、自分なりに考えようとしている。	単元1「自分の成長と家族」 ・自分を知る ・家族について ・家庭の仕事	・自分データの整理。(できること、好きなこと、やりたいこと、できるようになりたいことの発表等) ・家族紹介。(様々な家族の形の確認等) ・自分の成長と家族の関わりについての整理。(家族へのアンケート等とおして、現在に至るまでの成長の様子や家族との関わりについてまとめる) ・家庭の仕事についての体験学習(調理実習、買い物学習含む)
		(知及技) 家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち、知ることができる。(中1段階Aイ(ア)) (思判表力) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人) 家庭の中での自分の役割を実践しようとする。(中1段階Aイ)	(知・技) 家庭における役割や地域との関わりについて知っている。 (思・判・表) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づいている。 (主学) 家庭の中での自分の役割を実践しようとしている。	単元2「家庭生活と役割」 ・家族の役割 ・自分の役割 ・地域の役割	・家族の役割の整理。 ・家庭の仕事で自分の役割やできることを考える。(体験学習等) ・家族への感謝の気持ちを表現する。(母の日、父の日、敬老の日のメッセージカード制作含む) ・地域の役割についての整理。(地域マップ制作等)
		(知及技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知り、実践しようことができる。(中1段階Aウ(ア)) (思判表力) 望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気づき、工夫することができる。(中1段階Aウ(イ)) (学・人) 自分に合った余暇を見つけ、積極的に実践しようとする。(中1段階Aウ)	(知・技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知っている。 (思・判・表) 望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気づいている。 (主学) 自分に合った余暇を見つけ、積極的に実践しようとしている。	単元3「家庭生活における余暇」 ・健康な生活とは ・余暇とは ・余暇の過ごし方	・規則正しい生活について整理する。 ・余暇の内容について整理する。 ・興味がある余暇について発表する。 ・余暇の過ごし方についての体験学習。(校外学習含む)
		(知及技) 幼児の特徴や過ごし方について知り、実践しようことができる。(中1段階Aエ(ア)) (思判表力) 幼児への適切な関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aエ(イ)) (学・人) 幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えることができる。(中1段階Aエ)	(知・技) 幼児の特徴や過ごし方について知っている。 (思・判・表) 幼児への適切な関わり方について気づいている。 (主学) 幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えようとしている。	単元4「幼児の生活と家族」 ・幼児の特徴や過ごし方 ・幼児との関わり方	・幼児の特徴や関わり方について整理する。 ・幼児との交流(校外学習、他学部との交流学习含む)
2 学期	20	(知及技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようすることができる。(中1段階Bエ(ア)) (思判表力) 日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。(中1段階Bエ(イ)) (学・人) 日常着の着方について、自分なりに工夫しようとする。(中1段階Bエ)	(知・技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知っている。 (思・判・表) 日常着の着方や手入れの仕方に気づいている。 (主学) 日常着の着方について、自分なりに工夫しようとしている。	単元1「衣服の着用と手入れ」 ・衣服とは ・日常着の着方、身だしなみ ・衣服の選択と管理 ・衣服の手入れ	・衣服の種類についての整理。 ・日常着の着方や身だしなみについての整理。 ・目的、時期、場所に応じた衣服についての整理。 ・被服実習(洗濯、裁縫等)
		(知及技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようすることができる。(中1段階Bオ(ア)) (思判表力) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づき、工夫することができる。(中1段階Bオ(イ)) (学・人) 自分に合った方法で、整理・整頓、清掃活動の工夫をすることができる。(中1段階Bオ)	(知・技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知っている。 (思・判・表) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づいている。 (主学) 自分に合った方法で、整理・整頓、清掃活動の工夫をしようとしている。	単元2「快適で安全な住まい方」 ・住まいの主な働き ・整理、整頓、清掃	・住まいの主な働きについての整理。 ・整理、整頓、清掃の方法についての学習。 ・整理、整頓、清掃活動の実践。 ・生活を快適にする日用品の制作。

前期	20	<p>(知及技) 健康な生活と食事の役割について知ることができる。(中1段階Bア(ア))  (思判表力) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付く、それを他者に伝えることができる。(中1段階Bア(イ))  (学・人) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとするができる。(中1段階Bア)</p>	<p>(知・技) 健康な生活と食事の役割について知っている。  (思・判・表) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付いている。  (主学) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとしている。</p>	<p>単元3「食事の役割」  ・健康と食事</p>	<p>・食事の役割について整理する。  ・食事の楽しさと健康な身体づくりについての学習。</p>
		<p>(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。(中1段階Bウ(ア))  (思判表力) 簡単な調理計画について考えることができる。(中1段階Bウ(イ))  (学・人) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践することができる。(中1段階Bウ)</p>	<p>(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知っている。  (思・判・表) 簡単な調理計画について考ようとしている。(中1段階Bウ(イ))  (主学) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践しようとしている。</p>	<p>単元5「調理の基礎」  ・調理計画  ・調理実習</p>	<p>・調理における、安全面、衛生面についての整理。  ・調理手順、材料、調理計画の整理。  ・道具や材料の準備。(校外学習含む)  ・調理実習の実践。</p>
3学期	20	<p>(知及技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようことができる。(中1段階Cア(ア))  (思判表力) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うとしたりすることができる。(中1段階Cア(イ))  (学・人) 自分に合った買い物の方法を考えて、家庭で実践することができる。(中1段階Cア)</p>	<p>(知・技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知っている。  (思・判・表) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うとしたりしている。  (主学) 自分に合った買い物の方法を、家庭で実践しようとしている。</p>	<p>単元1「身近な消費生活」  ・買い物の手順  ・買い物学習</p>	<p>・買い物の手順や方法についての整理。  ・買い物の体験学習。(校外学習を含む)</p>
		<p>(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようすることができる。(中1段階Cイ(ア))  (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。(中1段階Cイ(イ))  (学・人) 環境に配慮した生活について、自分でできることを考えて伝えることができる。(中1段階Cイ)</p>	<p>(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知っている。  (思・判・表) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考ようとしている。  (主学) 環境に配慮した生活について、自分でできることを考えて伝えようとしている。</p>	<p>単元2「環境に配慮した生活」  ・ゴミの分別  ・リサイクル</p>	<p>・ゴミの分別方法についての整理。  ・リサイクルについての調べ学習。(校外学習含む)  ・リサイクルの実践(作品制作等)</p>
通年		<p>(知及技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。  (思判表力) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決することができる。  (学・人) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫し考ようすることができる。</p>	<p>(知・技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けている。  (思・判・表) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決しようとしている。  (主学) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。</p>	<p>・校外学習(買い物学習、施設見学、調べ学習)  ・衣服の手入れ  ・住居の手入れ  ・他学部の授業見学、交流学習  ・調理実習(行事食、季節の食材等)  ・給食について(献立確認、身支度、配膳等)</p>	<p>・学習内容を深めるために、校外学習や交流学習を行う。  ・学習内容の定着を図るために、継続的に被服実習や清掃活動の実践を行なう。</p>
留意点 引継ぎ等		<p>・生徒の実態に応じて、単元計画や学習の時期等は柔軟に設定する。  ・調理実習は、感染症の状況を見て実施し、感染症対策及び衛生対策を徹底する。  ・調理実習、被服実習等、実習の内容は生徒の実態に応じて設定する。</p>			

令和8年度 中学部 2年(Ⅱ課程B) 職業・家庭/家庭分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者	教科書/副教材	
70	2学年Ⅱ課程B(肢体/医ケア)			職業・家庭☆☆☆☆	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 家庭の中の自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人) 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを育み、よりよい関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aア(イ)) (学・人) 家族とのよりよい関わり方について、自分なりに考えることができる。(中1段階Aア)	(知・技) 家庭生活の大切さを知っている (思・判・表) よりよい関わり方について気づいている。 (主学) 家族とのよりよい関わり方について、自分なりに考えようとしている。	単元1「自分の成長と家族」 ・自分を知る ・家族について ・家庭の仕事	・自分データの整理。(できること、好きなこと、やりたいこと、できるようになりたいことの発表等) ・家族紹介。(様々な家族の形の確認等) ・自分の成長と家族の関わりについての整理。(家族へのアンケート等とおして、現在に至るまでの成長の様子や家族との関わりについてまとめる) ・家庭の仕事についての体験学習(調理実習、買い物学習含む)
		(知及技) 家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち、知ることができる。(中1段階Aイ(ア)) (思判表力) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人) 家庭の中での自分の役割を実践しようとする。(中1段階Aイ)	(知・技) 家庭における役割や地域との関わりについて知っている。 (思・判・表) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づいている。 (主学) 家庭の中での自分の役割を実践しようとしている。	単元2「家庭生活と役割」 ・家族の役割 ・自分の役割 ・地域の役割	・家族の役割の整理。 ・家庭の仕事で自分の役割やできることを考える。(体験学習等) ・家族への感謝の気持ちを表現する。(母の日、父の日、敬老の日等のメッセージカード制作含む) ・地域の役割についての整理。(地域マップ制作等)
		(知及技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知り、実践しようことができる。(中1段階Aウ(ア)) (思判表力) 望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気づき、工夫することができる。(中1段階Aウ(イ)) (学・人) 自分に合った余暇を見つけ、積極的に実践しようとする。(中1段階Aウ)	(知・技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知っている。 (思・判・表) 望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気づいている。 (主学) 自分に合った余暇を見つけ、積極的に実践しようとしている。	単元3「家庭生活における余暇」 ・健康な生活とは ・余暇とは ・余暇の過ごし方	・規則正しい生活について整理する。 ・余暇の内容について整理する。 ・興味がある余暇について発表する。 ・余暇の過ごし方についての体験学習。(校外学習含む)
		(知及技) 幼児の特徴や過ごし方について知り、実践しようことができる。(中1段階Aエ(ア)) (思判表力) 幼児への適切な関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aエ(イ)) (学・人) 幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えることができる。(中1段階Aエ)	(知・技) 幼児の特徴や過ごし方について知っている。 (思・判・表) 幼児への適切な関わり方について気づいている。 (主学) 幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えようとしている。	単元4「幼児の生活と家族」 ・幼児の特徴や過ごし方 ・幼児との関わり方	・幼児の特徴や関わり方について整理する。 ・幼児との交流(校外学習、他学部との交流学习含む)
2 学期	20	(知及技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようすることができる。(中1段階Bエ(ア)) (思判表力) 日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。(中1段階Bエ(イ)) (学・人) 日常着の着方について、自分なりに工夫しようとする。(中1段階Bエ)	(知・技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知っている。 (思・判・表) 日常着の着方や手入れの仕方に気づいている。 (主学) 日常着の着方について、自分なりに工夫しようとしている。	単元1「衣服の着用と手入れ」 ・衣服とは ・日常着の着方、身だしなみ ・衣服の選択と管理 ・衣服の手入れ	・衣服の種類についての整理。 ・日常着の着方や身だしなみについての整理。 ・目的、時期、場所に合った衣服についての整理。 ・被服実習(洗濯、裁縫等)
		(知及技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようすることができる。(中1段階Bオ(ア)) (思判表力) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づき、工夫することができる。(中1段階Bオ(イ)) (学・人) 自分に合った方法で、整理・整頓、清掃活動の工夫をすることができる。(中1段階Bオ)	(知・技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知っている。 (思・判・表) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づいている。 (主学) 自分に合った方法で、整理・整頓、清掃活動の工夫をしようとしている。	単元2「快適で安全な住まい方」 ・住まいの主な働き ・整理、整頓、清掃	・住まいの主な働きについての整理。 ・整理、整頓、清掃の方法についての学習。 ・整理、整頓、清掃活動の実践。 ・生活を快適にする日用品の制作。

前期	20	<p>(知及技) 健康な生活と食事の役割について知ることができる。(中1段階Bア(ア))  (思判表力) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付く、それを他者に伝えることができる。(中1段階Bア(イ))  (学・人) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとするができる。(中1段階Bア)</p>	<p>(知・技) 健康な生活と食事の役割について知っている。  (思・判・表) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付いている。  (主学) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとしている。</p>	<p>単元3「食事の役割」  ・健康と食事</p>	<p>・食事の役割について整理する。  ・食事の楽しさと健康な身体づくりについての学習。</p>
		<p>(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。(中1段階Bウ(ア))  (思判表力) 簡単な調理計画について考えることができる。(中1段階Bウ(イ))  (学・人) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践することができる。(中1段階Bウ)</p>	<p>(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知っている。  (思・判・表) 簡単な調理計画について考ようとしている。(中1段階Bウ(イ))  (主学) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践しようとしている。</p>	<p>単元5「調理の基礎」  ・調理計画  ・調理実習</p>	<p>・調理における、安全面、衛生面についての整理。  ・調理手順、材料、調理計画の整理。  ・道具や材料の準備。(校外学習含む)  ・調理実習の実践。</p>
3学期	20	<p>(知及技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようことができる。(中1段階Cア(ア))  (思判表力) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使用したりすることができる。(中1段階Cア(イ))  (学・人) 自分に合った買い物の方法を考えて、家庭で実践することができる。(中1段階Cア)</p>	<p>(知・技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知っている。  (思・判・表) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使用したりしている。  (主学) 自分に合った買い物の方法を、家庭で実践しようとしている。</p>	<p>単元1「身近な消費生活」  ・買い物の手順  ・買い物学習</p>	<p>・買い物の手順や方法についての整理。  ・買い物の体験学習。(校外学習を含む)</p>
		<p>(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようすることができる。(中1段階Cイ(ア))  (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。(中1段階Cイ(イ))  (学・人) 環境に配慮した生活について、自分でできることを考えて伝えることができる。(中1段階Cイ)</p>	<p>(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知っている。  (思・判・表) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考ようとしている。  (主学) 環境に配慮した生活について、自分でできることを考えて伝えようとしている。</p>	<p>単元2「環境に配慮した生活」  ・ゴミの分別  ・リサイクル</p>	<p>・ゴミの分別方法についての整理。  ・リサイクルについての調べ学習。(校外学習含む)  ・リサイクルの実践(作品制作等)</p>
通年		<p>(知及技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。  (思判表力) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決することができる。  (学・人) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫し考ようすることができる。</p>	<p>(知・技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けている。  (思・判・表) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決しようとしている。  (主学) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。</p>	<p>・校外学習(買い物学習、施設見学、調べ学習)  ・衣服の手入れ  ・住居の手入れ  ・他学部の授業見学、交流学習  ・調理実習(行事食、季節の食材等)  ・給食について(献立確認、身支度、配膳等)</p>	<p>・学習内容を深めるために、校外学習や交流学習を行う。  ・学習内容の定着を図るために、継続的に被服実習や清掃活動の実践を行なう。</p>
留意点 引継ぎ等		<p>・生徒の実態に応じて、単元計画や学習の時期等は柔軟に設定する。  ・調理実習は、感染症の状況を見て実施し、感染症対策及び衛生対策を徹底する。  ・調理実習、被服実習等、実習の内容は生徒の実態に応じて設定する。</p>			

令和8年度 中学部 3年(Ⅱ課程B) 職業・家庭/家庭分野 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材		
70	3学年Ⅱ課程 B(肢体/医ケア)		職業・家庭☆☆☆☆		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 家庭の中の自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中1段階) (思判表力) 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。(中1段階) (学・人) 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。(中1段階Aア(ア)) (思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることを育み、よりよい関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aア(イ)) (学・人) 家族とのよりよい関わり方について、自分なりに考えることができる。(中1段階Aア)	(知・技) 家庭生活の大切さを知っている (思・判・表) よりよい関わり方について気づいている。 (主学) 家族とのよりよい関わり方について、自分なりに考えようとしている。	単元1「自分の成長と家族」 ・自分を知る ・家族について ・家庭の仕事	・自分データの整理。(できること、好きなこと、やりたいこと、できるようになりたいことの発表等) ・家族紹介。(様々な家族の形の確認等) ・自分の成長と家族の関わりについての整理。(家族へのアンケート等とおして、現在に至るまでの成長の様子や家族との関わりについてまとめる) ・家庭の仕事についての体験学習(調理実習、買い物学習含む)
		(知及技) 家庭における役割や地域との関わりについて関心をもち、知ることができる。(中1段階Aイ(ア)) (思判表力) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aイ(イ)) (学・人) 家庭の中での自分の役割を実践しようとする。(中1段階Aイ)	(知・技) 家庭における役割や地域との関わりについて知っている。 (思・判・表) 家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づいている。 (主学) 家庭の中での自分の役割を実践しようとしている。	単元2「家庭生活と役割」 ・家族の役割 ・自分の役割 ・地域の役割	・家族の役割の整理。 ・家庭の仕事で自分の役割やできることを考える。(体験学習等) ・家族への感謝の気持ちを表現する。(母の日、父の日、敬老の日等のメッセージカード制作含む) ・地域の役割についての整理。(地域マップ制作等)
		(知及技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知り、実践しようことができる。(中1段階Aウ(ア)) (思判表力) 望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気づき、工夫することができる。(中1段階Aウ(イ)) (学・人) 自分に合った余暇を見つけ、積極的に実践しようとする。(中1段階Aウ)	(知・技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知っている。 (思・判・表) 望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気づいている。 (主学) 自分に合った余暇を見つけ、積極的に実践しようとしている。	単元3「家庭生活における余暇」 ・健康な生活とは ・余暇とは ・余暇の過ごし方	・規則正しい生活について整理する。 ・余暇の内容について整理する。 ・興味がある余暇について発表する。 ・余暇の過ごし方についての体験学習。(校外学習含む)
		(知及技) 幼児の特徴や過ごし方について知り、実践しようことができる。(中1段階Aエ(ア)) (思判表力) 幼児への適切な関わり方について気づき、それらを他者に伝えることができる。(中1段階Aエ(イ)) (学・人) 幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えることができる。(中1段階Aエ)	(知・技) 幼児の特徴や過ごし方について知っている。 (思・判・表) 幼児への適切な関わり方について気づいている。 (主学) 幼児との関わりで得た経験を、他者に伝えようとしている。	単元4「幼児の生活と家族」 ・幼児の特徴や過ごし方 ・幼児との関わり方	・幼児の特徴や関わり方について整理する。 ・幼児との交流(校外学習、他学部との交流学习含む)
2 学期	20	(知及技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようすることができる。(中1段階Bエ(ア)) (思判表力) 日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。(中1段階Bエ(イ)) (学・人) 日常着の着方について、自分なりに工夫しようとする。(中1段階Bエ)	(知・技) 場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知っている。 (思・判・表) 日常着の着方や手入れの仕方に気づいている。 (主学) 日常着の着方について、自分なりに工夫しようとしている。	単元1「衣服の着用と手入れ」 ・衣服とは ・日常着の着方、身だしなみ ・衣服の選択と管理 ・衣服の手入れ	・衣服の種類についての整理。 ・日常着の着方や身だしなみについての整理。 ・目的、時期、場所に応じた衣服についての整理。 ・被服実習(洗濯、裁縫等)
		(知及技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践しようすることができる。(中1段階Bオ(ア)) (思判表力) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づき、工夫することができる。(中1段階Bオ(イ)) (学・人) 自分に合った方法で、整理・整頓、清掃活動の工夫をすることができる。(中1段階Bオ)	(知・技) 住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知っている。 (思・判・表) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づいている。 (主学) 自分に合った方法で、整理・整頓、清掃活動の工夫をしようとしている。	単元2「快適で安全な住まい方」 ・住まいの主な働き ・整理、整頓、清掃	・住まいの主な働きについての整理。 ・整理、整頓、清掃の方法についての学習。 ・整理、整頓、清掃活動の実践。 ・生活を快適にする日用品の制作。

前期	20	<p>(知及技) 健康な生活と食事の役割について知ることができる。(中1段階Bア(ア))  (思判表力) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付き、それを他者に伝えることができる。(中1段階Bア(イ))  (学・人) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとするすることができる。(中1段階Bア)</p>	<p>(知・技) 健康な生活と食事の役割について知っている。  (思・判・表) 適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気付いている。  (主学) 健康な食事について、自分なりの工夫を実践しようとしている。</p>	<p>単元3「食事の役割」  ・健康と食事</p>	<p>・食事の役割について整理する。  ・食事の楽しさと健康な身体づくりについての学習。</p>
		<p>(知及技) 簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。(中1段階Bウ(ア))  (思判表力) 簡単な調理計画について考えることができる。(中1段階Bウ(イ))  (学・人) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践することができる。(中1段階Bウ)</p>	<p>(知・技) 簡単な調理の仕方や手順について知っている。  (思・判・表) 簡単な調理計画について考ようとしている。(中1段階Bウ(イ))  (主学) 自分に合った簡単な調理方法を考えて、家庭で実践しようとしている。</p>	<p>単元5「調理の基礎」  ・調理計画  ・調理実習</p>	<p>・調理における、安全面、衛生面についての整理。  ・調理手順、材料、調理計画の整理。  ・道具や材料の準備。(校外学習含む)  ・調理実習の実践。</p>
3学期	20	<p>(知及技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする。(中1段階Cア(ア))  (思判表力) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うとしたりすることができる。(中1段階Cア(イ))  (学・人) 自分に合った買い物の方法を考えて、家庭で実践することができる。(中1段階Cア)</p>	<p>(知・技) 生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知っている。  (思・判・表) 生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うとしたりしている。  (主学) 自分に合った買い物の方法を、家庭で実践しようとしている。</p>	<p>単元1「身近な消費生活」  ・買い物の手順  ・買い物学習</p>	<p>・買い物の手順や方法についての整理。  ・買い物の体験学習。(校外学習を含む)</p>
		<p>(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとする。(中1段階Cイ(ア))  (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。(中1段階Cイ(イ))  (学・人) 環境に配慮した生活について、自分でできることを考えて伝えることができる。(中1段階Cイ)</p>	<p>(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知っている。  (思・判・表) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考ようとしている。  (主学) 環境に配慮した生活について、自分でできることを考えて伝えようとしている。</p>	<p>単元2「環境に配慮した生活」  ・ゴミの分別  ・リサイクル</p>	<p>・ゴミの分別方法についての整理。  ・リサイクルについての調べ学習。(校外学習含む)  ・リサイクルの実践(作品制作等)</p>
通年		<p>(知及技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けることができる。  (思判表力) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決することができる。  (学・人) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫し考ようとするすることができる。</p>	<p>(知・技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けている。  (思・判・表) 将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決しようとしている。  (主学) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。</p>	<p>・校外学習(買い物学習、施設見学、調べ学習)  ・衣服の手入れ  ・住居の手入れ  ・他学部の授業見学、交流学習  ・調理実習(行事食、季節の食材等)  ・給食について(献立確認、身支度、配膳等)</p>	<p>・学習内容を深めるために、校外学習や交流学習を行う。  ・学習内容の定着を図るために、継続的に被服実習や清掃活動の実践を行なう。</p>
留意点 引継ぎ等		<p>・生徒の実態に応じて、単元計画や学習の時期等は柔軟に設定する。  ・調理実習は、感染症の状況を見て実施し、感染症対策及び衛生対策を徹底する。  ・調理実習、被服実習等、実習の内容は生徒の実態に応じて設定する。</p>			

令和8年度 中学部 1年（Ⅱ課程B） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／ 配当 時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年 Ⅱ課程B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分にあったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「自己紹介しよう」(小 言語活動に関する事項ア 書くこと・イ 話すこと)	・教師は実物や写真を用意する。生徒は教師と一緒に簡単な自己紹介を行う。 ・教師は写真やイラストを用意する。生徒は教師と一緒に自己紹介用の掲示物を作成する。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「アルファベットで楽しもう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・教師と一緒にアルファベットソングを聞いたり、アルファベットダンスを踊る。
				単元4「英語で教えよう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・英語の歌を聞きながら、教師と一緒に英語で1～10の数唱(歌唱)を行う。
2 学期	30	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分にあったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「好きな動物を発表しよう」(言語活動に関する事項ア 書くこと・イ 話すこと)	・教師と一緒に歌を聞いたり、動画を見ながら、英語で身近な動物を学習する。 ・教師と一緒に、イラスト等を使用しながら簡単な英語で好きな動物を発表する(I like ～)。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「ハロウィンパーティーをしよう」(小 英語の特徴等に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、ハロウィンの学習を行う。 ・ハロウィンの仮装体験をしたり、お菓子をもらう体験をする。 ・「Tric or Treat!」と教師と一緒に声に出したり、カードを提示する練習を行う。
				単元4「クリスマスカードを作ろう」(小 英語の特徴等に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、クリスマスの学習を行う。 ・教師がイラストや写真を用意する。 ・生徒は教師と一緒に、クリスマスカードを作成する。
3 学期	20	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分にあったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「今日の天気を伝えよう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、天気の学習を行う。 ・教師と一緒に、イラストや写真を使用しながら天気表を作成する。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「1年間の思い出を伝えよう」(小 言語活動に関する事項イ)	・教師と一緒に、楽しかったことをイラストや写真を使用しながらクラスメイトの前で発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 2年（Ⅱ課程B） 外国語科 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年 Ⅱ課程B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分に合ったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「自己紹介しよう」(小 言語活動に関する事項ア 書くこと・イ 話すこと)	・教師は実物や写真を用意する。生徒は教師と一緒に簡単な自己紹介を行う。 ・教師は写真やイラストを用意する。生徒は教師と一緒に自己紹介用の掲示物を作成する。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「アルファベットで楽しもう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・教師と一緒にアルファベットソングを聞いたり、アルファベットダンスを踊る。
				単元4「英語で教えよう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・英語の歌を聞きながら、教師と一緒に英語で1～10の数唱(歌唱)を行う。
2 学期	30	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分に合ったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「好きな動物を発表しよう」(言語活動に関する事項ア 書くこと・イ 話すこと)	・教師と一緒に歌を聞いたり、動画を見ながら、英語で身近な動物を学習する。 ・教師と一緒に、イラスト等を使用しながら簡単な英語で好きな動物を発表する(I like ~)。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「ハロウィンパーティーをしよう」(小 英語の特徴等に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、ハロウィンの学習を行う。 ・ハロウィンの仮装体験をしたり、お菓子をもらう体験をする。 ・「Tric or Treat!」と教師と一緒に声に出したり、カードを提示する練習を行う。
				単元4「クリスマスカードを作ろう」(小 英語の特徴等に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、クリスマスの学習を行う。 ・教師がイラストや写真を用意する。 ・生徒は教師と一緒に、クリスマスカードを作成する。
3 学期	20	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分に合ったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「今日の天気を伝えよう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、天気の学習を行う。 ・教師と一緒に、イラストや写真を使用しながら天気表を作成する。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「1年間の思い出を伝えよう」(小 言語活動に関する事項イ)	・教師と一緒に、楽しかったことをイラストや写真を使用しながらクラスメイトの前で発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部 3年（Ⅱ課程B） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／ 配当 時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年 Ⅱ課程B		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。 (学・人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分にあったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「自己紹介しよう」(小 言語活動に関する事項ア 書くこと・イ 話すこと)	・教師は実物や写真を用意する。生徒は教師と一緒に簡単な自己紹介を行う。 ・教師は写真やイラストを用意する。生徒は教師と一緒に自己紹介用の掲示物を作成する。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「アルファベットで楽しもう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・教師と一緒にアルファベットソングを聞いたり、アルファベットダンスを踊る。
				単元4「英語で教えよう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・英語の歌を聞きながら、教師と一緒に英語で1～10の数唱(歌唱)を行う。
2 学期	30	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分にあったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「好きな動物を発表しよう」(言語活動に関する事項ア 書くこと・イ 話すこと)	・教師と一緒に歌を聞いたり、動画を見ながら、英語で身近な動物を学習する。 ・教師と一緒に、イラスト等を使用しながら簡単な英語で好きな動物を発表する(I like ～)。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「ハロウィンパーティーをしよう」(小 英語の特徴等に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、ハロウィンの学習を行う。 ・ハロウィンの仮装体験をしたり、お菓子をもらう体験をする。 ・「Tric or Treat!」と教師と一緒に声に出したり、カードを提示する練習を行う。
				単元4「クリスマスカードを作ろう」(小 英語の特徴等に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、クリスマスの学習を行う。 ・教師がイラストや写真を用意する。 ・生徒は教師と一緒に、クリスマスカードを作成する。
3 学期	20	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむことができる。	(知・技) 教師と一緒に英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。	単元1「体調や気分を伝えよう」(小 自分の考えや気持ちなどを表現したり、伝えたりする力の素地に関する事項ア・イ)	・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分にあったカードを選び、教師と一緒に発表する。
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じることができる。	(思・判・表) 教師と一緒に身近で簡単な事柄について見聞きしたり、相手の働きかけに応じようとしている。	単元2「今日の天気を伝えよう」(小 言語活動に関する事項イ(イ))	・教師と一緒に動画を見たり、歌を聞きながら、天気の学習を行う。 ・教師と一緒に、イラストや写真を使用しながら天気表を作成する。
		(学・人) 外国の言語や文化を学ぼうとすることができる。	(主学) 外国の言語や文化を学ぼうとしている。	単元3「1年間の思い出を伝えよう」(小 言語活動に関する事項イ)	・教師と一緒に、楽しかったことをイラストや写真を使用しながらクラスメイトの前で発表する。
留意点 引継ぎ等					

## 中学部 1 ～ 3 年（Ⅱ課程 B）

- ・ 特別の教科道徳 年間指導計画
- ・ 総合的な学習の時間 年間指導計画
- ・ 特別活動 年間指導計画

※本教科はⅡ課程 A および B で共通の年間指導計画を用いるため、計画内容は、Ⅱ課程 A に「Ⅱ課程 A・B」として掲載しているものを参照してください。

中学部  
(訪問教育Ⅱ課程 B)

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
30	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		絵本、パープサート、映像、写真、絵など

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉がわかり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。(小国語1段階) (思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。(小国語1段階) (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。(小国語1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	30	(知及技) 教師の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。(1)言葉の特徴や使い方を小学部1段階ア(7)) (思判表力) 教師の話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。(A聞くこと・話すこと小学部1段階イ) (学・人) 身振りや発語等によって自分の気持ちや意思が伝わるよさを感じ、伝えようとする意欲をもつことができる。(小1段階ウ)	(知・技) 教師の話し掛けに耳を傾け、繰り返すやり取りの中で言葉と事物とが一致してきたり、自分なりの表現をしようとしている。 (思・判・表) 教師の話し掛けに注目したり、応じて伝えようとしている。 (主学) 思いや要求を自分でできる方法で伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「お互いの名前をおぼえよう」 「先生のお話を聞こう」	・自己紹介をする。 ・教師の挨拶に耳を傾けられるように、ゆくりと話す。教師が先に自己紹介をして、教師の名前を知り、自分の名前が呼ばれていることに気付いて表情や身振りで伝える。 ・自分の名前や新しい担当教師の名前がわかり、思いや要求を自分のできる方法で伝える。
		(知及技) いろいろな筆記具に触れることができる。(3)我が国の言語文化1段階イ(9)㉔) (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。B書くこと小1段階イ) (学・人) 文字で表すことやそのよさを感じて自分でできる方法で表現することができる。(小1段階ウ)	(知・技) いろいろな筆記具に触れようとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 文字で表すことに対して自分でできる方法で表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元2 「メッセージを書こう」 「暑中見舞いを書こう」	・暑中見舞いについて話を聞く。 ・鉛筆、クレヨン、ボールペン、水性・油性ペンなど様々な筆記具に触れる。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・誰に何を伝えたいか、身近な人や写真などで選んだりする。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・伝えたい内容について会話や写真などから手掛かりを用いて、教師と一緒に考えながら自分でできる方法で表現する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
2 学期	30	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。(我が国の言語文化1(7)) (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された文字や絵、事物や生き物などに気付き、注目することができる。(c読むことア) (学・人) 教師の話しかけや読み聞かせに対して表情や体の一部の動きで期待する意思を伝えようとするすることができる。(小1段階ウ)	(知・技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しもうとしている。(我が国の言語文化1(7)) (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された文字や絵、事物や生き物などに気付き、注目しようとしている。(c読むことア) (主学) 教師の話しかけや読み聞かせに対して表情や体の一部の動きで期待する意思を伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「絵本の読み聞かせ」 「文字と音」「文字と言葉」	・わかりやすい物語や、わらべ歌や言葉遊びなどで、言葉の響きやリズムを感じたり、動作化したりして親しむ。いくつかの文字を取り上げ、文字の形を見る。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・絵本や紙芝居、写真や絵、映像などを見たりして身近にある事物や事柄、生き物などが表現されていることを知る。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・教師の話しかけや読み聞かせに対して表情や体の一部の動きで期待する意思を伝える。学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
		(知及技) いろいろな筆記具に触れることができる。(我が国の言語文化1(7)) (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。(B書くことア) (学・人) 文字で表すことやそのよさを感じて自分でできる方法で表現することができる。(小1段階ウ)	(知・技) いろいろな筆記具に触れようとしている。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりしようとしている。 (主学) 文字で表すことに対して自分でできる方法で表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元2 「年賀状をかこう」	・年賀状について話を聞く。 ・鉛筆、クレヨン、ボールペン、水性・油性ペン、筆ペンなど様々な筆記具に触れる。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・誰に何を伝えたいか、身近な人や写真などで選んだりする。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・伝えたい内容について会話や写真などから手掛かりを用いて、教師と一緒に考えながら自分でできる方法で表現する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
3 学期		(知及技) いろいろな筆記具に触れることができる。(我が国の言語文化1(7)) (思判表力) 文字に興味を持ち書こうとすることができる。(B書くこと小1段階ア) (学・人) 文字で表すことやそのよさを感じて自分でできる方法で表現することができる。(小1段階ウ)	(知・技) いろいろな筆記具に触れようとしている。 (思・判・表) 文字に興味を持ち、教師と一緒に書くことができる。 (主学) 文字で表すことに対して自分でできる方法で表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「書き初め」	・書き初めとは何かについて触れる。 ・筆ペン、筆など様々な筆記具に触れる。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・書きたい文字を選んで教師と一緒に書く。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・書いた文字を鑑賞する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)

年間を通して	<p>(知及技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (3) 我が国の言語文化小1段階ア (イ) (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振りなどで表現することができる。(A聞くこと・話すこと小1段階(ア)(イ) (学・人) 教師の話しかけや読み聞かせに対して表情や体の一部の動きで期待する意思を伝えようとするすることができる。 (小1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもち注目することができる。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振りなどで表現しようとしている。 (主学) 教師の話しかけや読み聞かせに対して表情や体の一部の動きで期待する意思を伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。</p>	<p>単元1 「読み聞かせ」</p>	<p>・いろいろな絵本の読み聞かせやペープサート、映像など ・1場面ずつ絵に注目し、教師の言葉に関心を向けて聞く。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・話を聞き、音声を模倣したり、表情や身振りなどで表現したりする。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・教師の話しかけや読み聞かせに対して表情や体の一部の動きで期待する意思を伝える。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)</p>
留意点 引継ぎ等				

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
5	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		動画、絵本等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自分自身や身近な人々、社会に関心を持ち、身の回りの生活において必要な習慣や技能を身に付けることができる。(小生活1段階) (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えることができる。(小生活1段階) (学・人) 身近な人々や社会に関心をもち、表情や発声など自分なりの方法で、関わろうとすることができる。(小生活1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 身の回りの簡単な日課に気付くことができる。(小生活1段階ウ日課予定) (思判表力) 身の回りの簡単な日課に見通しをもち、日課に沿って活動することができる。(小生活1段階ウ日課予定) (学・人) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に活動することができる。(小生活1段階ウ日課・予定)	(知・技) 身の回りの簡単な日課に気付こうとしている。 (思・判・表) 身の回りの簡単な日課に見通しをもち、日課に沿って活動しようとしている。 (主学) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に活動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	「日課や学習の振り返り」	・今日の学習内容を確認する。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・日課に沿って活動する。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・今日の学習内容を振り返る。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
		(知及技) 活動や体験の過程において、身近な人に気付き関わりに関心を持つことができる。(小学部生活1段階オ人との関わり) (思判表力) 教師と一緒に簡単な挨拶などができる。(小学部生活1段階オ人との関わりが役割) (学・人) 身近な人々に関心を持つことができる。(小学部生活1段階オ人との関わり、キ手伝い・仕事)	(知・技) 活動や体験の過程において、身近な人に気付いたり関わりに関心を持つようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 身近な人々に関心を持つようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	「号令、あいさつ」 「身近な人、新しい先生」 「同級生からのメッセージ」	・先生に名前を呼んでもらい、相手の顔を見たり誰なのかを覚えたりする。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・自分の名前をよんでもらい、自分なりの応答をうけとってもらう。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・担任教師の声や顔を覚え一緒に活動する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
		(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心を持ったり、教師と一緒に活用することができる。(小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、安全) (思判表力) 身の回りの社会の仕組みや公共施設に気づいたり活用したりして感じたことを自分なりに表現しようとする。 (小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、安全) (学・人) 地域の公共施設などに関わる学習を通し、身の回りの社会の仕組みや公共施設に関心を持ち関わろうとすることができる。(小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、イ安全)	(知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心を持ったり、教師と一緒に活用しようとしている。 (思・判・表) 身の回りの社会の仕組みや公共施設に気づいたり活用したりして感じたことを自分なりに表現しようとしている。 (主学) 地域の公共施設などに関わる学習を通し、身の回りの社会の仕組みや公共施設に関心を持ち関わろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	「校外学習(平和祈念資料館)」	・校外学習に参加したり、動画で見たりして、公共施設について知る。 ・教師と一緒に、公共施設に入り見学する。 ・活動の様子を動画をみて振り返る。
2 学期		(知及技) 自分の住む地域のことに関心を持ち、感じたことを伝えようとする。 (小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、イ安全) (思判表力) 地域のことに関心を持ち、感じたことを伝えようとする。 (小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、イ安全) (学・人) 学校や地域の様子に関心を持ち、親しもうとすることができる。(小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、イ安全)	(知・技) 自分の住む地域の様子や安全、危険について気付こうとしている。 (思・判・表) 地域のことに関心を持ち、感じたことを伝えようとしている。 (主学) 学校や地域の様子に関心を持ち、親しもうとすることができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	「私の住んでいるところ」	・道路や公園など、身近な公共施設に出向き、様子を観察する。 ・使いやすい平らな道路やきれいな公園が、いろいろな人の努力で作られていることについて、視覚教材を見ながら話を聞く。
		(知及技) 学校の様子や先生、友達など、支えてくれる人たちの存在に気付くことができる。 (思判表力) 学校の人たちと気持ちを安定させて関わることができる。 (学・人) 学校への愛着を持ち、高等部進学への見通しと意欲を持つことができる。(小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、オ人との関わり)	(知・技) 学校の様子や先生、友達など、支えてくれる人たちの存在に気付くことができる。 (思・判・表) 学校の人たちと気持ちを安定させて関わることができる。 (主学) 学校への愛着を持ち、高等部進学への見通しと意欲を持つことができる。(小生活1段階コ社会の仕組みと公共施設、オ人との関わり) 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	「私の学校」	・学校へ行ったり動画を使ったりして学校の様子を見たり先生達とふれあったりする。 ・ふれあったり、お話を聞いたりしてみんなが自分たちに関心を持ち、受け入れてくれていることを感じ取る。 ・4月からは、また別の先生達と新しい学校生活をするということについて話を聞く。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
15	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		動画、絵、図鑑等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付くことができるようにする。(小数学1段階) (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力を養う。(小数学1段階) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもつことができるようにする。(小数学1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	(知及技) 具体物に気付いて目で追ったり、つかもうとすることができる。(小学部1段階A数量の基礎ア⑦) (思判表力) 対象物の存在に注目し、動きや変化に気付いて表情や体の一部で表現することができる。(小学部1段階A数量の基礎ア⑦) (学・人) 人や物に対して、主体的に見たり触ったりして関わろうとすることができる。(小1段階Aウ)	(知・技) 具体物に気付いて目で追ったり、つかもうとしている。 (思・判・表) 対象物の存在に注目し、「ある、ない」「多い、少ない」や「動き」などに気付いて表情や体の一部で表現しようとしている。 (主学) 人や物に対して、主体的に見たり触ったりして主体的に関わろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「たんじょうびのろうそく」 「指人形でかくれんぼ」	・開校記念日に関連させ、「誕生日のろうそく」のスライドを見ながら、数が増えていく様子を感じ取ったり、多い、少ないを感じ取ったりする。 ・指人形が家訓恋慕をしている様子を見せ、どこに行ったかな、いなくなったのは誰かな、等とお話を聞く。
2学期		(知及技) 具体物に注目してつかもうとしたり、目で追ったりすることができる。(小1段階C図形ア⑦) (思判表力) 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えることができる。(小1段階C図形ア⑦) (学・人) 対象物に対して、主体的に見たり触ったりして関わろうとすることができる。(小1段階Aウ)	(知・技) 具体物に注目してつかもうとしたり、目で追ったりしようとしている。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物を捉えようとしている。 (主学) 対象物に対して、主体的に見たり触ったりして主体的に関わろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「まる、さんかく、しかく」	・身の周りにあるものの中で、興味関心がありそうな様々な色や形、大きさ、材質などを取り上げる。
3学期		(知及技) 具体物に気付いて目で追ったり、つかもうとすることができる。(A数量の基礎小1段階ア⑦) (思判表力) 対象物の存在に注目し、動きや変化に気付いて表情や体の一部で表現することができる。(A数量の基礎小1段階ア具体物⑦) (学・人) 人や物に対して、主体的に見たり触ったりして関わろうとすることができる。(小1段階Aウ)	(知・技) 具体物に気付いて目で追ったり、つかもうとしている。 (思・判・表) 対象物の存在に注目し、動きや変化に気付いて表情や体の一部で表現しようとしている。 (主学) 人や物に対して、主体的に見たり触ったりして主体的に関わろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「桜のはなびら」	・春のイメージ、卒業のイメージに関連させ、桜の花のイラスト(スライド)を見ながら、花びらの数、散っていく数、減っていく花びらなどを感じ分ける。
年間を通して		(知及技) ものの有無に気付くことができる。(小1段階B数と計算ア⑦) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付くことができる。(小1段階B数と計算ア⑦) (学・人) 人や物に対して、主体的に見たり触ったりして関わろうとすることができる。(小1段階Aウ)	(知・技) ものの有無に気付いて表情や体の一部で表現しようとしている。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付いて表情や体の一部で表現しようとしている。 (主学) 人や物に対して、主体的に見たり触ったりして主体的に関わろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「カレンダーワーク」	・教師と一緒に、カレンダーや日付のカード、ボードを見て今日の日付を読み上げる。 ・ものの有無に気付いて表情や体の一部で表現しようとしている。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付いて表情や体の一部で表現しようとしている。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・人や物に対して、主体的に見たり触ったりして主体的に関わろうとしている。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 理科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
5	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		具体物、パペット、絵など

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けることができる。(小生活1段階) (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとすることができる。(小生活1段階) (学・人) 自分のことについて取り組もうとしたり、自然に関心を持ち、意欲を持って学ぶことができる。(小生活1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 活動や体験の過程において、身の周りの生命や自然に気付くことができる。(小生活1段階サ生命・自然) (思判表力) 身近な植物、動物について感じたことを伝えようとするすることができる。(小生活1段階サ生命・自然) (学・人) 身近な植物について関心をもつことができる。(小生活1段階サ生命・自然)	(知・技) 活動や体験の過程において、身近な植物に気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な植物について感じたことを伝えようとしている。 (主学) 自然との関わりをもって、身近な植物について関心をもとうとしている。(小生活1段階サ生命・自然) 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「はるをさがそう」 (植物、動物)	・季節の植物の観察を行う。 (見る・触る・匂いを嗅ぐなど) ・植物を飾ったり、押し花を作ったり、造形あそびをしたりする。 ・種をまき、発芽や成長、開花の様子を観察する。 ・春の虫を観察する。
		(知及技) 活動や体験の過程において、ものの仕組みと働きに関して気付くことができる。(小生活1段階サ生命・自然) (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒に伝えようとするすることができる。(小生活1段階サ生命・自然) (学・人) 風や音について関心をもつことができる。(小生活1段階シものの仕組みと働き)	(知・技) 活動や体験の過程において、身近な植物に気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な植物について感じたことを伝えようとしている。 (主学) 自然との関わりをもって、身近な植物について関心をもとうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「風とあそぼう」 「音をかんじよう」	・風で動くおもちゃ作りを行い、実際に風の動きを確かめる。 ・音がなるときの、ものが増えることを実験で確かめる。
2 学期	5	(知及技) 活動や体験の過程において、物の重さの違いが分かる。 (思判表力) 物の重さの違いについて、感じたことを伝えようとするすることができる。 (学・人) 物の重さの違いに関心をもつことができる。(小生活1段階シものの仕組みと働き)	(知・技) 活動や体験の過程において、物の重さの違いを分かろうとしている。 (思・判・表) 物の重さの違いについて、感じたことを伝えようとしている。 (主学) 物との関わりをもって、物の重さの違いに関心をもとうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「物と重さ」	・様々な物の重い・軽いを体感させる。 ・同じ容器に入れた水の量の違いで、「重い・軽い」を体感させる。
		(知及技) 活動や体験の過程において、物の温度の違いが分かる。(小生活1段階シものの仕組みと働き) (思判表力) 物の温度の違いについて、感じたことを伝えようとするすることができる。 (学・人) 物の温度の違いに関心をもつことができる。(小生活1段階シものの仕組みと働き)	(知・技) 活動や体験の過程において、物の温度の違いを分かろうとしている。 (思・判・表) 物の温度の違いについて、感じたことを伝えようとしている。 (主学) 物との関わりをもって、物の温度の違いに関心をもとうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「物の温度」	・常温の水と冷水、ぬるま湯で温度の違いを体感させる。
3 学期	5	(知及技) 活動や体験の過程において、風やゴムの働きで物が動くことに気付くことができる。 (思判表力) 風やゴムの働きについて感じたことを伝えようとするすることができる。 (学・人) 風やゴムの働きについて関心をもつことができる。(小生活1段階シものの仕組みと働き)	(知・技) 活動や体験の過程において、身近な植物に気付こうとしている。 (思・判・表) 身近な植物について感じたことを伝えようとしている。 (主学) 自然との関わりをもって、身近な植物について関心をもとうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「風やゴムの力の働き」	・風車や紙コップロケットなどで風やゴムの働きを使った遊びを行う。
		(知及技) 活動や体験の過程において、植物や動物が成長することに気付くことができる。(小生活1段階サ生命・自然) (思判表力) 自分の身体が大きくなったかどうかを比較し、自分なりに感じたことを伝えようとするすることができる。(小生活1段階サ生命・自然) (学・人) 成長したことを嬉しく思い、達成感を感じることができる。(小生活1段階サ生命・自然)	(知・技) 活動や体験の過程において、植物や動物が成長することに気付くことができる。 (思・判・表) 自分の身体が大きくなったかどうかを比較し、自分なりに感じたことを伝えようとするすることができる。 (主学) 成長したことを嬉しく思い、達成感を感じることができる。(小生活1段階サ生命・自然)	「成長」	・1学期の植物観察を振り返る ・生まれたときの自分の大きさ、今の大きさを比較して見る。 ・大きく成長してきたことを確認し、誇らしい気持ちを教師や家族と共有する。
年間を通じて		(知及技) 天気や気候の変化に気付くことができる。(小生活1段階サ生命・自然) (思判表力) 日々の天気について、感じたことを伝えようとするすることができる。(小生活1段階サ生命・自然) (学・人) 天気の変化に関心をもっている。(小生活1段階サ生命・自然)	(知・技) 天気や気候の変化に気付こうとしている。 (思・判・表) 日々の天気について、感じたことを伝えようとしている。 (主学) 自然との関わりをもって、天気の変化に関心をもとうとしている。 【評価資料】 活動の様子の観察で評価する。	「天気の変化」	・今日の天気を確認する。 ・昨日の天気との違いを感じる。 ・窓の外に視線を向けて、天気の違いを感じる。 ・気温や風の様子から、季節を感じ取る。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
15	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		iPad, ウクレレ, 打楽器等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音や音楽に気づき関心を向けるとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱等につながる技能を身につけることができる。(小音楽1段階) (思判表力) 音楽的な表現を楽しんだり、関心を持って聴いたり楽器を鳴らしたりすることができる。(小音楽1段階) (学・人) 音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。(小音楽1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	(知及技) 人や楽器を注視したり、音や曲の特徴に気づき、自分でできる方法で表現したり教師と一緒に楽器に触れることができる。(小1段階A表現ア(イ)(ウ)) (思判表力) 音や曲に関心を寄せ、好みの音色や曲を感じたり、声、動作、視線、快の表情などで表すことができる。(小1段階A表現ア(ア)) (学・人) 音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。(小1段階ウ)	(知・技) 人や楽器を注視したり、音や音楽に気づき、自分でできる方法で表現したり、楽器に触れようとしている。 (思・判・表) 音や音楽に気づき、覚醒、動作、視線、快の表情などで表そうとしている。 (主学) 音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	歌唱：歌をきこう 器楽：音を出してみよう 身体表現：体を動かそう 鑑賞：楽器の音や季節の音楽を聴こう	歌唱：季節の歌など、テンポやイメージの異なる様々な曲を聴く。 器楽：教師と一緒にいろいろな楽器に触れて音遊びをする。(鈴、タンバリン、カスタネット、鳴子等) (知及技に関する活動) (「知・技」の評価) 身体表現：教師と一緒に簡単な手遊びなどをする。 (思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) 鑑賞：パネルシアターを見たり、季節に関する曲を聞いたりする。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価) (校歌、季節の歌など) ※スクーリングや動画などで家庭では経験できない音楽を経験する。
2 学期		(知及技) 人や楽器を注視したり、音や曲の特徴に気づき、自分でできる方法で表現したり教師と一緒に楽器に触れることができる。(小1段階A表現ア(イ)(ウ)) (思判表力) 音や曲に関心を寄せ、好みの音色や曲を感じたり、声、動作、視線、快の表情などで表すことができる。(小1段階A表現ア(ア)) (学・人) 音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。(小1段階ウ)	(知・技) 人や楽器を注視したり、音や音楽に気づき、自分でできる方法で表現したり、楽器に触れようとしている。 (思・判・表) 音や音楽に気づき、覚醒、動作、視線、快の表情などで表そうとしている。 (主学) 音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	歌唱：歌をきこう 器楽：音を出してみよう 身体表現：体を動かそう 鑑賞：楽器の音や季節の音楽を聴こう	歌唱：季節の歌など、テンポやイメージの異なる様々な曲を聴く。 器楽：教師と一緒にいろいろな楽器に触れて音遊びをする。(木琴、鉄琴、ツリーチャイム、ハンドベル等) (知及技に関する活動) (「知・技」の評価) 身体表現：教師と一緒に簡単な手遊びなどをする。 (思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) 鑑賞：パネルシアターを見たり、季節に関する曲を聞いたりする。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価) (クリスマスソング、季節の歌など) ※スクーリングや動画などで家庭では経験できない音楽を経験する。
3 学期		(知及技) 人や楽器を注視したり、音や曲の特徴に気づき、自分でできる方法で表現したり教師と一緒に楽器に触れることができる。(小1段階A表現ア(イ)(ウ)) (思判表力) 音や曲に関心を寄せ、好みの音色や曲を感じたり、覚醒、声、動作、視線、快の表情などで表すことができる。(小1段階A表現ア(ア)) (学・人) 音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。(小1段階ウ)	(知・技) 人や楽器を注視したり、音や音楽に気づき、自分でできる方法で表現したり、楽器に触れようとしている。 (思・判・表) 音や音楽に気づき、覚醒、動作、視線、快の表情などで表そうとしている。 (主学) 音や音楽に気づき、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	歌唱：歌をきこう 器楽：音を出してみよう 身体表現：体を動かそう 鑑賞：楽器の音や季節の音楽を聴こう	歌唱：季節の歌など、テンポやイメージの異なる様々な曲を聴く。 器楽：教師と一緒にいろいろな楽器に触れて音遊びをする。(木琴、ツリーチャイム、ハンドベル等) (知及技に関する活動) (「知・技」の評価) 身体表現：教師と一緒に簡単な手遊びなどをする。 (思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) 鑑賞：パネルシアターを見たり、季節に関する曲を聞いたりする。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価) (卒業式の歌、季節の歌など) ※スクーリングや動画などで家庭では経験できない音楽を経験する。
年間を通して		(知及技) 音や音楽に気付くことができる。 (小1段階A表現ア(イ)(ウ)) (思判表力) 音や音楽に気づき、動作、視線、快の表情などで表すことができる。 (小1段階A表現ア(ア)) (学・人) 音や音楽に気付いて、始まりと終わりがわかり教師と一緒に活動に取り組んだり、終わりを知らることができる。(小1段階ウ)	(知・技) 音や音楽に気付いて自分でできる方法で表現しようとしている。 (思・判・表) 音や音楽に気づき、覚醒、動作、視線、快の表情などで表そうとしている。 (主学) 音や音楽に気付いて、始まりと終わりがわかり教師と一緒に活動に取り組むようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	「始まりの歌・終わりの歌」	・教師と一緒に「始まりの歌」を聴いて、音や音楽に気付いたり、始まることを覚醒、動作、視線、快の表情で表現し、教師と一緒に活動に取り組む。授業の終わりに「終わりの歌」を聴いて活動を終える。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) (思判表力に関する活動) (学・人に関する活動) (「主学」に関する評価) ※オンデマンドやオンラインなどで交流学习をする。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
15	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		パワーポイント、写真、見本等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある物への関わりを通して、形や色をみたり、感触などに慣れたりして教師と一緒に切る、ぬる、はるなどしよとすることができる。(小図画工作1段階) (思判表力) いろいろな素材に触れながら作品を見ることが出来る。(小図画工作1段階) (学・人) 身近にある物の形や色、感触などに気付き、手や体全体を使って作品を作ろうとする態度を養う。(小図画工作1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	15	(知及技) 形や色などに気付き、材用や用具を使って教師と一緒に切る、ぬる、はるなどができる。(小図画工作1段階表現ア(イ)共通(イ)) (思判表力) いろいろな色や素材を感じ取り好みの物を選んだり、教師と一緒に使ったりすることができる。(小図画工作1段階イ(ア)共通ア(ア)(イ)) (学・人) 身近にある物の形や色、感触などに気付き、手や体全体を使って作品を作ることができる。(小図画工作1段階ウ)	(知・技) 形や色などに気付き、材用や用具を使って切る、ぬる、はるなどを教師と一緒にやろうとしている。 (思・判・表) いろいろな素材に触れながら作品を見ようとしている。 (主学) 身近にある物の形や色、感触などに気付き、手や体全体を使って作品を作ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	絵画表現 (自由画) ・いろいろな画材、好きな画材で自由に表現しよう。	・教師と一緒に、身近な材料や用具を使って描いたり、塗ったり、はったりする。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・教師と一緒に手や足で触ってみて、色々な素材の感触に慣れる。自分で制作した作品や人の作品を見る。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・身近にある物の形や色、感触に触れながら作品を作る。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
2 学期		(知及技) 形や色などに気付き、材用や用具を使って教師と一緒に切る、ぬる、はるなどができる。(小図画工作1段階表現イ(イ)共通(イ)) (思判表力) いろいろな色や素材を感じ取り好みの物を選んだり、教師と一緒に使ったりすることができる。(小図画工作1段階イ(ア)共通ア(ア)(イ)) (学・人) 身近にある物の形や色、感触などに気付き、手や体全体を使って作品を作ることができる。(小図画工作1段階ウ)	(知・技) 形や色などに気付き、材用や用具を使って切る、ぬる、はるなどを教師と一緒にやろうとしている。 (思・判・表) いろいろな素材に触れながら作品を見ようとしている。 (主学) 身近にある物の形や色、感触などに気付き、手や体全体を使って作品を作ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	工作 (窓に飾ろう・透き通る色)	・教師と一緒に、身近な材料や用具を使って描いたり、塗ったり、はったりする。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・教師と一緒に手や足で触ってみて、色々な素材の感触に慣れる。自分で制作した作品や人の作品を見る。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・身近にある物の形や色、感触に触れながら感じたことを作品に表す。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
3 学期		(知及技) 形や色などに気付き、材用や用具を使って教師と一緒に切る、ぬる、はるなどができる。(小図画工作1段階表現イ(イ)共通(イ)) (思判表力) いろいろな色や素材を感じ取り好みの物を選んだり、教師と一緒に使ったりすることができる。(小図画工作1段階イ(ア)共通ア(ア)(イ)) (学・人) 身近にある物の形や色、感触などに気付き、手や体全体を使って作品を作ることができる。(小図画工作1段階ウ)	(知・技) 形や色などに気付き、材用や用具を使って切る、ぬる、はるなどを教師と一緒にやろうとしている。 (思・判・表) いろいろな素材に触れながら作品を見ようとしている。 (主学) 身近にある物の形や色、感触などに気付き、手や体全体を使って作品を作ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	共同制作 (卒業式の壁面)	・教師と一緒に、身近な材料や用具を使って描いたり、塗ったり、はったりする。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・教師と一緒に手や足で触ってみて、色々な素材の感触に慣れる。自分で制作した作品や人の作品を見る。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・身近にある物の形や色、感触に触れながら感じたことを作品に表す。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
年間を通して		(知及技) 材用や用具を使って教師と一緒に切る、ぬる、はるなどができる。(小図画工作1段階ア(イ)) (思判表力) 作品を見ることが出来る。(小図画工作1段階イ(ア)共通ア(ア)(イ)) (学・人) 手を使って作品を作ることができる。(小図画工作1段階ウ)	(知・技) 材用や用具を使って切る、ぬる、はるなどを教師と一緒にやろうとしている。 (思・判・表) 作品を見ようとしている。 (主学) 手を使って作品を作ろうとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	鑑賞・工作 (作品集作り)	・材料や用具を使って描いたり、塗ったり、はったりする。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・自分で制作した作品や人の作品を見る。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・身近にある物の形や色に触れながら作品を作る。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
5	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようになる。(小体育1段階) (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。(小体育1段階) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。(小体育1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験することができる。(小体育1段階A運動遊びア、Eボール遊びAF表現遊びA) (思判表力) 自分なりに身体の部位を動かしたり、教師の支援を受けて身体を動かしたりする楽しさを表情等で表すことができるようにする。(小体育1段階IA運動遊びイ、Eボール遊びイ、F表現遊びイ) (学・人) 教師と一緒に、楽しく活動に取り組もうとする態度を養う。(小体育1段階ウ)	(知・技) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験しようとしている。 (思・判・表) 自分なりに身体の部位を動かしたり、教師の支援を受けて身体を動かしたりする楽しさを表情等で表わそうとしている。 (主学) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験することができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「体を動かそう」 単元2 「楽しく運動しよう」	・教師の支援を受けて、安全に体を動かす。 (ふれあい体操、特体連ダンス、ストレッチ等) ・教師と一緒に、用具を使って運動をする。 (的当て、風船遊び、ひっぱりっこ等)  ・※オンデマンドやオンラインなどで交流学習をする。
2 学期		(知及技) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験することができる。(小体育1段階A運動遊びア、Eボール遊びAF表現遊びA) (思判表力) 自分なりに身体の部位を動かしたり、教師の支援を受けて身体を動かしたりする楽しさを表情等で表すことができるようにする。(小体育1段階IA運動遊びイ、Eボール遊びイ、F表現遊びイ) (学・人) 教師と一緒に、楽しく活動に取り組もうとする態度を養う。(小体育1段階ウ)	(知・技) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験しようとしている。自分の成長について知ろうとしている。 (思・判・表) 自分なりに身体の部位を動かしたり、教師の支援を受けて身体を動かしたりする楽しさを表情等で表わそうとしている。 (主学) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験することができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「体を動かそう」 単元2 「楽しく運動しよう」	・教師の支援を受けて、安全に体を動かす。 (ふれあい体操、特体連ダンス、ストレッチ等) ・教師と一緒に、用具を使って運動をする。 (玉入れ、ポウリング、ひっぱりっこ等)  ・※オンデマンドやオンラインなどで交流学習をする。
3 学期		(知及技) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験することができる。自分の成長を知ることができる。(小体育1段階A運動遊びア、Eボール遊びAF表現遊びA) (思判表力) 自分なりに身体の部位を動かしたり、教師の支援を受けて身体を動かしたりする楽しさを表情等で表すことができるようにする。(小体育1段階IA運動遊びイ、Eボール遊びイ、F表現遊びイ) (学・人) 教師と一緒に、楽しく活動に取り組もうとする態度を養う。(小体育1段階ウ)	(知・技) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験しようとしている。 (思・判・表) 自分なりに身体の部位を動かしたり、教師の支援を受けて身体を動かしたりする楽しさを表情等で表わそうとしている。 (主学) 教師と一緒に身体を動かすことで、身体のいろいろな動きを体験することができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「体を動かそう」 単元2 「楽しく運動しよう」 単元3「発育と成長について」(保健)	・教師の支援を受けて、安全に体を動かす。 (ふれあい体操、特体連ダンス、ストレッチ等) ・教師と一緒に、用具を使って運動をする。 (風船遊び、お手玉投げ等) ・自分の成長について学ぶ。 ※オンデマンドやオンラインなどで交流学習をする。
年間を通して		(学・人) 不快な時に教師に知らせたり、教師と一緒に健康に必要な事柄をすることができる。(小学校体育ウG保健ア、イ)	(主学) 不快な時に教師に知らせたり、教師と一緒に健康に必要な事柄をしようとしている。(小学校体育ウG保健ア、イ)	「元気に過ごす」	苦しいときに声や動作で教師に知らせたり、教師と一緒に体位交換や体温調節に取り組み体調の維持に努める。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 職業・家庭科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
10	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		パワーポイント、動画、絵本

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 生活に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活について考えることができる。(職業・家庭分野1段階) (思判表力) 将来の生活に必要な事柄を見い出すことができる。(職業・家庭分野1段階) (学・人) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとするすることができる。(職業・家庭分野1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	【職業】 (知及技) ・簡単な日課がわかり、教師と一緒に日課に沿って活動しようとするができる。(小生活1段階ウ(ア)) ・教師と一緒に情報機器を扱い関心を持つことができる。(小生活1段階工(イ)) (思判表力) 授業で感じたことを自分なりに表現したり、当番活動や片付けなどに関心を持ち、楽しむことができる。(小生活1段階ウ(ア)カ役割(イ)) (学・人) 号令掛けやあいさつ、学習活動に教師と一緒に取り組もうとすることができる。(小生活1段階カ役割(ア))	【職業】 (知・技) ・簡単な日課がわかり、教師と一緒に日課に沿って活動しようとするができる。(小生活1段階ウ(ア)) (思・判・表) 授業で感じたことを自分なりに表現したり、当番活動や片付けなどに関心を持ち、楽しむことができる。(小生活1段階ウ(ア)カ役割(イ)) (主学) 号令掛けや、あいさつなどに教師と一緒に取り組もうとすることができる。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【職業分野】 ・日課を知ろう ・当番活動をしよう ・iPadで遊ぼう ・苗を植えよう、収穫しよう	【職業分野】 ・今日の日課の説明を聞く。 ・楽しみな活動は何か、教師と話をする。 ・当番で交代しながら始めのあいさつ、終わりのあいさつを行う。 ・道具を出したときは、教師と片付け作業に取り組む。 ・iPadの簡単なアプリを操作し、画面の変化に注目したり楽しんだりする。 ・豆苗を育て収穫する。洗って袋に詰める。
		【家庭】 (知及技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知ることができる。(A家庭生活ウ(ア)) (思判表力) 室内で楽しめる余暇に参加することができる。(A家庭生活ウ(イ)) (学・人) いろいろな活動を体験し心地よく活動できる。(A家庭生活ウ)	【家庭】 (知・技) 健康や様々な余暇の過ごし方について知ろうとしている。 (思・判・表) 室内で楽しめる余暇に参加しようとしている。 (主学) いろいろな活動を体験し心地よく活動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【家庭分野】 家庭生活における余暇	【家庭分野】 ・自分の好きな活動はどんな活動があるか、考えてみる。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・運動遊びやiPadの操作など好きな活動や楽しめそうな活動をする。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・いろいろな活動を体験して、心地よさを体験する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
2 学期	10	【職業】 (知及技) ・簡単な作業に関心を持つことができる。(A職業生活ア(ア)) (思判表力) 自分の役割に取り組むことができる。(A職業生活ア(イ)) (学・人) 活動で達成感を得ることができる。(A職業生活ア(ウ))	【職業】 (知・技) 簡単な作業に関心を持よせつつある。 (思・判・表) 自分の役割に取り組もうとしている。 (主学) いろいろな活動を体験し達成感を得ようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【職業分野】 小物作り (身近にある材料を使用した物作り)	【職業】 ・木材、布、牛乳パック等身近な材料を利用した作品を製作する。 ・制作活動やお世話になっている人へプレゼントをすることで達成感や喜ばれる経験を積む。 (学・人に関する活動) (「主学」に関する評価)
		【家庭】 (知及技) 洗濯の目的と方法を知る (小生活1段階ア基本的な生活習慣(イ)) (思判表力) 教師と一緒に洗濯に取り組んだり、感じたことを伝えようとするができる。(小生活1段階ア基本的な生活習慣(ア)) (学・人) 洗濯の場面を楽しんで見たり、取り組んだりすることができる。 (小生活1段階ア基本的な生活習慣(ア))	【家庭】 (知・技) 洗濯の目的と方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に洗濯に取り組んだり、感じたことを伝えようとしている。 (主学) 洗濯の場面を楽しんで見たり、取り組んだりしようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【家庭分野】 タオルを洗おう	【家庭】 ・洗い立てのハンカチと汚れたハンカチを比べる(におい、色など) ・汚れた小さなタオルハンカチを、洗面器を使って洗い、干す。 ・洗う手順や方法を知る。
3 学期		【職業】 (知及技) ・簡単な日課がわかり、教師と一緒に日課に沿って活動しようとするができる。(小生活1段階ウ(ア)) ・教師と一緒に情報機器を扱い関心を持つことができる。(小生活1段階工(イ)) (思判表力) 授業で感じたことを自分なりに表現したり、当番活動や片付けなどに関心を持ち、楽しむことができる。(小生活1段階ウ(ア)カ役割(イ)) (学・人) 号令掛けや、あいさつなどに教師と一緒に取り組もうとすることができる。(小生活1段階カ役割(ア))	【職業】 (知・技) ・簡単な日課がわかり、教師と一緒に日課に沿って活動しようとすることができる。(小生活1段階ウ(ア)) (思・判・表) 授業で感じたことを自分なりに表現したり、当番活動や片付けなどに関心を持ち、楽しむことができる。(小生活1段階ウ(ア)カ役割(イ)) (主学) 号令掛けや、あいさつなどに教師と一緒に取り組もうとすることができる。(小生活1段階カ役割(ア)) 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	【職業分野】 iPadで遊ぼう。	【職業分野】 ・今日の日課の説明を聞く。 ・楽しみな活動は何か、教師と話をする。 ・当番で交代しながら始めのあいさつ、終わりのあいさつを行う。 ・道具を出したときは、教師と片付け作業に取り組む。

	<p>【家庭】  (知・技)  簡単な調理の仕方を知ることができる。(家庭分野B衣食住の生活1段階イ)  (愚判表力)  材料の匂いを嗅いだり、触ったりしながら違いを感じ取ったり感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。(家庭分野B衣食住の生活1段階イ)  (学・人)  調理への興味を持つことができる。(家庭分野B衣食住の生活1段階イ)</p>	<p>(知・技)  簡単な調理の仕方を知ることができる。(家庭分野B衣食住の生活1段階イ)  (愚・判・表)  材料の匂いを嗅いだり、触ったりしながら違いを感じ取ったり感じたことを自分なりの方法で表現しようとしている。(家庭分野B衣食住の生活1段階イ)  (主学)  調理への興味を持つことができる。(家庭分野B衣食住の生活1段階イ)  【評価資料】活動の様子を観察で評価する。</p>	<p>【家庭分野】  調理</p>	<p>【家庭】  ・果物や野菜を触ったり、切ったり、匂いを嗅いだりして観察する。  ・ミキサーにかけてジュースを作る。  ・できあがったジュースの匂いや状態を観察する。</p>
<p>留意点  引継ぎ等</p>				

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 外国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
5	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		CD、絵本、写真

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。(小外国語活動) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養うことができる。(小外国語活動) (学・人) 外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。(小外国語活動)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		(知及技) 英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しもうとすることができる。(小外国語活動1)イ (ア) (思判表力) 外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、違いを感じたり、感じたことを自分のできる方法で表現しようとする ことができる。(小外国語活動2) (学・人) 英語の歌や日常生活になじみのある語に注目することができる。 (小外国語活動)	(知・技) 英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現しようとしている。 (主学) 英語の歌や日常生活になじみのある後に注目しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「聞いてみよう、見てみよう、感じてみよう」	・教師と一緒に英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しむ。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現する。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・英語の歌や日常生活になじみのある語を聞いたり見たりして注目する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価) (ABCの歌、月曜は何たべた?など) ・教師は体調についての絵カードを用意する。 ・教師と相談しながら、生徒はその日の気分合ったカードを選び、教師と一緒に発表する。
2学期	5	(知及技) 英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しもうとすることができる。(小外国語活動1)イ (ア) (思判表力) 外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現 することができる。(小外国語活動2) (学・人) 英語の歌や日常生活になじみのある語に注目することができる。 (小外国語活動)	(知・技) 英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現しようとしている。 (主学) 英語の歌や日常生活になじみのある後に注目しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「聞いてみよう、見てみよう、感じてみよう」	・教師と一緒に英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しむ。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現する。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・英語の歌や日常生活になじみのある語を聞いたり見たりして注目する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価) (10羽のペンギン、ハロウィン、クリスマスなど)
3学期		(知及技) 英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しもうとすることができる。(小外国語活動1)イ (ア) (思判表力) 外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現 することができる。(小外国語活動2) (学・人) 英語の歌や日常生活になじみのある語に注目することができる。 (小外国語活動)	(知・技) 英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) 外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現しようとしている。 (主学) 英語の歌や日常生活になじみのある後に注目しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	単元1 「聞いてみよう、見てみよう、感じてみよう」	・教師と一緒に英語の歌などを聞き、音声やリズムに親しむ。(知及技に関する活動) (「知・技」の評価) ・外国の行事などに触れたり、英語の歌などを聞いたりして、感じたことを自分のできる方法で表現する。(思判表力に関する活動) (「思・判・表」の評価) ・英語の歌や日常生活になじみのある語を聞いたり見たりして注目する。(学・人に関する活動) (「主学」に関する評価) (B・I・N・G・O、しあわせなら手をたたこうなど)
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 特別の教科道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
5	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・様々な道徳的価値への気づきに基づき、人間としてよりよい生き方について考えながら、周りの人とともによりよく生きるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		・気持ちのいいあいさつを心地よく受け取ったり、声や表情で表現しようすることができる。 (小学校第1学年及び第2学年B礼儀) ・鯉のぼりの由来を知り、日本の文化に親しむことができる。(小学校1学年及び2学年C伝統と文化の尊重) ・平和を願う気持ちや、命の大切さを感じ取ることができる。(小学校第1学年及び2学年D命の尊さ)	・気持ちのいいあいさつを心地よく受け取ったり、声や表情で表現しようとしている。 ・鯉のぼりの由来を知り、日本の文化に親しもうとしている。 ・平和の良さや命の大切さを感じ取ろうとしている。	・あたらしい先生 ・きもちのいいあいさつ ・鯉のぼり ・平和について	おはよう、こんにちは、さようなら等のあいさつを毎回繰り返し丁寧におこなう。相手に視線を向けて聞いたり、声や表情、身体の動きで表現する。 ・こいのぼりの由来についてイラストや写真とともに話を聞く。 ・沖縄戦についての絵本を読みかかせをする。平和のよさや命の大切さを感じ取る
2 学期	5	・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを行おうとすることができる。(小学校第1学年及び2学年A善悪の判断) ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすることができる。 (小学校第1学年及び第2学年C主として集団や社会との関わりに関すること 規則の遵守) ・身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することができる。(小学校第1学年及び2学年D生命の尊さ)	・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを行おうとしている。 ・公共施設には、約束やきまりがあることを知り、それを守ろうとしている。みんなが使う物を大切にする気持ちを持つようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・順番を守る ・校外学習 ・地域散策	・パペットを使った人形劇で、良いこと悪いことに関する簡単な物語を聞き、自分の気持ちの動きに気付いたり、表現したりする。数学の「多い、少ない」と関連して行う。 ・スクーリングに参加したり、動画を見たりして公共施設を利用の仕方をする。 ・公共施設のきまりを守り利用する。 ・きれいなところや面白いところに気づけるよう、先生のお話を聞きながら、身近な花や虫などを見たりする。理科の植物と関連させて行う。
3 学期		家族など日頃世話になっている人々に感謝する。(小第1学年及び第2学年)	日頃からお世話になっている家族などに感謝の気持ちを持つようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・ありがとう	・身近な家族の存在について知る。 ・家族など日頃世話になっていることについて考えてみる。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 中学部1～2年（訪問ⅡB課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
5	中学部1～2年 訪問ⅡB課程		動画、写真

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者との関わりを通して、集団活動の意義や活動を行う上での必要なルールを理解し、活動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決にむけて話し合いや合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築き、自己を生かす能力を養うことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) スクーリングや行事の動画を通して多様な他者と関わり、学習活動の見通しや意義を感じ取ったり活動の仕方を身につけることができる。 (思判表力) 集団活動に参加し、たくさんの人との関わりを楽しみ、自分なりの方法で気持ちを表現することができるようにする。(行事) (学・人) 様々な活動に慣れ、教師の支援に応じたり、最後まで参加しようとする態度を養う。 (学級活動、生徒会活動、学校行事)	(知・技) スクーリングや行事の動画を通して多様な他者と関わり、学習活動の見通しや意義を感じ取ったり活動を楽しもうとしている。(学級活動) (思・判・表) 集団活動に参加し、たくさんの人との関わりを楽しみ、自分なりの方法で気持ちを表現しようとしている。(学級活動、学年・学校行事) (主学) 様々な活動に慣れ、教師の支援に応じたり、最後まで参加しようとする態度を身につけようとしている。 (学年行事、学級活動、生徒会活動) 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・進級について 始業式 ・なかよくなるう ・新入生歓迎会 ・交流学習 ・夏休みの過ごし方 ・終業式	・新しいを先生知り、信頼関係を築く。 ・スクーリングや動画で授業や学年・学部の行事に参加し、集団活動や友達との交流を経験する ・友達と交流し楽しく過ごす。 ・夏休みの過ごし方について話を聞く。
2学期		(知及技) スクーリングや行事の動画を通して多様な他者と関わり、学習活動の見通しや意義を感じ取ったり活動の仕方を身につけることができる。 (思判表力) 集団活動に参加し、たくさんの人との関わりを楽しみ、自分なりの方法で気持ちを表現することができるようにする。(行事) (学・人) 様々な活動に慣れ、教師の支援に応じたり、最後まで参加しようとする態度を養う。 (学級活動、生徒会活動、学校行事)	(知・技) スクーリングや行事の動画を通して多様な他者と関わり、学習活動の見通しや意義を感じ取ったり活動を楽しもうとしている。(学級活動) (思・判・表) 集団活動に参加し、たくさんの人との関わりを楽しみ、自分なりの方法で気持ちを表現しようとしている。(学級活動、学年行事) (主学) 様々な活動に慣れ、教師の支援に応じたり、最後まで参加しようとする態度を身につけようとしている。 (学年、学校行事、学級活動、生徒会活動) 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・始業式 ・運動会 ・校外学習 ・芸術鑑賞会 ・冬休みに向けて ・終業式	・授業や行事へのスクーリングまたは動画視聴を通して、校外での活動や音楽鑑賞などに参加する。 ・友達と交流し楽しく過ごす。 ・自然に触れたり、公共施設を利用したりする。 ・友達と楽しく活動に参加する。 ・冬休みの過ごし方について話を聞く。
3学期		(知及技) スクーリングや行事の動画を通して多様な他者と関わり、学習活動の見通しや意義を感じ取ったり活動の仕方を身につけることができる。 (思判表力) 集団活動に参加し、たくさんの人との関わりを楽しみ、自分なりの方法で気持ちを表現することができるようにする。(行事) (学・人) 様々な活動に慣れ、教師の支援に応じたり、最後まで参加しようとする態度を養う。 (学級活動、生徒会活動、学校行事)	(知・技) スクーリングや行事の動画を通して多様な他者と関わり、学習活動の見通しや意義を感じ取ったり活動を楽しもうとしている。(学級活動) (思・判・表) 集団活動に参加し、たくさんの人との関わりを楽しみ、自分なりの方法で気持ちを表現しようとしている。(学級活動、学年・学校行事) (主学) 様々な活動に慣れ、教師の支援に応じたり、最後まで参加しようとする態度を身につけようとしている。 (学年行事、学級活動、生徒会活動) 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	・始業式 ・生徒会選役員選挙 ・3年生を送る会 ・卒業式 ・1年間のまとめ (キャリアサポート)	・授業や行事へのスクーリングまたは動画視聴を通して、校外での活動や音楽鑑賞などに参加する。 ・友達と交流し楽しく過ごす ・1年間及び3年間で振り返り、卒業することを知る。 ・春休みの過ごし方について知る
留意点 引継ぎ等					